

吹田市水道事業年報

—令和4年度(2022年度)版—

吹 田 市 水 道 部

水道事業年報

目次

第1章 沿革

| | |
|----------------|----|
| 1. 沿革 | 2 |
| 2. 水道事業の歩み（年譜） | 7 |
| 3. 事業認可の変遷 | 23 |
| 4. 料金等の変遷 | 24 |
| (1) 水道料金の変遷 | 24 |
| (2) メーター料の変遷 | 24 |
| (3) 加入金の変遷 | 28 |

第2章 施設

| | |
|-------------------|----|
| 1. 受配水系統図 | 34 |
| 2. 施設概要 | 35 |
| 3. 導・送・配水管延長 | 44 |
| 4. 導・送・配水管布設・撤去状況 | 46 |
| 5. 導・送・配水管耐震化状況 | 47 |
| 6. 導・送・配水管経年化状況 | 48 |

第3章 機構と職員

| | |
|-----------|----|
| 1. 機構図 | 50 |
| 2. 職員構成表 | 50 |
| 3. 職員配置表 | 51 |
| 4. 職員の諸構成 | 52 |

第4章 水源と水質

| | |
|---------------------------|----|
| 1. 業務量の推移 | 54 |
| 2. 取水状況 | 56 |
| 3. 配水状況 | 58 |
| (1) 施設別配水量構成 | 58 |
| (2) 年度別・月別配水状況 | 60 |
| (3) 月別・水源別配水状況 | 62 |
| (4) 配水量の内訳 | 63 |
| 4. 電力使用状況 | 64 |
| 5. 薬品購入状況 | 66 |
| 6. 自己水源に対する電力及び薬品 使用状況 | 67 |
| 7. 水質検査成績表 | 68 |

第5章 営業・給水

| | |
|----------------|----|
| 1. 営業業務状況 | 76 |
| (1) 検針状況 | 76 |
| (2) 督促状況 | 76 |
| (3) 減免状況 | 76 |
| (4) 受付状況 | 77 |
| (5) 請求状況 | 77 |
| (6) 収納状況 | 77 |
| 2. メーター取付、取替状況 | 78 |

| | |
|-----------------------------|----|
| 3. 区分別段階別給水状況 | 79 |
| 4. 給水業務状況 | 81 |
| (1) 加入金収入状況 | 81 |
| (2) 各種手数料収入状況 | 82 |
| (3) 給水工事施工状況 | 83 |
| (4) 配給水装置修繕状況 | 84 |
| 5. 漏水防止対策状況 | 85 |
| (1) 漏水防止作業年度別内訳表 | 85 |
| (2) 漏水調査状況 | 85 |
| (3) 漏水調査による修理件数及び 漏水量分析表 | 86 |
| (4) 公道下・宅地内別比率表 | 86 |
| (5) 配・給水管別比率表 | 86 |
| 6. 配水量分析状況 | 87 |
| (1) 配水量年度別内訳表 | 87 |
| (2) 配水量分析表 | 88 |

第6章 財 政

| | |
|---------------|----|
| 1. 収益的収支の推移 | 90 |
| 2. 資本的収支の推移 | 92 |
| 3. 要素別費用明細表 | 94 |
| 4. 貸借対照表の推移 | 96 |
| 5. 原価・単価構成の推移 | 98 |

| | |
|----------------|-----|
| 6. 財務状況の図解 | 99 |
| (1) 原価と単価の比較 | 99 |
| (2) 貸借対照表 | 99 |
| 7. 財務経営分析に関する調 | 101 |

第7章 参考資料

| | |
|--|-----|
| 1. 上下水道料金表 | 104 |
| 2. 北大阪各市令和3年度(2021年度) 決算状況等 | 106 |
| 3. 府内各市水道料金比較 | 111 |
| 4. 府内各市原価・単価比較 | 113 |
| 5. 水道事業ガイドラインによる 主要背景情報(CI)及び 業務指標(PI) | 115 |
| 6. 各種広報資料 | 125 |
| すいすい防災手帳 | 125 |
| すいどうにゅーす | 129 |
| 片山浄水所新施設完成 パンフレット | 137 |
| 市報すいた | 145 |
| 7. 公用車配置状況 | 150 |

本書における金額・構成比等は四捨五入の関係上、合計欄の数値と内訳の合計が一致しない場合があります。

第1章 沿 革

1. 沿 革
2. 水道事業の歩み（年譜）
3. 事業認可の変遷
4. 料金等の変遷
 - (1) 水道料金の変遷
 - (2) メーター料の変遷
 - (3) 加入金の変遷

1. 沿革

(1) 「たかが水道、されど水道」時代

水道のない生活を体験するためには……？わざわざ山の中まで出かけなければなりません。山のキャンプ場にさえ水道が珍しくない今日、川の水や湧き水、まして井戸水を使う機会はすっかり少なくなってしまいました。

さて、日本の近代水道は明治20年(1887年)、横浜において始まりました。それから遅れること40年、昭和2年(1927年)に吹田町営水道が給水を開始しました。この近代水道の歴史の中で普及率が50%を超えたのは昭和35年(1960年)、吹田では昭和20年代後半に至ってのことです。

当時、吹田町営水道では水の製造はしておらず、大阪市の浄水をそのまま送っていました。吹田町の人口は約2万人、給水人口は約6千人、普及率はようやく30%でした。この頃はまだほとんどの家庭に井戸があり、わざわざ有料の水道を使わなくてもタダの井戸水で十分だ、という人が多かったのです。「たかが水道、されど水道」というところでしょうか。

(2) 自己水源の確保へ

大戦前の昭和15年(1940年)には、隣接4町村が合併して市制がしかれました。戦争中は空襲から水道の施設を守るのに大変な苦勞がありましたが、戦後、千里山地区(千里山水道)・豊津地区(阪北上水道)の簡易水道を吸収して総合的な上水道計画に乗り出しました。これが第1次拡張事業計画で、昭和23年(1948年)に工事が始められました(総工費1,800万円)。

第1次拡張事業では主にポンプ場の建設や送配水管布設工事など、これまでどおり大阪市から浄水を受水するための施設建設でしたが、第2次拡張事業(総工費8,100万円)では千里山浄水所の増強、片山浄水所さく井・急速ろ過池建設など自己水源の確保を目指しました。

(3) 建設の時代の始まり

水道事業は独立採算制により経営されていますが、この基本となる法律が地方公営企業法です。この法律が施行されたのが昭和27年(1952年)、その4年後の昭和31年(1956年)に水道部は地方公営企業として発足しました。水道の普及率は65%に達し、さらに広げていくとする時期に当たります。

この頃は、日本の経済が戦後の混乱から立ち直り、高度成長の準備を整えていた時期です。大阪の衛星都市ではドーナツ化現象(大都市周辺への人口の移動・集中)と生活様式の変化で水需要が急速に伸びていました。さらに本市では、千里丘陵の開発が進められ、高層住宅の建設ラッシュとも重なって水需要の伸びにどう応えるかは、頭の痛い問題でした。

こうした中で、昭和32年(1957年)にはこれまでの3倍に及ぶ総工費2億6千万円を投じて、さく井の増設、配水池の新設など第3次拡張事業に着手し、昭和33年(1958年)には山田地区への給水を開始しました。また、昭和35年(1960年)には府営水道からの浄水を受水を開始するなど急増する水需要に対し懸命な努力が注がれました。

しかし、水需要の伸びは予想をはるかに上まわり、昭和36年度(1961年度)から5か年継続の第4次拡張事業(総工費10億4千万円)に着手しました。これは泉浄水所の建設を主とする事業で、これにより泉浄水所は一日最大1万9千 m^3 の処理能力をもつ本市の中心施設となりました。また、能力アップに伴って送配水幹線の整備、ポンプ場の増設もあわせて進められました。

| 年 | 主な出来事 |
|-----|-----------------------|
| 明20 | 横浜市に近代水道誕生 |
| 昭4 | 世界大恐慌 |
| 〃13 | 厚生省設置 |
| 〃16 | 太平洋戦争勃発 |
| 〃20 | 〃 終戦 |
| 〃22 | 地方自治法制定 |
| 〃23 | 地方財政法制定 |
| 〃25 | 地方公務員法制定 ジェーン台風襲来 |
| 〃26 | サンフランシスコ講和条約締結 |
| 〃27 | 地方公営企業法制定 |
| 〃30 | 神武景気 |
| 〃31 | 日本水道協会発足 |
| 〃32 | 地方公営企業金融公庫設立 水道法制定 |
| 〃34 | 第1回水道週間 |
| 〃35 | 自治省設置 |

※ポンプ場

水を低いところから高いところへ送るためにはポンプ(電気による動力を利用)で水に圧力を加えて送水しなければなりません。そのための施設をポンプ場といい、市内数か所にこの施設があります。

※さく井・急速ろ過池

地下水を汲み上げるために掘り進めた井戸(本市は200~300mの深井戸)をさく井といいます。

急速ろ過池は、原水を浄水にするための処理施設の一部で、砂や砂利などを敷きつめた層に水を通して不純物を取り除くための池です。

(「急速ろ過」は1日に120mくらいの速さでろ過するもので、ろ過池のほとんどはこの急速ろ過池です。)

※独立採算制

地方公営企業は自治体(府や市町村など)が経営する企業ですが、税金などで賄われる一般会計とは切り離し、「事業に係る費用は事業による収入で賄う」よう法律で定められています。

(4) 建設の時代 ピークへ

大阪府による千里ニュータウンの建設が始まった昭和37年(1962年)からは水需要増のほとんども府営水道に依存することになり、その導入施設として千里丘陵第一受水場、津雲配水場、蓮間配水場などが府企業局により建設されました。これらの施設はのちに本市に安価で譲渡され、本市水道事業の経営安定に大きく寄与しました。

しかし、水需要増は更に加速し、昭和40年(1965年)には総工費15億2千万円で第5次拡張事業に着手し、日量3万m³の淀川原水導入など自己水源の確保を図りました。なおこの間、事務の機械化、無線装置の採用による機動力の強化、集金制の廃止と納付制の開始など経営の改善、近代化も進められました。

淀川原水の導入をもって自己水源の充実がピークに達し、昭和44年(1969年)からは今後の水需要増に対し府営水道への全面依存の方針を切り替え、第6次拡張事業に着手しました(総工費29億9千万円)。これは、受配水施設など府営水導入施設の増強のほか、「安全で断水・公害のない上水道」を目指して最新のコンピュータによる水質の連続監視設備、市内全施設の集中監視・制御(コントロール)設備の建設を進めるもので、昭和53年(1978年)に完工しました。

この間、昭和48年(1973年)にオイル・ショックが起り、これによる狂乱インフレは水道財政を危機に陥れました。新たに開始した加入金、開発負担金による増収では追いつかず、支払の繰延べや職員給料の支給日変更など資金繰りに大変苦労しました。

(5) 維持管理の時代へ

高度経済成長がオイル・ショックを境に「低(安定)成長」に入った昭和50年代。本市では建設の時代のツケとも言える財政危機の立て直し、すなわち財政健全化が大きな課題となりました。そのため、昭和50年(1975年)に水道事業懇談会を開き事業全般にわたる抜本的な再検討を行いました。これを受けて翌51年には加入金・開発負担金の改定と水道料金的大幅値上げ(約45%)を行い、また通増制を導入し節水型の料金体系としました。

しかし、府営水道の値上げなど水道事業を取り巻く厳しい環境は変わらず、同52年に再度料金を値上げ(約35%)し、同53、54年には2段階で値上げ(約24%)を行いました。

なお、第6次拡張事業(第2回変更)完工後は、「上水道施設等整備事業」に移行し、自己水有効利用等を目指す配水池及び配水管網等の整備を重点に事業を進め、さらに「第6次拡張事業(第3回変更)」として、平成6年(1994年)に高度浄水処理の設備築造工事に着手しました(同9年竣工、供給開始)。

財政面では、10年にわたり据え置いた水道料金を平成元年(1989年)から約27%、同5年から約30%改定し、老朽化した施設の整備を図りつつ、より良質の水道水供給を目指す「水道新時代」にふさわしい財政基盤整備を図りました。

平成7年(1995年)1月に阪神・淡路大震災が発生し、泉浄水所の高架洗浄水槽が損傷したほか、配水管(22か所)や給水管(約1,600か所)、受水槽(21か所)が破損し、一時は約4,000世帯が断水するなど本市にも甚大な被害をもたらしました。震災を教訓とした施設の耐震化など災害対策の一層の強化、さらに配水管整備や直結給水の拡大等各種事業推進のための財源確保が急務となり、同9年に約23%の料金改定を実施しました。

事業経営面では、平成8年(1996年)7月に水道事業経営審議会が発足し、同10年に出された答申(消費税転嫁、大震災対策、企業努力ほか)を踏まえた効率的な事業経営に努めてきました(料金等への消費税転嫁については同13年7月から実施)。また、第3次水道事業経営審議会が出された新たな中長期計画についての答申に沿い、平成16年(2004年)4月に第1次上水道施設等整備事業を策定し、浄配水施設の整備に着手しました。事業では配水管の管網整備や管路耐震化工事などを進め、自己水源の有効利用とあわせ、水道水の安定供給に努めました。水需要や給水収益が年々減少傾向にある中で、経年劣化する施設の改良・更新をどう計画的に進めるのか、また安心して飲んでいただける水道水を安定的に供給することなど水道事業を取り巻く新たな環境の変化への対応のため、平成18年(2006年)11月、「吹田市水道部中期経営計画」を策定し、これまで以上のサービスを最小の経費で実現できるよう、効率的な事業運営を目指しました。

こうした中で、平成19年(2007年)には、基本水量の見直しや通増度の緩和を目的とした料金値下げ(△3.36%)を行うとともに、口座振替割引制度の導入など市民サービスの拡大を図りました。

| 年 | 主な出来事 |
|-----|--------------------------------|
| 昭39 | 自治省に地方公営企業制度調査会設置 淀川水質協議会発足 |
| 〃40 | 地公企制度調査会答申・琵琶湖総合開発構想 |
| 〃41 | 地方公営企業法一部改正 |
| 〃42 | 日水協「水道料金算定基準」を厚生省に答申 |
| 〃45 | 水質汚濁防止法制定 吹田市で万国博開催 |
| 〃47 | 琵琶湖総合開発決定 |
| 〃48 | オイル・ショック |
| 〃52 | 水道法一部改正 |
| 〃54 | 琵琶湖富栄養化防止条例制定 第2次オイル・ショック |
| 〃59 | 厚生省「おいしい水研究会」設立 |
| 平1 | 消費税法施行 |
| 〃4 | 琵琶湖総合開発概成 |
| 〃5 | 水質基準の大幅改正 |
| 〃7 | 阪神・淡路大震災 |
| 〃8 | 「規制緩和推進計画」に基づく水道法一部改正 |
| 〃14 | 水道法一部改正 |
| 〃16 | 水道ビジョン |

※水質の連続監視設備

「給水モニター」を市内十数か所に設置し、常に安全な水を送るため、管末の水質・水圧の状態を24時間監視・記録しています。

※集中監視・制御設備

市内全域をオンラインで結び、効率的給水、事故早期発見、漏水対策などに効果を発揮し、また浄水所の人員抑制など経営効率化にもつながっています。

※加入金・開発負担金

加入金は、水道施設更新の財源対策や新旧需要者間における負担の公平性の確保等を目的として、新たに水道を設置する場合に費用負担していただくものです。

開発負担金は、人口増加などに伴う水道施設の拡張費用の一部を開発事業者等に負担していただくものでしたが、制度の役割を終えたため、平成28年(2016年)4月に廃止しました。

※通増(ていぞう)制

使用水量の増に応じて料金単価が上がる制度で、高使用高負担の節水型料金体系です。

※高度浄水処理

河川水質の悪化とともに注目された浄水処理法で、塩素とオゾンにより滅菌処理し、さらに活性炭処理により、臭いの除去を行います。

維持管理の時代から更新の時代へと移りつつある中で、平成21年(2009年)12月に中期経営計画の方向性を発展させた新たな地域水道ビジョンとして、「すいすいビジョン2020～吹田の水標～」を策定しました。このビジョンの着実な推進に向けて、事業計画においては、老朽化した井戸の掘替えや水需要が減少する中での施設能力の見直しなどに対応するため、平成22年(2010年)3月に第6次拡張事業(第4回変更)の認可を受けました。同時に更新事業や基幹施設の耐震化を中心とした第2次上水道施設等整備事業にも取り組み、これらの事業計画を支えていくためには財政・組織の両面から見た、更なる経営基盤の強化が必要となりました。

(6) 維持管理から更新の時代へ

平成22年度(2010年度)を初年度とする第2次上水道施設等整備事業では、管路・施設の耐震化とあわせ、経年化した管路の更新事業、老朽化した井戸の掘替え、泉浄水所電算機更新工事を始め、片山浄水所の更新を控え新たな水処理の実証実験に取り組むなど、本格的な更新時代に入りました。日本全体では人口減少が始まり、今後更に水需要の減少傾向が加速していくことが予想される厳しい時代を迎えました。

また、平成23年(2011年)4月から大阪広域水道企業団(以下「企業団」という。)が事業を開始し、受水する42市町村が共同で用水供給事業等を経営することになりました。

平成23年(2011年)3月に発生した東日本大震災では、約2か月間にわたり40人の職員を現地での応急給水支援活動に派遣しました。その後、現地での活動による教訓を生かし、災害への備えを充実させるとともに、基幹管路などの耐震化を更に積極的に進めるため、施設整備計画の見直しを図りました。

料金業務では、市役所本庁舎内に設置していた水道部分室を平成23年度末で廃止したほか、平成24年(2012年)4月から市内全域の検針業務を委託しました。

(7) 更新の時代の幕開け

これからの大量更新の時代を新たな課題に対応し再構築するチャンスと捉え、おおよそ40年先の将来像を描いた「吹田市水道施設マスタープラン」を平成25年(2013年)3月に策定しました。また、時期を同じくして、厚生労働省から「新水道ビジョン」が公表され、これまで以上の水道施設の強靱化が求められたことから、翌年にはマスタープランに基づき第2次上水道施設等整備事業を見直しました。見直しに当たっては、片山浄水所水処理施設更新工事及び片山浄水所・泉浄水所連絡管布設工事のいわゆる2大工事を事業として位置づけ、平成28年(2016年)3月には、片山浄水所の更新に必要な変更認可「吹田市水道再構築事業」を取得しました。同年秋には両工事に着手し、本市水道事業にとっての新しい時代の幕開けとなりました。

平成29年(2017年)2月には、北大阪健康医療都市に設置した耐震性貯水槽の供用を開始し、9か所目の災害時給水拠点とするなど災害時に備えた取組を進めてきました。

これらの取組を進めている中、同年8月に本市南部を中心に大規模な停電が発生しました。この停電により、泉浄水所において浄水処理が一時停止し、片山浄水所からのバックアップによる対応、自家発電の運転開始のほか、料金システム停止への対応などが必要になり、非常時の対応について改めて考える機会となりました。

さらに、平成30年(2018年)6月に大阪府北部を震源とするマグニチュード6.1の地震が発生し、本市では震度5強を観測しました。本市の水道施設に大きな被害はなかったものの、濁水の発生により市内全域で3日間にわたり応急給水活動を行いました。また、企業団の本市への送水管が破損し大量の水が道路上に溢れたほか、高槻市、箕面市、茨木市などにおいても漏水や濁水の被害が発生しました。これを機に、泉浄水所以外でも給水車への補給が可能となるよう片山浄水所等において災害時給水拠点の機能の充実を図るとともに、避難所となる小学校への組立式給水タンクの設置を進めてきました。

同年9月には台風21号が関西地方に上陸し、市内でも強風による倒木や家屋の損壊のほか、大規模な停電が発生したため、高層マンションなどではポンプが停止し断水したことから、応急給水活動を実施しました。この年は西日本を中心に集中豪雨が発生し岡山県などで大きな被害が発生しており、地球温暖化等の影響により想定以上の豪雨災害が多発している中で、地震だけでなく様々な災害への備えが必要となってきています。

経営面においては、水需要が減少傾向にある一方で2大工事を始めとする施設整備に多大

| 年 | 主な出来事 |
|-----|------------------------|
| 平23 | 東日本大震災 大阪広域水道企業団設立 |
| 〃24 | 水道法一部改正 地方公営企業法一部改正 |
| 〃25 | 新水道ビジョン |
| 〃26 | 水循環基本法制定 |
| 〃28 | 認可権限大阪府へ一部委譲 熊本地震 |

※大阪広域水道企業団

淀川表流水を水源として浄水処理した水道水を、大阪市以外の府内42市町村(末端水道事業)に卸売りする用水供給事業や、工業用水事業を行っています。前身は大阪府営水道で大阪府が経営していたものを受水する42市町村が事業を継承し、平成23年(2011年)4月に事業を開始しました。

※2大工事

泉浄水所の将来的な機能停止を見据え、片山浄水所を中心とした再構築を目的として実施する工事です。

片山浄水所の水処理施設を膜ろ過方式に抜本更新する「片山浄水所水処理施設更新工事」と、2つの浄水所を結ぶ口径1000mmの連絡管を当部初のシールド工法を用いて布設し、送配水ネットワークを構築する「片山浄水所・泉浄水所連絡管布設工事」を指します。

な費用が必要となるなど、経営環境が厳しさを増していくことを想定して、平成25年(2013年)6月に「今後の水道事業と料金のあり方について」を水道事業経営審議会に諮問し、翌年6月に答申が出されました。

その答申に基づき1年半の検討を重ね、平成27年(2015年)12月定例会市議会において、2年間で10%の値上げとなる料金改定と用途別から[※]口径別料金体系への変更、加入金の改定、督促手数料及び延滞金の廃止等の条例改正案が可決され、平成28年(2016年)4月から施行されました。この19年ぶりとなる値上げにより、料金算定期間である平成30年度(2018年度)までの3年間の施設整備の財源を確保しました。また、口径別料金への変更により、今後も続くと予測される節水型社会においても水需要の減少に大きく左右されない料金体系とすることができました。

財源の確保のほか、平成28年(2016年)4月から高齢者世帯声掛けサービス及び認知症サポーターの取組を、平成31年(2019年)3月からは水道の開閉栓電子申請を開始するなど、サービスの充実を図りました。

また、経営効率化につながる広域連携の取組のひとつとして、企業団千里浄水池に近接している本市蓮間配水場と豊中市、箕面市の受配水施設との将来的な統廃合を目指した共同ポンプ施設の整備を進めています。平成27年度(2015年度)に締結した「大阪広域水道企業団が所有する千里浄水池の敷地内における豊中市、吹田市及び箕面市共同ポンプ施設の整備に関する覚書」に基づき各市の状況に応じて段階的に進めています。

(8) 基盤強化に向けて

府内においては、企業団を中心として広域化による基盤強化の取組が進められており、平成29年(2017年)4月に企業団と四條畷市、太子町及び千早赤阪村が統合し水道事業を開始しました。さらに平成31年(2019年)4月には泉南市を始め2市4町が加わり、令和3年(2021年)4月からは藤井寺市など4市町が統合し、大阪市を除く府内42市町村のうち13市町村が統合しました。

平成30年(2018年)に、水道事業の経営基盤強化を目指し、[※]コンセッション方式(公設民営化)を含めた官民連携の推進や適正な資産管理、広域連携の推進が主な内容となる改正水道法が制定されました。

改正水道法においては、都道府県のリーダーシップによる水道事業の広域化推進が求められています。大阪府ではこれに先立って、平成30年(2018年)8月に府が主体の「府域一水道に向けた水道のあり方協議会」が発足し、府内全事業体の参画の下、持続可能な府域水道事業の構築に向けた議論が始まりました。令和2年(2020年)3月には、大阪府から広域化推進プランと位置づける「府域一水道に向けた水道のあり方に関する検討報告書」が出されました。

本市においては、改正水道法の趣旨を踏まえながら、水道システムの再構築に着手した本市水道事業の基盤強化に向けた経営戦略として、10年間の投資・財政計画を含む新たな基本計画「すいすいビジョン2029」を令和元年(2019年)9月に策定しました。策定に当たっては、平成29年度(2017年度)に水道事業経営審議会に対し「吹田市水道事業の新たな基本計画について」を諮問し、その答申に基づき検討を重ね、施策の方向性や健全な水道事業を持続するための考え方などを明確にしました。

また、計画に基づき強靱な水道施設を構築し、健全な事業経営を持続することを目的として、令和2年(2020年)4月に平均改定率15.2%の料金改定を行い、「すいすいビジョン2029」の下、本市水道事業が「地域の水道」として、安全な水道水を未来へつないでいくための第一歩を踏み出しました。

令和元年(2019年)12月に発生が報告された新型コロナウイルス感染症が急速に全世界に拡大し、我が国においては、令和2年(2020年)4月の緊急事態宣言発出以降、外出の自粛や企業への休業要請などにより社会生活や経済活動が大きく制限されることとなりました。こうしたコロナ禍において、感染症予防や衛生確保の観点から水道水の重要性が高まる中、国から水道事業体に対し、水道料金の支払猶予について要請が出されたことから、本市では支払期限の延長や給水停止処分の中止などの支援策を講じました。

持続可能な水道を目指し、財源確保に努めつつ取り組んでいる施設整備のうち、老朽化が進んでいた片山浄水所の水処理施設の更新工事が令和4年(2022年)1月に完成しました。(通水は令和3年(2021年)12月1日から開始)

| 年 | 主な出来事 |
|-----|--|
| 平29 | 大阪広域水道企業団と四條畷市、太子町、千早赤阪村との事業統合 |
| 〃30 | 大阪府北部地震 平成30年7月豪雨 水道法一部改正 |
| 〃31 | 大阪広域水道企業団と泉南市、阪南市、豊能町、忠岡町、田尻町、岬町との事業統合 |
| 令2 | 新型コロナウイルス感染拡大 |
| 〃3 | 大阪広域水道企業団と藤井寺市、大阪狭山市、熊取町、河南町との事業統合 水循環基本法一部改正 |

※口径別料金体系

料金算定に当たり、使用者の水道メーター(給水管)の口径に応じて料金格差を設ける体系のことです。給水管口径に基づく給水能力に見合った料金負担となるため、客観的公平性に優れ、日本水道協会の料金算定要領でも口径別料金体系を原則としています。

※コンセッション方式(公設民営化)

地方公共団体が水道施設の所有権を有したまま、民間事業者が当該施設の運営を委ねるPFI(Private Finance Initiative)の類型の一つです。

令和元年(2019年)施行の改正水道法により、地方公共団体が水道事業者としての位置づけを維持しつつ、厚生労働大臣の許可を受けて公共施設等運営権を民間事業者を設定することができるようになりました。

※府域一水道

府内の水道事業体が共通して抱える課題に対し、広域化による運営基盤強化を図るため、将来的に府内43市町村の水道事業を統合しようとするものです。市町村はそれぞれ事情が異なるため、多様な広域化の形態を探りながら企業団及び市町村の合意形成に基づき進めています。

約6年の月日をかけてリニューアルした片山浄水所は、地下水処理に最適な「膜ろ過方式」を新たに採用し、無駄のない水づくりや排水処理まで可能となりました。また、施設の耐震化や自家発電設備の設置、応急給水設備の充実を図り、拠点施設にふさわしい強靱な浄水所に生まれ変わりました。

これに先立ち、令和3年(2021年)3月には泉浄水所との連絡管が完成しており、浄水所間の浄水の相互融通が可能となる等、この2大工事の完成により給水の安定性は格段に向上しました。

市域北部においても、基幹施設である津雲配水場を耐震化するとともに、太陽光発電による再生可能エネルギーの導入を進めています。

企業団、豊中市及び箕面市による広域連携の取組の第一段階として、配水管工事の完成に併せて令和4年(2022年)3月に「豊中市及び吹田市による豊中市柿ノ木配水場の共同化に関する協定書」を締結し、蓮間配水場からポンプ圧送方式で配水していた地域は同年4月に豊中市柿ノ木配水場からの配水に切り替えました。また同時に、自然流下方式で配水していた地域は企業団千里浄水池からの配水に切り替えました。

水道事業の基盤強化を図るには、市民の理解や地域との協力が不可欠です。

避難所となる市内の市立小学校を災害時給水所と位置づけ、より身近に応急給水が受けられるように、組立式給水タンクの設置を平成30年(2018年)から進めてきました。令和2年度(2020年度)で全36校への配備が完了し、令和3年度(2021年)以降、各地域と組立式給水タンクを用いた訓練を積極的に行っています。

市民との双方向のやり取りを重視した、水道版タウンミーティング「水道いどばた会議」等の住民理解の取組が料金の適正化につながったことなどが評価され、令和3年(2021年)9月に優良地方公営企業総務大臣表彰を受賞しました。

令和4年(2022年)3月には、広報活動の目的や方向性を示し、戦略的に実施する方針として「広報コンパス5D」を策定しました。

市内に多数ある大学との連携を図ることで若い世代の参画が期待できます。令和4年(2022年)7月以降、大阪大学大学院工学研究科と連携して、持続可能な水道事業の実現に向けた市民アンケートの共同実施や[※]フューチャー・デザインを取り入れた職員対象のワークショップを実施するなど大学連携の取組も積極的に進めています。

2大工事は完成したものの、強靱な水道システムの構築は未だ道半ばにあります。健全な水道システムを将来に引き継いでいくためには、それを担う人材を育成していくことも重要となります。令和4年(2022年)3月に策定した「現場力向上方針」に基づき、計画的な技術の習得と技能の継承を図り、高い現場力を持った職員の育成に努めるとともに、計画的に事業を推進することで、強靱な水道システムを未来につないでいきます。

※フューチャー・デザイン

将来世代に持続可能な社会を引き継いでいくための様々な社会の仕組みをデザインし、実践することを言います。

2. 水道事業の歩み(年譜)

| 年 月 | 建 設 | 制 度 等 |
|--------------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 明41(1908) | | 吹田町誕生 |
| 大14(1925).4 | | 町議会にて3か年計画で水道布設を議決 |
| 大15(1926).11 | | 大阪市と上水受水契約を締結 |
| 昭2(1927).2 | | 町議会にて吹田町水道条例を制定 |
| 昭2(1927).3 | 吹田町営水道起工式挙行 | |
| 昭2(1927).4 | 吹田町営水道着工 | 総人口19,838人、給水人口6,037人 (普及率30%) |
| 昭2(1927).7 | | 水道事業の認可(7/20)、起債260,000円許可 |
| 昭2(1927).8 | 試験通水 8/25 正式通水 8/30 | 水道使用条例適用 |
| 昭2(1927).9 | | 水道料金徴収開始 |
| 昭6(1931) | | メーターの責任修復の許可 |
| 昭8(1933).4 | | 水道料金改定 (尺貫法からメートル法へ移行) |
| 昭12(1937).4 | | 毎月集金制実施 |
| 昭15(1940).4 | | 市制実施(吹田町、三島郡千里村、同岸部村、豊能郡豊津村が合併) |
| 昭21(1946).1 | 京阪神急行電鉄経営の千里山水道を吸収し、 千里山浄水所として給水開始 | |
| 昭22(1947).9 | 阪北上水道組合豊津地区を吸収 | |
| 昭22(1947).10 | | 水道料金改定 |
| 昭23(1948).12 | 第1次拡張事業着工(変更認可)昭25.3完成 | |
| 昭24(1949).4 | 御旅ポンプ場完成 第2次拡張事業着工(変更認可)昭31.3完成 | |
| 昭24(1949).8 | | 水道料金改定 |
| 昭26(1951).10 | 片山配水池築造(1,000m ³)に伴い給水開始 | |
| 昭27(1952).1 | | 水道料金改定 |
| 昭28(1953).7 | 片山浄水所にて浄水開始 | |
| 昭30(1955).10 | | 山田村合併 |
| 昭31(1956).10 | | 地方公営企業体として発足 |
| 昭32(1957).4 | 第3次拡張事業着工(変更認可)昭37.3完成 | |
| 昭32(1957).12 | 山田地区配水幹線布設 | |
| 昭33(1958).4 | 山田地区給水開始 | |
| 昭34(1959).3 | 千里山浄水所にて浄水池築造(1,000m ³) | |
| 昭35(1960).7 | 府営水道より受水開始 | 府営水12円50銭/m ³ |
| 昭35(1960).8 | 片山浄水所にて配水池築造(3,072m ³) | |
| 昭36(1961).3 | 山田ポンプ場完成 | |
| 昭36(1961).4 | 第4次拡張事業着工(変更認可)昭40.3完成 | |
| 昭36(1961).7 | 府営水道が千里丘陵地区へ送水開始 | |
| 昭36(1961).8 | 山田配水池築造 | |

| 年 月 | 建 設 | 制 度 等 |
|--------------|------------------------------|---|
| 昭37(1962).4 | | 水道料金改定 |
| 昭37(1962).6 | 泉浄水所第1期工事着工 昭38.6完成 | |
| 昭37(1962).9 | 千里ニュータウンに府営水道が送水開始 | 千里ニュータウン入居開始 水道事業所から水道部へ |
| 昭37(1962).10 | 千里丘陵第一受水場操業開始 金田ポンプ場完成 | 吹田市上水道開設35周年記念式挙行 |
| 昭38(1963).2 | 市内配水幹線着工 昭38.6完成 | |
| 昭38(1963).6 | | 水質試験室発足 |
| 昭38(1963).7 | | 千里丘簡易水道吸収(昭39.10完了) |
| 昭38(1963).8 | 佐井寺配水池築造 | |
| 昭38(1963).9 | 泉浄水所第2期工事着工 昭39.6完成 | 無線装置正式開局(金田ポンプ場内) |
| 昭38(1963).10 | | 吹田市水道事業協力会連絡協議会発足 |
| 昭39(1964).2 | 津雲配水場操業開始 | |
| 昭39(1964).4 | | 配水管工事分担金制度条例化 |
| 昭39(1964).5 | 御旅ポンプ場自動化完成 | |
| 昭39(1964).7 | 泉浄水所にて浄水開始 | |
| 昭39(1964).9 | 蓮間配水場操業開始 | |
| 昭39(1964).10 | | 片山浄水所公園計画に伴い虹ますの養殖開始 |
| 昭39(1964).12 | 泉浄水所に自家発電装置完成 | |
| 昭40(1965).1 | 千里山浄水所ポンプ室改築工事着工 昭40.10完成 | |
| 昭40(1965).4 | 第5次拡張事業着工(変更認可) 昭45.3完成 | 大阪市水16円/m ³ 、府営水16円/m ³ 紀州製紙施設使用料5円/m ³ |
| 昭40(1965).5 | | 職員待機宿舎(山水荘)完成 水道料金改定 |
| 昭41(1966).1 | 泉浄水所拡張第1期工事着工 昭41.4完成 | |
| 昭41(1966).4 | | 労働安全衛生委員会設置 |
| 昭41(1966).6 | 淀川表流水受水開始 | |
| 昭41(1966).7 | | 下水道料金(旧市内)を上水道料金と同時徴収 |
| 昭41(1966).12 | 泉浄水所拡張第2期工事着工 昭42.6完成 | 地方公営企業法改正 |
| 昭42(1967).1 | | 管理者制度発足 |
| 昭42(1967).4 | | 財団法人吹田市水道サービス公社発足 |
| 昭42(1967).8 | 万国博覧会用送水管布設工事着工 昭43.2完成 | |
| 昭42(1967).12 | 泉浄水所拡張第3期工事着工 昭和43.6完成 | |
| 昭43(1968).5 | | 水道遊園条例を制定(同月21日片山浄水所に 虹ますセンターをオープン) |
| 昭43(1968).7 | | 集金制を廃止し、納付制を実施 全地区委託検針を実施 |
| 昭43(1968).8 | | 水道料金の督促手数料、延滞料徴収開始 |

| 年 月 | 建 設 | 制 度 等 |
|--------------|---|---|
| 昭43(1968).9 | 片山浄水所管理棟（庁舎）築造工事着工 昭44.4完成 | |
| 昭44(1969).3 | 泉浄水所管理棟（水道部本庁舎）築造工事 着工 昭44.12完成 | |
| 昭44(1969).4 | 第6次拡張事業着工(変更認可)昭54.3完成 片山浄水所混和池築造工事着工 昭46.3完成 | |
| 昭44(1969).12 | 泉浄水所第2配水池築造工事完成 泉浄水所高架水槽築造工事完成 | 泉浄水所管理棟（水道部本庁舎）完成に伴う移転 |
| 昭45(1970).3 | 片山浄水所第3配水池築造工事着工 昭46.3完成 | |
| 昭45(1970).4 | 千里配水幹線工事着工 昭46.5完成 | |
| 昭45(1970).5 | 片山浄水所高速ろ過設備工事着工 昭46.3完成 | |
| 昭45(1970).8 | | 水道料金調定事務に電算導入 |
| 昭46(1971).2 | 片山浄水所第11号さく井掘さく工事着工 昭46.8完成 | |
| 昭46(1971).4 | 第6次拡張事業(第1回変更)着工 | 千里丘陵地区上水道事業を統合 |
| 昭46(1971).10 | 岸部地内φ450mm配水管工事着工 昭47.10完成 山田幹線φ600mm導水管工事着工 昭47.3完成 | |
| 昭46(1971).11 | 集中監視制御設備第1期工事着工 (津雲・山田) 昭47.6完成 | |
| 昭47(1972).4 | 第6次拡張事業(第2回変更)着工 | 2か月検針、2か月徴収実施 |
| 昭47(1972).5 | | 加入金制度実施、集合住宅各戸検針・各戸徴収 実施（遠隔指示メーターのみ） |
| 昭47(1972).10 | 集中監視制御設備第2期工事着工 (御旅・原水モニター) 昭48.3完成 | 大阪市水25円/m ³ に改定 |
| 昭47(1972).12 | 千里山高速ろ過装置工事完成 | |
| 昭48(1973).4 | | 開発負担金制度実施、検針員を非常勤嘱託職員 として採用 |
| 昭48(1973).7 | 集中監視制御設備第3期工事着工（蓮間） 昭49.1完成 | 異常湧水により府の給水制限受ける |
| 昭48(1973).9 | 千里山浄水所第11号さく井掘さく工事着工 昭49.5完成 山田新芦屋φ400mm配水幹線第1期工事着工 昭48.10完成 | |
| 昭48(1973).10 | 集中監視制御設備工事第3期工事着工 (給水モニター) 昭49.3完成 | |
| 昭48(1973).12 | 山田新芦屋φ400mm配水幹線第2期工事着工 昭49.6完成 | |

| 年 月 | 建 設 | 制 度 等 |
|--------------|---|---|
| 昭49(1974).4 | 給水モニター設置 | 加入金、開発負担金、給水工事関係手数料改定 紀州製紙施設使用料6円30銭/m ³ に改定 |
| 昭49(1974).6 | | 府営水19円70銭/m ³ に改定 |
| 昭49(1974).7 | 泉浄水所180kW送水ポンプ増設工事着工 昭50.2完成 | |
| | 泉浄水所第8号さく井掘さく工事着工 昭49.12完成 | |
| 昭49(1974).9 | 集中監視制御設備第4期工事着工 昭50.3完成 | |
| 昭49(1974).11 | 御旅ポンプ場改築工事着工 昭50.5完成 | |
| 昭50(1975).4 | | 大型メーター2か月検針実施 |
| 昭50(1975).8 | 集中監視制御設備第5期工事着工 昭51.1完成 | 水道事業懇談会を設置 |
| 昭50(1975).9 | | 大阪市水50円/m ³ に改定 (責任使用水量制採用) |
| 昭51(1976).3 | 泉・片山浄水所汚泥槽設備工事完成 | |
| 昭51(1976).4 | | 水道料金改定(平均45.52%・通増制導入)、 加入金・開発負担金・給水工事関係手数料を改定 |
| 昭51(1976).7 | 泉浄水所第9号さく井掘さく工事着工 昭52.2完成 | |
| 昭51(1976).10 | | 府営水29円70銭/m ³ に改定 |
| 昭52(1977).4 | | 水道料金改定(平均35.00%) |
| 昭52(1977).6 | 集中監視制御設備第6期工事着工(情報処理の部) 昭53.3完成 | |
| 昭52(1977).7 | | 開発負担金改定 |
| 昭52(1977).8 | | 異常渇水による取水・給水制限実施 |
| 昭52(1977).9 | 山田新芦屋地内φ400mm配水幹線布設工事 着工 昭52.11完成 | |
| 昭52(1977).10 | 都市計画道路佐井寺山田下線φ300mm配水 幹線布設工事着工 昭52.10完成 | 水道事業懇談会解散 府営水43円70銭/m ³ に改定 |
| | 山田地内φ450mm配水幹線布設工事着工 昭52.11完成 | |
| 昭52(1977).12 | 南吹田第1土地区画整理地内配水管布設工 事着工 昭53.4完成 | |
| 昭53(1978).2 | 片山浄水所府水導入管φ450mm布設第1期 工事着工 昭53.5完成 | |
| | 山田地内φ450mm配水幹線布設工事 (第1工区・第2工区)着工 昭53.5完成 | |
| 昭53(1978).4 | 泉浄水所第10号さく井掘さく工事着工 昭53.9完成 | 水道料金改定(平均19.77%) 昭53.3.9議決「大阪府営千里浄水池系送水施設の 管理・運用に関する協定」発効 |

| 年 月 | 建 設 | 制 度 等 |
|--------------|---|------------------------------|
| 昭53(1978).5 | 片山浄水所第13号さく井掘さく工事着工 昭53.11完成 | |
| 昭53(1978).7 | 佐井寺山田下線φ300mm配水幹線布設第2期 工事着工 昭53.8完成 | |
| | 山田西団地内φ450mm配水幹線布設工事 (第1工区)着工 昭53.8完成 | |
| | 山田西団地内φ450mm配水幹線布設工事 (第2工区)着工 昭53.9完成 | |
| 昭53(1978).9 | | 異常湧水による取水・給水制限実施 |
| 昭53(1978).10 | | 府営水48円70銭/m ³ に改定 |
| 昭53(1978).12 | 山田、小川茨木線φ300mm配水管布設工事 着工 昭54.2完成 | |
| 昭54(1979).2 | 国鉄駅前再開発に伴うφ300mm配水管布設 工事着工 昭54.4完成 | |
| | 片山浄水所府水導入管φ450mm布設工事 (第3工区)着工 昭54.3完成 | |
| | 片山浄水所府水導入管φ450mm布設第2期 工事着工 昭54.4完成 | |
| 昭54(1979).3 | | 水道料金改定(平均3.94%) |
| 昭54(1979).4 | 第1期上水道施設等整備事業着手 昭60.3完成 | |
| 昭54(1979).5 | 泉浄水所高架配水槽改良工事着工 昭54.8完成 | |
| 昭54(1979).6 | 万博調圧槽改良工事着工 昭54.7完成 | |
| 昭54(1979).7 | 山田新芦屋地内φ300mm布設工事着工 昭54.10完成 | |
| 昭54(1979).9 | 職員待機宿舎(山水荘)改良工事着工 (建替え)昭54.11完成 | |
| 昭54(1979).10 | 小曾根配水幹線φ500mm布設工事着工 昭54.11完成 | |
| | 都市計画道路佐井寺片山高浜線配水幹線 φ600mm布設工事着工 | |
| 昭55(1980).11 | | 口座振替制度開始 |
| 昭55(1980).11 | 津雲配水池新設工事着工 昭55.12完成 | |
| 昭55(1980).3 | 江坂町2丁目上水道管布設工事着工 昭55.4完成 | |
| 昭55(1980).5 | 旧職員待機宿舎(山水荘)建物解体撤去工事 着工 昭55.6完了 | |
| 昭55(1980).8 | 都市計画道路佐井寺片山高浜線配水管 φ600mm布設工事着工 昭56.2完成 | |

| 年 月 | 建 設 | 制 度 等 |
|--------------|--|---|
| 昭55(1980).9 | 糸田川φ500mm水管橋架設工事着工 昭56.2完成 | |
| 昭55(1980).12 | 万博地内φ400mm配水幹線布設工事着工 昭56.3完成 | |
| 昭56(1981).2 | 泉浄水所塩素中和装置改良工事着工 昭56.3完成 | 異常寒波による給水管等の凍結 |
| | 下新田配水幹線φ400mm布設工事着工 昭56.4完成 | |
| 昭56(1981).3 | 山田新芦屋地内φ300mm配水幹線布設工事 着工 昭56.5完成 | 水道遊園(虹ますセンター) 廃園 昭56.3.31 |
| 昭56(1981).4 | 山田配水池送水管φ350mm布設工事着工 昭56.7完成 | 紀州製紙施設使用料8円50銭/m ³ に改定 |
| 昭56(1981).9 | 西部配水幹線φ300mm布設工事着工 昭56.11完成 | 泉浄水所粒状活性炭投入 昭56.9.8 |
| | 片山浄水所府水導入管φ450mm布設第4期 工事着工 昭56.11完成 | 建設省より水利使用許可 昭56.9.24 (30,000m ³ /日) |
| 昭56(1981).12 | 片山浄水所第4配水池新設工事 (容量14,000m ³) 着工 昭58.8完成 | |
| 昭57(1982).4 | 片山配水池φ400mm布設工事着工 昭57.5完成 | 直営電子計算機へ移行 |
| 昭57(1982).5 | 片山浄水所次亜塩素酸ソーダ注入設備工事 着工 昭和57.8完成 | |
| 昭57(1982).7 | 府道大阪高槻京都線配水管φ600mm横断工事 着工 昭57.9完成 | |
| 昭57(1982).9 | | 電子計算機端末機による検索開始 |
| 昭58(1983).4 | | 紀州製紙施設使用料10円/m ³ に改定 |
| 昭58(1983).8 | 中継ポンプ場新設工事 昭59.1完成 | |
| 昭58(1983).10 | (仮称)西江坂コミュニティー道路送水管 φ500mm布設工事 昭59.1完成 | |
| | 中継ポンプ場新設工事(建築の部) 昭59.1完成 | |
| 昭59(1984).2 | | 異常寒波による給水管等の凍結 |
| 昭59(1984).4 | 片山昭和町送水幹線φ600mm布設工事 (その1) 昭59.5完成 | 督促手数料改定 |
| 昭59(1984).6 | 片山昭和町送水幹線φ600mm布設工事 (その2) 昭59.10完成 | |
| | 津雲配水場送水ポンプ増設工事着工 昭59.10完成 | |
| 昭59(1984).10 | | 府営水57円20銭/m ³ に改定 |
| | | 大阪市水55円/m ³ に改定 |
| | | 異常渇水により第1次取水制限を受ける (10%カット) 昭59.10.8 |

| 年 月 | 建 設 | 制 度 等 |
|--------------|---|--|
| 昭59(1984).11 | 佐井寺区画整理内送配水管φ100～450mm布設工事 昭60.2完成 | 異常湧水により第2次取水制限を受ける(20%カット) 昭59.11.6 |
| 昭60(1985).4 | 第2期上水道施設等整備事業着手(第1期継続) 平5.3完成 | |
| 昭60(1985).8 | | 泉浄水所粒状活性炭敷置 昭60.8.24 |
| 昭60(1985).11 | 南千里片山送水幹線φ700mm布設工事(その2、3) 昭61.4完成 | |
| 昭61(1986).3 | | 吹田市水道事業協力会連絡協議会解散 |
| 昭61(1986).8 | 南千里片山送水幹線φ700mm布設工事(その1) 昭61.9完成 南千里片山送水幹線φ700mm布設工事(その6) 昭61.11完成 | |
| 昭61(1986).10 | 南千里片山送水幹線φ700mm布設工事(その5) 昭62.1完成 | 異常湧水により第1次取水制限を受ける(10%カット) 昭61.10.17 |
| 昭61(1986).11 | 中央管理室計装設備工事 昭62.3完成 | 異常湧水により第2次取水制限を受ける(20%カット) 昭61.11.28 |
| 昭62(1987).2 | 南千里片山送水幹線φ700mm布設工事(その4) 昭62.5完成 | |
| 昭62(1987).3 | 南千里片山送水幹線φ700mm布設工事(その7) 昭62.6完成 | |
| 昭62(1987).6 | | 泉浄水所で粒状活性炭敷置 |
| 昭62(1987).7 | | 部に「理事」設置 |
| 昭62(1987).8 | 泉浄水所汚泥処理設備工事(その1、その2) 昭63.5完成 | |
| 昭62(1987).10 | | 部長を一般職として設置(昭62.10.20公布) |
| 昭63(1988).4 | 府工業用水道緊急応援分水工事 昭63.11完成 | |
| 昭63(1988).9 | 千里丘下配水管φ250～300mm布設工事 平元.1完成 | 泉浄水所で粉末活性炭投入 |
| 昭63(1988).11 | 中央管理室計装設備工事 平元.1完成 | |
| 平元(1989).4 | | 府営水55円54銭/m ³ に改定 消費税法施行(3%)、水道料金改定(平均26.88%) 遠隔契約における差水料金徴収の原則廃止 |
| 平元(1989).6 | 南千里佐井寺送水幹線φ700mm布設工事 平2.1完成 | 水の缶詰「千里の水」製造配布、泉浄水所で粉末活性炭投入(6/20～7/11) |
| 平元(1989).7 | | 「3階」直結給水開始(個人住宅) |
| 平2(1990).2 | 地下水系浄水処理実験設備製作 | |
| 平2(1990).3 | 泉表流水No.2沈澱池汚泥排泥装置完成 | |
| 平2(1990).4 | | 市制施行50周年、水の缶詰再製造、機構改革実施 |
| 平2(1990).5 | | 泉浄水所で粉末活性炭投入(5/24～6/20) |

| 年 月 | 建 設 | 制 度 等 |
|-------------|---------------------------------------|--|
| 平2(1990).6 | 片山浄水所さく井掘替工事 平3.3完成 | |
| | 佐井寺配水池築造工事 平3.3完成 | |
| | 中央管理室計装設備改良工事 平2.11完成 | |
| 平2(1990).7 | 高度浄水処理実験設備工事Ⅰ 平2.12完成 | |
| 平2(1990).8 | 佐井寺南区画整理内配水管 | |
| | φ100～450mm布設工事 平3.3完成 | |
| | 佐井寺南区画整理内送水管 φ300～700mm布設工事 平3.3完成 | |
| 平2(1990).9 | 泉浄水所さく井掘替工事 平3.3完成 | 泉浄水所で粉末活性炭投入(9/3～9/14) |
| 平2(1990).10 | 泉浄水所No.1沈澱池改良工事 平3.3完成 | |
| 平3(1991).3 | | 淀川表流水水利権更新(1回目) |
| 平3(1991).5 | | 「千里の水」1.5リットルペットボトル 製造配布 |
| 平3(1991).6 | 高度浄水処理実験設備工事Ⅱ 平3.9完成 | 第1回市民水源見学バスツアー実施 |
| 平3(1991).7 | 佐井寺南区画整理内配水管 | |
| | φ100～250mm布設工事 平4.9完成 | |
| 平3(1991).8 | | 泉浄水所で粉末活性炭投入(8/21～10/14) |
| 平3(1991).10 | | 見学者用水道PRビデオⅡ完成 |
| 平3(1991).11 | 佐井寺南区画整理内送水管 | |
| | φ450～700mm布設工事 平4.3完成 | |
| 平4(1992).4 | | 高度浄水処理水「フリオナーフォント」製造配布 |
| | | 紀州製紙施設使用料12円20銭/m ³ に改定 |
| 平4(1992).5 | 片山浄水所水処理設備改良工事 平5.10運転開始 | |
| 平4(1992).7 | | 水道事業懇談会開催(同年9月4日提言、解散) |
| 平4(1992).8 | 泉浄水所さく井掘替工事 平5.5完成 | 泉浄水所で粉末活性炭投入(8/5～8/19) |
| | 佐井寺南区画整理内配水管 φ75～350mm布設工事 | 建設省より水利使用許可(継続) 平4.8.25 (30,240m ³ /日) |
| 平4(1992).10 | 佐井寺南区画整理内送水管φ700mm布設工事 | |
| 平5(1993).3 | 第6次拡張事業(第3回変更認可取得) | |
| 平5(1993).4 | 片山浄水所前処理施設稼働 | 水道料金改定(平均29.85%) |
| | | 府営水74円50銭/m ³ に改定 |
| | | 「フリオナーフォント」再製造 |
| | | 「3階」直結給水開始(集合住宅等) |
| 平5(1993).5 | | 泉浄水所で粉末活性炭投入(5/31～6/14) |
| 平5(1993).6 | | 大阪市水74円/m ³ に改定 |
| 平5(1993).8 | 泉浄水所さく井掘替工事 平6.2完成 | |
| 平5(1993).11 | | 開発負担金改定 |
| 平5(1993).12 | | 水質新基準施行 |
| 平6(1994).3 | 中央管理室制御用電算機更新工事完成 | (財)吹田市水道サービス公社による小規模受水槽 |
| | 片山浄水所ポンプ設備工事完成 | 無料点検サービス開始 |
| 平6(1994).6 | | 水道週間シンポジウム開催 |

| 年 月 | 建 設 | 制 度 等 |
|--------------|--------------------------------------|---|
| 平6(1994).8 | | 泉浄水所で粉末活性炭投入(8/12~9/21) 異常濁水により8月22日、濁水対策本部を設置 (第3次取水制限20%カット実施、10/4解散) |
| 平6(1994).10 | 庁舎第一別館完成 高度浄水処理設備築造工事起工 | |
| 平7(1995).3 | | 千里山浄水所廃止 水道部災害対策委員会(阪神・淡路大震災)設置 |
| 平7(1995).4 | | 営業電算新システム稼働 非常用飲料水製造開始 |
| 平7(1995).9 | 庁舎本館改装完了 | |
| 平8(1996).4 | | 「5階」直結給水開始 |
| 平8(1996).7 | | 水道事業経営審議会発足 「O-157」対策委員会設置 |
| 平8(1996).12 | 蓮間配水場耐震化設備工事着工 平9.3完成 | 臨時用保証金改定 |
| 平9(1997).1 | | 異常寒波による給水管等の凍結 |
| 平9(1997).3 | | メーター口径30mm採用(メーター料徴収は4月分 から)、加入金・開発負担金改定 |
| 平9(1997).4 | | 水道料金改定(平均23.13%) 地方消費税導入等による消費税率引上げ(5%) 「O-157」対策委員会設置 |
| 平9(1997).5 | | 摂津市からの受水停止 |
| 平9(1997).6 | 高度浄水処理設備築造工事竣工、供給開始 | 記念式典挙行(事業創設70周年、高度浄水処理設 備築造工事竣工、水道サービス公社創設30周年) 見学者用水道PRビデオⅢ完成 |
| 平9(1997).8 | 佐井寺配水場ポンプ設備工事着工 平10.4完成 | |
| 平9(1997).9 | 千里山配水池築造工事着工 平11.6完成(千里山配水場に名称変更) | |
| 平9(1997).12 | 津雲配水場耐震化工事着工 平10.5完成 | 水道条例改正(指定工事店制度、メーター料改定 平10.4施行) |
| 平10(1998).4 | | 指定工事店制度改正 メーター料改定(半額)、災害配備体制改定 |
| 平10(1998).5 | | 水道事業経営審議会「答申」 |
| 平10(1998).7 | | 水道事業経営審議会(第2次)スタート 府営水道が高度浄水処理全面稼働 |
| 平10(1998).10 | 災害用備蓄倉庫(津雲)完成 | |
| 平10(1998).11 | 山田配水場耐震化工事着工 平11.3完成 | |
| 平11(1999).6 | | 「コンピュータ西暦2000年問題」危機管理対策委 員会設置 |
| 平11(1999).11 | | 職員待機宿舎(山水荘)閉館 |
| 平11(1999).12 | 片山浄水所耐震化工事着工 平12.3完成 | |

| 年 月 | 建 設 | 制 度 等 |
|--------------|--|--|
| 平12(2000).4 | | 財務会計システムスタート、開発負担金改定 |
| 平12(2000).7 | | 水道事業経営審議会（第3次）スタート |
| 平12(2000).9 | | 渇水対策本部を設置（9/7） （10%取水制限 9/18解散） |
| 平12(2000).10 | | 府営水88円10銭/m ³ に改定 |
| 平12(2000).12 | 泉浄水所耐震化設備工事着工（No.1 ポンプ 井流入出管整備）平13.5完成 | |
| 平13(2001).2 | 災害用備蓄倉庫（山田）完成 | |
| 平13(2001).3 | | 淀川表流水水利権更新（2回目） |
| 平13(2001).4 | | 再任用制度スタート |
| 平13(2001).7 | | 水道料金、メーター料、手数料（道路占用申請・ 修繕）、加入金に消費税転嫁（外税5%） |
| 平13(2001).10 | | 当直業務を民間委託 「5階」直結増圧給水開始 |
| 平14(2002).3 | | マッピングシステム一部稼動（名神以南） |
| 平14(2002).4 | | 大阪市水84円/m ³ に改定、改正水道法施行 紀州製紙施設使用料11円50銭/m ³ に改定 |
| 平14(2002).5 | | ペットボトル水「千里の水」製造 |
| 平14(2002).6 | | 水道事業経営審議会「答申」 |
| 平14(2002).7 | | 水道事業経営審議会（第4次）スタート |
| 平14(2002).9 | | 渇水対策会議を設置（9/30） （10%取水制限 平15.1.8解散） |
| 平14(2002).12 | | 水道条例改正（貯水槽水道関係、平15.4施行） |
| 平15(2003).1 | | 「10階程度」まで直結増圧給水開始 異常寒波による給水管等の凍結 |
| 平15(2003).4 | | マッピングシステム全面稼動 片山浄水所内（旧水道遊園）に「虹と水の広場」 完成 |
| 平15(2003).6 | | 水道部ホームページを開設 |
| 平15(2003).12 | 泉浄水所構内耐震化工事着工（第1配水池 流入出管整備）平16.8完成 | |
| 平16(2004).1 | 片山浄水所遠隔操作設備工事完了 （平16.4月からは遠隔操作による無人化） | |
| 平16(2004).4 | 第1次上水道施設等整備事業着手 （平16.4～平26.3） | 水質新基準施行 |
| 平16(2004).7 | | 水道事業経営審議会（第5次）スタート |
| 平17(2005).1 | 万博配水場減圧設備工事着工 平18.2完成 | |
| 平17(2005).3 | 泉浄水所構内耐震化工事着工（第2配水池 及びNo.2 ポンプ井流入出管整備）平18.7完成 | |
| 平17(2005).4 | | 電子入札導入 第1回津雲配水場ツツジー一般公開 |

| 年 月 | 建 設 | 制 度 等 |
|--------------|---|--|
| 平17(2005).8 | | 水道災害サポーター制度発足 水道モニター制度発足 |
| 平17(2005).12 | 泉浄水所洗浄水槽築造工事着工 平18.3完成 | |
| 平18(2006).6 | | 水道事業経営審議会「答申」 |
| 平18(2006).7 | | 水道事業経営審議会(第6次)スタート |
| 平18(2006).8 | 泉浄水所自家発電設備取替工事着工 平19.3完成 | |
| 平18(2006).11 | | 「吹田市水道部中期経営計画」策定 |
| 平18(2006).12 | | 水道条例改正(宅内修繕廃止 平19.4施行、日割計算・口座振替割引制度 平19.10施行) |
| 平19(2007).4 | | 水道料金改定(基本水量及び最高単価見直し、平均△3.36%) 機構改革実施(係制廃止) |
| 平19(2007).9 | 蓮間配水場ポンプ改良工事着工 平20.3完成 | 水道GLP認定取得 |
| 平19(2007).10 | 蓮間配水場自家発電設備取替工事着工 平20.3完成 | 新水道料金システム稼動 日割計算・口座振替割引制度開始 郵便局・コンビニエンスストア収納開始 |
| 平20(2008).3 | | ペットボトル水「吹田 いずみの水」製造 |
| 平20(2008).7 | | 水道事業経営審議会(第7次)スタート |
| 平20(2008).9 | 津雲配水場自家発電設備取替工事着工 平21.3完成 | |
| 平20(2008).11 | | 高齢者宅の水道の無料相談・点検開始 |
| 平21(2009).2 | | 「小学校への出前授業」開始 |
| 平21(2009).3 | 小学校の水飲み場設置事業開始 | |
| 平21(2009).4 | | 水道事業経営審議会「答申」 |
| 平21(2009).9 | 泉浄水所第2ポンプ室耐震化工事着工 平22.5完成 | |
| 平21(2009).10 | | 大阪市水70円/m ³ に改定 老朽管更新事業・国庫補助金交付決定 |
| 平21(2009).12 | | 「すいすいビジョン2020」策定 |
| 平22(2010).1 | | メーター検針業務一部委託開始 |
| 平22(2010).3 | 第6次拡張事業(第4回変更認可取得) | |
| 平22(2010).4 | 鉛製給水管面的整備事業開始 令3.3完了 第2次上水道施設等整備事業着手 (平22.4~令2.3) | 水道事業経営審議会「答申」 府営水78円/m ³ に改定 |
| 平22(2010).6 | | 車両リース導入 |
| 平22(2010).7 | | 水道事業経営審議会(第8次)スタート |
| 平22(2010).10 | 泉浄水所薬注棟耐震化工事着工 平23.3完成 | 口座振替割引制度拡充(1回50円から100円に増額) 鉛製給水管布設替工事助成金制度創設 |
| 平22(2010).11 | 津雲配水場第1配水池ほか耐震化工事着工 平23.7完成 | |
| 平22(2010).12 | 片山浄水所第4配水池ほか耐震化工事着工 平24.3完成 | |

| 年 月 | 建 設 | 制 度 等 |
|--------------|---|---|
| 平23(2011).1 | | 浄水運転管理業務(夜間)委託開始 |
| 平23(2011).3 | | 東日本大震災応急給水活動支援隊派遣(宮古市、大船渡市、陸前高田市 3/16~5/21、40名派遣) |
| 平23(2011).4 | | メーター検針業務委託地域拡大 |
| | | 大阪広域水道企業団事業開始 |
| | | 淀川表流水水利権更新(3回目) |
| 平23(2011).9 | 佐井寺配水場配水池耐震化工事着工 | 水道GLP認定更新(1回目) |
| | 平24.2完成 | |
| | 泉浄水所電算機更新工事着工 平25.3完成 | |
| 平23(2011).12 | 片山浄水所さく井新設工事着工 平24.5完成 | |
| 平24(2012).3 | | 水道法施行条例制定(布設工事監督者関係、平24.4施行) |
| | | 水道部分室廃止 |
| 平24(2012).4 | | メーター検針業務全市域委託 |
| | | 北越紀州製紙施設使用料10円90銭/m ³ に改定 |
| 平24(2012).6 | | 水道事業経営審議会「提言」 |
| 平24(2012).7 | | 水道事業経営審議会(第9次)スタート |
| 平24(2012).8 | | 第1回水道フェア(夏休みすいすいくん祭り) |
| 平24(2012).10 | 泉浄水所第1配水池耐震化工事着工 | 水道料金滞納整理業務委託開始 |
| | 平27.1完成 | |
| 平24(2012).12 | 津雲配水場第3配水池耐震化工事着工 | |
| | 平26.7完成 | |
| 平25(2013).3 | | 「吹田市水道施設マスタープラン」策定 |
| | | (財)吹田市水道サービス公社解散 |
| 平25(2013).4 | | 企業団水75円/m ³ に改定 |
| 平25(2013).9 | 片山浄水所さく井新設工事着工 平26.7完成 | |
| 平25(2013).10 | | 北越紀州製紙施設使用料11円30銭/m ³ に改定 |
| 平25(2013).12 | 山田配水場配水池耐震化工事着工 | |
| | 平27.3完成 | |
| 平26(2014).4 | | 水道料金・メーター料(6月検針分より適用)、加入金に転嫁の消費税8%に改定 |
| | | 新地方公営企業会計制度を平成26年度予算から適用 |
| 平26(2014).6 | | 水道事業経営審議会「答申」 |
| 平26(2014).7 | | 水道事業経営審議会(第10次)スタート |
| 平26(2014).11 | 津雲配水場第2配水池耐震化工事着工 | |
| | 平27.12完成 | |
| 平26(2014).9 | 吹田操車場跡地耐震性緊急貯水槽設置工事着工 平27.3完成 平29.2供用開始 | |
| 平26(2014).10 | 泉浄水所薬品注入設備更新工事着工 | |
| | 平27.9完成(PAC貯槽室) | |
| 平27(2015).4 | | 北越紀州製紙施設使用料11円40銭/m ³ に改定 |
| | | 組織改正(3室体制を4室体制に変更) |
| 平27(2015).7 | | 「千里浄水池敷地内での共同ポンプ施設整備に係る覚書」締結(企業団及び豊中市、吹田市、箕面市) |

| 年 月 | 建 設 | 制 度 等 |
|--------------|-------------------------------|--|
| 平27(2015).7 | | 泉浄水所用地一部売却（南吹田駅前線立体交差事業） |
| 平27(2015).9 | | 水道GLP認定更新（2回目） |
| 平27(2015).12 | | 水道条例改正（水道料金2年間で平均10%改定、口径別料金、加入金改定ほか、平28.4施行） 開発事業の手續等に関する条例改正（開発負担金の廃止、平28.4施行） 企業団規約の変更（3団体統合、平29.4施行） |
| 平28(2016).1 | | メーター検針業務・滞納整理業務包括委託開始 閉栓時現地精算サービス開始 |
| 平28(2016).1 | | 異常寒波による給水管等の凍結 |
| 平28(2016).3 | | 水道条例改正（地下水等利用専用水道、平28.10施行） 水道事業の設置等に関する条例改正（平28.4施行） |
| 平28(2016).3 | 再構築事業(変更認可取得) | |
| 平28(2016).4 | | 組織改正（課制廃止、グループ再編） |
| 平28(2016).4 | | 水道料金改定（平均5.5%、口径別料金に移行、メーター料廃止） 加入金の改定、開発負担金、配水管工事分担金制度及び督促手数料、延滞料の廃止 |
| 平28(2016).4 | | 高齢者世帯声かけサービス開始 認知症サポーターの取組開始 |
| 平28(2016).4 | | 熊本地震応急給水支援隊派遣(熊本市 4/16～4/30 15名派遣) |
| 平28(2016).6 | | 「大阪広域水道企業団が所有する千里浄水池の敷地内における豊中市、吹田市及び箕面市の共同ポンプ施設の第1期整備事業等に関する基本協定書」締結 |
| 平28(2016).7 | | 水道事業経営審議会（第11次）スタート |
| 平28(2016).8 | | 旧王子給水塔用地一部売却（3筆のうち2筆） |
| 平28(2016).10 | 片山浄水所水処理施設更新工事着工 令4.1完成 | |
| 平28(2016).11 | 片山浄水所・泉浄水所連絡管布設工事着工 令3.3完成 | |
| 平29(2017).2 | | 北大阪健康医療都市（健都）耐震性貯水槽を9か所目の災害時給水拠点として供用開始 |
| 平29(2017).4 | | 水道料金改定（平均4.5%相当分） |
| 平29(2017).4 | | 大阪広域水道企業団と3市町村（四條畷市、太子町、千早赤阪村）が事業統合 企業団議会議員定数を30名から33名に変更 |
| 平29(2017).7 | | 水道モニター制度廃止 |
| 平29(2017).8 | | 吹田市などで大規模停電発生（高層住宅等で断水が発生し、応急給水活動実施） |
| 平30(2018).3 | | 水道部経営企画会議の設置 |
| 平30(2018).4 | | 企業団水72円/m ³ に改定 「水道いどばた会議」開始 |
| 平30(2018).5 | | 水道事業経営審議会「答申」 |

| 年 月 | 建 設 | 制 度 等 |
|--------------|--|--|
| 平30(2018).6 | | 大阪府北部地震(濁水発生で応急給水拠点開設) |
| 平30(2018).7 | | 企業団規約の変更(7団体統合(うち、1団体は令6.4施行)平31.4施行) 平成30年7月豪雨応急給水支援隊派遣(岡山県倉敷市真備町 7/11~7/17、12名派遣) |
| 平30(2018).8 | | 府域一水道に向けた水道のあり方協議会設立 |
| 平30(2018).9 | | 台風21号(停電によりマンション等で断水が発生し、応急給水活動実施) |
| 平30(2018).10 | | 水道事業経営審議会(第12次)スタート |
| 平31(2019).3 | 泉浄水所 高架水槽撤去 津雲配水場場内管耐震化等整備工事着工 令4.8完成 | 水道の開閉栓のインターネット受付サービス開始 |
| 平31(2019).4 | 第3次上水道施設等整備事業着手 (平31.4~令12.3) | 大阪広域水道企業団と6市町(泉南市、阪南市、豊能町、忠岡町、田尻町、岬町)が事業統合 |
| 令元(2019).7 | | 水道条例改正(指定給水装置工事事業者の指定に係る更新手数料の制定及び指定手数料の改定) |
| 令元(2019).9 | | 「すいすいビジョン2029」策定 水道GLP認定更新(3回目) |
| 令元(2019).10 | | 水道料金(12月検針分より適用)、加入金に転嫁の消費税を10%に改定 改正水道法施行 |
| 令元(2019).11 | 佐井寺配水場小水力(マイクロ水力)発電設備の設置及び運用開始 | |
| 令元(2019).12 | | 水道条例改正(平均15.2%改定、令2.4施行) 旧王子給水塔用地売却 |
| 令2(2020).2 | | 新型コロナウイルス感染症対策本部設置 |
| 令2(2020).3 | 部庁舎(本館)耐震補強工事完成 部庁舎受変電設備更新工事着工 令3.3完成 | 大阪市との分水契約解除(東、西御旅町) 「大阪市と吹田市の応援給水に関する協定書」締結 コロナ禍における水道料金支払猶予開始 |
| 令2(2020).4 | | 水道料金改定(平均15.2%) 「すいすいビジョン2029」スタート 水道料金のスマートフォン決済開始 中核市に移行 |
| 令2(2020).5 | 樫の木・万博送水管布設工事着工 令3.3完成 | |
| 令2(2020).7 | | 企業団規約の変更(4団体統合 令3.4施行) |
| 令2(2020).10 | | 「豊中市及び吹田市による豊中市柿ノ木配水場の共同化に関する覚書」締結 水道事業経営審議会(第13次)スタート 第1回水道事業に関する市民アンケート調査実施 |
| 令2(2020).11 | 蓮間高区・低区配水幹線布設等工事着工 令4.5完成 泉浄水所給水車用給水栓の設置 | 市内の全市立小学校36校へ組立式給水タンク配備を完了 |
| 令3(2021).3 | 片山浄水所給水車用給水栓の設置 | 吹田市水道事業広報用動画「このまちの水の未来を考える」公開 |

| 年 月 | 建 設 | 制 度 等 |
|-------------|--|--|
| 令3(2021).4 | 鉛製給水管解消事業開始 | 大阪広域水道企業団と4市町（藤井寺市、大阪狭山市、熊取町、河南町）が事業統合 「水道スマートメーター実証実験実施に関する協定書」締結 |
| 令3(2021).7 | 佐井寺配水場受変電設備更新工事着工 | |
| 令3(2021).9 | | 令和3年度優良地方公営企業総務大臣表彰 受賞 |
| 令3(2021).10 | | 和歌山市水管橋崩落事故に伴う応急給水支援隊派遣（和歌山県和歌山市 10/4～10/12、27名派遣） |
| 令3(2021).11 | | すいすい里親ガーデン制度開始（片山浄水所） |
| 令3(2021).12 | 片山浄水所新施設通水開始 12/1 泉浄水所高度処理棟電気設備更新工事着工 中継ポンプ場廃止 | 記念式典挙行 一津屋取水施設及び導水施設に係る「共同施設の利用に関する基本協定書」締結（尼崎市、西宮市、伊丹市） |
| 令4(2022).1 | 片山浄水所場内整備工事着工 南千里・片山送水管布設工事（片山工区）着工 | |
| 令4(2022).2 | 片山浄水所場外井戸掘削工事着工 | |
| 令4(2022).3 | 千里山送水管布設工事着工 | 「豊中市及び吹田市による豊中市柿ノ木配水場の共同化に関する協定書」締結 片山18号井戸用地取得（旧金田ポンプ場用地の一部との所管替えにより） |
| 令4(2022).4 | 蓮間配水場からの配水を切替え 高区：豊中市柿ノ木配水場 低区：大阪広域水道企業団千里浄水池 蓮間配水場機能停止、北千里給水拠点運用開始 | 災害時給水拠点・給水所の名称等を変更（災害時給水拠点8か所、災害時給水所37か所） |
| 令4(2022).6 | | 「吹田市水道部と大阪大学大学院工学研究科附属フューチャーイノベーションセンターとの連携研究・教育に係る確認書」締結 |
| 令4(2022).7 | | 7/24 不発弾撤去処理（南吹田3丁目）に伴い泉浄水所停止、片山浄水所からの配水に切替え 第1回夏休みめざませ！水道マイスター開催（水道フェア（夏休みすいすいくん祭り）から変更） |

3. 事業認可の変遷

| 項目 名称 | 認可 年月 | 計 画 | | 備 考 |
|---------------------|-------------|-------------|------------------------------------|--|
| | | 給水人口 (人) | 一日 最大給水量 (m ³ /日) | |
| 創 設 | 昭和 2 年 3 月 | 30,000 | 3,300 | 吹田町営水道給水開始 |
| 第1次水道拡張事業 | 昭和 23 年 3 月 | 70,600 | 12,700 | 給水人口(給水量)の増加 及び送水管布設事業等 |
| 第2次水道拡張事業 | 昭和 24 年 4 月 | 70,600 | 17,520 | 給水人口(給水量)の増加 及び千里山浄水所さく井新設等 |
| 第3次水道拡張事業 | 昭和 32 年 2 月 | 128,000 | 42,240 | 給水人口(給水量)の増加 |
| 第4次水道拡張事業 | 昭和 36 年 2 月 | 160,000 | 62,300 | 給水人口(給水量)の増加 (千里ニュータウン建設等) |
| 第5次水道拡張事業 | 昭和 40 年 3 月 | 211,000 | 99,170 | 給水人口(給水量)の増加 (千里ニュータウン建設等) |
| 第6次水道拡張事業 | 昭和 44 年 2 月 | 308,000 | 169,000 | 給水人口(給水量)の増加 (千里ニュータウン建設等) |
| 第6次水道拡張事業 (変更) | 昭和 46 年 3 月 | 411,000 | 199,900 | 給水人口(給水量)の増加 |
| 第6次水道拡張事業 (2回変更) | 昭和 47 年 3 月 | 411,000 | 199,900 | 千里丘陵地区上水道事業の統合 |
| 第6次水道拡張事業 (3回変更) | 平成 5 年 3 月 | 379,200 | 208,000 | 浄水方法の変更 (泉浄水所:高度処理の導入) (片山浄水所:除鉄施設の導入) |
| 第6次水道拡張事業 (4回変更) | 平成 22 年 3 月 | 368,900 | 155,100 | 取水地点の変更 (片山浄水所:さく井の掘替え) (泉浄水所:さく井の掘替え) |
| 水道再構築事業 | 平成 28 年 3 月 | 365,300 | 141,000 | 取水地点の変更 (片山浄水所:さく井の新設) 浄水方法の変更 (片山浄水所:膜処理設備の導入) |

4. 料金等の変遷

(1) 水道料金の変遷 (1か月につき)

| 種別 | 改定年 | | 昭和2年(1927年) | | | 昭和8年(1933年) | | | 昭和22年(1947年) | | | | |
|-----------------------|-----|----|----------------|----|------------------------|----------------|----|--------------------------------------|--------------|------|-------------------------------------|-----|--------------|
| | 料率 | | 基本料金 | | 超過料金 1石について (銭厘) | 基本料金 | | 超過料金 1m ³ について (銭厘) | 基本料金 | | 超過料金 1m ³ について (円) | | |
| | 石 | 銭厘 | m ³ | 銭厘 | | m ³ | 円 | | | | | | |
| 小口専用 | | | | | | | | | | | | | |
| 一般専用 | | | | | | | | | | | | | |
| 大口専用 | | | | | | | | | | | | | |
| 家事営業用 | 30 | 75 | | | 2.5 | 5.5 | 72 | | | 13.2 | 10 | 45 | 5.50 |
| 定額用 (1戸4人まで) | | | | | | | | | | | 45 | | 1人増加毎に 11 |
| 会社工場用 | | | | | | | | | | | 10 | 60 | 6.50 |
| 特別営業用 | | | | | 3 | | | | | 13.2 | | | |
| 官公署学校用 | | | | | | | | | | | 10 | 60 | 6.50 |
| 公衆浴場用 | | | | | 2 | | | | | 10.5 | 300 | 900 | 3 |
| 公営プール用 | | | | | | | | | | | | | |
| 庭園用 | | | | | 3 | | | | | 30 | 10 | 300 | 30 |
| 原動力用 | | | | | 3 | | | | | 16 | 100 | 800 | 8 |
| 臨時用 | | | | | | | | | | | | | |
| 集団住宅第一種 (受水槽のあるもの) | | | | | | | | | | | | | |
| 集団住宅第二種 (受水槽のないもの) | | | | | | | | | | | | | |
| 共用一般住宅用 | 20 | 40 | | | 2 | 3.2 | 38 | | | 10.5 | 10 | 40 | 10 |
| 共用アパート用 | | | | | | | | | | | | | |
| 共用定額用 (1戸4人まで) | | | | | | | | | | | 40 | | 1人増加毎に 10 |

(2) メーター料の変遷 (メーター1個1か月につき)【創設～平成28年】

| 改定年 | 昭和2年 (1927年) | 昭和8年 (1933年) | 昭和22年 (1947年) | 昭和24年 (1949年) | 昭和27年 (1952年) | 昭和37年 (1962年) | 昭和40年 (1965年) |
|------|-----------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 口径 | | | | | | | |
| 13mm | 30銭 | 30銭 | 無料 | 無料 | 無料 | 無料 | 20円 |
| 20mm | 40銭 | 40銭 | 無料 | 無料 | 無料 | 50円 | 80円 |
| 25mm | 60銭 | 60銭 | 20円 | 40円 | 50円 | 80円 | 80円 |
| 40mm | 2円 | 2円 | 50円 | 100円 | 120円 | 180円 | 180円 |
| 50mm | 3円 | 3円 | 100円 | 200円 | 360円 | 540円 | 540円 |

| 昭和24年(1949年) | | | 昭和27年(1952年) | | | 昭和37年(1962年) | | | 昭和40年(1965年) | | |
|----------------|-------|-----------------------------|----------------|-------|-----------------------------|----------------|------------|-----------------------------|----------------|------------|-----------------------------|
| 基本料金 | | 超過料金 | 基本料金 | | 超過料金 | 基本料金 | | 超過料金 | 基本料金 | | 超過料金 |
| m ³ | 円 | 1m ³ について (円) | m ³ | 円 | 1m ³ について (円) | m ³ | 円 | 1m ³ について (円) | m ³ | 円 | 1m ³ について (円) |
| | | | | | | | | | 10 | 200 | 30 |
| | | | | | | | | | 10 | 280 | 38 |
| | | | | | | 40 | 1,000 | 30 | 40 | 1,280 | 42 |
| 10 | 130 | 13 | 10 | 170 | 17 | 10 | 200 | 25 | | | |
| | 130 | 1人増加毎に 20 | | 170 | 1人増加毎に 30 | | | | | | |
| 10 | 150 | 16 | 10 | 200 | 21 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 10 | 150 | 16 | 10 | 200 | 21 | 10 | 250 | 30 | 10 | 320 | 38 |
| 300 | 3,200 | 11 | 300 | 4,300 | 15 | 300 | 5,400 | 20 | 800 | 17,600 | 25 |
| | | | | | | | | | 1 | 30 | 30 |
| 10 | 1,000 | 100 | 10 | 1,300 | 130 | 10 | 3,000 | 300 | | | |
| 100 | 2,400 | 24 | 100 | 3,200 | 37 | | | | | | |
| | | | 10 | 200 | 21 | 10 | 350 | 35 | 10 | 500 | 50 |
| | | | | | | | | | 1 | 25 | 25 |
| | | | | | | | | | 戸数× 10 | 戸数× 200 | 30 |
| 10 | 110 | 11 | 10 | 150 | 15 | 10 | 180 | 20 | 10 | 200 | 25 |
| | | | | | | 室数× 10 | 室数× 180 | 25 | 室数× 10 | 室数× 180 | 30 |
| | 110 | 1人増加毎に 22 | | 150 | 1人増加毎に 30 | | | | | | |

| 改定年 口径 | 昭和2年 (1927年) | 昭和8年 (1933年) | 昭和22年 (1947年) | 昭和24年 (1949年) | 昭和27年 (1952年) | 昭和37年 (1962年) | 昭和40年 (1965年) |
|-----------|-----------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 75mm | 4円 | 4円 | 210円 | 420円 | 500円 | 750円 | 750円 |
| 100mm | — | — | — | — | 600円 | 900円 | 900円 |
| 125mm | — | — | — | — | 850円 | 1,280円 | — |
| 150mm | — | — | — | — | 1,000円 | 1,500円 | 1,500円 |
| 200mm | — | — | — | — | — | 2,000円 | 2,000円 |

(1)水道料金の変遷（1か月につき）

| 種 別 | 改定年 | | 昭和51年(1976年) | | | | 昭和52年(1977年) | | | | 昭和53年(1978年) | | | | |
|-----------|-----|-----|---------------------|---|-------|---|--------------|---------------------|-----|---------------------|--------------|----|---------------------|---------------------|-------|
| | | | 基 本 | | 超 過 | | 基 本 | | 超 過 | | 基 本 | | 超 過 | | |
| | 水量 | 料金 | 水 | 量 | 料 | 金 | 水 | 量 | 料 | 金 | 水 | 量 | 料 | 金 | |
| 小 口 専 用 | 10 | 260 | 第1段 | 10m ³ を超え 20m ³ まで | 35 | 円 | 10 | 290 | 第1段 | 50 | 円 | 10 | 370 | 第1段 | 60 |
| 一 般 専 用 | 10 | 310 | 第2段 | 20m ³ " 30m ³ " | 40 | 円 | 10 | 340 | 第2段 | 60 | 円 | 10 | 400 | 第2段 | 75 |
| | | | 第3段 | 30m ³ " 50m ³ " | 45 | | | | 第3段 | 75 | | | | 第3段 | 90 |
| | | | 第4段 | 50m ³ " 300m ³ " | 55 | | | | 第4段 | 90 | | | | 第4段 | 110 |
| 集 団 住 宅 用 | 10 | 260 | 第5段 | 300m ³ " 1,000m ³ " | 80 | 円 | 10 | 290 | 第5段 | 110 | 円 | 10 | 370 | 第5段 | 130 |
| | | | 第6段 | 1,000m ³ を超える分 | 105 | | | | 第6段 | 130 | | | | 第6段 | 150 |
| 公 衆 浴 場 用 | | | 1m ³ につき | | 25 円 | | | 1m ³ につき | | 30 円 | | | 1m ³ につき | | 40 円 |
| 臨 時 用 | | | 1m ³ につき | | 105 円 | | | 1m ³ につき | | 160 円 | | | 1m ³ につき | | 180 円 |
| 家 事 共 用 | 10 | 260 | 1m ³ につき | | 30 円 | | | 10 | 290 | 1m ³ につき | 35 円 | 10 | 370 | 1m ³ につき | 50 円 |
| 平均料金改定率 | | | 45.52 % | | | | 35.00 % | | | | 19.77 % | | | | |

(2)メーター料の変遷（メーター1個1か月につき）

| 改定年 | 昭和51年 (1976年) | 平成9年 (1997年) | 平成10年 (1998年) | 平成28年 (2016年) |
|------|------------------|-----------------|------------------|------------------|
| 口 径 | 円 | 円 | 円 | メーター料 廃止 |
| 13mm | 50 | 50 | 25 | |
| 20mm | 90 | 90 | 45 | |
| 25mm | 90 | 90 | 45 | |
| 30mm | — | 180 | 90 | |
| 40mm | 240 | 240 | 120 | |
| 50mm | 1,000 | 1,000 | 500 | |

| 昭和54年(1979年) | | | | 平成元年(1989年) | | | | 平成5年(1993年) | | | | 平成9年(1997年) | | | |
|--------------------------|-----|----------------------------|-----|--------------------------|-----|----------------------------|-----|--------------------------|-----|----------------------------|-----|--------------------------|-----|-----------------------------|-----|
| 基本 | | 超過 | | 基本 | | 超過 | | 基本 | | 超過 | | 基本 | | 超過 | |
| 水量 | 料金 | 水量 | 料金 | 水量 | 料金 | 水量 | 料金 | 水量 | 料金 | 水量 | 料金 | 水量 | 料金 | 水量 | 料金 |
| m ³ | 円 | | 円 | m ³ | 円 | | 円 | m ³ | 円 | | 円 | m ³ | 円 | | 円 |
| 10 | 390 | 第1段 | 60 | 10 | 460 | 第1段 | 70 | 10 | 600 | 第1段 | 90 | 10 | 720 | 第1段 | 110 |
| | | 第2段 | 75 | | | 第2段 | 95 | | | 第2段 | 125 | | | 第2段 | 160 |
| | | 第3段 | 95 | | | 第3段 | 125 | | | 第3段 | 165 | | | 第3段 | 210 |
| 10 | 420 | 第4段 | 115 | 10 | 490 | 第4段 | 155 | 10 | 640 | 第4段 | 205 | 10 | 770 | 第4段 | 260 |
| | | 第5段 | 135 | | | 第5段 | 190 | | | 第5段 | 245 | | | 第5段 | 310 |
| | | 第6段 | 160 | | | 第6段 | 225 | | | 第6段 | 291 | | | 第6段 | 350 |
| | | 10 | 390 | | | 10 | 460 | | | 10 | 600 | | | 10 | 720 |
| 1m ³ につき 40円 | | | | 1m ³ につき 45円 | | | | 1m ³ につき 60円 | | | | 1m ³ につき 75円 | | | |
| 1m ³ につき 200円 | | | | 1m ³ につき 270円 | | | | 1m ³ につき 380円 | | | | 1m ³ につき 450円 | | | |
| 10 | 390 | 1m ³ につき 50円 | | 10 | 460 | 1m ³ につき 65円 | | 10 | 600 | 1m ³ につき 90円 | | 10 | 720 | 1m ³ につき 110円 | |
| 3.94% | | | | 26.88% | | | | 29.85% | | | | 23.13% | | | |

| 口径 \ 改定年 | 昭和51年 (1976年) | 平成9年 (1997年) | 平成10年 (1998年) | 平成28年 (2016年) |
|----------|------------------|-----------------|------------------|------------------|
| | 円 | 円 | 円 | メーター料 廃止 |
| 75mm | 1,300 | 1,300 | 650 | |
| 100mm | 1,400 | 1,400 | 700 | |
| 150mm | 2,700 | 2,700 | 1,350 | |
| 200mm | 6,700 | 6,700 | 3,350 | |
| 250mm | 8,800 | 8,800 | 4,400 | |

※平成13年(2001年)7月1日(8月検針分)から水道料金、メーター料に消費税相当額を転嫁(外税5%)

※平成26年(2014年)6月検針分から水道料金、メーター料の消費税相当額を8%に改定

(1)水道料金の変遷（1か月につき）

| 種 別 | 改定年 | | 平成 19 年 (2007年) | | | | 平成 22 年 (2010年) | | | |
|-------------|---------------------------|----------|---|--|---------------------------|---------------------|-----------------|---------|-----|--|
| | | | 基 本 | | 超 過 | | 基 本 | | 超 過 | |
| | 水量 | 料金 | 水 量 | | 料金 | 水量 | 料金 | 水量 | 料金 | |
| 小 口 専 用 | m ³ 6 | 円 600 | 第1段 6m ³ を超え 10m ³ まで | | 円 30 | m ³ 6 | 円 600 | 第1段 30 | | |
| 一 般 専 用 | 6 | 650 | 第2段 10m ³ " 20m ³ " | | 110 | 6 | 650 | 第2段 110 | | |
| | | | 第3段 20m ³ " 30m ³ " | | 160 | | | 第3段 160 | | |
| | | | 第4段 30m ³ " 50m ³ " | | 210 | | | 第4段 210 | | |
| | | | 第5段 50m ³ " 300m ³ " | | 260 | | | 第5段 260 | | |
| 集 団 住 宅 用 | 6 | 600 | 第6段 300m ³ を超える分 | | 310 | 6 | 600 | 第6段 310 | | |
| 公 衆 浴 場 用 | 1m ³ につき 75 円 | | | | 1m ³ につき 75 円 | | | | | |
| 臨 時 用 | 1m ³ につき 450 円 | | | | 1m ³ につき 450 円 | | | | | |
| 家 事 共 用 | 6 | 600 | 第1段 6m ³ を超え 10m ³ まで | | 30 | 6 | 600 | 第1段 30 | | |
| | | | 第2段 10m ³ を超える分 | | 110 | | | 第2段 110 | | |
| 口 座 振 替 割 引 | 1回当たり 50円 | | | | 1回当たり 100円 | | | | | |
| 平均料金改定率 | △3.36% | | | | △0.5% | | | | | |

(3)加入金の変遷【創設～】

| 改定年 | 昭和47年 (1972年) | 昭和49年 (1974年) | 昭和51年 (1976年) | 平成9年 (1997年) |
|---------|------------------|------------------|------------------|-----------------|
| 口 径 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 13mm | 50 | 66 | 80 | 80 |
| 20mm | 50 | 66 | 80 | 80 |
| 25mm | 80 | 110 | 140 | 140 |
| 30mm | — | — | — | 210 |
| 40mm | 260 | 345 | 420 | 420 |
| 50mm | 450 | 595 | 730 | 730 |
| 75mm | 1,200 | 1,610 | 2,000 | 2,000 |
| 100mm | 2,500 | 3,300 | 4,000 | 4,000 |
| 150mm以上 | 管理者が別に定める額 | | | |

| 改定年 | | 平成28年(2016年) | | | | | | | | |
|---------|------------|--------------|---------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|---------------------|------|
| 区分 | メーター口径(mm) | 基本料金 | 従量料金(1m ³ につき) | | | | | | | |
| | | | 6m ³ まで | 7m ³ ～10m ³ | 11m ³ ～20m ³ | 21m ³ ～30m ³ | 31m ³ ～50m ³ | 51m ³ ～300m ³ | 301m ³ ～ | |
| 一般 | 小口径 | 13 | 670円 | 0円 | 30円 | 120円 | 170円 | 230円 | 270円 | 310円 |
| | | 20 | 740円 | | | | | | | |
| | | 25 | 910円 | | | | | | | |
| | 中口径 | 30 | 1,000円 | 30円 | 170円 | 230円 | 270円 | 310円 | | |
| | | 40 | 1,700円 | | | | | | | |
| | | 50 | 3,100円 | | | | | | | |
| | 大口径 | 75 | 7,000円 | 30円 | 170円 | 270円 | 310円 | | | |
| | | 100 | 19,000円 | | | | | | | |
| | | 150 | 78,000円 | | | | | | | |
| | | 200 | 172,000円 | | | | | | | |
| | | 250 | 315,000円 | | | | | | | |
| | 区分 | 基本料金 | 従量料金(1m ³ につき) | | | | | | | |
| 公衆浴場 | 740円 | 75円 | | | | | | | | |
| 臨時 | メーター口径に準ずる | 450円 | | | | | | | | |
| 口座振替割引 | 1回当たり 100円 | | | | | | | | | |
| 平均料金改定率 | 5.5% | | | | | | | | | |

※平成26年(2014年)6月検針分から消費税相当額を8%に改定

| 平成28年 (2016年) |
|------------------|
| 千円 |
| 160 |
| 160 |
| 320 |
| 560 |
| 970 |
| 1,710 |
| 4,330 |
| 8,540 |
| 管理者が別に定める額 |

※平成13年(2001年)7月から加入金に消費税相当額を転嫁(外税5%)

※平成26年(2014年)4月から加入金の消費税相当額を8%に改定

※令和元年(2019年)10月から加入金の消費税相当額を10%に改定

(1)水道料金の変遷 (1か月につき)

| 改定年 | | 平成 29 年 (2017年) | | | | | | | | |
|---------|-------------|-----------------|---------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|---------------------|------|
| 区分 | メーター口径 (mm) | 基本料金 | 従量料金(1m ³ につき) | | | | | | | |
| | | | 6m ³ まで | 7m ³ ～10m ³ | 11m ³ ～20m ³ | 21m ³ ～30m ³ | 31m ³ ～50m ³ | 51m ³ ～300m ³ | 301m ³ ～ | |
| 一般 | 小口径 | 13 | 710円 | 0円 | 40円 | 120円 | 180円 | 230円 | 270円 | 310円 |
| | | 20 | 780円 | | | | | | | |
| | | 25 | 990円 | | | | | | | |
| | 中口径 | 30 | 1,200円 | 40円 | 180円 | 230円 | 270円 | 310円 | | |
| | | 40 | 2,100円 | | | | | | | |
| | | 50 | 3,800円 | | | | | | | |
| | 大口径 | 75 | 9,000円 | 40円 | 180円 | 270円 | 310円 | | | |
| | | 100 | 24,000円 | | | | | | | |
| | | 150 | 97,000円 | | | | | | | |
| | | 200 | 216,000円 | | | | | | | |
| | | 250 | 394,000円 | | | | | | | |
| | 区分 | 基本料金 | 従量料金(1m ³ につき) | | | | | | | |
| 公衆浴場 | 780円 | 75円 | | | | | | | | |
| 臨時 | メーター口径に準ずる | 450円 | | | | | | | | |
| 口座振替割引 | 1回当たり 100円 | | | | | | | | | |
| 平均料金改定率 | 4.5% | | | | | | | | | |

※令和元年(2019年)12月検針分から消費税相当額を10%に改定

| 改定年 | | 令和2年(2020年) | | | | | | | | |
|---------|------------|---------------------------|---------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|---------------------|------|
| 区分 | メーター口径(mm) | 基本料金 | 従量料金(1m ³ につき) | | | | | | | |
| | | | 6m ³ まで | 7m ³ ～10m ³ | 11m ³ ～20m ³ | 21m ³ ～30m ³ | 31m ³ ～50m ³ | 51m ³ ～300m ³ | 301m ³ ～ | |
| 一般 | 小口径 | 13 | 900円 | 0円 | 40円 | 140円 | 200円 | 250円 | 290円 | 330円 |
| | | 20 | 990円 | | | | | | | |
| | | 25 | 1,250円 | | | | | | | |
| | 中口径 | 30 | 1,500円 | 60円 | 200円 | 250円 | 290円 | 330円 | | |
| | | 40 | 2,700円 | | | | | | | |
| | | 50 | 4,900円 | | | | | | | |
| | 大口径 | 75 | 11,000円 | 60円 | 200円 | 290円 | 330円 | | | |
| | | 100 | 31,000円 | | | | | | | |
| | | 150 | 126,000円 | | | | | | | |
| | | 200 | 280,000円 | | | | | | | |
| 250 | | 512,000円 | | | | | | | | |
| 区分 | 基本料金 | 従量料金(1m ³ につき) | | | | | | | | |
| 公衆浴場 | 990円 | 75円 | | | | | | | | |
| 臨時 | メーター口径に準ずる | 450円 | | | | | | | | |
| 口座振替割引 | 1回当たり 100円 | | | | | | | | | |
| 平均料金改定率 | 15.2% | | | | | | | | | |

第2章 施 設

1. 受配水系統図
2. 施設概要
3. 導・送・配水管延長
4. 導・送・配水管布設・撤去状況
5. 導・送・配水管耐震化状況
6. 導・送・配水管経年化状況

2. 施設概要

泉浄水所

第4次拡張事業の中で建設に着手し、昭和39年(1964年)7月に地下水源による1日最大19,000m³の配水能力を有する浄水施設が完成した。その後、急増する水需要に対し、更なる水源を淀川表流水に求め昭和41年(1966年)6月から水処理を開始した。

平成9年(1997年)6月には高度浄水処理設備が完成し、高度浄水処理水を供給している。

泉浄水所、片山浄水所間には、自己水の有効利用のため令和3年度(2021年度)からφ1000mm片山-泉連絡管を設け、より一層の安定給水を図っている。

| | |
|------|----------------------|
| 所在地 | 吹田市南吹田3丁目3番60号 |
| 敷地面積 | 19,096m ² |
| 水源 | 表流水、地下水 |
| 配水方式 | ポンプ圧送方式 |
| 給水能力 | 35,550m ³ |

| 区分 | 施設 | 構造及び概要 | 数量 | | |
|------|---------------|-----------|--|--|----------------------------|
| 浄水施設 | 薬品注入室 | 施設概要 | 鉄筋コンクリート造 地上1階 屋上 気曝槽(原水槽) 地上1階 過マンガン酸カリウム注入設備、薬品溶解設備 | 1棟 | |
| | | 設備概要 | 過マンガン酸カリウム注入設備 過マンガン酸カリウム注入ポンプ 薬品溶解槽 2.5m ³ | 2台 2槽 | |
| | PAC貯槽室 | 施設概要 | 鉄骨造 地上1階 地上1階 ポリ塩化アルミニウム注入設備 再凝集ポリ塩化アルミニウム送液設備 | 1棟 | |
| | | 設備概要 | ポリ塩化アルミニウム(PAC)注入設備 ポリ塩化アルミニウム注入ポンプ(表流系) ポリ塩化アルミニウム注入ポンプ(地下系) 再凝集ポリ塩化アルミニウム送液ポンプ ポリ塩化アルミニウム貯槽 PE製 内径2.71m×3.81m 有効容量 18m ³ | 2台 2台 2台 2基 | |
| | 高速凝集沈でん池(地下水) | 鉄筋コンクリート造 | スラッジブランケット型(傾斜管沈降装置付) 底直径14.0m 最大直径20.0m 有効水深 6.0m 有効容量 1,220m ³ | 1基 | |
| | 表流水 | 着水井 | 鉄筋コンクリート造 | 6.0m×7.48m×3.6m 有効容量 123m ³ | 1池 |
| | | 混和池 | 鉄筋コンクリート造 | 1.5m×11.0m×3.5m 有効水深 3.25m 有効容量 42m ³ | 2系統 |
| | | | フラッシュミキサ | 出力 2.2kW | 6台 |
| | | フロック形成池 | 鉄筋コンクリート造 | 11.0m×13.9m×3.5m 有効水深 3.0m 有効容量 420m ³ | 2系統 |
| | フロキュレータ | | 出力 0.4~2.2kW | 8台 | |
| | 沈でん池 | 鉄筋コンクリート造 | 上向流傾斜管方式、気圧式排泥装置 11.0m×19.7m×7.4m 有効水深 7.4m 有効容量 1,600m ³ | 2系統 | |
| | 高度処理棟 | 施設概要 | 鉄筋コンクリート造 地上3階、地下2階 地下2階 中間揚水ポンプ室、調整池(地下2階~地上1階) 地下1階 流量計室 地上1階 再凝集ポリ塩化アルミニウム室、空洗ブローアーム室、苛性ソーダ注入設備 地上2階 オゾン発生室、第3電気室、再凝集攪拌室 地上3階 排オゾン処理室、排気・給気消音室、換気機械室 | 1棟 | |
| | | | 設備概要 | オゾン処理設備 散気管 上下迂流2段向流接触方式 オゾン発生機 空気原料 空冷板型無声放電式 発生量 3.1kg/h オゾン接触槽 6.0m×4.0m×8.05m 有効水深 6.4m 容量 153.6m ³ オゾン反応槽 6.0m×2.0m×8.05m 有効水深 6.2m 容量 74.4m ³ 活性炭吸着設備 上向流流動層方式 ろ過面積 46.4m ² LV 11.0m/h 石炭系粒状活性炭 活性炭層厚 2.0m 中間揚水ポンプ 両吸込渦巻ポンプ 出力 75kW | 3台 2池 2池 4池 3台 |

| | | | | | |
|--------|----------------------------|---|---|--|----------------|
| 浄水施設 | 設備概要 | 調整池 | 容量 450m ³ (No.1) ・ 500m ³ (No.2) | 2池 | |
| | | 再凝集池 | 2.5m×2.5m×4.95m 有効水深 4.0m 有効容量 25m ³ | 2池 | |
| | | 排オゾン処理装置 | 特殊マンガ接触方式 | 2台 | |
| | | 苛性ソーダ注入設備 | 前苛性ソーダ注入ポンプ | 1台 | |
| | | | 後苛性ソーダ注入ポンプ | 1台 | |
| | 再凝集 ポリ塩化アルミニウム(PAC)注入設備 | 再凝集ポリ塩化アルミニウム注入ポンプ 再凝集ポリ塩化アルミニウム貯槽 PE製 内径1.42m×1.85m 有効容量 2m ³ | 2台 2基 | | |
| | 薬品注入棟 | 施設概要 | 鉄筋コンクリート造 地上1階 地上2階 地上3階 | 地上3階 次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ室、次亜塩素酸ソーダ貯槽室 水質計器室、水質分析室 無停電電源室 | 1棟 |
| | | 設備概要 | 次亜塩素酸ソーダ注入設備 | 中間次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ 後次亜塩素酸ソーダ注入ポンプ 次亜塩素酸ソーダ貯槽 PE製 内径2.145m×2.54m 有効容量 8m ³ | 3台 2台 2基 |
| | 急速ろ過池 | 鉄筋コンクリート造 | 7.3m×7.3m ろ過面積 53.29m ² 下部集水装置 ホイラー型 (4池) 有孔ブロック型 (6池) | 10池 | |
| | 移送ポンプ室 | 施設概要 | 鉄骨造地下RC造 地下2階 地上1階 地上2階 | 地上2階、地下2階 ポンプ室 活性炭供給機室 活性炭保管室 | 1棟 |
| 設備概要 | | 返送ポンプ 移送ポンプ 活性炭供給機 | 片吸込渦巻ポンプ出力 18.5kW 標準2階形スラリーポンプ 出力 5.5kW | 2台 2台 1台 | |
| 圧送ポンプ室 | 施設概要 | 鉄骨造地下RC造 地下1階 地上1階 | 地上1階、地下1階 ポンプ室 電気室 | 1棟 | |
| | 設備概要 | 圧送ポンプ | 単段高压スラリーポンプ 出力 30kW | 2台 | |
| 第1汚泥槽 | 鉄筋コンクリート造 | 10.0m×10.0m×3.0m 有効水深 3.0m 有効容量 300m ³ | 1槽 | | |
| 第2汚泥槽 | 鉄筋コンクリート造 | 30.0m×9.0m×3.3m 有効水深 3.0m 有効容量 800m ³ | 1槽 | | |
| 濃縮槽 | 鉄筋コンクリート造 | 9.2m×9.2m×4.5m 有効水深 3.0m 有効容量 200m ³ | 1槽 | | |
| 送配水施設 | 旧管理棟 | 設備概要 | 鉄筋コンクリート造 地上2階、地下1階 地下1階 地上1階 地上2階 | No.1ポンプ井 第1ポンプ室、計装用コンプレッサー室 第1電気室 | 1棟 |
| | | 施設概要 | 配水ポンプ | 両吸込渦巻ポンプ 出力 75kW | 1台 |
| | | | 送配水ポンプ | 両吸込渦巻ポンプ 出力 90kW | 3台 |
| | No.1ポンプ井 | | 8.9m×17.4m×5.65m 有効水深 3.8m 有効容量 600m ³ | 1池 | |
| | 第2別館 | 設備概要 | 鉄筋コンクリート造 地上2階、地下1階 地下1階 地上1階 地上2階 | No.2ポンプ井 第2ポンプ室、第2電気室 研修室 | 1棟 |
| | | 施設概要 | 配水ポンプ | 両吸込渦巻ポンプ 出力 180kW | 4台 |
| | | No.2ポンプ井 | 4.2m×14.2m×5.65m 有効水深 3.8m 有効容量 215m ³ | 1池 | |
| | 第1配水池 | 鉄筋コンクリート造 | 28.8m×23.0m×5.35m 有効水深 3.8m 有効容量 1,972m ³ | 2池 | |
| | | 鉄筋コンクリート造 | 28.8m×22.0m×5.35m 有効水深 3.8m 有効容量 1,989m ³ | 1池 | |
| | 第2配水池 | 鉄筋コンクリート造 | 33.2m×43.2m×5.35m 有効水深 3.8m 有効容量 4,000m ³ | 1池 | |
| 自家発電設備 | ディーゼルエンジン | 出力 875kVA 6,600V 貯蔵量 4,000L A重油 燃料消費量 218L/h | 1台 | | |
| 洗浄水槽 | ステンレス製 | 内径11.6m×15.0m 有効水深 3.5m 有効容量 370m ³ | 1基 | | |

片山浄水所

片山浄水所は昭和26年(1951年)に建設され、大阪市から受水した浄水(水道水)を給水していたが、その後、増大する需要量に対処するため地下水処理施設を築造し、構内に井戸を掘り、現在では1日に12,810m³の処理が可能である。地域の発展に伴う配水池の増強を行い、泉浄水所の余剰水の有効利用並びに給水量の増加に対応して大阪広域水道企業団水を受水している。令和3年(2021年)12月には、老朽化した旧施設を停止し、新施設(槽浸漬型膜処理施設)による処理を開始した。

| | |
|------|---------------------------|
| 所在地 | 吹田市朝日が丘町26番10号(旧施設は25番1号) |
| 敷地面積 | 23,200m ² |
| 水源 | 地下水 |
| 配水方式 | 自然流下方式 |
| 給水能力 | 12,750m ³ |

| 区分 | 施設 | 構造及び概要 | 数量 | |
|----------|---|---|--|----------|
| 浄水施設 | 浄水処理棟 | 鉄筋コンクリート造 地下1階 地上4階 | 1棟 | |
| | 原水井 | 鉄筋コンクリート造 7.35m×3.1m×1.7m 有効容量 33m ³ | 2槽 | |
| | 前塩素接触池 | 鉄筋コンクリート造 7.35m×3.65m×1.7m 有効容量 38m ³ | 2槽 | |
| | 混和池 | 鉄筋コンクリート造 3.75m×4.4m×1.7m 有効容量 15m ³ | 2槽 | |
| | 混和池攪拌機 | 堅型攪拌機 φ350mm 2.2kW | 2台 | |
| | 膜浸漬槽(水槽) | 鉄筋コンクリート造 7.35m×5.0m×6.5m 有効容量 192m ³ | 3槽 | |
| | 膜浸漬槽(膜ろ過設備) | 槽浸漬型セラミック膜 7列×24段×8ユニット | 3系 | |
| | 薬品注入設備 | 凝集剤注入設備 | ダイヤフラムポンプ 出力 18W 貯留槽 PE製丸型タンク 有効容量 0.5m ³ | 4台 2槽 |
| | | 次亜注入設備 | 前次亜用 一軸ネジ式ポンプ 出力 0.4kW | 4台 |
| | | | 後次亜用 一軸ネジ式ポンプ 出力 0.4kW | 2台 |
| | | | 薬洗用 マグネットポンプ 出力 1.5kW | 1台 |
| | | | 貯留槽 PE製丸型タンク 有効容量 4.0m ³ | 2槽 |
| | | 硫酸注入設備 | ダイヤフラムポンプ 出力 18W | 4台 |
| | | | 薬洗用 マグネットポンプ 出力 0.4kW 貯留槽 PE製丸型タンク 有効容量 2.0m ³ | 1台 2槽 |
| | | 苛性ソーダ注入設備 | ダイヤフラムポンプ 出力 30W | 2台 |
| | 薬洗用 マグネットポンプ 出力 0.75kW 貯留槽 PE製丸型タンク 有効容量 4.0m ³ | | 1台 2槽 | |
| | 重亜硫酸ナトリウム注入設備 | マグネットポンプ 出力 0.75kW | 1台 | |
| | | 貯留槽 PE製丸型タンク 有効容量 4.0m ³ | 1槽 | |
| | チオ硫酸ナトリウム注入設備 | マグネットポンプ 出力 0.4kW | 1台 | |
| | | 貯留槽 PE製丸型タンク 有効容量 1.0m ³ | 1槽 | |
| 膜ろ過水ポンプ | ステンレス製横軸渦巻ポンプ 出力 37kW | 3台 | | |
| 槽内水引抜ポンプ | スラリーポンプ 出力 11kW | 2台 | | |
| 洗浄水槽 | 鉄筋コンクリート造 7.35m×3.45m×2.05m 有効容量 46m ³ | 1槽 | | |
| 洗浄ポンプ | ステンレス製渦巻ポンプ 出力 18.5kW | 2台 | | |
| 洗浄ブロウ | ルーツブロウ 出力 37kW | 3台 | | |
| 自家発電設備 | ガスタービン発電機 出力 1250kVA 6,600V 貯蔵量 19,950L A重油 燃料消費量 542L/h | 1台 | | |
| 送配水施設 | 佐井寺送水ポンプ | 横軸渦巻ポンプ 出力 55kW | 2台 | |
| | 着水井 | 鉄筋コンクリート造 5.0m×7.0m×4.69m 有効水深 3.6m 有効容量 120m ³ | 1池 | |
| | 第2配水池 | 鉄筋コンクリート造 27.4m×23.7m×4.5m 有効水深 3.0m 有効容量 1,500m ³ | 2池 | |
| | 第3配水池 | 鉄筋コンクリート造 30.4m×42.4m×4.5m 有効水深 3.0m 有効容量 3,000m ³ | 1池 | |
| | 第4配水池 | 鉄筋コンクリート造 58.5m×28.45m×5.7m 有効水深 4.4m 有効容量 7,000m ³ | 2池 | |

| | | | | | |
|-----------|-----------|---|---------------------------------------|---------------------------------------|----|
| 排水施設 | 排水処理棟 | 鉄筋コンクリート造 | 地下1階 地上2階 | 1棟 | |
| | 膜濃縮設備 | 膜濃縮装置 | 槽浸漬型セラミック膜 | 12列×11段 | 2系 |
| | | 膜濃縮汚泥貯留槽 | 鉄筋コンクリート造 | 3.95m×2.0m×5.2m 有効容量 34m ³ | 1槽 |
| | | 膜濃縮用洗浄水槽 | PE製丸型タンク | 有効容量 3.0m ³ | 1槽 |
| | | 膜濃縮用膜ろ過水ポンプ | ステンレス製立型渦巻ポンプ | 出力 0.75kW | 2台 |
| | | 膜濃縮汚泥貯留槽攪拌機 | 水中ミキサー | 出力2.8kW | 1台 |
| | | 膜濃縮用洗浄ポンプ | ステンレス製立型渦巻ポンプ | 出力 5.5kW | 2台 |
| | | 膜濃縮用洗浄ブロワ | ルーツブロワ | 出力 7.5kW | 3台 |
| | 脱水設備 | 脱水機 | 短時間型加圧脱水機 | 出力 7.4kW | 2台 |
| | | 脱水機用空気槽 | 円筒型鋼製タンク | φ1.118 * 2.782 | 1槽 |
| | | 汚泥打込ポンプ | 一軸ネジ式ポンプ | 出力 3.7kW | 2台 |
| | | 圧搾水ポンプ | ステンレス製立型渦巻ポンプ | 出力 7.5kW | 2台 |
| | | ろ布洗浄ポンプ | ステンレス製立型渦巻ポンプ | 出力 5.5kW | 2台 |
| | | ろ布洗浄水槽 | PE製丸型タンク | 有効容量 1.5m ³ | 1槽 |
| | ケーキ搬出設備 | No.1ケーキ搬出コンベア | トラフ型ベルトコンベア | 出力 0.75kW | 2台 |
| | | No.2ケーキ搬出コンベア | 急傾斜コンベア | 出力 1.5kW | 1台 |
| | | ケーキホッパ | 電動カットゲート式 | 出力 2.2kWx2 | 1基 |
| | 排水貯留槽 | 鉄筋コンクリート造 | 7.25m×3.0m×5.2m 有効容量 97m ³ | 1槽 | |
| 排水移送ポンプ | 樹脂製水中ポンプ | 出力 1.5kW | 2台 | | |
| 薬洗排水貯留槽 | 鉄筋コンクリート造 | 7.25m×12.6m×5.2m 有効容量 403m ³ | 1槽 | | |
| 薬洗排水移送ポンプ | 樹脂製水中ポンプ | 出力 1.5kW | 2台 | | |



| |
|--------------|
| 山の谷ポンプ場 |
| # 8号さく井 (予備) |
| # 9号さく井 (予備) |

浄水所外 取水施設

片山浄水所

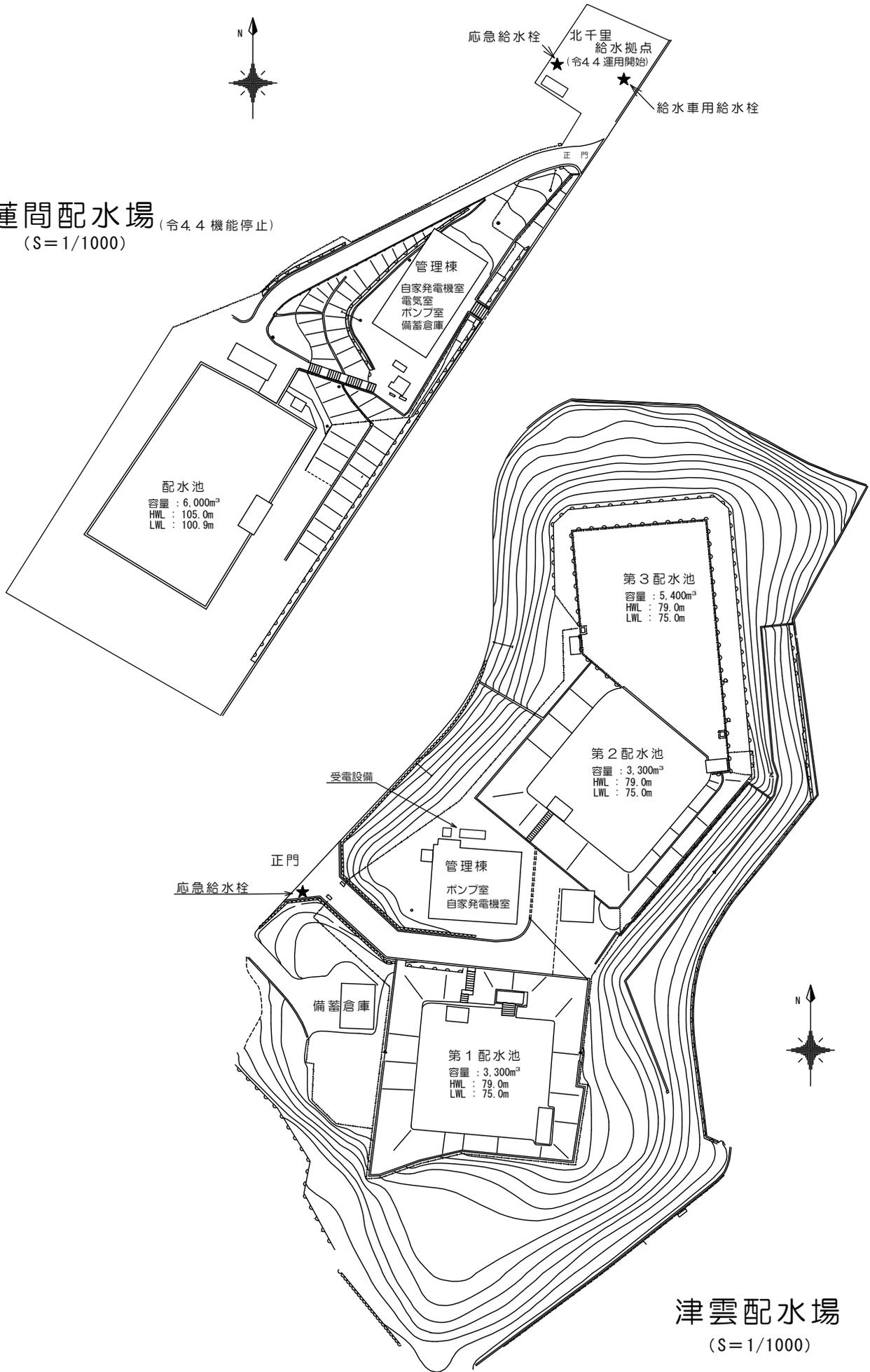
(S=1/1000)

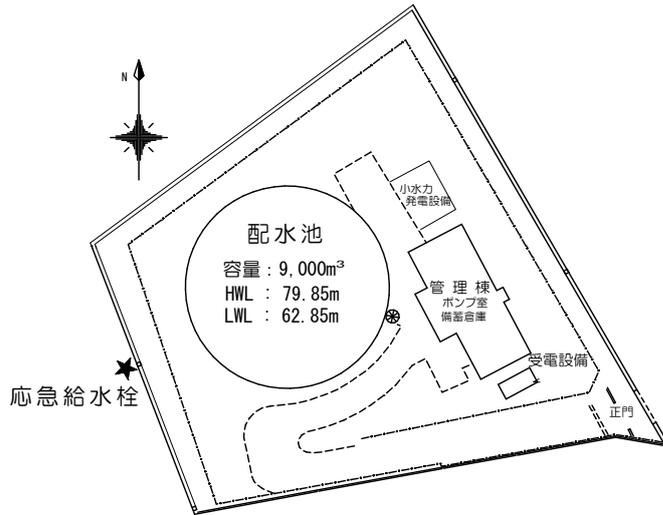
配水場・ポンプ場等

| 名称 | 所在地 | 敷地面積 |
|--------|---------------------|-------------------------------|
| 淀川取水場 | 大阪市東淀川区菅原1丁目1番50号地先 | (北越コーポレーション(株)施設を賃借) |
| 蓮間配水場 | 吹田市青山台3丁目46番1号 | 6,329.23㎡ (令和4年(2022年)4月機能停止) |
| 津雲配水場 | 吹田市津雲台4丁目5番3号 | 19,362.02㎡ |
| 佐井寺配水場 | 吹田市千里山東4丁目13番9号 | 2,976.00㎡ |
| 千里山配水場 | 吹田市千里山西4丁目28番3号 | 3,941.33㎡ |
| 山田配水場 | 吹田市千里丘西15番15号 | 2,034.31㎡ |
| 万博調圧場 | 吹田市山田丘1番12号(大阪大学構内) | (大阪大学より借地) |

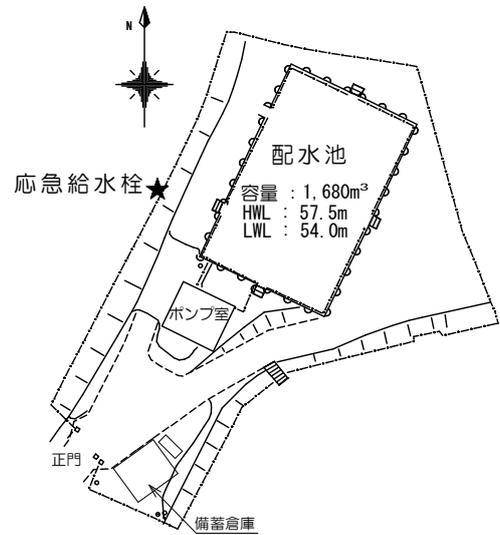
| 区分 | 名称 | 施設 | 概要 | 数量 |
|-------|--------|---------|---|----|
| 取水施設 | 淀川取水場 | 取水塔 | 鉄筋コンクリート造 高さ10.8m 内径4.0m×7.0m 楕円形 | 1基 |
| | | 取水管 | 铸铁管 内径800mm 延長 70.52m | 2本 |
| | | 取水ポンプ | 両吸込渦巻型 85kW | 1台 |
| | | 沈砂池 | 鉄筋コンクリート造 11.75m×35.6m×3.2m | 1池 |
| | | ポンプ室 | 鉄筋コンクリート造 平屋建 | 1棟 |
| | | 送水ポンプ | 両吸込渦巻型 350kW | 1台 |
| 送配水施設 | 蓮間配水場 | 管理棟 | 鉄筋コンクリート造 平屋建 | 1棟 |
| | | 配水池 | 鉄筋コンクリート造 33.5m×25.35m×5.45m 有効水深 4.1m 有効容量 3,000m ³ | 2池 |
| | | 配水ポンプ | 片吸込渦巻型 11kW | 3台 |
| | | エンジンポンプ | ディーゼルエンジン 30kW | 1台 |
| | | 自家発電装置 | ディーゼルエンジン 80kVA 200V 貯蔵量 500L 軽油 燃料消費量 22.4L/h | 1台 |
| | 津雲配水場 | 管理棟 | 鉄筋コンクリート造 平屋建 | 1棟 |
| | | 第1配水池 | 鉄筋コンクリート造 30.7m×30.7m×5.35m 有効水深 4.0m 有効容量 3,300m ³ | 1池 |
| | | 第2配水池 | 鉄筋コンクリート造 30.7m×30.7m×5.35m 有効水深 4.0m 有効容量 3,300m ³ | 1池 |
| | | 第3配水池 | 鉄筋コンクリート造 32.0m×57.0m×25.39m×29.47m×4.75m(台形) 有効水深 4.0m 有効容量 5,400m ³ | 1池 |
| | | 配水ポンプ | 両吸込渦巻型 45kW | 4台 |
| | | 自家発電装置 | ディーゼルエンジン 200kVA 6,600V 貯蔵量 900L A重油 燃料消費量 47.1L/h | 1台 |
| | 佐井寺配水場 | 管理棟 | 鉄筋コンクリート造 平屋建 | 1棟 |
| | | 配水池 | プレストレスコンクリート造 PCタンク 内径26.0m×18.5m 有効水深 17.0m 有効容量 9,000m ³ | 1池 |
| | | 配水ポンプ | 両吸込渦巻型 37kW | 3台 |
| | 千里山配水場 | 管理棟 | 鉄筋コンクリート造 地上2階建 | 1棟 |
| | | 配水池 | 鉄筋コンクリート造 11.45m×38.0m×4.7m 有効水深 4.0m 有効容量 1,500m ³ | 2池 |
| | | 配水ポンプ | 両吸込渦巻型 45kW | 3台 |
| | 山田配水場 | ポンプ室 | 鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階 | 1棟 |
| | | 配水ポンプ | 片吸込渦巻型 18.5kW | 1台 |
| | | 配水池 | 鉄筋コンクリート造 13.72m×17.85m×4.25m 有効水深 3.5m 有効容量 840m ³ | 2池 |
| | 万博調圧場 | 管理棟 | 鉄骨造 平屋建 | 1棟 |
| | | 減圧弁室 | 鉄筋コンクリート造 | 1棟 |

蓮間配水場 (令4.4 機能停止)
(S=1/1000)

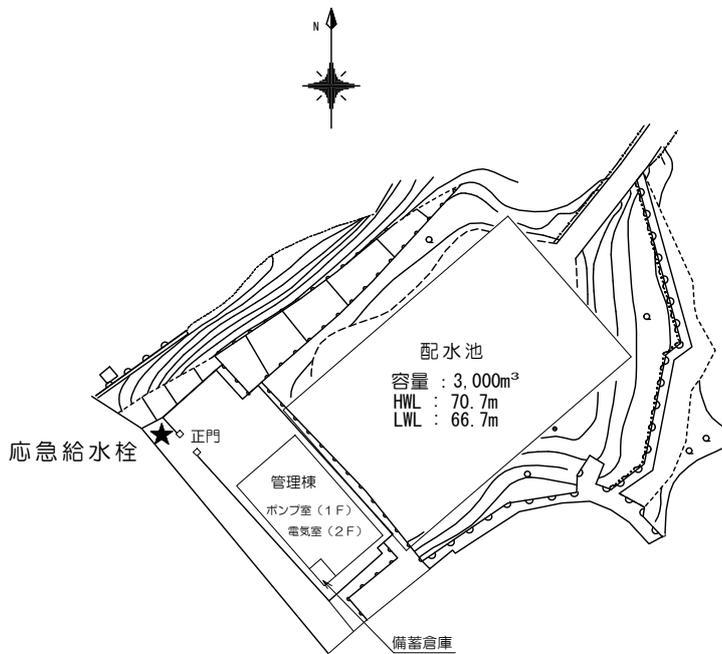




佐井寺配水場
(S=1/1000)



山田配水場
(S=1/1000)



千里山配水場
(S=1/1000)

3. 導・送・配水管延長(令和4年(2022年)3月末現在)

| 用途 管種 口径(mm) | 導水管 | | | | 送水管 | | | 配水本管 | | |
|--------------------|--------------|-------|----|-----|--------------|-------|-------|--------------|-------|-------|
| | ダクタイル 鋳鉄管 | 鋳鉄管 | 鋼管 | その他 | ダクタイル 鋳鉄管 | 鋳鉄管 | 鋼管 | ダクタイル 鋳鉄管 | 鋳鉄管 | 鋼管 |
| 1000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,086 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 900 | 0 | 0 | 0 | 0 | 263 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,147 |
| 800 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,883 | 15 | 0 | 35 | 0 | 173 |
| 700 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6,874 | 0 | 1,270 | 3,347 | 0 | 454 |
| 600 | 76 | 697 | 0 | 0 | 516 | 0 | 0 | 8,538 | 953 | 316 |
| 500 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,665 | 910 | 4 | 5,416 | 310 | 64 |
| 450 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,662 | 427 | 0 | 1,608 | 3,691 | 102 |
| 400 | 0 | 0 | 8 | 0 | 3,421 | 0 | 2 | 7,775 | 1,234 | 132 |
| 350 | 11 | 324 | 0 | 53 | 814 | 1,254 | 0 | 1,719 | 1,606 | 25 |
| 300 | 707 | 0 | 0 | 7 | 1,811 | 1 | 3 | 13,531 | 1,419 | 162 |
| 250 | 0 | 0 | 0 | 0 | 21 | 2 | 0 | 321 | 0 | 0 |
| 200 | 695 | 616 | 0 | 150 | 64 | 0 | 5 | 396 | 0 | 5 |
| 150 | 270 | 8 | 0 | 8 | 0 | 0 | 0 | 46 | 0 | 0 |
| 125 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 89 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 75 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 50 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 40 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 25 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 20 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 小計 | 1,759 | 1,645 | 8 | 218 | 26,080 | 2,609 | 1,284 | 42,732 | 9,213 | 2,580 |
| 合計 | 3,630 | | | | 29,973 | | | 54,525 | | |

(単位:m)

| 配水支管 | | | | | | 合計 | 口径 (mm) |
|--------------|---------|-------|--------|---------|-----|---------|------------|
| ダクタイル 鋳鉄管 | 鋳鉄管 | 鋼管 | ビニール管 | ポリエチレン管 | 石綿管 | | |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,086 | 1000 |
| 3 | 0 | 546 | 0 | 0 | 0 | 1,959 | 900 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,106 | 800 |
| 88 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12,033 | 700 |
| 274 | 0 | 39 | 0 | 0 | 0 | 11,409 | 600 |
| 989 | 874 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12,232 | 500 |
| 5,366 | 752 | 38 | 0 | 0 | 0 | 15,646 | 450 |
| 9,270 | 586 | 126 | 40 | 0 | 0 | 22,594 | 400 |
| 1,873 | 1,052 | 36 | 0 | 0 | 0 | 8,767 | 350 |
| 19,791 | 4,936 | 48 | 4 | 0 | 0 | 42,420 | 300 |
| 13,578 | 6,976 | 71 | 191 | 0 | 0 | 21,160 | 250 |
| 54,622 | 18,498 | 253 | 485 | 0 | 0 | 75,789 | 200 |
| 125,187 | 36,973 | 579 | 3,772 | 0 | 0 | 166,843 | 150 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 125 |
| 174,228 | 64,734 | 65 | 3,617 | 0 | 97 | 242,741 | 100 |
| 0 | 170 | 0 | 0 | 0 | 0 | 170 | 89 |
| 54,903 | 5,005 | 1 | 847 | 0 | 0 | 60,756 | 75 |
| 0 | 0 | 102 | 32,894 | 3,058 | 0 | 36,054 | 50 |
| 0 | 0 | 0 | 952 | 90 | 0 | 1,042 | 40 |
| 0 | 0 | 0 | 889 | 7 | 0 | 896 | 30 |
| 0 | 0 | 0 | 76 | 4 | 0 | 80 | 25 |
| 0 | 0 | 0 | 8 | 1 | 0 | 9 | 20 |
| 460,172 | 140,556 | 1,904 | 43,775 | 3,160 | 97 | 737,792 | |
| 649,664 | | | | | | | |

(単位:m)

| 用途別管延長 | | |
|--------|---------------------|---------------------|
| | 令和2年度末 (2020年度末) | 令和3年度末 (2021年度末) |
| 導水管 | 3,630 | 3,630 |
| 送水管 | 30,546 | 29,973 |
| 配水本管 | 53,237 | 54,525 |
| 配水支管 | 647,001 | 649,664 |
| 合計 | 734,414 | 737,792 |

(単位:台)

| 仕切弁・消火栓設置状況 | | |
|-------------|---------------------|---------------------|
| | 令和2年度末 (2020年度末) | 令和3年度末 (2021年度末) |
| 仕切弁 | 11,752 | 11,919 |
| 消火栓 | 5,618 | 5,624 |

4. 導・送・配水管布設・撤去状況(令和3年度(2021年度))

(単位:m)

| 管種 口径(mm) | 布設延長 | | | | 受納(譲渡)等延長 | | | | 撤去延長 | | | | | | 増減数 | | |
|--------------|--------------|----|-------|-------|-----------|----|--------------|-------|------|-----|-------|-------|--------|----|-------|-------|-------|
| | ダクタイル 鋳鉄管 | | ビニール管 | | 鋼管 | | ダクタイル 鋳鉄管 | | 鋼管 | | ビニール管 | | ホリエレン管 | | | 石綿管 | |
| | 合計 | 合計 | 合計 | 合計 | 合計 | 合計 | 合計 | 合計 | 合計 | 合計 | 合計 | 合計 | 合計 | 合計 | | 合計 | 合計 |
| 1000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 900 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 800 | 42 | 0 | 0 | 42 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 42 |
| 700 | 198 | 0 | 0 | 198 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 714 | 0 | 0 | 0 | △ 516 |
| 600 | 23 | 0 | 0 | 23 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 23 |
| 500 | 575 | 0 | 0 | 575 | 0 | 0 | 0 | 0 | 51 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 523 |
| 450 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | △ 1 |
| 400 | 348 | 0 | 0 | 348 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 348 |
| 350 | 45 | 0 | 0 | 45 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 45 |
| 300 | 441 | 0 | 0 | 441 | 0 | 0 | 0 | 0 | 55 | 224 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 151 |
| 250 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | △ 3 |
| 200 | 92 | 0 | 0 | 92 | 0 | 0 | 0 | 0 | 34 | 117 | 0 | 0 | 72 | 0 | 0 | 223 | △ 131 |
| 150 | 2,221 | 0 | 0 | 2,221 | 260 | 0 | 0 | 260 | 0 | 183 | 0 | 1,180 | 0 | 0 | 0 | 1,363 | 1,118 |
| 125 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 100 | 4,807 | 0 | 0 | 4,807 | 817 | 0 | 0 | 817 | 0 | 124 | 0 | 4,600 | 0 | 0 | 4,724 | 900 | |
| 89 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 75 | 534 | 0 | 0 | 534 | 548 | 0 | 0 | 548 | 0 | 1 | 0 | 258 | 0 | 0 | 259 | 823 | |
| 50 | 0 | 0 | 24 | 24 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 591 | 355 | 24 | 0 | 379 | 236 | |
| 40 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 119 | 0 | 0 | 119 | △ 119 | |
| 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 32 | 0 | 0 | 32 | △ 32 | |
| 25 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 30 | 0 | 0 | 30 | △ 29 | |
| 20 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 合計 | 9,329 | 0 | 25 | 9,354 | 1,625 | 0 | 0 | 2,216 | 144 | 653 | 725 | 6,646 | 24 | 0 | 8,192 | 3,378 | |

5. 導・送・配水管耐震化状況(令和4年(2022年)3月末現在)

(単位:m)

| 用途 口径(mm) | 導水管(A) | | 送水管(B) | | 配水本管(C) | | 配水支管(D) | | 基幹管路 (A+B+C) | | 管路全体 (A+B+C+D) | |
|-----------------|---------|-------|--------|--------|---------|--------|---------|---------|-----------------|--------|-------------------|---------|
| | うち耐震管※1 | うち耐震管 | うち耐震管 | うち耐震管 | うち耐震管 | うち耐震管 | うち耐震管 | うち耐震管 | うち耐震管 | うち耐震管 | うち耐震管 | うち耐震管 |
| 1000 | 0 | 0 | 3,086 | 3,086 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,086 | 3,086 | 3,086 | 3,086 |
| 900 | 0 | 0 | 263 | 0 | 1,147 | 1,139 | 549 | 544 | 1,410 | 1,139 | 1,959 | 1,683 |
| 800 | 0 | 0 | 1,898 | 1,587 | 208 | 206 | 0 | 0 | 2,106 | 1,793 | 2,106 | 1,793 |
| 700 | 0 | 0 | 8,144 | 2,960 | 3,801 | 2,241 | 88 | 4 | 11,945 | 5,201 | 12,033 | 5,205 |
| 600 | 773 | 0 | 516 | 151 | 9,807 | 4,787 | 313 | 44 | 11,096 | 4,938 | 11,409 | 4,982 |
| 500 | 0 | 0 | 4,579 | 1,956 | 5,790 | 3,338 | 1,863 | 7 | 10,369 | 5,294 | 12,232 | 5,301 |
| 450 | 0 | 0 | 4,089 | 6 | 5,401 | 215 | 6,156 | 60 | 9,490 | 221 | 15,646 | 281 |
| 400 | 8 | 0 | 3,423 | 1,133 | 9,141 | 6,245 | 10,022 | 1,707 | 12,572 | 7,378 | 22,594 | 9,085 |
| 350 | 388 | 0 | 2,068 | 781 | 3,350 | 721 | 2,961 | 57 | 5,806 | 1,502 | 8,767 | 1,559 |
| 300 | 714 | 237 | 1,815 | 99 | 15,112 | 10,560 | 24,779 | 7,591 | 17,641 | 10,896 | 42,420 | 18,487 |
| 250 | 0 | 0 | 23 | 2 | 321 | 15 | 20,816 | 1,247 | 344 | 17 | 21,160 | 1,264 |
| 200 | 1,461 | 10 | 69 | 13 | 401 | 375 | 73,858 | 15,577 | 1,931 | 398 | 75,789 | 15,975 |
| 150 | 286 | 172 | 0 | 0 | 46 | 44 | 166,511 | 36,587 | 332 | 216 | 166,843 | 36,803 |
| 125 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 242,741 | 60,354 | 0 | 0 | 242,741 | 60,354 |
| 89 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 170 | 0 | 0 | 0 | 170 | 0 |
| 75 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 60,756 | 9,672 | 0 | 0 | 60,756 | 9,672 |
| 50 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 36,054 | 0 | 0 | 0 | 36,054 | 0 |
| 40 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,042 | 0 | 0 | 0 | 1,042 | 0 |
| 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 896 | 0 | 0 | 0 | 896 | 0 |
| 25 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 80 | 0 | 0 | 0 | 80 | 0 |
| 20 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 0 | 0 | 0 | 9 | 0 |
| 合計 | 3,630 | 419 | 29,973 | 11,774 | 54,525 | 29,886 | 649,664 | 133,451 | 88,128 | 42,079 | 737,792 | 175,530 |
| 耐震化率 | 11.5% | | 39.3% | | 54.8% | | 20.5% | | 47.7% | | 23.8% | |
| 耐震適合性 のある管※2 | 531 | | 14,099 | | 32,337 | | 146,088 | | 46,967 | | 193,055 | |
| 耐震適合率 | 14.6% | | 47.0% | | 59.3% | | 22.5% | | 53.3% | | 26.2% | |

※1 耐震管 … 地震に対する性能が評価された管種及び継手を使用した管路。

※2 耐震適合性のある管 … 耐震管に加え、管路の布設された地盤条件などを勘案して地震に対する性能が評価された管種・継手を含めた管路。 (耐震適合率 = 耐震適合性のある管 ÷ 管路延長)

6. 導・送・配水管経年化状況(令和4年(2022年)3月末現在)

(単位:m)

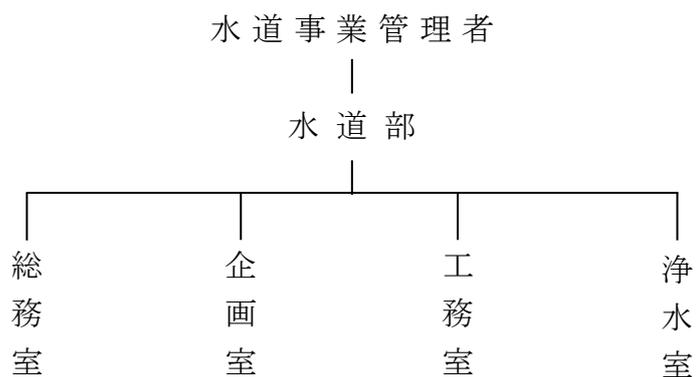
| 用途 口径(mm) | 導水管(A) | | 送水管(B) | | 配水本管(C) | | 配水支管(D) | | 基幹管路 (A+B+C) | | 管路全体 (A+B+C+D) | |
|--------------|--------|-------|--------|-------|---------|--------|---------|---------|-----------------|--------|-------------------|---------|
| | うち経年管※ | うち経年管 | うち経年管 | うち経年管 | うち経年管 | うち経年管 | うち経年管 | うち経年管 | うち経年管 | うち経年管 | うち経年管 | うち経年管 |
| 1000 | 0 | 0 | 3,086 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,086 | 0 | 3,086 | 0 |
| 900 | 0 | 0 | 263 | 263 | 1,147 | 1,147 | 546 | 546 | 1,410 | 1,410 | 1,959 | 1,956 |
| 800 | 0 | 0 | 1,898 | 32 | 208 | 173 | 0 | 0 | 2,106 | 205 | 2,106 | 205 |
| 700 | 0 | 0 | 8,144 | 3,835 | 3,801 | 1,438 | 1 | 1 | 11,945 | 5,273 | 12,033 | 5,274 |
| 600 | 773 | 697 | 516 | 318 | 9,807 | 3,382 | 306 | 306 | 11,096 | 4,397 | 11,409 | 4,703 |
| 500 | 0 | 0 | 4,579 | 2,210 | 5,790 | 1,945 | 1,849 | 1,849 | 10,369 | 4,155 | 12,232 | 6,004 |
| 450 | 0 | 0 | 4,089 | 1,865 | 5,401 | 4,712 | 5,919 | 5,919 | 9,490 | 6,577 | 15,646 | 12,496 |
| 400 | 8 | 8 | 3,423 | 2 | 9,141 | 1,255 | 5,049 | 5,049 | 12,572 | 1,265 | 22,594 | 6,314 |
| 350 | 388 | 377 | 2,068 | 1,270 | 3,350 | 2,061 | 1,962 | 1,962 | 5,806 | 3,708 | 8,767 | 5,670 |
| 300 | 714 | 302 | 1,815 | 12 | 15,112 | 2,569 | 11,856 | 11,856 | 17,641 | 2,883 | 42,420 | 14,739 |
| 250 | 0 | 0 | 23 | 3 | 321 | 2 | 15,237 | 15,237 | 344 | 5 | 21,160 | 15,242 |
| 200 | 1,461 | 1,180 | 69 | 40 | 401 | 1 | 31,208 | 31,208 | 1,931 | 1,221 | 75,789 | 32,429 |
| 150 | 286 | 30 | 0 | 0 | 46 | 0 | 61,099 | 61,099 | 332 | 30 | 166,843 | 61,129 |
| 125 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 92,475 | 92,475 | 0 | 0 | 242,741 | 92,475 |
| 89 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 170 | 170 | 0 | 0 | 170 | 170 |
| 75 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 60,756 | 10,580 | 0 | 0 | 60,756 | 10,580 |
| 50 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9,338 | 9,338 | 0 | 0 | 36,054 | 9,338 |
| 40 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 826 | 826 | 0 | 0 | 1,042 | 826 |
| 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 738 | 738 | 0 | 0 | 896 | 738 |
| 25 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 80 | 58 | 0 | 0 | 80 | 58 |
| 20 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 8 | 0 | 0 | 9 | 8 |
| 合計 | 3,630 | 2,594 | 29,973 | 9,850 | 54,525 | 18,685 | 649,664 | 249,225 | 88,128 | 31,129 | 737,792 | 280,354 |
| 経年化率 | 71.5% | | 32.9% | | 34.3% | | 38.4% | | 35.3% | | 38.0% | |

※ 経年管 …地方公営企業法施行規則に定められた資産管理上の耐用年数(40年)を超過した水道管のこと。(経年化率=経年管÷管路延長)
更新の対象となる管路とは必ずしも一致しない。

第3章 機構と職員

1. 機構図
2. 職員構成表
3. 職員配置表
4. 職員の諸構成

1. 機構図 (令和4年(2022年)4月1日現在)



2. 職員構成表

(令和4年(2022年)4月1日現在)

| 所属 \ 区分 | 部長 | 次長 | 室長 | 参事 | 主幹 | 主査 | 主任 | 係員 | 小計 | (再任用) (常勤) | (再任用) (短時間) | 計 |
|---------|----|----|----------|----|----|----|----|----|------------|---------------|----------------|------------|
| 部 | 1 | 1 | | | | | | | 2 | | | 2 |
| 総務室 | | | (1) | 4 | 5 | 6 | 8 | 7 | (1) 30 | | 1 | (1) 31 |
| 企画室 | | | 1 | 2 | 3 | 3 | | 3 | 12 | 1 | | 13 |
| 工務室 | | | 1 | 4 | 11 | 14 | 8 | 12 | 50 | 2 | | 52 |
| 浄水室 | | | 1 | 4 | 3 | 12 | 8 | 8 | 36 | | | 36 |
| 合計 | 1 | 1 | (1) 3 | 14 | 22 | 35 | 24 | 30 | (1) 130 | 3 | 1 | (1) 134 |

※ 管理者、会計年度任用職員14名を除く。

()内は兼務の人数で外数

3. 職員配置表

(令和4年(2022年)4月1日現在)

| 所属 | 職種 | | 事務職 | | 技術職 | | 計 | |
|-----|-----------|-----|-----|-----|------------|-----|-----|-----|
| | 正職員 | 再任用 | 正職員 | 再任用 | 正職員 | 再任用 | 正職員 | 再任用 |
| 部 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | | |
| 総務室 | (1) 28 | 1 | 2 | 0 | (1) 30 | 1 | | |
| 企画室 | 10 | 1 | 2 | 0 | 12 | 1 | | |
| 工務室 | 1 | 0 | 49 | 2 | 50 | 2 | | |
| 浄水室 | 0 | 0 | 36 | 0 | 36 | 0 | | |
| 合計 | (1) 40 | 2 | 90 | 2 | (1) 130 | 4 | | |

※ 管理者、会計年度任用職員14名を除く。

()内は兼務の人数で外数

4. 職員の諸構成

年齢構成

(令和4年(2022年)4月1日現在)

| 年齢 職種 | 25才未満 | 25～30才未満 | 30～35才未満 | 35～40才未満 | 40～45才未満 | 45～50才未満 | 50～55才未満 | 55～61才未満 | 61才以上 | 計 | 平均 |
|----------|-------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-------|------|----------|
| 事務職 | 5人 | 3人 | 4人 | 4人 | 6人 | 9人 | 7人 | 2人 | 1人 | 41人 | 41才 9か月 |
| 技術職 | 8人 | 11人 | 11人 | 7人 | 17人 | 9人 | 12人 | 16人 | 1人 | 92人 | 42才 0か月 |
| 合計 | 13人 | 14人 | 15人 | 11人 | 23人 | 18人 | 19人 | 18人 | 2人 | 133人 | 41才 11か月 |

勤続年数構成

(令和4年(2022年)4月1日現在)

| 年数 職種 | 5年未満 | 5～10年未満 | 10～15年未満 | 15～20年未満 | 20～25年未満 | 25～30年未満 | 30～35年未満 | 35年以上 | 計 | 平均 |
|----------|------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|-------|------|---------|
| 事務職 | 9人 | 3人 | 4人 | 5人 | 4人 | 5人 | 8人 | 3人 | 41人 | 18年 6か月 |
| 技術職 | 17人 | 17人 | 4人 | 19人 | 5人 | 12人 | 9人 | 9人 | 92人 | 17年 3か月 |
| 合計 | 26人 | 20人 | 8人 | 24人 | 9人 | 17人 | 17人 | 12人 | 133人 | 17年 8か月 |

給料構成

(令和4年(2022年)4月1日現在)

| 月額 職種 | 15万円未満 | 15～20万円未満 | 20～25万円未満 | 25～30万円未満 | 30～35万円未満 | 35～40万円未満 | 40～45万円未満 | 45～50万円未満 | 50万円以上 | 最低 | 最高 | 平均 |
|----------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|----------|----------|----------|
| 事務職 | 0人 | 5人 | 8人 | 4人 | 7人 | 5人 | 10人 | 2人 | 0人 | 179,600円 | 468,600円 | 320,115円 |
| 技術職 | 0人 | 8人 | 19人 | 8人 | 22人 | 15人 | 17人 | 3人 | 0人 | 154,900円 | 498,800円 | 318,472円 |
| 合計 | 0人 | 13人 | 27人 | 12人 | 29人 | 20人 | 27人 | 5人 | 0人 | — | — | 318,978円 |

年度別職員数

()内は新規採用者数

| 年度 職種 | 平成30年度(2018年度) | 令和元年度(2019年度) | 令和2年度(2020年度) | 令和3年度(2021年度) | 令和4年度(2022年度) |
|----------|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 事務職 | 36(2)人 | 38(2)人 | 40(3)人 | 41(2)人 | 41(1)人 |
| 技術職 | 89(5)人 | 89(3)人 | 91(5)人 | 92(4)人 | 92(1)人 |
| 合計 | 125(7)人 | 127(5)人 | 131(8)人 | 133(6)人 | 133(2)人 |

(平成30年度までは年度末、令和元年度以降は年度当初の職員数。)

年度別平均年齢・平均勤続年数(年・か月)

()内は勤続年数

| 年度 職種 | 平成29年度(2017年度) | 平成30年度(2018年度) | 令和元年度(2019年度) | 令和2年度(2020年度) | 令和3年度(2021年度) |
|----------|----------------|----------------|---------------|---------------|---------------|
| 事務職 | 42.09才(19・05) | 43.01才(19・10) | 43.05才(20・05) | 42.07才(19・10) | 41.10才(18・11) |
| 技術職 | 41.01才(16・02) | 41.04才(16・03) | 41.06才(16・06) | 41.07才(16・10) | 42.04才(17・05) |
| 合計 | 41.07才(17・02) | 41.10才(17・04) | 42.01才(17・08) | 41.11才(17・09) | 42.02才(17・10) |

※ 各表は、管理者を除いて集計。

※ 職員数は、再任用常時勤務職員を含む(平成30年度(4名)、令和元年度(2名)、令和2年度(2名)、令和3年度(2名)、令和4年度(3名))。

第4章 水源と水質

1. 業務量の推移
2. 取水状況
3. 配水状況
 - (1) 施設別配水量構成
 - (2) 年度別・月別配水状況
 - (3) 月別・水源別配水状況
 - (4) 配水量の内訳
4. 電力使用状況
5. 薬品購入状況
6. 自己水源に対する電力及び薬品使用状況
7. 水質検査成績表

1. 業務量の推移

| 項 目 | 年 度 | 単 位 | 平成 29 年度 (2017年度) | | 平成 30 年度 (2018年度) | |
|-----------|------------|----------------|----------------------|----------------|----------------------|----------------|
| | | | | 対前年度 増減率(%) | | 対前年度 増減率(%) |
| 人口及び戸数 | 行政区域内人口 | 人 | 370,072 | 0.1 | 371,030 | 0.3 |
| | 給水人口 | 人 | 369,590 | 0.1 | 370,537 | 3.3 |
| | 行政区域内戸数 | 戸 | 170,244 | 0.8 | 171,849 | 0.9 |
| | 給水戸数 | 戸 | 170,237 | 0.8 | 171,842 | 0.9 |
| 配水量 | 総配水量 | m ³ | 41,663,190 | △ 0.2 | 41,758,437 | 0.2 |
| | 自己水源 | m ³ | 15,397,195 | △ 4.2 | 14,916,367 | △ 3.1 |
| | 泉浄水所(表流水) | m ³ | 10,618,770 | △ 2.1 | 10,292,405 | △ 3.1 |
| | 〃 (地下水) | m ³ | 1,598,515 | △ 13.4 | 1,522,835 | △ 4.7 |
| | 片山浄水所(地下水) | m ³ | 3,179,910 | △ 5.7 | 3,101,127 | △ 2.5 |
| | 依存水源 | m ³ | 26,265,995 | 2.2 | 26,842,070 | 2.2 |
| | 企業団水 | m ³ | 26,047,386 | 2.4 | 26,629,900 | 2.2 |
| | 大阪市水 | m ³ | 217,618 | △ 12.6 | 211,207 | △ 2.9 |
| | 茨木市水 | m ³ | 991 | △ 0.7 | 963 | △ 2.9 |
| | 一日平均配水量 | m ³ | 114,146 | △ 0.2 | 114,407 | 0.2 |
| | 一日最大配水量 | m ³ | 122,716 | △ 2.5 | 125,309 | 2.1 |
| | 一人一日平均配水量 | ℓ | 309 | △ 0.3 | 309 | 0.0 |
| | 一人一日最大配水量 | ℓ | 332 | △ 2.6 | 338 | 1.8 |
| 給水量 | 総給水量 | m ³ | 40,847,209 | 0.0 | 40,903,042 | 0.1 |
| | 有効有収水量 | m ³ | 40,012,946 | 0.0 | 40,039,374 | 0.1 |
| | φ 13 mm | | 885,271 | △ 6.8 | 829,854 | △ 6.3 |
| | φ 20 mm | | 29,605,557 | 0.6 | 29,620,797 | 0.1 |
| | φ 25 mm | | 3,515,258 | △ 2.9 | 3,440,027 | △ 2.1 |
| | φ 30 mm | | 159,786 | △ 1.0 | 169,764 | 6.2 |
| | φ 40 mm | | 1,309,643 | 0.6 | 1,289,682 | △ 1.5 |
| | φ 50 mm | | 1,182,771 | △ 2.5 | 1,169,050 | △ 1.2 |
| | φ 75 mm | | 1,356,518 | 4.1 | 1,376,989 | 1.5 |
| | φ 100 mm | | 778,126 | 3.0 | 854,223 | 9.8 |
| | φ 150 mm | | 665,992 | 0.0 | 647,680 | △ 2.7 |
| | φ 200 mm | | 58,557 | △ 39.8 | 58,660 | 0.2 |
| | φ 250 mm | | 368,517 | △ 16.4 | 423,035 | 14.8 |
| | 公衆浴場 臨時 | | 27,737 99,213 | 16.1 19.8 | 26,722 132,891 | △ 3.7 33.9 |
| | 有効無収水量 | m ³ | 834,263 | 0.2 | 863,668 | 3.5 |
| 給水工事件数 | 件 | 5,988 | △ 6.0 | 6,062 | 1.2 | |
| 配給水装置修繕件数 | 件 | 1,135 | 5.1 | 1,082 | △ 4.7 | |

| 令和元年度 (2019年度) | | 令和2年度 (2020年度) | | 令和3年度 (2021年度) | |
|-------------------|----------------|-------------------|----------------|-------------------|----------------|
| | 対前年度 増減率(%) | | 対前年度 増減率(%) | | 対前年度 増減率(%) |
| 373,978 | 0.8 | 376,944 | 0.8 | 378,781 | 0.5 |
| 373,515 | 0.8 | 376,478 | 0.8 | 378,347 | 0.5 |
| 174,222 | 1.4 | 177,152 | 1.7 | 179,397 | 1.3 |
| 174,215 | 1.4 | 177,145 | 1.7 | 179,391 | 1.3 |
| 41,411,787 | △ 0.8 | 42,137,465 | 1.8 | 41,667,297 | △ 1.1 |
| 14,726,446 | △ 1.3 | 14,882,802 | 1.1 | 15,190,222 | 2.1 |
| 10,386,565 | 0.9 | 10,573,695 | 1.8 | 10,507,315 | △ 0.6 |
| 1,481,180 | △ 2.7 | 1,372,975 | △ 7.3 | 1,239,623 | △ 9.7 |
| 2,858,701 | △ 7.8 | 2,936,132 | 2.7 | 3,443,284 | 17.3 |
| 26,685,341 | △ 0.6 | 27,254,663 | 2.1 | 26,477,075 | △ 2.9 |
| 26,484,734 | △ 0.5 | 27,253,624 | 2.9 | 26,476,040 | △ 2.9 |
| 199,633 | △ 5.5 | — | 皆減 | — | — |
| 974 | 1.1 | 1,039 | 6.7 | 1,035 | △ 0.4 |
| 113,147 | △ 1.1 | 115,445 | 2.0 | 114,157 | △ 1.1 |
| 120,359 | △ 4.0 | 123,294 | 2.4 | 120,375 | △ 2.4 |
| 303 | △ 1.9 | 307 | 1.3 | 302 | △ 1.6 |
| 322 | △ 4.7 | 327 | 1.6 | 318 | △ 2.8 |
| 40,644,121 | △ 0.6 | 41,323,973 | 1.7 | 41,146,202 | △ 0.4 |
| 39,819,816 | △ 0.5 | 40,478,596 | 1.7 | 40,276,307 | △ 0.5 |
| 765,555 | △ 7.7 | 740,319 | △ 3.3 | 686,695 | △ 7.2 |
| 29,759,779 | 0.5 | 31,298,629 | 5.2 | 31,275,460 | △ 0.1 |
| 3,339,044 | △ 2.9 | 3,341,082 | 0.1 | 3,238,904 | △ 3.1 |
| 166,563 | △ 1.9 | 161,897 | △ 2.8 | 167,444 | 3.4 |
| 1,257,583 | △ 2.5 | 1,184,169 | △ 5.8 | 1,144,831 | △ 3.3 |
| 1,191,633 | 1.9 | 1,088,137 | △ 8.7 | 1,076,043 | △ 1.1 |
| 1,407,702 | 2.2 | 1,120,740 | △ 20.4 | 1,101,372 | △ 1.7 |
| 935,196 | 9.5 | 829,509 | △ 11.3 | 883,183 | 6.5 |
| 466,331 | △ 28.0 | 253,058 | △ 45.7 | 245,711 | △ 2.9 |
| 61,237 | 4.4 | 24,445 | △ 60.1 | 46,811 | 91.5 |
| 348,990 | △ 17.5 | 333,038 | △ 4.6 | 311,509 | △ 6.5 |
| 23,466 | △ 12.2 | 20,411 | △ 13.0 | 24,274 | 18.9 |
| 96,737 | △ 27.2 | 83,162 | △ 14.0 | 74,070 | △ 10.9 |
| 824,305 | △ 4.6 | 845,377 | 2.6 | 869,895 | 2.9 |
| 6,270 | 3.4 | 8,852 | 41.2 | 6,163 | △ 30.4 |
| 1,114 | 3.0 | 1,110 | △ 0.4 | 1,066 | △ 4.0 |

2. 取水状況

| 施設等 | | 平成29年度 (2017年度) | | 平成30年度 (2018年度) | |
|-----------|---------|--------------------|-------------|--------------------|-------------|
| | | 取水量 | 対前年度 増減率 | 取水量 | 対前年度 増減率 |
| 泉 浄 水 所 | 表 流 水 | 10,618,770 | △ 2.1 | 10,292,405 | △ 3.1 |
| | 地 下 水 | 1,621,940 | △ 13.5 | 1,550,360 | △ 4.4 |
| | 計 | 12,240,710 | △ 3.8 | 11,842,765 | △ 3.3 |
| 片 山 浄 水 所 | 地 下 水 | 3,324,326 | △ 5.5 | 3,248,710 | △ 2.3 |
| 自 己 水 合 計 | | 15,565,036 | △ 4.2 | 15,091,475 | △ 3.0 |
| 企 業 団 | 蓮 間 分 岐 | 3,321,030 | 0.1 | 1,590,550 | △ 52.1 |
| | 榎の木分岐 | 4,316,151 | △ 1.1 | 6,284,917 | 45.6 |
| | 津雲分岐 | 7,560,921 | 0.8 | 7,580,654 | 0.3 |
| | 南千里分岐 | 9,947,296 | 6.7 | 10,270,200 | 3.2 |
| | 春日分岐 | 901,988 | △ 3.8 | 903,579 | 0.2 |
| | 計 | 26,047,386 | 2.4 | 26,629,900 | 2.2 |
| 大 阪 市 | | 217,618 | △ 12.6 | 211,207 | △ 2.9 |
| 茨 木 市 | | 991 | △ 0.7 | 963 | △ 2.8 |
| 依 存 水 合 計 | | 26,265,995 | 2.2 | 26,842,070 | 2.2 |
| 総 取 水 量 | | 41,831,031 | △ 0.3 | 41,933,545 | 0.2 |

(単位：m³・%)

| 令和元年度 (2019年度) | | 令和2年度 (2020年度) | | 令和3年度 (2021年度) | |
|-------------------|-------------|-------------------|-------------|-------------------|-------------|
| 取水量 | 対前年度 増減率 | 取水量 | 対前年度 増減率 | 取水量 | 対前年度 増減率 |
| 10,386,565 | 0.9 | 10,573,695 | 1.8 | 10,507,315 | △ 0.6 |
| 1,505,278 | △ 2.9 | 1,396,281 | △ 7.2 | 1,263,283 | △ 9.5 |
| 11,891,843 | 0.4 | 11,969,976 | 0.7 | 11,770,598 | △ 1.7 |
| 3,014,434 | △ 7.2 | 3,090,418 | 2.5 | 3,561,060 | 15.2 |
| 14,906,277 | △ 1.2 | 15,060,394 | 1.0 | 15,331,658 | 1.8 |
| 3,266,400 | 105.4 | 3,191,060 | △ 2.3 | 3,172,620 | △ 0.6 |
| 4,303,942 | △ 31.5 | 4,347,115 | 1.0 | 4,430,445 | 1.9 |
| 7,571,266 | △ 0.1 | 7,863,156 | 3.9 | 7,831,122 | △ 0.4 |
| 10,444,631 | 1.7 | 10,886,459 | 4.2 | 10,113,699 | △ 7.1 |
| 898,495 | △ 0.6 | 965,834 | 7.5 | 928,154 | △ 3.9 |
| 26,484,734 | △ 0.5 | 27,253,624 | 2.9 | 26,476,040 | △ 2.9 |
| 199,633 | △ 5.5 | - | 皆減 | - | - |
| 974 | 1.1 | 1,039 | 6.7 | 1,035 | △ 0.4 |
| 26,685,341 | △ 0.6 | 27,254,663 | 2.1 | 26,477,075 | △ 2.9 |
| 41,591,618 | △ 0.8 | 42,315,057 | 1.7 | 41,808,733 | △ 1.2 |

3. 配水状況

(1) 施設別配水量構成

| 施設等 | | 平成29年度 (2017年度) | | | 平成30年度 (2018年度) | | | |
|-----|-----------|--------------------|------------|-------------|--------------------|------------|-------------|--------|
| | | 水量 | 構成比 | 対前年度 増減率 | 水量 | 構成比 | 対前年度 増減率 | |
| 自己水 | 泉浄水所(表流水) | 10,618,770 | 25.5 | △ 2.1 | 10,292,405 | 24.6 | △ 3.1 | |
| | 泉浄水所(地下水) | 1,598,515 | 3.8 | △ 13.4 | 1,522,835 | 3.6 | △ 4.7 | |
| | 小計 | 12,217,285 | 29.3 | △ 3.8 | 11,815,240 | 28.2 | △ 3.3 | |
| | 片山浄水所 | 3,179,910 | 7.6 | △ 5.7 | 3,101,127 | 7.4 | △ 2.5 | |
| | 計 | 15,397,195 | 37.0 | △ 4.2 | 14,916,367 | 35.7 | △ 3.1 | |
| 依存水 | 企業団 | 蓮間分岐 | 3,321,030 | 8.0 | 0.1 | 1,590,550 | 3.8 | △ 52.1 |
| | | 檜の木分岐 | 4,316,151 | 10.4 | △ 1.1 | 6,284,917 | 15.1 | 45.6 |
| | | 津雲分岐 | 7,560,921 | 18.1 | 0.8 | 7,580,654 | 18.2 | 0.3 |
| | | 南千里分岐 | 9,947,296 | 23.9 | 6.7 | 10,270,200 | 24.6 | 3.2 |
| | | 春日分岐 | 901,988 | 2.2 | △ 3.8 | 903,579 | 2.2 | 0.2 |
| | 小計 | 26,047,386 | 62.5 | 2.4 | 26,629,900 | 63.8 | 2.2 | |
| | 大阪市 | 217,618 | 0.5 | △ 12.6 | 211,207 | 0.5 | △ 2.9 | |
| | 茨木市 | 991 | 0.0 | △ 0.7 | 963 | 0.0 | △ 2.8 | |
| | 計 | 26,265,995 | 63.0 | 2.2 | 26,842,070 | 64.3 | 2.2 | |
| | 総配水量 | | 41,663,190 | 100.0 | △ 0.2 | 41,758,437 | 100.0 | 0.2 |

(単位：m³・%)

| 令和元年度 (2019年度) | | | 令和2年度 (2020年度) | | | 令和3年度 (2021年度) | | |
|-------------------|--------------|--------------|-------------------|--------------|-------------|-------------------|--------------|--------------|
| 水量 | 構成比 | 対前年度 増減率 | 水量 | 構成比 | 対前年度 増減率 | 水量 | 構成比 | 対前年度 増減率 |
| 10,386,565 | 25.1 | 0.9 | 10,573,695 | 25.1 | 1.8 | 10,507,315 | 25.2 | △ 0.6 |
| 1,481,180 | 3.6 | △ 2.7 | 1,372,975 | 3.3 | △ 7.3 | 1,239,623 | 3.0 | △ 9.7 |
| 11,867,745 | 28.7 | 0.4 | 11,946,670 | 28.4 | 0.7 | 11,746,938 | 28.2 | △ 1.7 |
| 2,858,701 | 6.9 | △ 7.8 | 2,936,132 | 7.0 | 2.7 | 3,443,284 | 8.3 | 17.3 |
| 14,726,446 | 35.6 | △ 1.3 | 14,882,802 | 35.3 | 1.1 | 15,190,222 | 36.5 | 2.1 |
| 3,266,400 | 7.9 | 105.4 | 3,191,060 | 7.6 | △ 2.3 | 3,172,620 | 7.6 | △ 0.6 |
| 4,303,942 | 10.4 | △ 31.5 | 4,347,115 | 10.3 | 1.0 | 4,430,445 | 10.6 | 1.9 |
| 7,571,266 | 18.3 | △ 0.1 | 7,863,156 | 18.7 | 3.9 | 7,831,122 | 18.8 | △ 0.4 |
| 10,444,631 | 25.2 | 1.7 | 10,886,459 | 25.8 | 4.2 | 10,113,699 | 24.3 | △ 7.1 |
| 898,495 | 2.2 | △ 0.6 | 965,834 | 2.3 | 7.5 | 928,154 | 2.2 | △ 3.9 |
| 26,484,734 | 64.0 | △ 0.5 | 27,253,624 | 64.7 | 2.9 | 26,476,040 | 63.5 | △ 2.9 |
| 199,633 | 0.5 | △ 5.5 | - | - | 皆減 | - | - | - |
| 974 | 0.0 | 1.1 | 1,039 | 0.0 | 6.7 | 1,035 | 0.0 | △ 0.4 |
| 26,685,341 | 64.4 | △ 0.6 | 27,254,663 | 64.7 | 2.1 | 26,477,075 | 63.5 | △ 2.9 |
| 41,411,787 | 100.0 | △ 0.8 | 42,137,465 | 100.0 | 1.8 | 41,667,297 | 100.0 | △ 1.1 |

(2)年度別・月別配水状況

| 月 別 | 年 度 | 平成29年度 | | 平成30年度 | |
|--------------------|-------------|---------------------------|-------------|---------------------------|-------------|
| | | (2017年度) | 対前年度 増減率 | (2018年度) | 対前年度 増減率 |
| 4月 | 配水量 (増減) | 3,403,196 (30,033) | 0.9 | 3,438,837 (35,641) | 1.0 |
| 5月 | 配水量 (増減) | 3,537,895 (43,721) | 1.3 | 3,467,255 (△ 70,640) | △ 2.0 |
| 6月 | 配水量 (増減) | 3,458,142 (12,301) | 0.4 | 3,461,196 (3,054) | 0.1 |
| 7月 | 配水量 (増減) | 3,648,882 (△ 40,905) | △ 1.1 | 3,692,138 (43,256) | 1.2 |
| 8月 | 配水量 (増減) | 3,538,899 (△ 101,231) | △ 2.8 | 3,584,133 (45,234) | 1.3 |
| 9月 | 配水量 (増減) | 3,405,413 (△ 25,867) | △ 0.8 | 3,360,469 (△ 44,944) | △ 1.3 |
| 10月 | 配水量 (増減) | 3,499,463 (△ 61,683) | △ 1.7 | 3,541,401 (41,938) | 1.2 |
| 11月 | 配水量 (増減) | 3,428,656 (△ 4,740) | △ 0.1 | 3,447,749 (19,093) | 0.6 |
| 12月 | 配水量 (増減) | 3,553,944 (△ 4,372) | △ 0.1 | 3,567,612 (13,668) | 0.4 |
| 1月 | 配水量 (増減) | 3,506,273 (21,333) | 0.6 | 3,499,912 (△ 6,361) | △ 0.2 |
| 2月 | 配水量 (増減) | 3,181,069 (2,174) | 0.1 | 3,224,163 (43,094) | 1.4 |
| 3月 | 配水量 (増減) | 3,501,358 (28,905) | 0.8 | 3,473,572 (△ 27,786) | △ 0.8 |
| 合計 | 配水量 (増減) | 41,663,190 (△ 100,331) | △ 0.2 | 41,758,437 (95,247) | 0.2 |
| 内 訳 | 自己水 (増減) | 15,397,195 (△ 668,279) | △ 4.2 | 14,916,367 (△ 480,828) | △ 3.1 |
| | 依存水 (増減) | 26,265,995 (567,948) | 2.2 | 26,842,070 (576,075) | 2.2 |
| 配水量の増減率 | | △0.24% | — | 0.23% | — |
| 年度末給水人口(人) (増減) | | 369,590 (550) | 0.1 | 370,537 (947) | 0.3 |

(単位：m³・%)

| 令和元年度 (2019年度) | | 令和2年度 (2020年度) | | 令和3年度 (2021年度) | |
|---|--------------|---------------------------------------|-------------|---|--------------|
| | 対前年度 増減率 | | 対前年度 増減率 | | 対前年度 増減率 |
| 3,393,038 (△ 45,799) | △ 1.3 | 3,454,858 (61,820) | 1.8 | 3,447,744 (△ 7,114) | △ 0.2 |
| 3,519,263 (52,008) | 1.5 | 3,539,437 (20,174) | 0.6 | 3,500,307 (△ 39,130) | △ 1.1 |
| 3,408,908 (△ 52,288) | △ 1.5 | 3,459,452 (50,544) | 1.5 | 3,406,794 (△ 52,658) | △ 1.5 |
| 3,549,593 (△ 142,545) | △ 3.9 | 3,488,590 (△ 61,003) | △ 1.7 | 3,578,080 (89,490) | 2.6 |
| 3,511,760 (△ 72,373) | △ 2.0 | 3,633,081 (121,321) | 3.5 | 3,485,500 (△ 147,581) | △ 4.1 |
| 3,391,047 (30,578) | 0.9 | 3,460,101 (69,054) | 2.0 | 3,385,939 (△ 74,162) | △ 2.1 |
| 3,449,254 (△ 92,147) | △ 2.6 | 3,578,133 (128,879) | 3.7 | 3,558,503 (△ 19,630) | △ 0.5 |
| 3,396,414 (△ 51,335) | △ 1.5 | 3,456,349 (59,935) | 1.8 | 3,450,491 (△ 5,858) | △ 0.2 |
| 3,531,038 (△ 36,574) | △ 1.0 | 3,695,947 (164,909) | 4.7 | 3,580,924 (△ 115,023) | △ 3.1 |
| 3,439,310 (△ 60,602) | △ 1.7 | 3,645,650 (206,340) | 6.0 | 3,554,318 (△ 91,332) | △ 2.5 |
| 3,287,752 (63,589) | 2.0 | 3,215,673 (△ 72,079) | △ 2.2 | 3,214,238 (△ 1,435) | 0.0 |
| 3,534,410 (60,838) | 1.8 | 3,510,194 (△ 24,216) | △ 0.7 | 3,504,459 (△ 5,735) | △ 0.2 |
| 41,411,787 (△ 346,650) | △ 0.8 | 42,137,465 (725,678) | 1.8 | 41,667,297 (△ 470,168) | △ 1.1 |
| 14,726,446 (△ 189,921) | △ 1.3 | 14,882,802 (156,356) | 1.1 | 15,190,222 (307,420) | 2.1 |
| 26,685,341 (△ 156,729) | △ 0.6 | 27,254,663 (569,322) | 2.1 | 26,477,075 (△ 777,588) | △ 2.9 |
| △0.83% | — | 1.75% | — | -1.12% | — |
| 373,515 (2,978) | 0.8 | 376,478 (2,963) | 0.8 | 378,347 (1,869) | 0.5 |

※ (増減) は対前年度比較

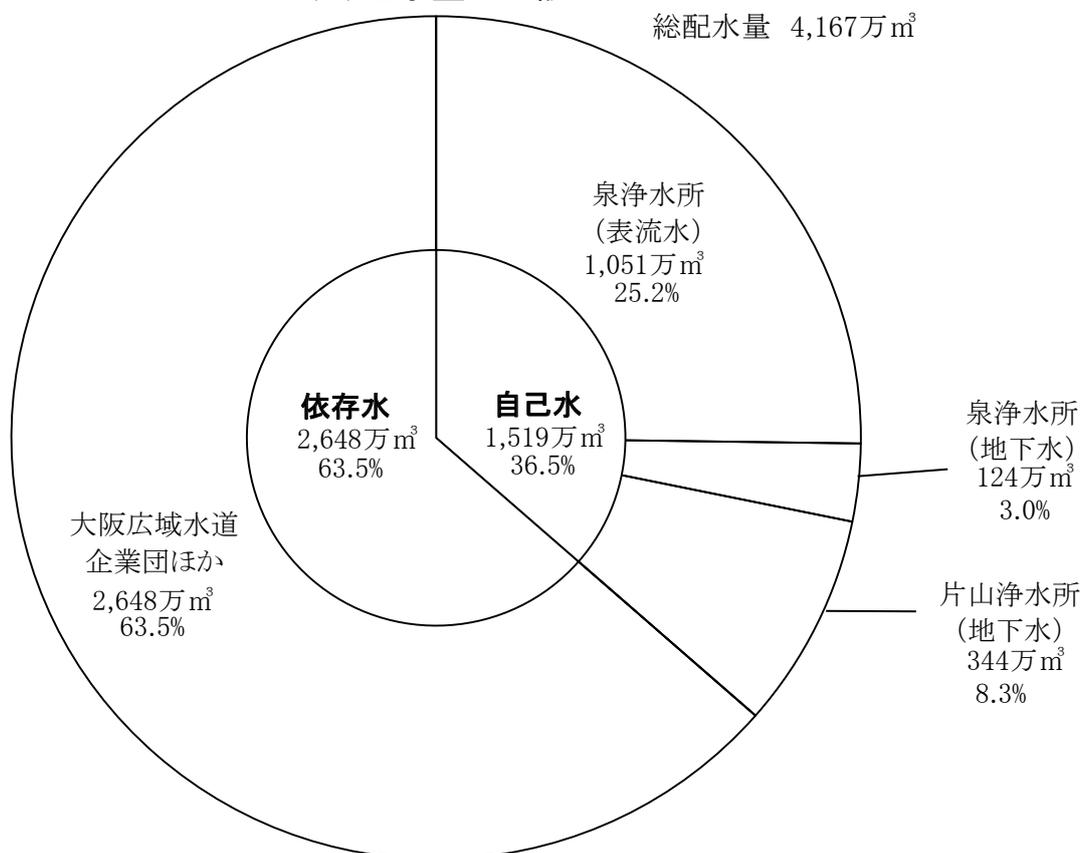
(3) 月別・水源別配水状況

| 区分 月別 | 自 己 水 源 | | | | 依 存 | | | |
|----------|------------|-----------|--------------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| | 泉 浄 水 所 | | 片 山 浄 水 所 | 計 | 企 業 | | | |
| | 表 流 水 | 地 下 水 | | | 蓮間分岐 | 檜の木分岐 | 津雲分岐 | 南千里分岐 |
| 4 月 | 881,300 | 135,341 | 253,617 | 1,270,258 | 258,750 | 358,597 | 641,407 | 835,575 |
| 5 月 | 899,895 | 130,276 | 258,021 | 1,288,192 | 268,220 | 363,489 | 667,886 | 827,860 |
| 6 月 | 885,020 | 124,412 | 244,927 | 1,254,359 | 262,590 | 359,811 | 647,622 | 808,630 |
| 7 月 | 906,245 | 123,990 | 245,568 | 1,275,803 | 276,320 | 388,561 | 677,651 | 883,681 |
| 8 月 | 905,550 | 115,732 | 245,555 | 1,266,837 | 272,320 | 376,018 | 664,649 | 830,276 |
| 9 月 | 890,275 | 99,393 | 241,899 | 1,231,567 | 261,050 | 361,796 | 641,427 | 815,983 |
| 10月 | 909,055 | 124,026 | 223,525 | 1,256,606 | 268,870 | 378,941 | 675,345 | 904,255 |
| 11月 | 882,155 | 92,323 | 312,470 | 1,286,948 | 257,240 | 365,801 | 644,679 | 823,481 |
| 12月 | 900,795 | 21,006 | 352,926 | 1,274,727 | 269,680 | 375,519 | 662,453 | 918,229 |
| 1 月 | 771,835 | 18,689 | 376,017 | 1,166,541 | 270,000 | 379,912 | 661,986 | 995,097 |
| 2 月 | 807,240 | 114,793 | 331,636 | 1,253,669 | 242,260 | 344,505 | 596,741 | 703,271 |
| 3 月 | 867,950 | 139,642 | 357,123 | 1,364,715 | 265,320 | 377,495 | 649,276 | 767,361 |
| 合 計 | 10,507,315 | 1,239,623 | 3,443,284 | 15,190,222 | 3,172,620 | 4,430,445 | 7,831,122 | 10,113,699 |

(単位：m³)

| 水 | | 源 | | 合 計 | 1日平均 | 1日最大 | 1日最小 | 月 別 |
|---------|------------|-------|------------|------------|---------|---------|---------|-----|
| 団 | | 茨 木 市 | 計 | | | | | |
| 春日分岐 | 計 | | | | | | | |
| 83,077 | 2,177,406 | 80 | 2,177,486 | 3,447,744 | 114,925 | 117,379 | 105,337 | 4 |
| 84,555 | 2,212,010 | 105 | 2,212,115 | 3,500,307 | 112,913 | 119,035 | 105,312 | 5 |
| 73,702 | 2,152,355 | 80 | 2,152,435 | 3,406,794 | 113,560 | 117,507 | 104,197 | 6 |
| 75,970 | 2,302,183 | 94 | 2,302,277 | 3,578,080 | 115,422 | 119,741 | 109,420 | 7 |
| 75,320 | 2,218,583 | 80 | 2,218,663 | 3,485,500 | 112,435 | 120,375 | 103,503 | 8 |
| 74,025 | 2,154,281 | 91 | 2,154,372 | 3,385,939 | 112,865 | 116,249 | 107,114 | 9 |
| 74,406 | 2,301,817 | 80 | 2,301,897 | 3,558,503 | 114,790 | 117,701 | 110,547 | 10 |
| 72,245 | 2,163,446 | 97 | 2,163,543 | 3,450,491 | 115,016 | 118,678 | 107,944 | 11 |
| 80,236 | 2,306,117 | 80 | 2,306,197 | 3,580,924 | 115,514 | 117,873 | 112,067 | 12 |
| 80,684 | 2,387,679 | 98 | 2,387,777 | 3,554,318 | 114,655 | 117,571 | 98,726 | 1 |
| 73,712 | 1,960,489 | 80 | 1,960,569 | 3,214,238 | 114,794 | 117,621 | 111,600 | 2 |
| 80,222 | 2,139,674 | 70 | 2,139,744 | 3,504,459 | 113,047 | 115,372 | 104,692 | 3 |
| 928,154 | 26,476,040 | 1,035 | 26,477,075 | 41,667,297 | 114,157 | 120,375 | 98,726 | 計 |

(4) 配水量の内訳



4. 電力使用状況(動力用・庁舎用)

| 施設 月別 | 泉浄水所 | | 片山浄水所 | | 千里山配水場 | |
|----------|-----------|-------------|-----------|------------|---------|-----------|
| | 使用量 | 金額 | 使用量 | 金額 | 使用量 | 金額 |
| 4月 | 508,558 | 7,515,392 | 239,748 | 4,036,361 | 15,070 | 237,940 |
| 5月 | 508,286 | 7,878,072 | 245,470 | 4,290,144 | 15,345 | 252,680 |
| 6月 | 516,959 | 8,084,764 | 236,035 | 4,191,623 | 17,007 | 279,146 |
| 7月 | 528,935 | 8,577,013 | 242,446 | 4,533,272 | 20,224 | 337,858 |
| 8月 | 542,881 | 8,810,003 | 239,865 | 4,491,209 | 20,726 | 345,141 |
| 9月 | 505,263 | 8,405,509 | 229,609 | 4,404,811 | 19,736 | 336,498 |
| 10月 | 523,617 | 9,154,467 | 203,676 | 3,872,290 | 17,346 | 318,625 |
| 11月 | 474,892 | 8,550,032 | 151,972 | 3,145,792 | 15,094 | 290,652 |
| 12月 | 435,030 | 8,096,012 | 312,955 | 6,276,324 | 15,515 | 302,105 |
| 1月 | 396,829 | 7,661,007 | 343,065 | 6,846,503 | 15,824 | 313,025 |
| 2月 | 423,033 | 8,423,958 | 305,606 | 6,484,357 | 14,420 | 302,290 |
| 3月 | 499,781 | 10,029,995 | 334,717 | 7,200,571 | 15,527 | 331,014 |
| 合計 | 5,864,064 | 101,186,224 | 3,085,164 | 59,773,257 | 201,834 | 3,646,974 |
| 月平均 | 488,672 | 8,432,185 | 257,097 | 4,981,105 | 16,820 | 303,915 |

| 施設 月別 | 蓮間配水場 | | 万博調圧場 | | 中継ポンプ場 | |
|----------|---------|-----------|-------|---------|--------|---------|
| | 使用量 | 金額 | 使用量 | 金額 | 使用量 | 金額 |
| 4月 | 9,982 | 146,393 | 729 | 9,741 | 2,196 | 31,833 |
| 5月 | 10,374 | 159,123 | 722 | 9,648 | 2,321 | 34,714 |
| 6月 | 10,922 | 169,007 | 759 | 10,785 | 2,295 | 35,418 |
| 7月 | 11,679 | 187,183 | 915 | 13,002 | 2,604 | 42,504 |
| 8月 | 11,774 | 188,980 | 981 | 13,799 | 4,200 | 65,896 |
| 9月 | 11,023 | 181,200 | 790 | 11,112 | 2,903 | 47,501 |
| 10月 | 11,143 | 195,241 | 808 | 12,662 | 0 | 0 |
| 11月 | 10,631 | 191,150 | 830 | 13,006 | 0 | 0 |
| 12月 | 11,253 | 204,437 | 745 | 12,158 | 0 | 0 |
| 1月 | 11,197 | 207,922 | 988 | 16,124 | 0 | 0 |
| 2月 | 9,900 | 194,850 | 814 | 14,126 | 0 | 0 |
| 3月 | 11,038 | 221,476 | 836 | 14,508 | 0 | 0 |
| 合計 | 130,916 | 2,246,962 | 9,917 | 150,671 | 16,519 | 257,866 |
| 月平均 | 10,910 | 187,247 | 826 | 12,556 | 1,377 | 21,489 |

(単位：kWh・円)

| 佐井寺配水場 | | 山田配水場 | | 津雲配水場 | |
|----------------|------------------|---------------|----------------|----------------|------------------|
| 使用量 | 金額 | 使用量 | 金額 | 使用量 | 金額 |
| 11,731 | 185,412 | 899 | 46,688 | 40,625 | 633,762 |
| 11,778 | 194,523 | 1,088 | 51,404 | 41,947 | 681,705 |
| 11,055 | 185,957 | 1,135 | 53,565 | 41,515 | 681,824 |
| 12,898 | 220,095 | 1,384 | 59,687 | 43,152 | 731,396 |
| 13,769 | 232,952 | 1,769 | 68,730 | 35,442 | 616,009 |
| 12,943 | 224,649 | 1,356 | 59,965 | 4,259 | 150,377 |
| 11,807 | 223,442 | 1,449 | 61,911 | 3,887 | 233,939 |
| 11,559 | 223,727 | 915 | 48,864 | 3,743 | 233,044 |
| 12,471 | 241,558 | 915 | 49,354 | 4,165 | 193,993 |
| 11,936 | 237,990 | 1,161 | 55,249 | 4,337 | 198,388 |
| 11,653 | 242,737 | 934 | 51,194 | 3,996 | 196,051 |
| 11,585 | 249,373 | 875 | 50,345 | 7,133 | 255,357 |
| 145,185 | 2,662,415 | 13,880 | 656,956 | 234,201 | 4,805,845 |
| 12,099 | 221,868 | 1,157 | 54,746 | 19,517 | 400,487 |

| その他 | | 計（動力用） | | 庁舎用 | |
|---------------|----------------|------------------|--------------------|----------------|------------------|
| 使用量 | 金額 | 使用量 | 金額 | 使用量 | 金額 |
| 2,552 | 54,551 | 832,090 | 12,898,073 | 29,579 | 524,262 |
| 2,676 | 58,994 | 840,007 | 13,611,007 | 29,812 | 549,110 |
| 2,412 | 53,866 | 840,094 | 13,745,955 | 37,767 | 676,010 |
| 2,662 | 59,768 | 866,899 | 14,761,778 | 49,235 | 910,599 |
| 2,672 | 59,713 | 874,079 | 14,892,432 | 51,660 | 962,962 |
| 2,461 | 55,886 | 790,343 | 13,877,508 | 40,013 | 782,492 |
| 2,345 | 53,910 | 776,078 | 14,126,487 | 34,325 | 644,585 |
| 2,567 | 59,200 | 672,203 | 12,755,467 | 30,818 | 609,788 |
| 2,428 | 57,043 | 795,477 | 15,432,984 | 42,813 | 782,849 |
| 3,068 | 71,894 | 788,405 | 15,608,102 | 53,041 | 942,432 |
| 2,436 | 59,831 | 772,792 | 15,969,394 | 48,469 | 916,851 |
| 2,285 | 57,469 | 883,777 | 18,410,108 | 38,778 | 799,794 |
| 30,564 | 702,125 | 9,732,244 | 176,089,295 | 486,310 | 9,101,734 |
| 2,547 | 58,510 | 811,020 | 14,674,108 | 40,526 | 758,478 |

金額は「税込み」で記載。

5. 薬品購入状況(令和3年度(2021年度))

(単位: kg)

| 種別等 月別 | 苛性ソーダ | | | ポリ塩化アルミニウム(PAC) | | | 過マンガン酸カリウム | | 次亜塩素酸ソーダ | | | 硫酸 | 活性炭 | 粉末 | 炭酸ガス | |
|-----------|---------|---------|---------|-----------------|--------|---------|------------|---------|----------|---------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| | 泉浄水所 | 片山浄水所 | 計 | 泉浄水所 | 片山浄水所 | 計 | 泉浄水所 | 片山浄水所 | 計 | 泉浄水所 | 片山浄水所 | 計 | 片山浄水所 | 泉浄水所 | 計 | 炭酸ガス |
| 4月 | 7,980 | 14,080 | 22,060 | 20,210 | 2,220 | 22,430 | 0 | 6,020 | 2,010 | 8,030 | 0 | 3,600 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 5月 | 7,960 | 17,840 | 25,800 | 20,030 | 0 | 20,030 | 0 | 12,000 | 1,990 | 13,990 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 6月 | 0 | 17,930 | 17,930 | 20,080 | 2,200 | 22,280 | 0 | 6,020 | 2,030 | 8,050 | 0 | 3,600 | 0 | 1,200 | 1,200 | 1,200 |
| 7月 | 15,970 | 21,350 | 37,320 | 30,040 | 0 | 30,040 | 0 | 12,100 | 4,030 | 16,130 | 0 | 7,200 | 0 | 300 | 300 | 300 |
| 8月 | 8,010 | 17,890 | 25,900 | 20,080 | 2,200 | 22,280 | 400 | 6,000 | 2,010 | 8,010 | 0 | 3,600 | 0 | 450 | 450 | 450 |
| 9月 | 16,030 | 17,770 | 33,800 | 20,190 | 0 | 20,190 | 0 | 12,020 | 2,020 | 14,040 | 0 | 3,600 | 0 | 600 | 600 | 600 |
| 10月 | 16,020 | 7,010 | 23,030 | 20,020 | 2,190 | 22,210 | 0 | 12,050 | 2,020 | 14,070 | 0 | 0 | 0 | 750 | 750 | 750 |
| 11月 | 7,980 | 0 | 7,980 | 20,240 | 0 | 20,240 | 0 | 6,010 | 0 | 6,010 | 0 | 3,600 | 0 | 300 | 300 | 300 |
| 12月 | 15,990 | 0 | 15,990 | 30,210 | 1,010 | 31,220 | 0 | 12,040 | 14,230 | 26,270 | 1,900 | 3,600 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1月 | 7,970 | 0 | 7,970 | 10,050 | 510 | 10,560 | 0 | 9,060 | 10,550 | 19,610 | 4,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2月 | 8,000 | 0 | 8,000 | 20,170 | 0 | 20,170 | 400 | 3,000 | 7,050 | 10,050 | 2,020 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3月 | 8,010 | 0 | 8,010 | 20,090 | 520 | 20,610 | 0 | 12,050 | 10,540 | 22,590 | 4,000 | 7,200 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 119,920 | 113,870 | 233,790 | 251,410 | 10,850 | 262,260 | 800 | 108,370 | 58,480 | 166,850 | 11,920 | 36,000 | 3,600 | 3,600 | 3,600 | 3,600 |
| 月平均 | 9,993 | 9,489 | 19,483 | 20,951 | 904 | 21,855 | 67 | 9,031 | 4,873 | 13,904 | 993 | 3,000 | 300 | 300 | 300 | 300 |
| 日平均 | 329 | 312 | 641 | 689 | 30 | 719 | 2 | 297 | 160 | 457 | 33 | 99 | 10 | 10 | 10 | 10 |

※ 粒状活性炭購入量 96m³

6. 自己水源に対する電力及び薬品使用状況

(税込み)

| 系統別等 | 年度 | 平成29年度 (2017年度) | 1 m ³ 当たり 単価 | 平成30年度 (2018年度) | 1 m ³ 当たり 単価 | 令和元年度 (2019年度) | 1 m ³ 当たり 単価 | 令和2年度 (2020年度) | 1 m ³ 当たり 単価 | 令和3年度 (2021年度) | 1 m ³ 当たり 単価 |
|------|----|---|-------------------------------|---|-------------------------------|--------------------------|-------------------------------|--------------------------|-------------------------------|--------------------------|-------------------------------|
| | | 電力 | 泉 | 使用量 (kWh) 6,246,241 金額 (円) 111,499,236 | 9.13 | 6,012,883 107,702,790 | 9.12 | 6,003,394 106,932,614 | 9.01 | 5,950,174 99,874,504 | 8.36 |
| | 片山 | 使用量 (kWh) 3,174,518 金額 (円) 54,535,096 | 17.15 | 3,079,042 53,555,994 | 17.27 | 2,796,167 48,419,849 | 16.94 | 2,858,728 49,893,512 | 17.59 | 3,085,164 59,773,257 | 17.36 |
| | 合計 | 使用量 (kWh) 9,420,759 金額 (円) 166,034,332 | 10.78 | 9,091,925 161,258,784 | 10.81 | 8,799,561 155,352,463 | 10.55 | 8,808,902 149,768,016 | 10.13 | 8,965,747 161,217,347 | 10.61 |
| 薬品 | 泉 | (円) 16,552,940 | 1.35 | 20,276,750 | 1.72 | 26,030,491 | 2.19 | 22,957,903 | 1.92 | 22,366,023 | 1.90 |
| | 片山 | (円) 4,419,345 | 1.39 | 5,312,619 | 1.71 | 5,774,606 | 2.02 | 6,024,012 | 2.12 | 5,531,378 | 1.61 |
| | 合計 | (円) 20,972,285 | 1.36 | 25,589,369 | 1.72 | 31,805,097 | 2.16 | 28,981,915 | 1.96 | 27,897,401 | 1.84 |
| 水量 | 泉 | (m ³) 12,217,285 | 10.48 | 11,815,240 | 10.83 | 11,867,745 | 11.20 | 11,946,670 | 10.28 | 11,746,938 | 10.54 |
| | 片山 | (m ³) 3,179,910 | 18.54 | 3,101,127 | 18.98 | 2,858,701 | 18.96 | 2,936,132 | 19.72 | 3,443,284 | 18.97 |
| | 合計 | (m ³) 15,397,195 | 12.15 | 14,916,367 | 12.53 | 14,726,446 | 12.71 | 14,882,802 | 12.09 | 15,190,222 | 12.45 |

※中継ポンプ場電力は泉浄水所を含む。

7. 水質検査成績表(令和3年度(2021年度)の最大値)

| 検査項目 | | 単位 | 水質基準値 | 泉 浄 水 所 | | | |
|-----------------|----|------------------------------------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|
| | | | | 取水口原水 | 地下水原水 | 管末水 | |
| 人の健康に影響を与える基準項目 | 1 | 一般細菌 | CFU/mL | 100以下 | 5,000 | 40 | 0 |
| | 2 | 大腸菌 | * | 検出されないこと | - | - | 不検出 |
| | | | MPN/100mL | | 1,100 | <1.8 | - |
| | 3 | カドミウム及びその化合物 | mg/L | 0.003以下 | <0.0003 | <0.0003 | <0.0003 |
| | 4 | 水銀及びその化合物 | mg/L | 0.0005以下 | <0.00005 | <0.00005 | <0.00005 |
| | 5 | セレン及びその化合物 | mg/L | 0.01以下 | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| | 6 | 鉛及びその化合物 | mg/L | 0.01以下 | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| | 7 | ヒ素及びその化合物 | mg/L | 0.01以下 | 0.002 | <0.001 | <0.001 |
| | 8 | 六価クロム化合物 | mg/L | 0.02以下 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| | 9 | 亜硝酸態窒素 | mg/L | 0.04以下 | 0.017 | <0.004 | <0.004 |
| | 10 | シアン化物イオン及び塩化シアン | mg/L | 0.01以下 | <0.001 | <0.001 | 0.001 |
| | 11 | 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 | mg/L | 10以下 | 1.23 | <0.10 | 1.25 |
| | 12 | フッ素及びその化合物 | mg/L | 0.8以下 | 0.12 | 0.13 | 0.12 |
| | 13 | ホウ素及びその化合物 | mg/L | 1.0以下 | 0.02 | 0.03 | 0.02 |
| | 14 | 四塩化炭素 | mg/L | 0.002以下 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 |
| | 15 | 1,4-ジオキササン | mg/L | 0.05以下 | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| | 16 | シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン | mg/L | 0.04以下 | <0.004 | <0.004 | <0.004 |
| | 17 | ジクロロメタン | mg/L | 0.02以下 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| | 18 | テトラクロロエチレン | mg/L | 0.01以下 | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| | 19 | トリクロロエチレン | mg/L | 0.01以下 | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| | 20 | ベンゼン | mg/L | 0.01以下 | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| | 21 | 塩素酸 | mg/L | 0.6以下 | <0.06 | <0.06 | 0.07 |
| | 22 | クロロ酢酸 | mg/L | 0.02以下 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| | 23 | クロロホルム | mg/L | 0.06以下 | <0.001 | <0.001 | 0.003 |
| | 24 | ジクロロ酢酸 | mg/L | 0.03以下 | <0.003 | <0.003 | <0.003 |
| | 25 | ジブromクロロメタン | mg/L | 0.1以下 | <0.001 | <0.001 | 0.006 |
| | 26 | 臭素酸 | mg/L | 0.01以下 | <0.001 | <0.001 | 0.006 |
| | 27 | 総トリハロメタン | mg/L | 0.1以下 | <0.005 | <0.005 | 0.017 |
| | 28 | トリクロロ酢酸 | mg/L | 0.03以下 | <0.003 | <0.003 | <0.003 |
| | 29 | ブromジクロロメタン | mg/L | 0.03以下 | <0.001 | <0.001 | 0.006 |
| | 30 | ブromホルム | mg/L | 0.09以下 | <0.001 | <0.001 | 0.002 |
| | 31 | ホルムアルデヒド | mg/L | 0.08以下 | <0.008 | <0.008 | <0.008 |
| | 32 | 亜鉛及びその化合物 | mg/L | 1.0以下 | 0.01 | <0.01 | <0.01 |
| | 33 | アルミニウム及びその化合物 | mg/L | 0.2以下 | 0.28 | 0.16 | 0.03 |
| | 34 | 鉄及びその化合物 | mg/L | 0.3以下 | 0.37 | 0.44 | 0.01 |
| | 35 | 銅及びその化合物 | mg/L | 1.0以下 | <0.01 | 0.04 | <0.01 |
| | 36 | ナトリウム及びその化合物 | mg/L | 200以下 | 13.2 | 40.5 | 18.6 |
| | 37 | マンガン及びその化合物 | mg/L | 0.05以下 | 0.056 | 0.526 | <0.001 |
| | 38 | 塩化物イオン | mg/L | 200以下 | 16.0 | 32.2 | 18.9 |
| | 39 | カルシウム・マグネシウム等(硬度) | mg/L | 300以下 | 45 | 73 | 48 |
| | 40 | 蒸発残留物 | mg/L | 500以下 | 109 | 218 | 120 |
| | 41 | 陰イオン界面活性剤 | mg/L | 0.2以下 | <0.02 | <0.02 | <0.02 |
| | 42 | ジエオスミン | mg/L | 0.00001以下 | 0.000005 | <0.000001 | <0.000001 |
| | 43 | 2-メチルイソボルネオール | mg/L | 0.00001以下 | 0.000027 | <0.000001 | <0.000001 |
| | 44 | 非イオン界面活性剤 | mg/L | 0.02以下 | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| | 45 | フェノール類 | mg/L | 0.005以下 | <0.0005 | <0.0005 | <0.0005 |
| | 46 | 有機物(全有機炭素(TOC)の量) | mg/L | 3以下 | 2.0 | 0.9 | 0.7 |
| | 47 | pH値 | * | 5.8～8.6 | 6.8～7.5 | 7.7～7.9 | 7.2～7.7 |
| | 48 | 味 | * | 異常でないこと | - | - | 異常なし |
| | 49 | 臭気 | * | 異常でないこと | 厨芥臭 | 硫化水素臭・芳香臭 | 異常なし |
| | 50 | 色度 | 度 | 5以下 | 7.6 | 4.2 | <0.5 |
| 51 | 濁度 | 度 | 2以下 | 5.8 | 0.3 | <0.1 | |

水質基準項目：飲用により、健康を害したり、不快に感じる事があってはならないことから水道法により51項目が定められています。

管末水：各配水区域の末端部における水道水を示します。

| 片山浄水所 | | 佐井寺配水場 | 千里山配水場 | 津雲配水場 | 蓮間配水場 | 山田配水場 | 万博調圧場 | ※千里浄水池 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 地下水原水 | 管末水 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| - | 不検出 |
| <1.8 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <0.0003 | <0.0003 | <0.0003 | <0.0003 | <0.0003 | <0.0003 | <0.0003 | <0.0003 | <0.0003 |
| <0.00005 | <0.00005 | <0.00005 | <0.00005 | <0.00005 | <0.00005 | <0.00005 | <0.00005 | <0.00005 |
| <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | 0.001 | 0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 |
| <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| 0.58 | 0.89 | 1.29 | 1.24 | 1.21 | 1.16 | 1.21 | 1.19 | 1.20 |
| 0.13 | 0.14 | 0.11 | 0.12 | 0.12 | 0.11 | 0.12 | 0.12 | 0.11 |
| 0.01 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 |
| <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 |
| <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 |
| <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| <0.06 | 0.08 | 0.09 | 0.10 | 0.10 | 0.10 | 0.10 | 0.09 | 0.10 |
| <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| <0.001 | 0.003 | 0.006 | 0.006 | 0.009 | 0.009 | 0.005 | 0.004 | 0.004 |
| <0.003 | <0.003 | 0.004 | 0.004 | 0.005 | 0.005 | 0.004 | 0.003 | <0.003 |
| <0.001 | 0.005 | 0.009 | 0.010 | 0.016 | 0.010 | 0.010 | 0.008 | 0.007 |
| <0.001 | 0.003 | 0.005 | 0.004 | 0.007 | 0.002 | 0.008 | 0.004 | 0.007 |
| <0.005 | 0.015 | 0.026 | 0.027 | 0.043 | 0.032 | 0.028 | 0.021 | 0.019 |
| <0.003 | <0.003 | <0.003 | <0.003 | <0.003 | <0.003 | <0.003 | <0.003 | <0.003 |
| <0.001 | 0.005 | 0.009 | 0.009 | 0.015 | 0.012 | 0.009 | 0.007 | 0.007 |
| <0.001 | 0.002 | 0.002 | 0.002 | 0.003 | 0.002 | 0.004 | 0.002 | 0.001 |
| <0.008 | <0.008 | <0.008 | <0.008 | <0.008 | <0.008 | <0.008 | <0.008 | <0.008 |
| <0.01 | <0.01 | 0.03 | <0.01 | 0.02 | 0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 |
| 0.02 | 0.02 | 0.03 | 0.03 | 0.03 | 0.02 | 0.03 | 0.04 | 0.03 |
| 4.01 | 0.02 | <0.01 | <0.01 | 0.02 | 0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 |
| <0.01 | <0.01 | 0.07 | <0.01 | 0.04 | 0.04 | <0.01 | 0.02 | <0.01 |
| 17.9 | 20.0 | 15.7 | 16.2 | 16.3 | 17.7 | 15.8 | 15.0 | 15.0 |
| 0.386 | 0.002 | <0.001 | 0.001 | 0.001 | 0.006 | 0.001 | 0.001 | 0.001 |
| 16.8 | 15.3 | 20.1 | 18.2 | 18.4 | 19.3 | 18.4 | 19.0 | 19.8 |
| 54 | 49 | 45 | 46 | 46 | 46 | 46 | 46 | 46 |
| 163 | 160 | 131 | 113 | 116 | 122 | 119 | 113 | 116 |
| <0.02 | <0.02 | <0.02 | <0.02 | <0.02 | <0.02 | <0.02 | <0.02 | <0.02 |
| <0.000001 | <0.000001 | <0.000001 | <0.000001 | <0.000001 | <0.000001 | <0.000001 | <0.000001 | <0.000001 |
| <0.000001 | <0.000001 | <0.000001 | <0.000001 | <0.000001 | <0.000001 | <0.000001 | <0.000001 | <0.000001 |
| <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| <0.0005 | <0.0005 | <0.0005 | <0.0005 | <0.0005 | <0.0005 | <0.0005 | <0.0005 | <0.0005 |
| 0.5 | 0.7 | 0.9 | 0.9 | 1.1 | 0.8 | 0.9 | 0.8 | 0.9 |
| 6.5~6.7 | 7.1~7.5 | 7.2~7.4 | 7.1~7.4 | 7.1~7.3 | 7.1~7.2 | 7.2~7.4 | 7.1~7.3 | 7.1~7.4 |
| - | 異常なし |
| 金気臭 | 異常なし |
| 39 | <0.5 | <0.5 | <0.5 | <0.5 | <0.5 | <0.5 | <0.5 | <0.5 |
| 14 | 0.1 | <0.1 | <0.1 | <0.1 | 0.1 | <0.1 | <0.1 | <0.1 |

備考:水質基準値は水道水に適用され、原水には適用されません。

*印の項目には単位はありません。なお、表中の“-”は未測定を示します。

※印の千里浄水池は大阪広域水道企業団の施設です。

| 検 査 項 目 | | 単 位 | 目 標 値 (指針値) | 泉 淨 水 所 | | | |
|--|----|--|----------------|-------------|----------|-----------|----------|
| | | | | 取水口原水 | 地下水原水 | 管末水 | |
| 水 質 管 理 目 標 設 定 項 目 | 1 | アンチモン及びその化合物 | mg/L | 0.02以下 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| | 2 | ウラン及びその化合物 | mg/L | 0.002以下(暫定) | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 |
| | 3 | ニッケル及びその化合物 | mg/L | 0.02以下 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| | 4 | 1,2 - ジクロロエタン | mg/L | 0.004以下 | <0.0004 | <0.0004 | <0.0004 |
| | 5 | トルエン | mg/L | 0.4以下 | <0.04 | <0.04 | <0.04 |
| | 6 | フタル酸ジ(2-エチルヘキシル) | mg/L | 0.08以下 | <0.008 | <0.008 | <0.008 |
| | 7 | 注1 亜塩素酸 | mg/L | 0.6以下 | - | - | - |
| | 8 | 注1 二酸化塩素 | mg/L | 0.6以下 | - | - | - |
| | 9 | ジクロロアセトニトリル | mg/L | 0.01以下(暫定) | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| | 10 | 抱水クロラール | mg/L | 0.02以下(暫定) | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| | 11 | 注2 農薬類 | * | 1以下 | 0.02 | 0.00 | 注3 0.00 |
| | 12 | 残留塩素 | mg/L | 1以下 | - | - | 0.73 |
| | 13 | カルシウム・マグネシウム等(硬度) | mg/L | 10～100 | 37～45 | 62～73 | 39～48 |
| | 14 | マンガン及びその化合物 | mg/L | 0.01以下 | 0.056 | 0.526 | <0.001 |
| | 15 | 遊離炭酸 | mg/L | 20以下 | 4.0 | 4.4 | 3.1 |
| | 16 | 1,1,1 - トリクロロエタン | mg/L | 0.3以下 | <0.03 | <0.03 | <0.03 |
| | 17 | メチル-t-ブチルエーテル | mg/L | 0.02以下 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| | 18 | 有機物等(過マンガン酸カリウム消費量) | mg/L | 3以下 | 6.4 | 2.4 | 1.4 |
| | 19 | 臭気強度(TON) | * | 3以下 | 20 | 50 | 1 |
| | 20 | 蒸発残留物 | mg/L | 30～200 | 109 | 218 | 120 |
| | 21 | 濁度 | 度 | 1以下 | 5.8 | 0.3 | <0.1 |
| | 22 | pH値 | * | 7.5程度 | 6.8～7.5 | 7.7～7.9 | 7.2～7.7 |
| | 23 | 腐食性(ランゲリア指数) | * | -1～0 | -1.22 | -0.18 | -1.08 |
| | 24 | 従属栄養細菌 | CFU/1mL | 2000以下(暫定) | 21,000 | 340 | 0 |
| | 25 | 1,1 - ジクロロエチレン | mg/L | 0.1以下 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| | 26 | アルミニウム及びその化合物 | mg/L | 0.1以下 | 0.28 | 0.16 | 0.03 |
| | 27 | ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA) | mg/L | 0.00005以下 | 0.000016 | <0.000005 | 0.000009 |
| 要 検 討 項 目 | 1 | 銀 | mg/L | | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| | 2 | バリウム | mg/L | 0.7以下 | <0.07 | 0.08 | <0.07 |
| | 3 | ビスマス | mg/L | | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| | 4 | モリブデン | mg/L | 0.07以下 | <0.007 | <0.007 | <0.007 |
| | 5 | 塩化ビニル | mg/L | 0.002以下 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 |
| | 6 | スチレン | mg/L | 0.02以下 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| | 7 | ダイオキシン類 | pg-TEQ/L | 1以下(暫定) | 0.1 | - | 注4 <0.1 |
| | 8 | ノニルフェノール | mg/L | 0.3以下(暫定) | <0.03 | <0.03 | <0.03 |
| | 9 | ビスフェノールA | mg/L | 0.1以下(暫定) | <0.01 | <0.01 | <0.01 |
| | 10 | フタル酸ジ(n-ブチル) | mg/L | 0.01以下 | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| | 11 | フタル酸ブチルベンジル | mg/L | 0.5以下 | <0.05 | <0.05 | <0.05 |
| | 12 | ブロモクロロ酢酸 | mg/L | | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| | 13 | ブロモジクロロ酢酸 | mg/L | | <0.01 | <0.01 | <0.01 |
| | 14 | ジブロモクロロ酢酸 | mg/L | | <0.01 | <0.01 | <0.01 |
| | 15 | ブロモ酢酸 | mg/L | | <0.002 | <0.002 | <0.002 |

水質管理目標設定項目：水道水の安全性の確保に万全を期するため、水質管理上留意すべき項目で27項目が定められています。

要検討項目：毒性評価が定まらない、浄水中の存在量が不明等の理由から知見の収集に努めていく項目として46項目が定められており、本市ではこのうち23項目の検査を実施しています。

| 片山浄水所 | | 佐井寺配水場 | 千里山配水場 | 津雲配水場 | 蓮間配水場 | 山田配水場 | 万博調圧場 | ※千里浄水池 | |
|----------|----------|---------|---------|----------|----------|---------|---------|---------|---------|
| 地下水原水 | 管末水 | 管末水 | 管末水 | 管末水 | 管末水 | 管末水 | 管末水 | 管末水 | 管末水 |
| <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 |
| <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| <0.0004 | <0.0004 | <0.0004 | <0.0004 | <0.0004 | <0.0004 | <0.0004 | <0.0004 | <0.0004 | <0.0004 |
| <0.04 | <0.04 | <0.04 | <0.04 | <0.04 | <0.04 | <0.04 | <0.04 | <0.04 | <0.04 |
| <0.008 | <0.008 | <0.008 | <0.008 | <0.008 | <0.008 | <0.008 | <0.008 | <0.008 | <0.008 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| 0.00 | 注3 0.00 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | 0.59 | 0.70 | 0.67 | 0.63 | 0.66 | 0.81 | 0.84 | 0.82 | 0.82 |
| 50~54 | 44~49 | 38~45 | 39~46 | 37~46 | 38~46 | 37~46 | 38~46 | 39~46 | 39~46 |
| 0.386 | 0.002 | <0.001 | 0.001 | 0.001 | 0.006 | 0.001 | 0.001 | 0.001 | 0.001 |
| 33.4 | 4.4 | 3.1 | 3.5 | 4.0 | 4.4 | 3.1 | 3.5 | 3.5 | 3.5 |
| <0.03 | <0.03 | <0.03 | <0.03 | <0.03 | <0.03 | <0.03 | <0.03 | <0.03 | <0.03 |
| <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| 2.5 | 1.0 | 1.5 | 1.5 | 1.4 | 1.7 | 1.6 | 1.5 | 1.6 | 1.6 |
| 100 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 163 | 160 | 131 | 113 | 116 | 122 | 119 | 113 | 116 | 116 |
| 14 | 0.1 | <0.1 | <0.1 | <0.1 | 0.1 | <0.1 | <0.1 | <0.1 | <0.1 |
| 6.5~6.7 | 7.1~7.5 | 7.2~7.4 | 7.1~7.4 | 7.1~7.3 | 7.1~7.2 | 7.2~7.4 | 7.1~7.3 | 7.1~7.4 | 7.1~7.4 |
| -1.89 | -1.01 | -1.43 | -1.48 | -1.50 | -1.49 | -1.48 | -1.55 | -1.54 | -1.54 |
| 55 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| 0.02 | 0.02 | 0.03 | 0.03 | 0.03 | 0.02 | 0.03 | 0.04 | 0.03 | 0.03 |
| 0.000008 | 0.000010 | - | - | 0.000011 | 0.000011 | - | - | - | - |
| <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| 0.09 | <0.07 | <0.07 | <0.07 | <0.07 | <0.07 | <0.07 | <0.07 | <0.07 | <0.07 |
| <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| <0.007 | <0.007 | <0.007 | <0.007 | <0.007 | <0.007 | <0.007 | <0.007 | <0.007 | <0.007 |
| <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 |
| <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <0.03 | <0.03 | <0.03 | <0.03 | <0.03 | <0.03 | <0.03 | <0.03 | <0.03 | <0.03 |
| <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 |
| <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| <0.05 | <0.05 | <0.05 | <0.05 | <0.05 | <0.05 | <0.05 | <0.05 | <0.05 | <0.05 |
| <0.002 | <0.002 | 0.004 | 0.002 | 0.002 | 0.002 | 0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 |
| <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 |
| <0.002 | <0.002 | 0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |

備考: 目標値(指針値)は水道水に適用され、原水には適用されません。

*印の項目には単位はありません。なお、表中の“-”は未測定を示します。

※印の千里浄水池は大阪広域水道企業団の施設です。

注1 本市では浄水処理において二酸化塩素を使用していないため「亜塩素酸」及び「二酸化塩素」の2項目は測定していません。

注2 農薬類の目標値については、農薬毎の目標値と測定値の比をそれぞれ算出し、その総和が1以下であることとなっています。

農薬類はチウラム、シマジンなど114種類が定められています。

注3 農薬類は、泉浄水所浄水(出口水)及び片山浄水所浄水(出口水)を検査しています。

注4 ダイオキシン類は、泉浄水所浄水(出口水)を検査しています。

| 検 査 項 目 | | 単 位 | 目 標 値 (指針値) | 泉 淨 水 所 | | |
|--------------------------------------|----|--------------------|----------------------------|----------|-----------|----------|
| | | | | 取水口原水 | 地下水原水 | 管末水 |
| 要 検 討 項 目 | 16 | ジブロモ酢酸 | mg/L | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| | 17 | トリブロモ酢酸 | mg/L | <0.02 | <0.02 | <0.02 |
| | 18 | トリクロロアセトニトリル | mg/L | <0.004 | <0.004 | <0.004 |
| | 19 | ブロモクロロアセトニトリル | mg/L | <0.003 | <0.003 | <0.003 |
| | 20 | ジブロモアセトニトリル | mg/L | 0.06以下 | <0.002 | <0.002 |
| | 21 | アセトアルデヒド | mg/L | <0.004 | <0.004 | <0.004 |
| | 22 | キシレン | mg/L | 0.4以下 | <0.04 | <0.04 |
| | 23 | N-ニトロジメチルアミン(NDMA) | mg/L | 0.0001以下 | 0.0000004 | - |
| 吹 田 市 独 自 の 項 目 | 1 | フタル酸エステル類 | mg/L | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| | 2 | アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル | mg/L | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| | 3 | アルキルフェノール類 | mg/L | <0.0001 | <0.0001 | <0.0001 |
| | 4 | クロロアセトニトリル | mg/L | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| | 5 | ブロモアセトニトリル | mg/L | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| | 6 | 1,2-ジクロロプロパン | mg/L | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 |
| | 7 | p-ジクロロベンゼン | mg/L | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 |
| | 8 | 注1 放射性物質(全ベータ線) | Bq/L | 検出せず | - | 注3 検出せず |
| | 9 | 注2 放射性セシウム | Bq/L | 検出せず | - | 注3 検出せず |
| | 10 | クリプトスポリジウム | 浄水20L/オーシスト 原水10L/オーシスト | - | - | 注3 0 |
| | 11 | ジアルジア | 浄水20L/シスト 原水10L/シスト | 0 | - | 注3 0 |
| | 12 | 大腸菌群 | MPN/100mL | 9,200 | <1.8 | 不検出 |
| | 13 | 嫌気性芽胞菌 | CFU/100mL | - | 0 | 注4 0 |
| | 14 | 硝酸態窒素 | mg/L | 1.223 | <0.100 | 1.250 |
| | 15 | 硫酸イオン | mg/L | 15.0 | <1.0 | 16.2 |
| | 16 | 臭化イオン | mg/L | 0.05 | 0.07 | 0.02 |
| | 17 | 溶性ケイ酸 | mg/L | 9.0 | 43.6 | 11.8 |
| | 18 | カルシウムイオン | mg/L | 14.0 | 18.7 | 14.6 |
| | 19 | マグネシウムイオン | mg/L | 2.5 | 6.2 | 2.9 |
| | 20 | カリウム | mg/L | 2.9 | 1.7 | 3.4 |
| | 21 | アンモニア態窒素 | mg/L | 0.22 | 0.43 | <0.01 |
| | 22 | クロラミン類 | mg/L | - | - | 0.07 |
| | 23 | 酸度 | mg/L | 4.5 | 5.0 | 3.5 |
| | 24 | アルカリ度 | mg/L | 36.7 | 121 | 46.3 |
| | 25 | 電気伝導率 | μs/cm | 167 | 304 | 196 |
| | 26 | トリハロメタン生成能 | mg/L | 0.051 | 0.017 | - |
| | 27 | 生物化学的酸素要求量(BOD) | mg/L | 2.3 | - | - |
| | 28 | 化学的酸素要求量(COD) | mg/L | 3.6 | - | - |
| | 29 | 浮遊物質(SS) | mg/L | 10.3 | 4.3 | - |
| | 30 | 全窒素 | mg/L | 1.34 | <0.5 | - |
| | 31 | 全りん | mg/L | 0.13 | 0.13 | - |
| | 32 | 溶存酸素 | mg/L | 11.5 | - | - |
| | 33 | 透視度 | cm | 82 | - | - |
| | 34 | 水温 | ℃ | 6.9~29.5 | 25.0~28.1 | 9.5~30.1 |

吹田市独自の項目：河川や地下水の状況や浄水の性状を確認するため、本市独自で定めた34項目について、検査を実施しています。

| 片山浄水所 | | 佐井寺配水場 | 千里山配水場 | 津雲配水場 | 蓮間配水場 | 山田配水場 | 万博調圧場 | ※千里浄水池 |
|-----------------|------------|----------|----------|------------|------------|----------|----------|----------|
| 地下水原水 | 管末水 | 管末水 | 管末水 | 管末水 | 管末水 | 管末水 | 管末水 | 管末水 |
| <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| <0.02 | <0.02 | <0.02 | <0.02 | <0.02 | <0.02 | <0.02 | <0.02 | <0.02 |
| <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 |
| <0.003 | <0.003 | <0.003 | <0.003 | <0.003 | <0.003 | <0.003 | <0.003 | <0.003 |
| <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 | <0.004 |
| <0.04 | <0.04 | <0.04 | <0.04 | <0.04 | <0.04 | <0.04 | <0.04 | <0.04 |
| - | <0.0000004 | - | - | <0.0000004 | <0.0000004 | - | - | - |
| <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 | <0.001 |
| <0.0001 | <0.0001 | <0.0001 | <0.0001 | <0.0001 | <0.0001 | <0.0001 | <0.0001 | <0.0001 |
| <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 | <0.002 |
| <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 |
| <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 | <0.0002 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <1.8 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 不検出 | 不検出 |
| 0 ^{注4} | 0 | - | - | - | - | - | - | - |
| 0.567 | 0.893 | 1.287 | 1.240 | 1.208 | 1.164 | 1.213 | 1.192 | 1.202 |
| 16.4 | 19.7 | 18.7 | 16.5 | 17.1 | 20.4 | 18.7 | 15.5 | 15.7 |
| 0.03 | 0.01 | 0.01 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 |
| 47.8 | 29.7 | 7.0 | 8.4 | 8.3 | 8.5 | 8.3 | 8.1 | 7.7 |
| 12.7 | 13.4 | 14.1 | 14.5 | 14.6 | 14.6 | 14.6 | 14.6 | 14.6 |
| 5.3 | 4.0 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 |
| 1.7 | 2.4 | 2.8 | 2.8 | 2.9 | 2.8 | 2.8 | 2.9 | 2.9 |
| 0.04 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 |
| - | 0.05 | 0.07 | 0.09 | 0.07 | 0.08 | 0.07 | 0.09 | 0.07 |
| 38.0 | 5.0 | 3.5 | 4.0 | 4.5 | 5.0 | 3.5 | 4.0 | 4.0 |
| 64.9 | 56.1 | 43.3 | 34.9 | 34.7 | 35.2 | 34.0 | 35.4 | 34.8 |
| 193 | 193 | 180 | 183 | 183 | 186 | 182 | 179 | 181 |
| <0.005 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 6.5 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 0.65 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| <0.10 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 15.1~20.2 | 11.5~29.2 | 9.3~28.5 | 8.8~29.9 | 7.9~28.5 | 9.7~29.9 | 9.3~29.7 | 7.2~28.6 | 8.1~29.0 |

備考: 目標値(指針値)は水道水に適用され、原水には適用されません。表中の“-”は未測定を示します。

※印の千里浄水池は大阪広域水道企業団の施設です。

注1 全ペータ線は、水1L当たり1Bqを超えた場合には、世界保健機構(WHO)の飲料水水質ガイドラインに沿って放射性ヨウ素、放射性セシウムなどの各種分析を行うこととなっています。

注2 食品衛生法により水道水中の放射性セシウムの管理目標値は10Bq/L以下となっています。

注3 放射性物質、クリプトスポリジウム及びジアルジアは、泉浄水所浄水(出口水)を検査しています。

注4 嫌気性芽胞菌は、泉浄水所浄水(出口水)及び片山浄水所浄水(出口水)を検査しています。

第5章 営業・給水

1. 営業業務状況
 - (1) 検針状況
 - (2) 督促状況
 - (3) 減免状況
 - (4) 受付状況
 - (5) 請求状況
 - (6) 収納状況
2. メーター取付、取替状況
3. 区分別段階別給水状況
4. 給水業務状況
 - (1) 加入金収入状況
 - (2) 各種手数料収入状況
 - (3) 給水工事施工状況
 - (4) 配給水装置修繕状況
5. 漏水防止対策状況
 - (1) 漏水防止作業年度別内訳表
 - (2) 漏水調査状況
 - (3) 漏水調査による修理件数及び漏水量分析表
 - (4) 公道下・宅地内別比率表
 - (5) 配・給水管別比率表
6. 配水量分析状況
 - (1) 配水量年度別内訳表
 - (2) 配水量分析表

1. 営業業務状況（令和3年度(2021年度)）

(1) 検針状況

（単位：件）

| 区分 月分 | 検針対象 | 検針実施 | 検針不能 |
|----------|-----------|-----------|-------|
| 4 | 93,502 | 93,117 | 385 |
| 5 | 76,912 | 76,414 | 498 |
| 6 | 93,708 | 93,381 | 327 |
| 7 | 77,033 | 76,753 | 280 |
| 8 | 93,882 | 93,398 | 484 |
| 9 | 77,065 | 76,821 | 244 |
| 10 | 94,194 | 93,606 | 588 |
| 11 | 77,231 | 76,956 | 275 |
| 12 | 94,183 | 93,798 | 385 |
| 1 | 77,857 | 77,532 | 325 |
| 2 | 94,360 | 93,800 | 560 |
| 3 | 78,183 | 77,945 | 238 |
| 合計 | 1,028,110 | 1,023,521 | 4,589 |

(2) 督促状況

| 区分 月分 | 調定件数 | 督促状発行 | | 停水処分 通知発行 件数 |
|----------|---------|--------|-----------|--------------------|
| | | 件数 | 対調定 比率 | |
| | 件 | 件 | % | 件 |
| 4 | 87,774 | 2,882 | 3.28 | 280 |
| 5 | 72,163 | 3,718 | 5.15 | 231 |
| 6 | 88,121 | 3,152 | 3.58 | 294 |
| 7 | 72,245 | 3,281 | 4.54 | 271 |
| 8 | 88,238 | 2,958 | 3.35 | 304 |
| 9 | 72,449 | 3,568 | 4.92 | 242 |
| 10 | 88,214 | 3,143 | 3.56 | 317 |
| 11 | 72,873 | 3,668 | 5.03 | 279 |
| 12 | 88,383 | 2,960 | 3.35 | 289 |
| 1 | 72,453 | 3,291 | 4.54 | 255 |
| 2 | 88,526 | 3,144 | 3.55 | 276 |
| 3 | 74,636 | 3,835 | 5.14 | 277 |
| 合計 | 966,075 | 39,600 | 4.10 | 3,315 |

(3) 減免状況

| 口径別減免状況（年間）※ | | |
|--------------|-----|----------------|
| 区分 口径 | 件数 | 減免量 |
| | 件 | m ³ |
| 13mm | 69 | 5,839 |
| 20mm | 383 | 16,613 |
| 25mm | 173 | 13,335 |
| 30mm | 4 | 583 |
| 40mm | 43 | 17,571 |
| 50mm | 25 | 8,314 |
| 75mm | 11 | 1,646 |
| 100mm | 10 | 4,528 |
| 150mm | 4 | 4,949 |
| 200mm | 0 | 0 |
| 250mm | 0 | 0 |
| 合計 | 722 | 73,378 |

※集合住宅等の戸数計算が適用される水栓は、親メーターの口径で件数及び減免量を計上しています。

※公衆浴場及び臨時を含めて口径別で表しています。

(4) 受付状況

(単位：件)

| 区分 月分 | 一 般 ・ 公 衆 浴 場 | | | | | 臨 時 | | |
|----------|---------------|--------|--------|--------|------------|-----|-----|-----|
| | 開 栓 | | | 閉 栓 | 名 義 変 更 | 開 栓 | 閉 栓 | 計 |
| | 新 設 | 既 設 | 計 | | | | | |
| 4 | 566 | 1,896 | 2,462 | 1,823 | 261 | 27 | 32 | 59 |
| 5 | 269 | 1,387 | 1,656 | 1,456 | 227 | 28 | 26 | 54 |
| 6 | 318 | 1,508 | 1,826 | 1,601 | 219 | 40 | 26 | 66 |
| 7 | 288 | 1,205 | 1,493 | 1,343 | 152 | 17 | 20 | 37 |
| 8 | 194 | 1,352 | 1,546 | 1,432 | 222 | 23 | 22 | 45 |
| 9 | 263 | 1,205 | 1,468 | 1,515 | 193 | 15 | 18 | 33 |
| 10 | 220 | 1,394 | 1,614 | 1,433 | 228 | 14 | 23 | 37 |
| 11 | 362 | 1,193 | 1,555 | 1,664 | 239 | 16 | 34 | 50 |
| 12 | 179 | 1,230 | 1,409 | 1,401 | 232 | 16 | 24 | 40 |
| 1 | 261 | 1,199 | 1,460 | 1,365 | 228 | 24 | 27 | 51 |
| 2 | 235 | 1,695 | 1,930 | 2,006 | 283 | 21 | 23 | 44 |
| 3 | 544 | 2,765 | 3,309 | 3,702 | 351 | 27 | 43 | 70 |
| 合 計 | 3,699 | 18,029 | 21,728 | 20,741 | 2,835 | 268 | 318 | 586 |

(5) 請求状況

(単位：件・%)

| 区分 請求月 | 定 期 分 請 求 状 況 | | |
|------------|--------------------|--------------------|---------------------|
| | 口座振替 (率) | 納付書 | 計 |
| 4 | 68,218 (80.13) | 16,917 | 85,135 |
| 5 | 58,450 (83.16) | 11,834 | 70,284 |
| 6 | 69,143 (80.78) | 16,451 | 85,594 |
| 7 | 59,064 (83.58) | 11,604 | 70,668 |
| 8 | 69,439 (80.88) | 16,419 | 85,858 |
| 9 | 59,097 (83.60) | 11,597 | 70,694 |
| 10 | 69,595 (81.01) | 16,318 | 85,913 |
| 11 | 59,262 (83.63) | 11,602 | 70,864 |
| 12 | 69,792 (81.10) | 16,260 | 86,052 |
| 1 | 59,234 (83.54) | 11,675 | 70,909 |
| 2 | 69,590 (81.03) | 16,291 | 85,881 |
| 3 | 59,533 (83.65) | 11,637 | 71,170 |
| 合 計 (率) | 770,417 (82.04) | 168,605 (17.96) | 939,022 (100.00) |

(6) 収納状況

(単位：件・%)

| 区分 収納月 | 収 納 状 況 | | | | |
|------------|--------------------|------------------|--------------------|------------------|---------------------|
| | 口座振替 (率) | 納 付 書 | | | 計 |
| | | 金融機関 | コンビニ | スマホ 決済 | |
| 4 | 59,246 (80.64) | 3,351 | 10,147 | 724 | 73,468 |
| 5 | 69,044 (79.33) | 3,112 | 13,657 | 1,220 | 87,033 |
| 6 | 58,648 (80.02) | 3,358 | 10,320 | 968 | 73,294 |
| 7 | 69,954 (79.92) | 3,161 | 13,090 | 1,328 | 87,533 |
| 8 | 59,268 (80.93) | 3,159 | 9,841 | 966 | 73,234 |
| 9 | 70,146 (80.30) | 3,022 | 12,727 | 1,458 | 87,353 |
| 10 | 59,353 (80.78) | 3,364 | 9,688 | 1,069 | 73,474 |
| 11 | 70,397 (80.27) | 3,050 | 12,659 | 1,595 | 87,701 |
| 12 | 59,504 (80.33) | 3,747 | 9,631 | 1,193 | 74,075 |
| 1 | 70,577 (80.45) | 2,678 | 12,671 | 1,807 | 87,733 |
| 2 | 59,470 (82.67) | 1,808 | 9,341 | 1,317 | 71,936 |
| 3 | 70,791 (79.16) | 4,374 | 12,359 | 1,909 | 89,433 |
| 合 計 (率) | 776,398 (80.35) | 38,184 (3.95) | 136,131 (14.09) | 15,554 (1.61) | 966,267 (100.00) |

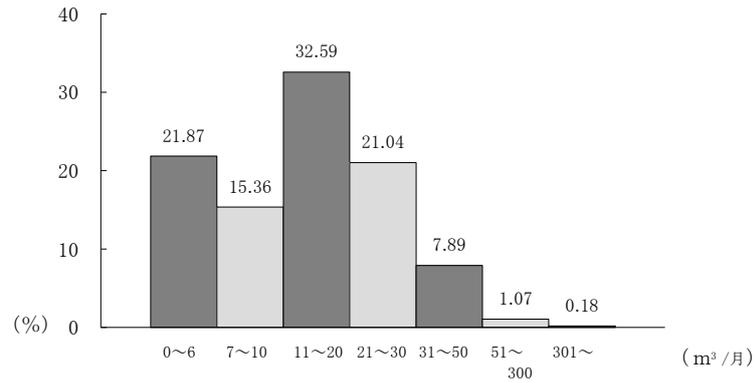
2. メータ一取付、取替状況(令和3年度(2021年度))

(単位：件)

| 口径 月別 | 13mm | | 20mm | | 25mm | | 30mm | | 40mm | | 50mm | | 75mm | | 100mm | | 150mm | | 200mm | | 250mm | | 計 | | |
|----------|------|-----|-------|--------|------|-------|------|----|------|-----|------|----|------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|----|-------|--------|
| | 取付 | 取替 | 取付 | 取替 | 取付 | 取替 | 取付 | 取替 | 取付 | 取替 | 取付 | 取替 | 取付 | 取替 | 取付 | 取替 | 取付 | 取替 | 取付 | 取替 | 取付 | 取替 | 取付 | 取替 | |
| 4月 | 2 | 188 | 319 | 1,425 | 14 | 40 | 1 | 1 | 2 | 15 | 1 | 7 | 1 | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 340 | 1,681 |
| 5月 | 1 | 12 | 264 | 1,628 | 3 | 43 | 1 | 0 | 1 | 16 | 0 | 6 | 0 | 6 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 270 | 1,712 |
| 6月 | 1 | 77 | 227 | 1,264 | 5 | 132 | 0 | 4 | 1 | 18 | 0 | 12 | 0 | 4 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 234 | 1,514 |
| 7月 | 0 | 86 | 123 | 1,221 | 7 | 300 | 0 | 2 | 0 | 23 | 0 | 8 | 0 | 5 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 130 | 1,646 |
| 8月 | 1 | 39 | 149 | 1,089 | 6 | 252 | 0 | 2 | 0 | 8 | 0 | 6 | 0 | 3 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 156 | 1,404 |
| 9月 | 1 | 14 | 395 | 1,445 | 7 | 141 | 0 | 8 | 1 | 14 | 0 | 10 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 404 | 1,634 |
| 10月 | 0 | 15 | 186 | 1,498 | 5 | 172 | 0 | 2 | 0 | 18 | 0 | 6 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 191 | 1,713 |
| 11月 | 0 | 3 | 232 | 1,583 | 4 | 176 | 0 | 7 | 2 | 13 | 3 | 2 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 241 | 1,788 |
| 12月 | 2 | 54 | 322 | 1,110 | 2 | 142 | 0 | 5 | 2 | 8 | 0 | 6 | 0 | 9 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 328 | 1,335 |
| 1月 | 0 | 92 | 490 | 1,039 | 4 | 194 | 1 | 1 | 2 | 20 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 497 | 1,354 |
| 2月 | 1 | 40 | 585 | 1,060 | 9 | 291 | 1 | 2 | 1 | 13 | 0 | 8 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 597 | 1,418 |
| 3月 | 1 | 38 | 520 | 1,317 | 15 | 241 | 1 | 12 | 3 | 10 | 0 | 12 | 0 | 7 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 540 | 1,638 |
| 合計 | 10 | 658 | 3,812 | 15,679 | 81 | 2,124 | 5 | 46 | 15 | 176 | 4 | 87 | 1 | 48 | 0 | 17 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,928 | 18,837 |

3. 区分別段階別給水状況（令和3年度(2021年度)）

（件数構成）



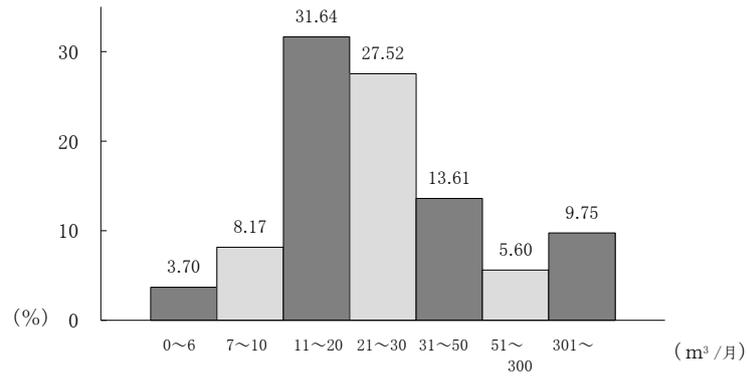
（単位：件・%）

| 段階 区分・口径 | 0~6 m³/月 | | 7~10 m³/月 | | 11~20 m³/月 | | 21~30 m³/月 | |
|-------------|----------|-------|-----------|-------|------------|-------|------------|-------|
| | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 |
| 13mm | 20,047 | 35.15 | 9,263 | 16.24 | 16,541 | 29.01 | 7,473 | 13.10 |
| 20mm | 470,808 | 21.83 | 340,350 | 15.78 | 716,543 | 33.23 | 458,529 | 21.27 |
| 25mm | 28,999 | 18.50 | 16,657 | 10.63 | 44,490 | 28.39 | 35,924 | 22.92 |
| 30mm | 659 | 22.17 | 216 | 7.27 | 616 | 20.73 | 347 | 11.68 |
| 40mm | 1,649 | 14.67 | 706 | 6.28 | 1,519 | 13.51 | 1,134 | 10.09 |
| 50mm | 175 | 4.52 | 83 | 2.15 | 179 | 4.63 | 165 | 4.27 |
| 75mm | 98 | 3.99 | 29 | 1.18 | 40 | 1.63 | 69 | 2.81 |
| 100mm | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 21 | 2.61 | 2 | 0.25 |
| 150mm | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 200mm | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 250mm | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 公衆浴場 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 臨時 | 1,124 | 40.70 | 371 | 13.43 | 395 | 14.30 | 252 | 9.12 |
| 合計 | 523,559 | 21.87 | 367,675 | 15.36 | 780,344 | 32.59 | 503,895 | 21.04 |

| 段階 区分・口径 | 31~50 m³/月 | | 51~300 m³/月 | | 301 m³/月～ | | 計 |
|-------------|------------|-------|-------------|-------|-----------|--------|-----------|
| | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | 件数 | 構成比 | |
| 13mm | 3,333 | 5.84 | 367 | 0.64 | 2 | 0.00 | 57,026 |
| 20mm | 159,586 | 7.40 | 10,323 | 0.48 | 101 | 0.00 | 2,156,240 |
| 25mm | 23,452 | 14.96 | 7,100 | 4.53 | 104 | 0.07 | 156,726 |
| 30mm | 407 | 13.69 | 620 | 20.86 | 107 | 3.60 | 2,972 |
| 40mm | 1,539 | 13.69 | 3,836 | 34.12 | 861 | 7.66 | 11,244 |
| 50mm | 309 | 7.99 | 1,929 | 49.87 | 1,028 | 26.58 | 3,868 |
| 75mm | 98 | 3.99 | 937 | 38.12 | 1,187 | 48.29 | 2,458 |
| 100mm | 6 | 0.74 | 141 | 17.49 | 636 | 78.91 | 806 |
| 150mm | 0 | 0.00 | 31 | 19.14 | 131 | 80.86 | 162 |
| 200mm | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 12 | 100.00 | 12 |
| 250mm | 0 | 0.00 | 6 | 12.50 | 42 | 87.50 | 48 |
| 公衆浴場 | 0 | 0.00 | 12 | 25.00 | 36 | 75.00 | 48 |
| 臨時 | 199 | 7.20 | 377 | 13.65 | 44 | 1.59 | 2,762 |
| 合計 | 188,929 | 7.89 | 25,679 | 1.07 | 4,291 | 0.18 | 2,394,372 |

※集合住宅等の戸数計算が適用される水栓は、口径20mmで件数を計上しています。

(水量構成)



(単位：m³・%)

| 段階 区分・口径 | 0~6 m³/月 | | 7~10 m³/月 | | 11~20 m³/月 | | 21~30 m³/月 | |
|-------------|-----------|------|-----------|-------|------------|-------|------------|-------|
| | 水量 | 構成比 | 水量 | 構成比 | 水量 | 構成比 | 水量 | 構成比 |
| 13mm | 43,648 | 6.36 | 75,083 | 10.93 | 241,531 | 35.17 | 178,800 | 26.04 |
| 20mm | 1,368,491 | 4.38 | 3,067,980 | 9.81 | 11,790,564 | 37.70 | 9,976,587 | 31.90 |
| 25mm | 71,870 | 2.22 | 136,069 | 4.20 | 670,934 | 20.71 | 881,975 | 27.23 |
| 30mm | 1,654 | 0.99 | 1,740 | 1.04 | 8,904 | 5.32 | 8,383 | 5.01 |
| 40mm | 3,745 | 0.33 | 5,824 | 0.51 | 22,240 | 1.94 | 28,088 | 2.45 |
| 50mm | 436 | 0.04 | 696 | 0.06 | 2,652 | 0.25 | 4,173 | 0.39 |
| 75mm | 79 | 0.01 | 208 | 0.02 | 561 | 0.05 | 1,592 | 0.14 |
| 100mm | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 323 | 0.04 | 47 | 0.01 |
| 150mm | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 200mm | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 250mm | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 公衆浴場 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 臨時 | 1,884 | 2.54 | 2,294 | 3.10 | 4,406 | 5.95 | 4,790 | 6.47 |
| 合計 | 1,491,807 | 3.70 | 3,289,894 | 8.17 | 12,742,115 | 31.64 | 11,084,435 | 27.52 |

| 段階 区分・口径 | 31~50 m³/月 | | 51~300 m³/月 | | 301 m³/月～ | | 計 |
|-------------|------------|-------|-------------|-------|-----------|--------|------------|
| | 水量 | 構成比 | 水量 | 構成比 | 水量 | 構成比 | |
| 13mm | 122,008 | 17.77 | 24,125 | 3.51 | 1,500 | 0.22 | 686,695 |
| 20mm | 4,399,171 | 14.07 | 605,454 | 1.94 | 67,213 | 0.21 | 31,275,460 |
| 25mm | 864,714 | 26.70 | 568,147 | 17.54 | 45,195 | 1.40 | 3,238,904 |
| 30mm | 15,741 | 9.40 | 60,620 | 36.20 | 70,402 | 42.05 | 167,444 |
| 40mm | 59,600 | 5.21 | 466,438 | 40.74 | 558,896 | 48.82 | 1,144,831 |
| 50mm | 12,316 | 1.14 | 317,304 | 29.49 | 738,466 | 68.63 | 1,076,043 |
| 75mm | 3,616 | 0.33 | 143,617 | 13.04 | 951,699 | 86.41 | 1,101,372 |
| 100mm | 251 | 0.03 | 28,971 | 3.28 | 853,591 | 96.65 | 883,183 |
| 150mm | 0 | 0.00 | 4,524 | 1.84 | 241,187 | 98.16 | 245,711 |
| 200mm | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 | 46,811 | 100.00 | 46,811 |
| 250mm | 0 | 0.00 | 1,375 | 0.44 | 310,134 | 99.56 | 311,509 |
| 公衆浴場 | 0 | 0.00 | 3,377 | 13.91 | 20,897 | 86.09 | 24,274 |
| 臨時 | 5,994 | 8.09 | 33,511 | 45.24 | 21,191 | 28.61 | 74,070 |
| 合計 | 5,483,411 | 13.61 | 2,257,463 | 5.60 | 3,927,182 | 9.75 | 40,276,307 |

※集合住宅等の戸数計算が適用される水栓は、口径20mmで水量を計上しています。

4. 給水業務状況(令和3年度(2021年度))

(1) 加入金収入状況

(単位:件・円(税込み))

| 月別 | 20 mm | | 25 mm | | 30 mm | | 40 mm | | 50 mm | | 75 mm | | 100 mm | | 150 mm 以上 | | 口径変更 | | 計 | |
|-----|-------|-------------|-------|-----------|-------|---------|-------|-----------|-------|------------|-------|-----------|--------|----|-----------|----|------|-------------|-------|-------------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 4月 | 12 | 2,112,000 | 2 | 704,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4,763,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 17,820,000 | 24 | 25,399,000 |
| 5月 | 12 | 2,024,000 | 1 | 352,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 23,925,000 | 21 | 26,301,000 |
| 6月 | 106 | 18,304,000 | 2 | 704,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 | 63,690,000 | 120 | 82,698,000 |
| 7月 | 100 | 17,600,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 13,728,000 | 111 | 31,328,000 |
| 8月 | 206 | 36,256,000 | 1 | 352,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 6,600,000 | 215 | 43,208,000 |
| 9月 | 24 | 4,224,000 | 4 | 1,408,000 | 0 | 0 | 0 | 4,268,000 | 3 | 5,643,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 4,301,000 | 41 | 19,844,000 |
| 10月 | 290 | 50,776,000 | 2 | 704,000 | 0 | 0 | 1 | 1,067,000 | 3 | 5,643,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 15,180,000 | 304 | 73,370,000 |
| 11月 | 55 | 9,680,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1,067,000 | 0 | 0 | 1 | 4,763,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 13,662,000 | 67 | 29,172,000 |
| 12月 | 120 | 20,768,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 43,263,000 | 125 | 64,031,000 |
| 1月 | 27 | 4,664,000 | 1 | 352,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1,881,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 | 15,136,000 | 39 | 22,033,000 |
| 2月 | 110 | 19,360,000 | 2 | 704,000 | 1 | 616,000 | 1 | 1,067,000 | 1 | 1,881,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 23,683,000 | 124 | 47,311,000 |
| 3月 | 98 | 17,248,000 | 8 | 2,816,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3,762,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 17 | 16,654,000 | 125 | 40,480,000 |
| 合計 | 1,160 | 203,016,000 | 23 | 8,096,000 | 1 | 616,000 | 7 | 7,469,000 | 10 | 18,810,000 | 2 | 9,526,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 113 | 257,642,000 | 1,316 | 505,175,000 |

| 平成29年度(2017年度) | 平成30年度(2018年度) | | 令和元年度(2019年度) | | 令和2年度(2020年度) | | 令和3年度(2021年度) | | |
|----------------|----------------|-------|---------------|-----|---------------|-------|---------------|-------|-------------|
| | 件 | 円 | 件 | 円 | 件 | 円 | 件 | 円 | |
| 1,023 | 364,359,600 | 1,094 | 490,762,800 | 935 | 404,364,600 | 1,376 | 575,218,600 | 1,316 | 505,175,000 |

(2)各種手数料収入状況

(単位：件・円)

| 種別 月別 | 設計審査 | | しゅん工検査 | | 指定給水装置工事 事業者指定 | | 指定給水装置工事 事業者証交付 | | 指定給水装置工事 事業者更新 | | 計 | |
|----------|-------|-----------|--------|------------|-------------------|---------|--------------------|--------|-------------------|---------|-------|------------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 4月 | 123 | 509,700 | 123 | 799,800 | 3 | 30,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 249 | 1,339,500 |
| 5月 | 72 | 433,900 | 72 | 684,900 | 1 | 10,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 145 | 1,128,800 |
| 6月 | 145 | 1,029,600 | 145 | 1,632,300 | 2 | 20,000 | 1 | 2,000 | 0 | 0 | 293 | 2,683,900 |
| 7月 | 127 | 995,800 | 127 | 1,571,700 | 3 | 30,000 | 1 | 2,000 | 26 | 156,000 | 284 | 2,755,500 |
| 8月 | 104 | 695,500 | 104 | 1,095,300 | 1 | 10,000 | 1 | 2,000 | 14 | 84,000 | 224 | 1,886,800 |
| 9月 | 98 | 666,500 | 98 | 1,052,400 | 1 | 10,000 | 2 | 4,000 | 18 | 108,000 | 217 | 1,840,900 |
| 10月 | 114 | 782,800 | 114 | 1,233,600 | 4 | 40,000 | 1 | 2,000 | 10 | 60,000 | 243 | 2,118,400 |
| 11月 | 86 | 715,700 | 86 | 1,126,500 | 2 | 20,000 | 0 | 0 | 2 | 12,000 | 176 | 1,874,200 |
| 12月 | 132 | 1,107,400 | 132 | 1,750,200 | 1 | 10,000 | 2 | 4,000 | 0 | 0 | 267 | 2,871,600 |
| 1月 | 79 | 489,300 | 79 | 771,300 | 4 | 40,000 | 1 | 2,000 | 0 | 0 | 163 | 1,302,600 |
| 2月 | 73 | 741,000 | 73 | 1,158,900 | 1 | 10,000 | 1 | 2,000 | 0 | 0 | 148 | 1,911,900 |
| 3月 | 140 | 783,500 | 140 | 1,236,300 | 4 | 40,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 284 | 2,059,800 |
| 合計 | 1,293 | 8,950,700 | 1,293 | 14,113,200 | 27 | 270,000 | 10 | 20,000 | 70 | 420,000 | 2,693 | 23,773,900 |

(3)給水工事施工状況

(単位：件)

| 工種 月別 | 給 水 工 事 | | | | |
|----------|---------|-----|-------|-----|-------|
| | 新 設 | 増 設 | 改 造 | 撤 去 | 計 |
| 4月 | 29 | 0 | 468 | 0 | 497 |
| 5月 | 34 | 0 | 320 | 0 | 354 |
| 6月 | 40 | 0 | 364 | 2 | 406 |
| 7月 | 71 | 0 | 295 | 1 | 367 |
| 8月 | 34 | 0 | 281 | 1 | 316 |
| 9月 | 18 | 0 | 405 | 3 | 426 |
| 10月 | 40 | 1 | 456 | 1 | 498 |
| 11月 | 22 | 0 | 245 | 1 | 268 |
| 12月 | 176 | 0 | 323 | 1 | 500 |
| 1月 | 56 | 0 | 858 | 1 | 915 |
| 2月 | 21 | 0 | 494 | 0 | 515 |
| 3月 | 136 | 0 | 959 | 6 | 1,101 |
| 合 計 | 677 | 1 | 5,468 | 17 | 6,163 |

(単位：件)

| 工種 年度 | 新 設 | 増 設 | 改 造 | 撤 去 | 計 |
|--------------------|-----|-----|-------|-----|-------|
| 平成29年度 (2017年度) | 376 | 3 | 5,232 | 377 | 5,988 |
| 平成30年度 (2018年度) | 396 | 3 | 5,643 | 20 | 6,062 |
| 令和元年度 (2019年度) | 312 | 2 | 5,936 | 20 | 6,270 |
| 令和2年度 (2020年度) | 664 | 0 | 8,163 | 25 | 8,852 |
| 令和3年度 (2021年度) | 677 | 1 | 5,468 | 17 | 6,163 |

(4) 配給水装置修繕状況

(単位:件)

| 内容 | 配・給水管別 | 管種 附属施設 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 | | | | |
|------------|--------|------------|-----|---------|----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|-------|-----|-----|
| 漏水修繕 | 配水管 | 鑄鉄管 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 9 | 1 | 0 | 18 | | | | |
| | | ビニール管 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 1 | 5 | | | |
| | | ポリエチレン管 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | | | |
| | | 鋼管 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | 鉛管 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | 止水栓 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | 消火栓 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | | | |
| | | 仕切弁 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | 空気弁 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | | | |
| | | 分水栓 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | 計 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 2 | 6 | 12 | 1 | 1 | 27 | | |
| | | 給水管 | 給水管 | 鑄鉄管 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | |
| | | | | ビニール管 | 11 | 5 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 12 | 10 | 14 | 11 | 14 | 14 | 138 | |
| | | | | ポリエチレン管 | 19 | 9 | 12 | 20 | 35 | 35 | 35 | 35 | 27 | 19 | 11 | 12 | 13 | 10 | 222 |
| | | | | 鋼管 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | | | | 鉛管 | 8 | 6 | 7 | 6 | 5 | 6 | 5 | 3 | 10 | 6 | 3 | 4 | 7 | 6 | 71 |
| | | | | 止水栓 | 5 | 5 | 0 | 4 | 2 | 4 | 2 | 2 | 4 | 1 | 3 | 2 | 5 | 16 | 49 |
| 消火栓 | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 仕切弁 | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 空気弁 | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 分水栓 | 0 | | | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | | |
| 量水器 | 4 | | | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 1 | 5 | 0 | 8 | 25 | | |
| 計 | 47 | | | 25 | 31 | 41 | 52 | 37 | 47 | 59 | 53 | 40 | 36 | 34 | 40 | 54 | 512 | | |
| 漏水外維持管理修繕* | 39 | | | 52 | 63 | 33 | 37 | 47 | 47 | 47 | 37 | 53 | 45 | 39 | 47 | 35 | 527 | | |
| 合計 | 87 | | | 77 | 94 | 74 | 90 | 107 | 92 | 95 | 87 | 85 | 88 | 90 | 88 | 90 | 1,066 | | |

※水道管の漏水以外の維持管理(止水栓不良に伴う部品取替、消火栓BOXなどの調整等)を示します。

5. 漏水防止対策状況（令和3年度(2021年度)）

(1)漏水防止作業年度別内訳表

| 項目 | 年度 | 平成29年度 (2017年度) | 平成30年度 (2018年度) | 令和元年度 (2019年度) | 令和2年度 (2020年度) | 令和3年度 (2021年度) |
|--------------|-------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 調査地区 | 全 市 域 | | | | | |
| 調査延長 | 全 市 域 | 657.734 km | 656.411 km | 659.713 km | 659.483 km | 659.457 km |
| 調査件数 | 全 市 域 | 92,961 件 | 93,504 件 | 93,583 件 | 93,368 件 | 93,363 件 |
| 漏水発見件数 | 全 市 域 | 211 件 | 171 件 | 238 件 | 173 件 | 227 件 |
| 漏水修理件数 | 全 市 域 | 229 件 | 133 件 | 233 件 | 165 件 | 221 件 |
| 漏水防止 推定水量 | 全 市 域 | 21.120 m ³ /h | 17.280 m ³ /h | 25.840 m ³ /h | 17.170 m ³ /h | 26.640 m ³ /h |

(2)漏水調査状況

| 調査地域 | 調査延長 (km) | 調査件数 (件) | 発見件数 (件) | 推定漏水量 (m ³ /h) | 漏水発見箇所内訳 | | | | | | | |
|-----------|--------------|-------------|-------------|------------------------------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | | | 配水管 | 仕切弁 | 消火栓 | 分水栓 | 給水管 | 止水栓 | 量水器 | 宅地内 |
| JR以南 | 86.105 | 16,097 | 36 | 2.610 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 4 | 27 |
| 片山・岸部 | 110.737 | 19,628 | 41 | 2.840 | 1 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0 | 2 | 30 |
| 豊津・江坂・南吹田 | 122.911 | 18,098 | 68 | 6.720 | 0 | 0 | 0 | 1 | 13 | 1 | 5 | 48 |
| 千里山・佐井寺 | 116.458 | 15,512 | 40 | 8.110 | 0 | 0 | 0 | 3 | 14 | 0 | 1 | 22 |
| 山田・千里丘 | 91.688 | 13,133 | 34 | 5.990 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 0 | 3 | 20 |
| 千里NT・万博 | 131.558 | 10,895 | 8 | 0.370 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 5 |
| 合 計 | 659.457 | 93,363 | 227 | 26.640 | 2 | 0 | 0 | 4 | 52 | 1 | 16 | 152 |

(単位:件)

(3)漏水調査による修理件数及び漏水量分析表

※ 上段は件数(件)、下段は水量(m³/h)

| 場所別 | 管路別 | 計 | | 鑄鉄管 | ビニール管 | ポリエチレン管 | 銅管 | 鉛管 | 止水栓 | 消火栓 | 仕切弁 | 空気弁 | 分水栓 | 量水器 |
|---|------|--------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 件数 | 水量 | | | | | | | | | | | |
| 公道下 63 件 17.850 m ³ /h | 配水管 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 1.200 | 0.000 | 0.000 | 1.200 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 |
| 宅地内 158 件 9.150 m ³ /h | 給水管 | 61 | 0 | 0 | 21 | 29 | 0 | 8 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 16.650 | 0.000 | 0.000 | 4.080 | 10.540 | 0.000 | 1.890 | 0.140 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 |
| 合計 | 修理件数 | 221 | 0 | 0 | 55 | 84 | 0 | 26 | 37 | 0 | 0 | 0 | 0 | 19 |
| | | 27.000 | 0.000 | 0.000 | 7.820 | 14.310 | 0.000 | 4.030 | 0.610 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.230 |

(4)公道下・宅地内別比率表

| 内訳 | 件数(件) | 比率(%) | 漏水防止水量(m ³ /h) | 比率(%) |
|-----|-------|-------|---------------------------|-------|
| 公道下 | 63 | 28.5 | 17.850 | 66.1 |
| 宅地内 | 158 | 71.5 | 9.150 | 33.9 |
| 合計 | 221 | 100.0 | 27.000 | 100.0 |

(5)配・給水管別比率表

| 内訳 | 件数(件) | 比率(%) | 漏水防止水量(m ³ /h) | 比率(%) |
|-----|-------|-------|---------------------------|-------|
| 配水管 | 2 | 0.9 | 1.200 | 4.4 |
| 給水管 | 219 | 99.1 | 25.800 | 95.6 |
| 合計 | 221 | 100.0 | 27.000 | 100.0 |

6. 配水量分析状況（令和3年度(2021年度)）

(1) 配水量年度別内訳表

| 区分 | 平成29年度(2017年度) | | 平成30年度(2018年度) | | 令和元年度(2019年度) | | 令和2年度(2020年度) | | 令和3年度(2021年度) | |
|-------------|----------------------|--------|----------------------|--------|----------------------|--------|----------------------|--------|----------------------|--------|
| | 水量 (m ³) | 構成比(%) |
| 総配水量 | 41,663,190 | 100.0 | 41,758,437 | 100.0 | 41,411,787 | 100.0 | 42,137,465 | 100.0 | 41,667,297 | 100.0 |
| 有効水量(有効率) | 40,847,209 | 98.0 | 40,903,042 | 98.0 | 40,644,121 | 98.1 | 41,323,973 | 98.1 | 41,146,202 | 98.7 |
| 有効有収水量(有効率) | 40,012,946 | 96.0 | 40,039,374 | 95.9 | 39,819,816 | 96.2 | 40,478,596 | 96.1 | 40,276,307 | 96.7 |
| 有効無収水量 | 834,263 | 2.0 | 863,668 | 2.1 | 824,305 | 2.0 | 845,377 | 2.0 | 869,895 | 2.1 |
| 無効無収水量(損失率) | 815,981 | 2.0 | 855,395 | 2.0 | 767,666 | 1.9 | 813,492 | 1.9 | 521,095 | 1.3 |

① 有効無収水量内訳

| 区分 | 平成29年度(2017年度) | | 平成30年度(2018年度) | | 令和元年度(2019年度) | | 令和2年度(2020年度) | | 令和3年度(2021年度) | |
|--------------|----------------|--------|----------------|--------|---------------|--------|---------------|--------|---------------|--------|
| | 水量 | 構成比(%) | 水量 | 構成比(%) | 水量 | 構成比(%) | 水量 | 構成比(%) | 水量 | 構成比(%) |
| 新管、濁水による洗管水量 | 17,150 | 0.0 | 47,064 | 0.1 | 10,886 | 0.0 | 14,569 | 0.0 | 42,237 | 0.1 |
| 公用水量 | 491 | 0.0 | 790 | 0.0 | 767 | 0.0 | 798 | 0.0 | 1,123 | 0.0 |
| 消火用水量 | 2,169 | 0.0 | 1,627 | 0.0 | 1,465 | 0.0 | 1,767 | 0.0 | 1,265 | 0.0 |
| 給水モーター用水量 | 14,196 | 0.0 | 13,400 | 0.0 | 14,789 | 0.0 | 18,671 | 0.0 | 19,743 | 0.0 |
| メーター不感水量 | 800,257 | 1.9 | 800,787 | 1.9 | 796,398 | 1.9 | 809,572 | 1.9 | 805,527 | 1.9 |
| 合計 | 834,263 | 2.0 | 863,668 | 2.1 | 824,305 | 2.0 | 845,377 | 2.0 | 869,895 | 2.1 |

② 無効無収水量内訳

| 区分 | 平成29年度(2017年度) | | 平成30年度(2018年度) | | 令和元年度(2019年度) | | 令和2年度(2020年度) | | 令和3年度(2021年度) | |
|------|----------------|--------|----------------|--------|---------------|--------|---------------|--------|---------------|--------|
| | 水量 | 構成比(%) | 水量 | 構成比(%) | 水量 | 構成比(%) | 水量 | 構成比(%) | 水量 | 構成比(%) |
| 減免水量 | 64,902 | 0.2 | 117,771 | 0.3 | 52,344 | 0.1 | 75,195 | 0.2 | 73,378 | 0.2 |
| 不明水量 | 751,079 | 1.8 | 737,624 | 1.8 | 715,322 | 1.7 | 738,297 | 1.8 | 447,717 | 1.1 |
| 合計 | 815,981 | 2.0 | 855,395 | 2.0 | 767,666 | 1.9 | 813,492 | 1.9 | 521,095 | 1.3 |

(2)配水量分析表

| | | | |
|---|--|--|--|
| 総配水量 41,667,297 m ³ (100.0 %) | 有効水量 41,146,202 m ³ (98.7 %) | 有収水量 40,276,307 m ³ (96.7 %) | 料金徴収基礎水量 40,276,307 m ³ (96.7 %) |
| | | 無収水量 869,895 m ³ (2.1 %) | 新管、濁水洗管水量 42,237 m ³ (0.1 %) |
| 無効無収水量 521,095 m ³ (1.3 %) | 無効無収水量 521,095 m ³ (1.3 %) | 公用水量 1,123 m ³ (0.0 %) | 公用水量 1,123 m ³ (0.0 %) |
| | | 消火用水量 1,265 m ³ (0.0 %) | 消火用水量 1,265 m ³ (0.0 %) |
| | | 給水モニター用水量 19,743 m ³ (0.0 %) | 給水モニター用水量 19,743 m ³ (0.0 %) |
| | | メーター不感水量 805,527 m ³ (1.9 %) | メーター不感水量 805,527 m ³ (1.9 %) |
| | | 減免水量 73,378 m ³ (0.2 %) | 減免水量 73,378 m ³ (0.2 %) |
| 不明水量 447,717 m ³ (1.1 %) | 不明水量 447,717 m ³ (1.1 %) | 不明水量 447,717 m ³ (1.1 %) | 不明水量 447,717 m ³ (1.1 %) |

第6章 財 政

1. 収益的収支の推移
2. 資本的収支の推移
3. 要素別費用明細表
4. 貸借対照表の推移
5. 原価・単価構成の推移
6. 財務状況の図解
 - (1) 原価と単価の比較
 - (2) 貸借対照表
7. 財務経営分析に関する調

本章の金額は原則として消費税抜きで表示しています。

1. 収益的収支の推移

| 科 目 | 年 度 | 平成 29 年度 (2017年度) | | | 平成 30 年度 (2018年度) | | |
|-------------------|-----|----------------------|-------|-------------|----------------------|-------|-------------|
| | | 金 額 | 構成比 | 対前年度 増減率 | 金 額 | 構成比 | 対前年度 増減率 |
| 水道事業収益 | | 6,858,339,647 | 100.0 | 4.5 | 6,992,074,953 | 100.0 | 1.9 |
| 営業収益 | | 6,236,320,620 | 90.9 | 3.8 | 6,290,237,018 | 90.0 | 0.9 |
| 給水収益 | | 6,005,567,120 | 87.6 | 4.0 | 6,051,572,102 | 86.5 | 0.8 |
| その他営業収益 | | 230,753,500 | 3.4 | 0.1 | 238,664,916 | 3.4 | 3.4 |
| 営業外収益 | | 621,858,477 | 9.1 | 25.9 | 701,837,935 | 10.0 | 12.9 |
| 加 入 金 | | 337,370,000 | 4.9 | 38.7 | 454,410,000 | 6.5 | 34.7 |
| 長期前受金戻入 | | 204,365,872 | 3.0 | 4.2 | 188,202,782 | 2.7 | △ 7.9 |
| そ の 他 | | 80,122,605 | 1.2 | 46.6 | 59,225,153 | 0.8 | △ 26.1 |
| 特別利益 | | 160,550 | 0.0 | △ 99.8 | — | — | 皆減 |
| 水道事業費用 | | 5,762,045,169 | 100.0 | 3.0 | 5,885,670,651 | 100.0 | 2.1 |
| 営業費用 | | 5,563,550,377 | 96.6 | 3.5 | 5,696,149,593 | 96.8 | 2.4 |
| 浄水送水費 | | 2,863,619,503 | 49.7 | 1.3 | 2,827,209,864 | 48.0 | △ 1.3 |
| 配水給水費 | | 857,644,667 | 14.9 | 11.5 | 815,379,247 | 13.9 | △ 4.9 |
| 給水工事費 | | 56,467,435 | 1.0 | 12.3 | 47,889,421 | 0.8 | △ 15.2 |
| 業務費 | | 352,700,996 | 6.1 | 0.9 | 392,707,076 | 6.7 | 11.3 |
| 総係費 | | 408,029,270 | 7.1 | △ 0.1 | 462,680,803 | 7.9 | 13.4 |
| 減価償却費 | | 962,352,615 | 16.7 | 3.0 | 1,004,341,502 | 17.1 | 4.4 |
| 資産減耗費 | | 48,913,174 | 0.8 | 185.1 | 138,106,466 | 2.3 | 182.4 |
| その他営業費用 | | 13,822,717 | 0.2 | △ 26.7 | 7,835,214 | 0.1 | △ 43.3 |
| 営業外費用 | | 198,494,792 | 3.4 | △ 9.3 | 189,521,058 | 3.2 | △ 4.5 |
| 支払利息及び 企業債取扱諸費 | | 192,217,228 | 3.3 | △ 6.4 | 182,764,054 | 3.1 | △ 4.9 |
| 雑支出 | | 6,277,564 | 0.1 | △ 53.2 | 6,757,004 | 0.1 | 7.6 |
| 特別損失 | | — | — | — | — | — | — |
| 単年度純損(△)益 | | 1,096,294,478 | | | 1,106,404,302 | | |
| その他未処分利益剰余金変動額 | | 600,000,000 | | | 974,705,836 | | |
| 利益剰余金処分額 | | 1,696,294,478 | | | 2,081,110,138 | | |
| 累積損(△)益 | | 0 | | | 0 | | |

(注) 構成比の小数第1位未満は四捨五入としています。したがって、合計の数字と内訳の合計とは

(単位:円・%、税抜き)

| 令和元年度 (2019年度) | | | 令和2年度 (2020年度) | | | 令和3年度 (2021年度) | | |
|-------------------|-------|-------------|-------------------|-------|-------------|-------------------|-------|-------------|
| 金額 | 構成比 | 対前年度 増減率 | 金額 | 構成比 | 対前年度 増減率 | 金額 | 構成比 | 対前年度 増減率 |
| 7,069,116,177 | 100.0 | 1.1 | 7,812,391,665 | 100.0 | 10.5 | 7,789,748,226 | 100.0 | △ 0.3 |
| 6,286,493,529 | 88.9 | △ 0.1 | 7,054,812,092 | 90.3 | 12.2 | 7,105,636,405 | 91.2 | 0.7 |
| 5,982,984,451 | 84.6 | △ 1.1 | 6,777,492,470 | 86.8 | 13.3 | 6,824,885,079 | 87.6 | 0.7 |
| 303,509,078 | 4.3 | 27.2 | 277,319,622 | 3.5 | △ 8.6 | 280,751,326 | 3.6 | 1.2 |
| 616,146,095 | 8.7 | △ 12.2 | 757,579,573 | 9.7 | 23.0 | 684,111,821 | 8.8 | △ 9.7 |
| 372,680,000 | 5.3 | △ 18.0 | 523,080,000 | 6.7 | 40.4 | 459,250,000 | 5.9 | △ 12.2 |
| 180,271,029 | 2.6 | △ 4.2 | 180,556,544 | 2.3 | 0.2 | 164,355,414 | 2.1 | △ 9.0 |
| 63,195,066 | 0.9 | 6.7 | 53,943,029 | 0.7 | △ 14.6 | 60,506,407 | 0.8 | 12.2 |
| 166,476,553 | 2.4 | 皆増 | — | — | 皆減 | — | — | — |
| 5,675,000,856 | 100.0 | △ 3.6 | 5,895,698,122 | 100.0 | 3.9 | 5,730,188,623 | 100.0 | △ 2.8 |
| 5,488,163,153 | 96.7 | △ 3.7 | 5,550,925,674 | 94.2 | 1.1 | 5,546,789,942 | 96.8 | △ 0.1 |
| 2,802,612,858 | 49.4 | △ 0.9 | 2,803,133,733 | 47.5 | 0.0 | 2,853,565,291 | 49.8 | 1.8 |
| 742,728,154 | 13.1 | △ 8.9 | 736,457,220 | 12.5 | △ 0.8 | 623,188,985 | 10.9 | △ 15.4 |
| 47,572,834 | 0.8 | △ 0.7 | 51,620,764 | 0.9 | 8.5 | 50,472,339 | 0.9 | △ 2.2 |
| 424,792,069 | 7.5 | 8.2 | 402,414,117 | 6.8 | △ 5.3 | 443,762,192 | 7.7 | 10.3 |
| 327,040,107 | 5.8 | △ 29.3 | 423,896,117 | 7.2 | 29.6 | 443,289,502 | 7.7 | 4.6 |
| 1,052,433,929 | 18.5 | 4.8 | 1,057,041,563 | 17.9 | 0.4 | 1,048,152,570 | 18.3 | △ 0.8 |
| 47,920,797 | 0.8 | △ 65.3 | 52,111,095 | 0.9 | 8.7 | 65,149,185 | 1.1 | 25.0 |
| 43,062,405 | 0.8 | 449.6 | 24,251,065 | 0.4 | △ 43.7 | 19,209,878 | 0.3 | △ 20.8 |
| 186,837,703 | 3.3 | △ 1.4 | 173,183,310 | 2.9 | △ 7.3 | 183,398,681 | 3.2 | 5.9 |
| 173,434,469 | 3.1 | △ 5.1 | 162,439,204 | 2.8 | △ 6.3 | 167,153,154 | 2.9 | 2.9 |
| 13,403,234 | 0.2 | 98.4 | 10,744,106 | 0.2 | △ 19.8 | 16,245,527 | 0.3 | 51.2 |
| — | — | — | 171,589,138 | 2.9 | 皆増 | — | — | 皆減 |
| 1,394,115,321 | | | 1,916,693,543 | | | 2,059,559,603 | | |
| 1,096,294,478 | | | 1,106,404,302 | | | 1,394,115,321 | | |
| 2,490,409,799 | | | 3,023,097,845 | | | 3,453,674,924 | | |
| 0 | | | 0 | | | 0 | | |

一致しないことがあります。

2. 資本的収支の推移

| 科 目 | 年 度 | 平成 29 年 度 (2017年度) | | | 平成 30 年 度 (2018年度) | | |
|-----------------|-----------------|-----------------------|-------|---------------|-----------------------|-------|---------------|
| | | 金 額 | 構成比 | 対前年度 増 減 率 | 金 額 | 構成比 | 対前年度 増 減 率 |
| 資 本 的 収 入 | | 1,582,505,758 | 100.0 | 51.5 | 1,760,968,000 | 100.0 | 11.3 |
| | 企 業 債 | 1,540,000,000 | 97.3 | 62.1 | 1,700,000,000 | 96.5 | 10.4 |
| | 工 事 負 担 金 | 19,026,000 | 1.2 | △ 32.5 | 34,628,000 | 2.0 | 82.0 |
| | 開 発 負 担 金 | 22,020,000 | 1.4 | △ 63.4 | 26,340,000 | 1.5 | 19.6 |
| | そ の 他 | 1,459,758 | 0.1 | △ 77.6 | — | — | 皆減 |
| 資 本 的 支 出 | | 3,965,370,788 | 100.0 | 54.5 | 3,711,418,919 | 100.0 | △ 6.4 |
| | 建 設 改 良 費 | 3,378,789,983 | 85.2 | 70.5 | 3,116,451,750 | 84.0 | △ 7.8 |
| | 事 務 費 | 183,252,872 | 4.6 | 17.1 | 185,679,105 | 5.0 | 1.3 |
| | 工 事 費 | 3,114,146,646 | 78.5 | 72.8 | 2,894,686,163 | 78.0 | △ 7.0 |
| | そ の 他 | 81,390,465 | 2.1 | 244.5 | 36,086,482 | 1.0 | △ 55.7 |
| | 企 業 債 償 還 金 | 586,580,805 | 14.8 | 0.5 | 594,547,169 | 16.0 | 1.4 |
| | 開 発 負 担 金 返 還 金 | — | — | — | 420,000 | 0.0 | 皆増 |
| 差 引 過 不 足 (△) | | △ 2,382,865,030 | | | △ 1,950,450,919 | | |

(注) 構成比の小数第1位未満は四捨五入としています。したがって、合計の数字と内訳の合計とは

(単位:円・%、税込み)

| 令和元年度 (2019年度) | | | 令和2年度 (2020年度) | | | 令和3年度 (2021年度) | | |
|-------------------|-------|-------------|-------------------|-------|-------------|-------------------|-------|-------------|
| 金額 | 構成比 | 対前年度 増減率 | 金額 | 構成比 | 対前年度 増減率 | 金額 | 構成比 | 対前年度 増減率 |
| 2,739,079,117 | 100.0 | 55.5 | 3,752,100,000 | 100.0 | 37.0 | 1,815,200,000 | 100.0 | △ 51.6 |
| 2,700,000,000 | 98.6 | 58.8 | 3,720,000,000 | 99.1 | 37.8 | 1,780,000,000 | 98.1 | △ 52.2 |
| 35,825,000 | 1.3 | 3.5 | 32,100,000 | 0.9 | △ 10.4 | 35,200,000 | 1.9 | 9.7 |
| — | — | 皆減 | — | — | — | — | — | — |
| 3,254,117 | 0.1 | 皆増 | — | — | 皆減 | — | — | — |
| 5,605,372,418 | 100.0 | 51.0 | 6,190,791,195 | 100.0 | 10.4 | 4,575,213,744 | 100.0 | △ 26.1 |
| 4,997,271,919 | 89.2 | 60.4 | 5,574,048,281 | 90.0 | 11.5 | 3,942,662,775 | 86.2 | △ 29.3 |
| 181,711,197 | 3.2 | △ 2.1 | 186,547,317 | 3.0 | 2.7 | 165,126,425 | 3.6 | △ 11.5 |
| 4,778,768,372 | 85.3 | 65.1 | 5,312,740,723 | 85.8 | 11.2 | 3,657,738,738 | 79.9 | △ 31.2 |
| 36,792,350 | 0.7 | 2.0 | 74,760,241 | 1.2 | 103.2 | 119,797,612 | 2.6 | 60.2 |
| 607,860,499 | 10.8 | 2.2 | 616,382,914 | 10.0 | 1.4 | 632,550,969 | 13.8 | 2.6 |
| 240,000 | 0.0 | △ 42.9 | 360,000 | 0.0 | 50.0 | — | — | 皆減 |
| △ 2,866,293,301 | | | △ 2,438,691,195 | | | △ 2,760,013,744 | | |

一致しないことがあります。

3. 要素別費用明細表

(収益的支出)

| 科 目 | 年 度 | 平成 29 年度 (2017年度) | | | 平成 30 年度 (2018年度) | | |
|-------------|-----|-------------------|-------|---------------|-------------------|-------|---------------|
| | | 金 額 | 構成比 | 対前年度 増 減 率 | 金 額 | 構成比 | 対前年度 増 減 率 |
| 人 件 費 | | 1,046,895,110 | 18.2 | 0.1 | 1,098,198,146 | 18.7 | 4.9 |
| 給 料 | | 420,201,876 | 7.3 | 3.2 | 425,732,596 | 7.2 | 1.3 |
| 手 当 | | 258,371,154 | 4.5 | 2.9 | 264,096,538 | 4.5 | 2.2 |
| 法 定 福 利 費 | | 154,018,958 | 2.7 | 4.1 | 155,876,525 | 2.6 | 1.2 |
| そ の 他 | | 214,303,122 | 3.7 | △ 10.5 | 252,492,487 | 4.3 | 17.8 |
| 物 件 費 | | 3,511,667,042 | 60.9 | 3.5 | 3,462,260,483 | 58.8 | △ 1.4 |
| 受 水 費 | | 1,968,936,385 | 34.2 | 2.2 | 1,932,284,892 | 32.8 | △ 1.9 |
| 動 力 費 | | 172,276,710 | 3.0 | 0.8 | 168,046,658 | 2.9 | △ 2.5 |
| 薬 品 費 | | 35,806,478 | 0.6 | △ 10.5 | 40,072,833 | 0.7 | 11.9 |
| 修 繕 費 | | 84,589,591 | 1.5 | △ 18.9 | 97,746,576 | 1.7 | 15.6 |
| 材 料 費 | | 11,818,688 | 0.2 | △ 29.5 | 12,419,513 | 0.2 | 5.1 |
| 工 事 請 負 費 | | 186,949,393 | 3.2 | △ 10.5 | 210,909,798 | 3.6 | 12.8 |
| 路 面 復 旧 費 | | 199,568,574 | 3.5 | 82.1 | 167,622,916 | 2.8 | △ 16.0 |
| 委 託 料 | | 464,759,200 | 8.1 | 7.9 | 482,089,526 | 8.2 | 3.7 |
| そ の 他 | | 386,962,023 | 6.7 | 0.4 | 351,067,771 | 6.0 | △ 9.3 |
| 支 払 利 息 | | 192,217,228 | 3.3 | △ 6.4 | 182,764,054 | 3.1 | △ 4.9 |
| 減 価 償 却 費 等 | | 1,011,265,789 | 17.6 | 6.3 | 1,142,447,968 | 19.4 | 13.0 |
| 特 別 損 失 | | — | — | — | — | — | — |
| 合 計 | | 5,762,045,169 | 100.0 | 3.0 | 5,885,670,651 | 100.0 | 2.1 |

※ 人件費欄「その他」は報酬、賞与等引当金繰入額、退職給付引当金繰入額の合計。

減価償却費等には資産減耗費を含む。

(資本的支出)

| | | | | | | | |
|-------------------|--|---------------|-------|--------|---------------|-------|--------|
| 人 件 費 | | 160,162,191 | 4.0 | 5.5 | 162,354,254 | 4.4 | 1.4 |
| 給 料 | | 72,704,400 | 1.8 | 5.2 | 73,694,708 | 2.0 | 1.4 |
| 手 当 | | 48,298,438 | 1.2 | 3.4 | 48,308,047 | 1.3 | 0.0 |
| 賞 与 等 引 当 金 繰 入 額 | | 12,718,690 | 0.3 | 5.8 | 13,516,374 | 0.4 | 6.3 |
| 法 定 福 利 費 | | 26,440,663 | 0.7 | 10.3 | 26,835,125 | 0.7 | 1.5 |
| 物 件 費 | | 3,218,627,792 | 81.2 | 75.9 | 2,954,097,496 | 79.6 | △ 8.2 |
| 材 料 費 | | 483,038 | 0.0 | △ 69.7 | 1,318,755 | 0.0 | 173.0 |
| 工 事 請 負 費 | | 2,460,639,456 | 62.1 | 81.5 | 2,333,794,440 | 62.9 | △ 5.2 |
| 路 面 復 旧 費 | | 418,437,759 | 10.6 | 25.7 | 176,993,691 | 4.8 | △ 57.7 |
| 固 定 資 産 取 得 費 | | 81,390,465 | 2.1 | 244.5 | 36,086,482 | 1.0 | △ 55.7 |
| そ の 他 | | 257,677,074 | 6.5 | 122.0 | 405,904,128 | 10.9 | 57.5 |
| 企 業 債 償 還 金 | | 586,580,805 | 14.8 | 0.5 | 594,547,169 | 16.0 | 1.4 |
| 開 発 負 担 金 返 還 金 | | — | — | — | 420,000 | 0.0 | 皆増 |
| 合 計 | | 3,965,370,788 | 100.0 | 54.5 | 3,711,418,919 | 100.0 | △ 6.4 |

(単位：円・%、税抜き)

| 令和元年度(2019年度) | | | 令和2年度(2020年度) | | | 令和3年度(2021年度) | | |
|----------------------|--------------|--------------|----------------------|--------------|------------|----------------------|--------------|--------------|
| 金額 | 構成比 | 対前年度増減率 | 金額 | 構成比 | 対前年度増減率 | 金額 | 構成比 | 対前年度増減率 |
| 970,023,323 | 17.1 | △ 11.7 | 1,051,505,263 | 17.8 | 8.4 | 1,063,972,990 | 18.6 | 1.2 |
| 428,157,759 | 7.5 | 0.6 | 435,802,187 | 7.4 | 1.8 | 438,406,653 | 7.7 | 0.6 |
| 259,628,669 | 4.6 | △ 1.7 | 266,139,811 | 4.5 | 2.5 | 278,142,971 | 4.9 | 4.5 |
| 156,916,646 | 2.8 | 0.7 | 155,959,026 | 2.6 | △ 0.6 | 156,948,475 | 2.7 | 0.6 |
| 125,320,249 | 2.2 | △ 50.4 | 193,604,239 | 3.3 | 54.5 | 190,474,891 | 3.3 | △ 1.6 |
| 3,431,188,338 | 60.5 | △ 0.9 | 3,401,011,859 | 57.7 | △ 0.9 | 3,385,760,724 | 59.1 | △ 0.4 |
| 1,921,025,204 | 33.9 | △ 0.6 | 1,874,285,926 | 31.8 | △ 2.4 | 1,906,436,418 | 33.3 | 1.7 |
| 159,697,126 | 2.8 | △ 5.0 | 149,923,624 | 2.5 | △ 6.1 | 160,081,380 | 2.8 | 6.8 |
| 43,597,907 | 0.8 | 8.8 | 41,425,018 | 0.7 | △ 5.0 | 39,765,750 | 0.7 | △ 4.0 |
| 73,929,103 | 1.3 | △ 24.4 | 128,737,251 | 2.2 | 74.1 | 109,592,793 | 1.9 | △ 14.9 |
| 11,726,513 | 0.2 | △ 5.6 | 20,856,769 | 0.4 | 77.9 | 17,605,695 | 0.3 | △ 15.6 |
| 119,484,467 | 2.1 | △ 43.3 | 104,586,314 | 1.8 | △ 12.5 | 26,177,000 | 0.5 | △ 75.0 |
| 167,245,080 | 2.9 | △ 0.2 | 165,364,731 | 2.8 | △ 1.1 | 149,569,383 | 2.6 | △ 9.6 |
| 532,752,520 | 9.4 | 10.5 | 539,651,169 | 9.2 | 1.3 | 611,251,441 | 10.7 | 13.3 |
| 401,730,418 | 7.1 | 14.4 | 376,181,057 | 6.4 | △ 6.4 | 365,280,864 | 6.4 | △ 2.9 |
| 173,434,469 | 3.1 | △ 5.1 | 162,439,204 | 2.8 | △ 6.3 | 167,153,154 | 2.9 | 2.9 |
| 1,100,354,726 | 19.4 | △ 3.7 | 1,109,152,658 | 18.8 | 0.8 | 1,113,301,755 | 19.4 | 0.4 |
| — | — | — | 171,589,138 | 2.9 | 皆増 | — | — | 皆減 |
| 5,675,000,856 | 100.0 | △ 3.6 | 5,895,698,122 | 100.0 | 3.9 | 5,730,188,623 | 100.0 | △ 2.8 |

(単位：円・%、税込み)

| | | | | | | | | |
|----------------------|--------------|-------------|----------------------|--------------|-------------|----------------------|--------------|---------------|
| 159,893,099 | 2.9 | △ 1.5 | 157,339,928 | 2.5 | △ 1.6 | 158,833,154 | 3.5 | 0.9 |
| 73,452,464 | 1.3 | △ 0.3 | 73,794,982 | 1.2 | 0.5 | 74,388,474 | 1.6 | 0.8 |
| 46,686,410 | 0.8 | △ 3.4 | 44,689,128 | 0.7 | △ 4.3 | 45,222,435 | 1.0 | 1.2 |
| 13,829,652 | 0.2 | 2.3 | 13,678,310 | 0.2 | △ 1.1 | 14,318,263 | 0.3 | 4.7 |
| 25,924,573 | 0.5 | △ 3.4 | 25,177,508 | 0.4 | △ 2.9 | 24,903,982 | 0.5 | △ 1.1 |
| 4,837,378,820 | 86.3 | 63.8 | 5,416,708,353 | 87.5 | 12.0 | 3,783,829,621 | 82.7 | △ 30.1 |
| 257,473 | 0.0 | △ 80.5 | 148,942 | 0.0 | △ 42.2 | 218,382 | 0.0 | 46.6 |
| 4,226,324,829 | 75.4 | 81.1 | 4,681,865,639 | 75.6 | 10.8 | 2,841,309,869 | 62.1 | △ 39.3 |
| 300,624,302 | 5.4 | 69.9 | 338,198,524 | 5.5 | 12.5 | 413,511,415 | 9.0 | 22.3 |
| 36,792,350 | 0.7 | 2.0 | 74,760,241 | 1.2 | 103.2 | 119,797,612 | 2.6 | 60.2 |
| 273,379,866 | 4.9 | △ 32.6 | 321,735,007 | 5.2 | 17.7 | 408,992,343 | 8.9 | 27.1 |
| 607,860,499 | 10.8 | 2.2 | 616,382,914 | 10.0 | 1.4 | 632,550,969 | 13.8 | 2.6 |
| 240,000 | 0.0 | △ 42.9 | 360,000 | 0.0 | 50.0 | — | — | 皆減 |
| 5,605,372,418 | 100.0 | 51.0 | 6,190,791,195 | 100.0 | 10.4 | 4,575,213,744 | 100.0 | △ 26.1 |

4. 貸借対照表の推移

| 区 分 | 年 度 | 平成 29 年度 (2017年度) | | | 平成 30 年度 (2018年度) | | |
|-----------------|-----|-------------------|-------|-------------|-------------------|-------|-------------|
| | | 金 額 | 構成比 | 対前年度 増減率 | 金 額 | 構成比 | 対前年度 増減率 |
| 資 産 合 計 | | 38,951,330,673 | 100.0 | 7.5 | 41,396,182,251 | 100.0 | 6.3 |
| 固 定 資 産 合 計 | | 32,659,698,553 | 83.8 | 7.0 | 34,562,421,088 | 83.5 | 5.8 |
| 有 形 固 定 資 産 | | 32,569,004,153 | 83.6 | 6.9 | 34,467,205,188 | 83.3 | 5.8 |
| 土 地 | | 549,647,250 | 1.4 | 0.0 | 549,647,250 | 1.3 | 0.0 |
| 建 物 | | 1,046,291,169 | 2.7 | △ 3.8 | 1,005,324,316 | 2.4 | △ 3.9 |
| 構 築 物 | | 25,465,559,763 | 65.4 | 4.3 | 26,405,283,612 | 63.8 | 3.7 |
| 機 械 及 び 装 置 | | 2,306,504,681 | 5.9 | 6.7 | 2,248,514,518 | 5.4 | △ 2.5 |
| 量 水 器 | | 283,072,413 | 0.7 | △ 6.6 | 283,988,625 | 0.7 | 0.3 |
| 車 両 運 搬 具 | | 159,440 | 0.0 | △ 90.5 | 118,490 | 0.0 | △ 25.7 |
| 工 具 器 具 及 び 備 品 | | 128,654,185 | 0.3 | 50.4 | 127,295,246 | 0.3 | △ 1.1 |
| 建 設 仮 勘 定 | | 2,789,115,252 | 7.2 | 80.1 | 3,847,033,131 | 9.3 | 37.9 |
| 無 形 固 定 資 産 | | 90,694,400 | 0.2 | 76.5 | 95,215,900 | 0.2 | 5.0 |
| 流 動 資 産 合 計 | | 6,291,632,120 | 16.2 | 9.8 | 6,833,761,163 | 16.5 | 8.6 |
| 現 金 預 金 | | 5,576,675,598 | 14.3 | 8.3 | 6,163,937,917 | 14.9 | 10.5 |
| 未 収 金 | | 666,307,424 | 1.7 | 24.5 | 623,961,899 | 1.5 | △ 6.4 |
| 貯 蔵 品 | | 48,649,098 | 0.1 | 12.7 | 45,861,347 | 0.1 | △ 5.7 |
| 負 債 資 本 合 計 | | 38,951,330,673 | 100.0 | 7.5 | 41,396,182,251 | 100.0 | 6.3 |
| 負 債 合 計 | | 21,833,335,049 | 56.1 | 8.0 | 23,171,782,325 | 56.0 | 6.1 |
| 固 定 負 債 | | 10,542,421,699 | 27.1 | 9.6 | 11,677,601,633 | 28.2 | 10.8 |
| 企 業 債 | | 9,620,108,099 | 24.7 | 10.9 | 10,712,247,600 | 25.9 | 11.4 |
| 引 当 金 | | 922,313,600 | 2.4 | △ 2.5 | 965,354,033 | 2.3 | 4.7 |
| 退 職 給 付 引 当 金 | | 848,188,000 | 2.2 | △ 1.8 | 907,228,433 | 2.2 | 7.0 |
| 修 繕 引 当 金 | | 74,125,600 | 0.2 | △ 10.4 | 58,125,600 | 0.1 | △ 21.6 |
| 流 動 負 債 | | 3,162,628,569 | 8.1 | 36.5 | 3,431,146,747 | 8.3 | 8.5 |
| 企 業 債 | | 594,547,169 | 1.5 | 1.4 | 607,860,499 | 1.5 | 2.2 |
| 未 払 金 | | 1,956,635,965 | 5.0 | 76.8 | 2,167,811,174 | 5.2 | 10.8 |
| 預 り 金 | | 52,323,478 | 0.1 | △ 1.4 | 47,760,483 | 0.1 | △ 8.7 |
| 下 水 道 預 り 金 | | 462,856,820 | 1.2 | △ 2.2 | 505,832,597 | 1.2 | 9.3 |
| 引 当 金 | | 83,697,137 | 0.2 | 4.8 | 88,670,994 | 0.2 | 5.9 |
| そ の 他 | | 12,568,000 | 0.0 | △ 27.4 | 13,211,000 | 0.0 | 5.1 |
| 繰 延 収 益 | | 8,128,284,781 | 20.9 | △ 1.8 | 8,063,033,945 | 19.5 | △ 0.8 |
| 資 本 合 計 | | 17,117,995,624 | 43.9 | 6.8 | 18,224,399,926 | 44.0 | 6.5 |
| 資 本 金 | | 14,432,123,688 | 37.1 | 7.7 | 15,032,123,688 | 36.3 | 4.2 |
| 剰 余 金 合 計 | | 2,685,871,936 | 6.9 | 2.7 | 3,192,276,238 | 7.7 | 18.9 |
| 資 本 剰 余 金 | | 14,871,622 | 0.0 | △ 30.4 | 14,871,622 | 0.0 | 0.0 |
| 利 益 剰 余 金 | | 2,671,000,314 | 6.9 | 2.9 | 3,177,404,616 | 7.7 | 19.0 |

(単位：円・%)

| 令和元年度(2019年度) | | | 令和2年度(2020年度) | | | 令和3年度(2021年度) | | |
|----------------|-------|-------------|----------------|-------|-------------|----------------|-------|-------------|
| 金額 | 構成比 | 対前年度 増減率 | 金額 | 構成比 | 対前年度 増減率 | 金額 | 構成比 | 対前年度 増減率 |
| 45,977,236,673 | 100.0 | 11.1 | 52,123,774,021 | 100.0 | 13.4 | 52,370,717,976 | 100.0 | 0.5 |
| 38,197,739,678 | 83.1 | 10.5 | 42,266,614,259 | 81.1 | 10.7 | 44,930,756,737 | 85.8 | 6.3 |
| 38,131,002,278 | 82.9 | 10.6 | 42,152,155,359 | 80.9 | 10.5 | 44,645,162,337 | 85.2 | 5.9 |
| 546,393,133 | 1.2 | △ 0.6 | 546,393,133 | 1.0 | 0.0 | 546,393,133 | 1.0 | 0.0 |
| 1,002,251,111 | 2.2 | △ 0.3 | 956,534,790 | 1.8 | △ 4.6 | 1,758,575,783 | 3.4 | 83.8 |
| 27,359,418,737 | 59.5 | 3.6 | 28,304,194,520 | 54.3 | 3.5 | 36,045,889,171 | 68.8 | 27.4 |
| 2,097,546,258 | 4.6 | △ 6.7 | 2,141,793,063 | 4.1 | 2.1 | 5,025,115,501 | 9.6 | 134.6 |
| 282,528,018 | 0.6 | △ 0.5 | 285,473,819 | 0.5 | 1.0 | 284,651,454 | 0.5 | △ 0.3 |
| 111,745 | 0.0 | △ 5.7 | 111,745 | 0.0 | 0.0 | 111,745 | 0.0 | 0.0 |
| 126,012,735 | 0.3 | △ 1.0 | 150,917,303 | 0.3 | 19.8 | 218,552,851 | 0.4 | 44.8 |
| 6,716,740,541 | 14.6 | 74.6 | 9,766,736,986 | 18.7 | 45.4 | 765,872,699 | 1.5 | △ 92.2 |
| 66,737,400 | 0.1 | △ 29.9 | 114,458,900 | 0.2 | 71.5 | 285,594,400 | 0.5 | 149.5 |
| 7,779,496,995 | 16.9 | 13.8 | 9,857,159,762 | 18.9 | 26.7 | 7,439,961,239 | 14.2 | △ 24.5 |
| 6,979,343,227 | 15.2 | 13.2 | 9,067,539,073 | 17.4 | 29.9 | 6,715,825,080 | 12.8 | △ 25.9 |
| 755,144,650 | 1.6 | 21.0 | 749,301,767 | 1.4 | △ 0.8 | 685,442,492 | 1.3 | △ 8.5 |
| 45,009,118 | 0.1 | △ 1.9 | 40,318,922 | 0.1 | △ 10.4 | 38,693,667 | 0.1 | △ 4.0 |
| 45,977,236,673 | 100.0 | 11.1 | 52,123,774,021 | 100.0 | 13.4 | 52,370,717,976 | 100.0 | 0.5 |
| 26,358,721,426 | 57.3 | 13.8 | 30,588,565,231 | 58.7 | 16.0 | 28,775,949,583 | 54.9 | △ 5.9 |
| 13,594,831,777 | 29.6 | 16.4 | 16,872,333,661 | 32.4 | 24.1 | 18,020,063,277 | 34.4 | 6.8 |
| 12,795,864,686 | 27.8 | 19.5 | 15,883,313,717 | 30.5 | 24.1 | 17,019,948,037 | 32.5 | 7.2 |
| 798,967,091 | 1.7 | △ 17.2 | 989,019,944 | 1.9 | 23.8 | 1,000,115,240 | 1.9 | 1.1 |
| 751,041,491 | 1.6 | △ 17.2 | 946,143,344 | 1.8 | 26.0 | 964,967,640 | 1.8 | 2.0 |
| 47,925,600 | 0.1 | △ 17.5 | 42,876,600 | 0.1 | △ 10.5 | 35,147,600 | 0.1 | △ 18.0 |
| 4,751,485,622 | 10.3 | 38.5 | 5,802,849,825 | 11.1 | 22.1 | 2,846,146,922 | 5.4 | △ 51.0 |
| 616,382,914 | 1.3 | 1.4 | 632,550,969 | 1.2 | 2.6 | 643,365,680 | 1.2 | 1.7 |
| 3,503,032,914 | 7.6 | 61.6 | 4,533,783,128 | 8.7 | 29.4 | 1,596,826,860 | 3.0 | △ 64.8 |
| 42,612,251 | 0.1 | △ 10.8 | 29,938,988 | 0.1 | △ 29.7 | 20,441,535 | 0.0 | △ 31.7 |
| 482,271,396 | 1.0 | △ 4.7 | 493,333,052 | 0.9 | 2.3 | 474,857,736 | 0.9 | △ 3.7 |
| 92,227,360 | 0.2 | 4.0 | 91,761,952 | 0.2 | △ 0.5 | 91,938,064 | 0.2 | 0.2 |
| 14,958,787 | 0.0 | 13.2 | 21,481,736 | 0.0 | 43.6 | 18,717,047 | 0.0 | △ 12.9 |
| 8,012,404,027 | 17.4 | △ 0.6 | 7,913,381,745 | 15.2 | △ 1.2 | 7,909,739,384 | 15.1 | 0.0 |
| 19,618,515,247 | 42.7 | 7.6 | 21,535,208,790 | 41.3 | 9.8 | 23,594,768,393 | 45.1 | 9.6 |
| 16,006,829,524 | 34.8 | 6.5 | 17,106,378,119 | 32.8 | 6.9 | 18,212,782,421 | 34.8 | 6.5 |
| 3,611,685,723 | 7.9 | 13.1 | 4,428,830,671 | 8.5 | 22.6 | 5,381,985,972 | 10.3 | 21.5 |
| 14,871,622 | 0.0 | 0.0 | 11,617,505 | 0.0 | △ 21.9 | 11,617,505 | 0.0 | 0.0 |
| 3,596,814,101 | 7.8 | 13.2 | 4,417,213,166 | 8.5 | 22.8 | 5,370,368,467 | 10.3 | 21.6 |

5. 原価・単価構成の推移

| 年度 費目 | | 平成29年度 (2017年度) | | 平成30年度 (2018年度) | | 令和元年度 (2019年度) | | 令和2年度 (2020年度) | | 令和3年度 (2021年度) | |
|-----------------------|-------|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| | | 金額 | 1m ³ 当 | 金額 | 1m ³ 当 | 金額 | 1m ³ 当 | 金額 | 1m ³ 当 | 金額 | 1m ³ 当 |
| 勘定科目別 | 浄水送水費 | 千円 2,863,620 | 円 71.6 | 千円 2,827,210 | 円 70.6 | 千円 2,802,613 | 円 70.4 | 千円 2,803,134 | 円 69.3 | 千円 2,853,565 | 円 70.9 |
| | 配水給水費 | 857,645 | 21.4 | 815,379 | 20.4 | 742,728 | 18.7 | 736,457 | 18.2 | 623,189 | 15.5 |
| | 業務費 | 352,701 | 8.8 | 392,707 | 9.8 | 424,792 | 10.7 | 402,414 | 9.9 | 443,762 | 11.0 |
| | 総係費 | 408,029 | 10.2 | 462,681 | 11.5 | 327,040 | 8.2 | 423,896 | 10.5 | 443,290 | 11.0 |
| | その他 | 1,209,760 | 30.2 | 1,331,969 | 33.3 | 1,287,193 | 32.3 | 1,282,336 | 31.7 | 1,296,700 | 32.2 |
| 支出要素別 | 職員給与費 | 994,490 | 24.9 | 1,051,558 | 26.3 | 923,375 | 23.2 | 1,000,664 | 24.7 | 1,014,213 | 25.2 |
| | 受水費 | 1,968,936 | 49.2 | 1,932,285 | 48.2 | 1,921,025 | 48.2 | 1,874,286 | 46.3 | 1,906,436 | 47.3 |
| | 動力費 | 172,277 | 4.3 | 168,047 | 4.2 | 159,697 | 4.0 | 149,923 | 3.7 | 160,081 | 4.0 |
| | 支払利息 | 192,217 | 4.8 | 182,764 | 4.6 | 173,434 | 4.4 | 162,439 | 4.0 | 167,153 | 4.2 |
| | 減価償却費 | 962,353 | 24.1 | 1,004,342 | 25.1 | 1,052,434 | 26.4 | 1,057,042 | 26.1 | 1,048,153 | 26.0 |
| | その他 | 1,401,482 | 35.0 | 1,490,950 | 37.2 | 1,354,401 | 34.0 | 1,403,883 | 34.7 | 1,364,470 | 33.9 |
| 長期前受金戻入 見合いの減価償却費等 | | △ 204,366 | △ 5.1 | △ 188,203 | △ 4.7 | △ 180,271 | △ 4.5 | △ 180,556 | △ 4.5 | △ 164,355 | △ 4.1 |
| 原価合計 | | 5,487,389 | 137.1 | 5,641,743 | 140.9 | 5,404,095 | 135.7 | 5,467,681 | 135.1 | 5,496,151 | 136.5 |

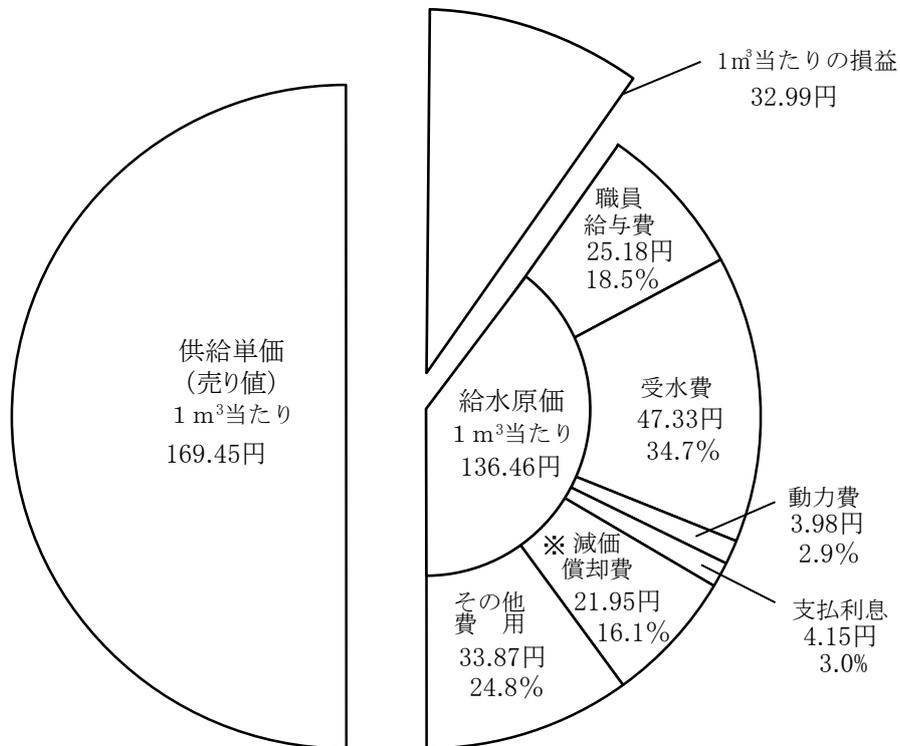
※ 「給水工事費」「受託事業費」「材料売却原価」は原価に含まれない。

| 年度 区分 口径 | | 平成29年度 (2017年度) | | 平成30年度 (2018年度) | | 令和元年度 (2019年度) | | 令和2年度 (2020年度) | | 令和3年度 (2021年度) | |
|----------------|-------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| | | 金額 | 1m ³ 当 | 金額 | 1m ³ 当 | 金額 | 1m ³ 当 | 金額 | 1m ³ 当 | 金額 | 1m ³ 当 |
| 水道料金 | 小口径 13mm～25mm | 千円 4,199,393 | 円 105.0 | 千円 4,192,953 | 円 104.7 | 千円 4,188,448 | 円 105.2 | 千円 5,123,174 | 円 126.5 | 千円 5,167,462 | 円 128.3 |
| | 中口径 30mm～50mm | 726,613 | 18.2 | 720,137 | 18.0 | 716,941 | 18.0 | 718,753 | 17.8 | 710,334 | 17.6 |
| | 大口径 75mm～250mm | 1,031,036 | 25.8 | 1,074,396 | 26.8 | 1,030,150 | 25.9 | 893,477 | 22.1 | 908,733 | 22.6 |
| | 公衆浴場 | 2,102 | 0.1 | 2,057 | 0.1 | 1,795 | 0.0 | 1,559 | 0.0 | 1,843 | 0.0 |
| | 臨時 | 46,423 | 1.2 | 62,029 | 1.5 | 45,650 | 1.1 | 40,529 | 1.0 | 36,513 | 0.9 |
| 合計 | | 6,005,567 | 150.1 | 6,051,572 | 151.1 | 5,982,984 | 150.3 | 6,777,492 | 167.4 | 6,824,885 | 169.5 |

6. 財務状況の図解

(1) 原価と単価の比較(令和3年度(2021年度))

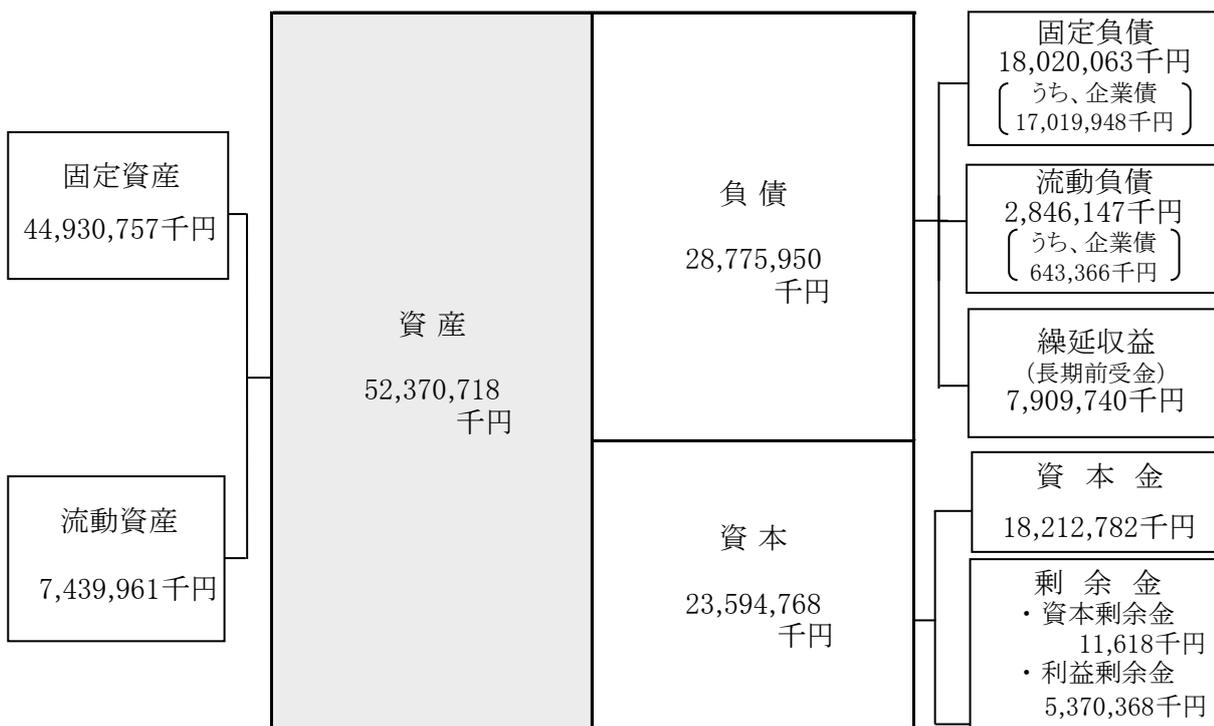
(98ページの図解)



※ 1 m³当たりの減価償却費から 1 m³当たりの長期前受金戻入見合いの減価償却費を控除した金額 (98ページ参照)

(2) 貸借対照表(令和3年度(2021年度))

(96ページの図解)



7. 財務経営分析に関する調

| 項目 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 算式 | 備考 |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|---|--|
| 固定資産構成比率 | 83.8% | 83.5% | 83.1% | 81.1% | 85.8% | $\frac{\text{固定資産}}{\text{資産合計}} \times 100$ | 「装置産業」とも言われる水道事業では、一般的に高い傾向にある（低いほど好ましい）。 |
| 固定負債構成比率 | 27.1% | 28.2% | 29.6% | 32.4% | 34.4% | $\frac{\text{固定負債}}{\text{負債資本合計}} \times 100$ | 低いほど好ましい。 |
| 固定比率 | 129.4% | 131.5% | 138.2% | 143.5% | 142.6% | $\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金+剰余金+繰延収益}} \times 100$ | 低いほど好ましい。借入金による固定資産調達が多い水道事業では、一般的に高い傾向にある。 |
| 固定資産対長期資本比率 | 91.3% | 91.0% | 92.7% | 91.2% | 90.7% | $\frac{\text{固定資産}}{\text{資本+固定負債+繰延収益}} \times 100$ | 長期資本と固定資産の適合関係を示すもので、100%以下が好ましい。 |
| 自己資本構成比率 | 64.8% | 63.5% | 60.1% | 56.5% | 60.2% | $\frac{\text{資本金+剰余金+繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$ | 高いほど好ましいが、起債依存度の高い公営企業にあつては、一般的に低い傾向にある。 |
| 流動比率 | 198.9% | 199.2% | 163.7% | 169.9% | 261.4% | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$ | 短期債務に対して応ずべき流動資産が十分にあるかどうかを示し、高いほど好ましい。 |
| 流動資産回転率 | 1.0回 | 1.0回 | 0.9回 | 0.8回 | 0.8回 | $\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益等}}{(\text{期首流動資産}+\text{期末流動資産}) \times \frac{1}{2}}$ | 営業収益を得るに当たり流動資産がいかにか効率よく回転しているかを示し、高いほど好ましい。 |
| 経常収益対経常費用比率 | 119.0% | 118.8% | 121.6% | 136.5% | 135.9% | $\frac{\text{営業収益}+\text{営業外収益}}{\text{営業費用}+\text{営業外費用}} \times 100$ | 高いほど好ましい。「特別収支」がない場合、100%を境に単年度の黒字と赤字に分かれる。 |
| 営業収益対営業費用比率 | 113.2% | 111.4% | 115.6% | 128.3% | 129.3% | $\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益等}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費等}} \times 100$ | 通常の営業状況における健全度を示し、高い(100%を超える)ほど好ましい。 |
| 企業債残高対給水収益比率 | 170.1% | 187.1% | 224.2% | 243.7% | 258.8% | $\frac{\text{企業債現在高合計}}{\text{給水収益}} \times 100$ | 給水収益に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す。 |
| 企業債償還額対給水収益比率 | 9.8% | 9.8% | 10.2% | 9.1% | 9.3% | $\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{給水収益}} \times 100$ | 起債発行額が、事業規模並びに安定的な返済能力として適正かどうかを示し、低いほど好ましい。 |
| 企業債元利償還金対給水収益比率 | 13.0% | 12.8% | 13.1% | 11.5% | 11.7% | $\frac{\text{企業債元利償還金}}{\text{給水収益}} \times 100$ | 「企業債償還額対給水収益比率」の項に同じ。 |
| 職員給与費対給水収益比率 | 15.5% | 16.5% | 14.6% | 16.7% | 14.3% | $\frac{\text{職員給与費}-\text{受託給与費等}}{\text{給水収益}} \times 100$ | 低いほど好ましい。人的サービスが主の水道事業にあつては、一般的に高い傾向にある。 |

| 項目 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 算式 | 備考 |
|---------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|-----------------------|---|---|
| 普及率 | 99.9% | 99.9% | 99.9% | 99.9% | 99.9% | $\frac{\text{給水人口}}{\text{総人口}} \times 100$ | 高いほど好ましい。 |
| 有収率 | 96.0% | 95.9% | 96.2% | 96.1% | 96.7% | $\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$ | 高いほど好ましい。 |
| 負荷率 | 93.0% | 91.3% | 94.0% | 93.6% | 94.8% | $\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$ | 100%に近いほど好ましい。 |
| 施設利用率 | 81.0% | 81.1% | 80.2% | 81.9% | 81.0% | $\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$ | 負荷率×最大稼働率に等しく、100%に近いほど（原則として）好ましい。 |
| 最大稼働率 | 87.0% | 88.9% | 85.4% | 87.4% | 85.4% | $\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$ | 施設効率として高いほど好ましいが、100%（能力の限界）に近過ぎるのも適当でない。 |
| 配水管使用効率 | 57.6m ³ /m | 57.5m ³ /m | 56.8m ³ /m | 57.4m ³ /m | 56.5m ³ /m | $\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$ | 配水管の使用効率を示し、高いほど好ましいが、地形的事情等が考慮されなければならない。 |
| 固定資産使用効率 | 12.8m ³ /万円 | 12.1m ³ /万円 | 10.9m ³ /万円 | 10.0m ³ /万円 | 9.3m ³ /万円 | $\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産}}$ | 有形固定資産の使用効率を示し、高いほど好ましい。浄水施設の有無等により大きく異なる。 |
| 供給単価 | 150.09円 | 151.14円 | 150.25円 | 167.43円 | 169.45円 | $\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$ | 有収水量1m ³ 当たりの販売単価。給水収益は、水道料金及びメーター料の合算額。 |
| 給水原価 | 137.14円 | 140.90円 | 135.71円 | 135.08円 | 136.46円 | $\frac{\text{長期前受金戻入}-\text{経常費用}-\text{受託工事費等}-\text{見合いの減価償却費等}}{\text{年間総有収水量}}$ | 有収水量1m ³ 当たりの製造原価。ただし、給水工事費など給水収益と連動しない経費を除く。 |
| 職員一人当たり有形固定資産 | 26,917万円 | 27,355万円 | 30,024万円 | 32,177万円 | 33,568万円 | $\frac{\text{有形固定資産}}{\text{職員数}}$ | 定数内職員（管理者含む）一人当たりの有形固定資産、定数内損益勘定所属職員（管理者を含む） |
| 職員一人当たり給水人口 | 3,659人 | 3,496人 | 3,491人 | 3,392人 | 3,409人 | $\frac{\text{給水人口}}{\text{損益勘定所属職員数}}$ | 一人当たりの給水人口、年間総有収水量、営業収益で、業務効率等の労働生産性を示す。 |
| 職員一人当たり給水量 | 396,168m ³ | 377,730m ³ | 372,148m ³ | 364,672m ³ | 362,850m ³ | $\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$ | ただし、職員数においては直営部門の大小、建設部門への職員配置（資本勘定所属職員）、浄水施設の有無等を考慮するとともに、有収率の大小、料金水準の高低等も考慮しなければならない。 |
| 職員一人当たり営業収益 | 61,588千円 | 59,262千円 | 58,290千円 | 63,306千円 | 63,818千円 | $\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$ | |

第7章 参考資料

1. 上下水道料金表
2. 北大阪各市決算状況等
3. 府内各市水道料金比較
4. 府内各市原価・単価比較
5. 水道事業ガイドラインによる
主要背景情報（CI）及び業務指標（PI）
6. 各種広報資料
7. 公用車配置状況

1. 上下水道料金表

令和2年(2020年)4月1日施行、令和2年4月分より適用

水道料金(1か月につき)

| 区分 | メーター口径(mm) | 基本料金 | 従量料金(1m ³ につき) | | | | | | | | | | | | |
|----|------------|----------|----------------------------|-----------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|--------------------------|------|-----|------|------|------|------|
| | | | ① 6m ³ まで | ② 7～ 10m ³ | ③ 11～ 20m ³ | ④ 21～ 30m ³ | ⑤ 31～ 50m ³ | ⑥ 51～ 300m ³ | ⑦ 301m ³ ～ | | | | | | |
| 一般 | 小口径 | 13 | 900円 | 0円 | 40円 | 140円 | 200円 | 250円 | 290円 | 330円 | | | | | |
| | | 20 | 990円 | | | | | | | | | | | | |
| | | 25 | 1,250円 | | | | | | | | | | | | |
| | 中口径 | 30 | 1,500円 | | | | | | | | 60円 | 200円 | 250円 | 290円 | 330円 |
| | | 40 | 2,700円 | | | | | | | | | | | | |
| | | 50 | 4,900円 | | | | | | | | | | | | |
| | 大口径 | 75 | 11,000円 | | | | | | | | 60円 | 200円 | 290円 | 330円 | |
| | | 100 | 31,000円 | | | | | | | | | | | | |
| | | 150 | 126,000円 | | | | | | | | | | | | |
| | | 200 | 280,000円 | | | | | | | | | | | | |
| | 250 | 512,000円 | | | | | | | | | | | | | |

※集合住宅等(戸数計算が適用されている区分)は一戸当たりメーター口径20mmで計算します。

下水道使用料(1か月につき)

| 区分 | 基本料金 | | 超過料金(1m ³ につき) | |
|------|---------------------|------|---------------------------|------|
| | 水量 | 使用料 | 水量 | 使用料 |
| 一般 | 10m ³ まで | 683円 | ① 11～20m ³ | 78円 |
| | | | ② 21～30m ³ | 96円 |
| | | | ③ 31～50m ³ | 115円 |
| | | | ④ 51～300m ³ | 145円 |
| | | | ⑤ 301～1,000m ³ | 174円 |
| | | | ⑥ 1,001m ³ ～ | 224円 |
| 公衆浴場 | 1m ³ につき | | 25円 | |

| 区分 | 基本料金 | 従量料金 |
|------|------------|-------------------------|
| 公衆浴場 | 990円 | 1m ³ につき75円 |
| 臨時 | メーター口径に準ずる | 1m ³ につき450円 |

水道料金(2か月につき)

| 区分 | メーター口径(mm) | 基本料金 | 従量料金(1m ³ につき) | | | | | | | | | | | | |
|----|------------|------------|-----------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------|------|-----|------|------|------|------|
| | | | ① 12m ³ まで | ② 13～ 20m ³ | ③ 21～ 40m ³ | ④ 41～ 60m ³ | ⑤ 61～ 100m ³ | ⑥ 101～ 600m ³ | ⑦ 601m ³ ～ | | | | | | |
| 一般 | 小口径 | 13 | 1,800円 | 0円 | 40円 | 140円 | 200円 | 250円 | 290円 | 330円 | | | | | |
| | | 20 | 1,980円 | | | | | | | | | | | | |
| | | 25 | 2,500円 | | | | | | | | | | | | |
| | 中口径 | 30 | 3,000円 | | | | | | | | 60円 | 200円 | 250円 | 290円 | 330円 |
| | | 40 | 5,400円 | | | | | | | | | | | | |
| | | 50 | 9,800円 | | | | | | | | | | | | |
| | 大口径 | 75 | 22,000円 | | | | | | | | 60円 | 200円 | 290円 | 330円 | |
| | | 100 | 62,000円 | | | | | | | | | | | | |
| | | 150 | 252,000円 | | | | | | | | | | | | |
| | | 200 | 560,000円 | | | | | | | | | | | | |
| | 250 | 1,024,000円 | | | | | | | | | | | | | |

※集合住宅等(戸数計算が適用されている区分)は一戸当たりメーター口径20mmで計算します。

下水道使用料(2か月につき)

| 区分 | 基本料金 | | 超過料金(1m ³ につき) | |
|------|---------------------|--------|---------------------------|------|
| | 水量 | 使用料 | 水量 | 使用料 |
| 一般 | 20m ³ まで | 1,366円 | ① 21～40m ³ | 78円 |
| | | | ② 41～60m ³ | 96円 |
| | | | ③ 61～100m ³ | 115円 |
| | | | ④ 101～600m ³ | 145円 |
| | | | ⑤ 601～2000m ³ | 174円 |
| | | | ⑥ 2001m ³ ～ | 224円 |
| 公衆浴場 | 1m ³ につき | | 25円 | |

| 区分 | 基本料金 | 従量料金 |
|------|------------|-------------------------|
| 公衆浴場 | 1,980円 | 1m ³ につき75円 |
| 臨時 | メーター口径に準ずる | 1m ³ につき450円 |

- ・水道料金は、御使用になられている水道メーターの口径をもって上記料金表にて計算します。
- ・上記の各単価表には消費税相当額が含まれておりません。各単価表により算出した額に消費税相当額(10%)を加算した額で請求いたします。(それぞれ1円未満は切り捨てます。)
- ・平成28年4月1日からメーター料は廃止しています。
- ・検針、御請求は2か月(隔月)に1回です。

一般区分料金(メーター口径13mm~25mm)早見表(2か月分)

| 水量 (m ³) | 水道料金(円) | | | 下水道 使用料(円) | 水量 (m ³) | 水道料金(円) | | | 下水道 使用料(円) | | | | |
|-------------------------|---------|--------|--------|---------------|--|---|--|--|--|--|--|--|--|
| | 13mm | 20mm | 25mm | | | 13mm | 20mm | 25mm | | | | | |
| 0~12 | 1,980 | 2,178 | 2,750 | 1,502 | 71 | 12,837 | 13,035 | 13,607 | 6,722 | | | | |
| 13 | 2,024 | 2,222 | 2,794 | 1,502 | 72 | 13,112 | 13,310 | 13,882 | 6,848 | | | | |
| 14 | 2,068 | 2,266 | 2,838 | 1,502 | 73 | 13,387 | 13,585 | 14,157 | 6,975 | | | | |
| 15 | 2,112 | 2,310 | 2,882 | 1,502 | 74 | 13,662 | 13,860 | 14,432 | 7,101 | | | | |
| 16 | 2,156 | 2,354 | 2,926 | 1,502 | 75 | 13,937 | 14,135 | 14,707 | 7,228 | | | | |
| 17 | 2,200 | 2,398 | 2,970 | 1,502 | 76 | 14,212 | 14,410 | 14,982 | 7,354 | | | | |
| 18 | 2,244 | 2,442 | 3,014 | 1,502 | 77 | 14,487 | 14,685 | 15,257 | 7,481 | | | | |
| 19 | 2,288 | 2,486 | 3,058 | 1,502 | 78 | 14,762 | 14,960 | 15,532 | 7,607 | | | | |
| 20 | 2,332 | 2,530 | 3,102 | 1,502 | 79 | 15,037 | 15,235 | 15,807 | 7,734 | | | | |
| 21 | 2,486 | 2,684 | 3,256 | 1,588 | 80 | 15,312 | 15,510 | 16,082 | 7,860 | | | | |
| 22 | 2,640 | 2,838 | 3,410 | 1,674 | 81 | 15,587 | 15,785 | 16,357 | 7,987 | | | | |
| 23 | 2,794 | 2,992 | 3,564 | 1,760 | 82 | 15,862 | 16,060 | 16,632 | 8,113 | | | | |
| 24 | 2,948 | 3,146 | 3,718 | 1,845 | 83 | 16,137 | 16,335 | 16,907 | 8,240 | | | | |
| 25 | 3,102 | 3,300 | 3,872 | 1,931 | 84 | 16,412 | 16,610 | 17,182 | 8,366 | | | | |
| 26 | 3,256 | 3,454 | 4,026 | 2,017 | 85 | 16,687 | 16,885 | 17,457 | 8,493 | | | | |
| 27 | 3,410 | 3,608 | 4,180 | 2,103 | 86 | 16,962 | 17,160 | 17,732 | 8,619 | | | | |
| 28 | 3,564 | 3,762 | 4,334 | 2,189 | 87 | 17,237 | 17,435 | 18,007 | 8,746 | | | | |
| 29 | 3,718 | 3,916 | 4,488 | 2,274 | 88 | 17,512 | 17,710 | 18,282 | 8,872 | | | | |
| 30 | 3,872 | 4,070 | 4,642 | 2,360 | 89 | 17,787 | 17,985 | 18,557 | 8,999 | | | | |
| 31 | 4,026 | 4,224 | 4,796 | 2,446 | 90 | 18,062 | 18,260 | 18,832 | 9,125 | | | | |
| 32 | 4,180 | 4,378 | 4,950 | 2,532 | 91 | 18,337 | 18,535 | 19,107 | 9,252 | | | | |
| 33 | 4,334 | 4,532 | 5,104 | 2,618 | 92 | 18,612 | 18,810 | 19,382 | 9,378 | | | | |
| 34 | 4,488 | 4,686 | 5,258 | 2,703 | 93 | 18,887 | 19,085 | 19,657 | 9,505 | | | | |
| 35 | 4,642 | 4,840 | 5,412 | 2,789 | 94 | 19,162 | 19,360 | 19,932 | 9,631 | | | | |
| 36 | 4,796 | 4,994 | 5,566 | 2,875 | 95 | 19,437 | 19,635 | 20,207 | 9,758 | | | | |
| 37 | 4,950 | 5,148 | 5,720 | 2,961 | 96 | 19,712 | 19,910 | 20,482 | 9,884 | | | | |
| 38 | 5,104 | 5,302 | 5,874 | 3,047 | 97 | 19,987 | 20,185 | 20,757 | 10,011 | | | | |
| 39 | 5,258 | 5,456 | 6,028 | 3,132 | 98 | 20,262 | 20,460 | 21,032 | 10,137 | | | | |
| 40 | 5,412 | 5,610 | 6,182 | 3,218 | 99 | 20,537 | 20,735 | 21,307 | 10,264 | | | | |
| 41 | 5,632 | 5,830 | 6,402 | 3,324 | 100 | 20,812 | 21,010 | 21,582 | 10,390 | | | | |
| 42 | 5,852 | 6,050 | 6,622 | 3,429 | 101 | 101m ³ ~599m ³ の計算例 | | | | | | | |
| 43 | 6,072 | 6,270 | 6,842 | 3,535 | } | ・水道料金 {(使用量-100m ³)×290円+17,120円 +基本料金(1,800円/13mm:1,980円/20mm: 2,500円/25mm)}×1.10 | | | | | | | |
| 44 | 6,292 | 6,490 | 7,062 | 3,641 | | ・下水道使用料 {(使用量-100m ³)×145円+9,446円} ×1.10 | | | | | | | |
| 45 | 6,512 | 6,710 | 7,282 | 3,746 | | 599 | 180,312 | | | | | | |
| 46 | 6,732 | 6,930 | 7,502 | 3,852 | | 600 | 180,510 | 181,082 | 90,140 | | | | |
| 47 | 6,952 | 7,150 | 7,722 | 3,957 | | 601 | 601m ³ ~1,999m ³ の計算例 | | | | | | |
| 48 | 7,172 | 7,370 | 7,942 | 4,063 | | } | ・水道料金 {(使用量-600m ³)×330円+162,120円 +基本料金(1,800円/13mm:1,980円/20mm: 2,500円/25mm)}×1.10 | | | | | | |
| 49 | 7,392 | 7,590 | 8,162 | 4,169 | | | ・下水道使用料 {(使用量-600m ³)×174円+81,946円} ×1.10 | | | | | | |
| 50 | 7,612 | 7,810 | 8,382 | 4,274 | | | 1,999 | 688,512 | | | | | |
| 51 | 7,832 | 8,030 | 8,602 | 4,380 | | | 2,000 | 688,710 | 689,282 | 358,100 | | | |
| 52 | 8,052 | 8,250 | 8,822 | 4,485 | | | 2,001 | 2,001m ³ ~の計算例 | | | | | |
| 53 | 8,272 | 8,470 | 9,042 | 4,591 | | | } | ・水道料金 {(使用量-2,000m ³)×330円+624,120円 +基本料金(1,800円/13mm:1,980円/20mm: 2,500円/25mm)}×1.10 | | | | | |
| 54 | 8,492 | 8,690 | 9,262 | 4,697 | | | | ・下水道使用料 {(使用量-2,000m ³)×224円+325,546円} ×1.10 | | | | | |
| 55 | 8,712 | 8,910 | 9,482 | 4,802 | | | | 2,001 | 2,001m ³ ~の計算例 | | | | |
| 56 | 8,932 | 9,130 | 9,702 | 4,908 | } | | | ・水道料金 {(使用量-2,000m ³)×330円+624,120円 +基本料金(1,800円/13mm:1,980円/20mm: 2,500円/25mm)}×1.10 | | | | | |
| 57 | 9,152 | 9,350 | 9,922 | 5,013 | | | | ・下水道使用料 {(使用量-2,000m ³)×224円+325,546円} ×1.10 | | | | | |
| 58 | 9,372 | 9,570 | 10,142 | 5,119 | | | | 2,001 | 2,001m ³ ~の計算例 | | | | |
| 59 | 9,592 | 9,790 | 10,362 | 5,225 | | | | } | ・水道料金 {(使用量-2,000m ³)×330円+624,120円 +基本料金(1,800円/13mm:1,980円/20mm: 2,500円/25mm)}×1.10 | | | | |
| 60 | 9,812 | 10,010 | 10,582 | 5,330 | | | | | ・下水道使用料 {(使用量-2,000m ³)×224円+325,546円} ×1.10 | | | | |
| 61 | 10,087 | 10,285 | 10,857 | 5,457 | | 2,001 | | | 2,001m ³ ~の計算例 | | | | |
| 62 | 10,362 | 10,560 | 11,132 | 5,583 | | } | | | ・水道料金 {(使用量-2,000m ³)×330円+624,120円 +基本料金(1,800円/13mm:1,980円/20mm: 2,500円/25mm)}×1.10 | | | | |
| 63 | 10,637 | 10,835 | 11,407 | 5,710 | | | | | ・下水道使用料 {(使用量-2,000m ³)×224円+325,546円} ×1.10 | | | | |
| 64 | 10,912 | 11,110 | 11,682 | 5,836 | | | | | 2,001 | 2,001m ³ ~の計算例 | | | |
| 65 | 11,187 | 11,385 | 11,957 | 5,963 | | | | | } | ・水道料金 {(使用量-2,000m ³)×330円+624,120円 +基本料金(1,800円/13mm:1,980円/20mm: 2,500円/25mm)}×1.10 | | | |
| 66 | 11,462 | 11,660 | 12,232 | 6,089 | | | ・下水道使用料 {(使用量-2,000m ³)×224円+325,546円} ×1.10 | | | | | | |
| 67 | 11,737 | 11,935 | 12,507 | 6,216 | | | 2,001 | | | 2,001m ³ ~の計算例 | | | |
| 68 | 12,012 | 12,210 | 12,782 | 6,342 | | | } | | | ・水道料金 {(使用量-2,000m ³)×330円+624,120円 +基本料金(1,800円/13mm:1,980円/20mm: 2,500円/25mm)}×1.10 | | | |
| 69 | 12,287 | 12,485 | 13,057 | 6,469 | ・下水道使用料 {(使用量-2,000m ³)×224円+325,546円} ×1.10 | | | | | | | | |
| 70 | 12,562 | 12,760 | 13,332 | 6,595 | 2,001 | | | | | 2,001m ³ ~の計算例 | | | |

※この料金表は消費税相当額(10%)が含まれた上下水道料金を表記しています。

※料金は口径別の水道料金と下水道使用料の合計で請求させていただきます。

※集合住宅等(戸数計算が適用されている区分)は一戸当たり20mmで計算されます。

2. 北大阪各市決算状況等(令和3年度(2021年度))

(業務量)

| 項目 | 市 | 単位 | 吹田 | 茨木 | 高槻 | 豊中 |
|-----------|-----------------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | | | | | |
| 給水人口 | 人 | | 378,347 | 283,285 | 349,053 | 407,860 |
| 給水戸数 | 戸 | | 179,391 | 129,762 | 168,361 | 178,082 |
| 総配水量 | 千m ³ | | 41,667.30 | 30,667.39 | 36,618.28 | 43,343.79 |
| 自己水源 | 千m ³ | | 15,190.22 | 3,962.16 | 12,152.69 | 4,219.19 |
| 依存水源 | 千m ³ | | 26,477.08 | 26,705.23 | 24,465.59 | 39,124.60 |
| 企業団水 | 千m ³ | | 26,476.04 | 26,703.75 | 24,465.59 | 39,108.55 |
| その他 | 千m ³ | | 1.04 | 1.48 | 0.00 | 16.05 |
| 自己水比率 | % | | 36.5 | 12.9 | 33.2 | 9.7 |
| 有効有収水量 | 千m ³ | | 40,276.31 | 29,223.33 | 35,065.53 | 42,586.02 |
| 有収率 | % | | 96.7 | 95.3 | 95.8 | 98.3 |
| 一日最大配水量 | m ³ | | 120,375 | 89,070 | 108,340 | 128,835 |
| 一日平均配水量 | m ³ | | 114,157 | 84,020 | 100,324 | 118,750 |
| 一日当たり配水能力 | m ³ | | 141,000 | 111,031 | 112,393 | 216,575 |

(収益的収支:税抜き)

| | | | | | |
|----------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 総収益 | 千円 | 7,789,749 | 5,410,717 | 6,172,529 | 7,541,528 |
| 給水収益 | 千円 | 6,824,885 | 4,335,137 | 5,015,874 | 6,647,869 |
| 他会計繰入金 | 千円 | 12,137 | 9,356 | 41,423 | 34,701 |
| うち基準外繰入 | 千円 | 0 | 830 | 30,035 | 14,861 |
| 加入金※① | 千円 | 459,250 | 252,690 | 135,590 | 206,236 |
| 長期前受金戻入 | 千円 | 164,355 | 637,615 | 592,327 | 208,391 |
| その他の経常収入 | 千円 | 329,122 | 174,404 | 376,049 | 444,331 |
| 特別利益 | 千円 | 0 | 1,515 | 11,266 | 0 |
| 総費用 | 千円 | 5,730,189 | 4,775,038 | 5,237,457 | 7,059,505 |
| 職員給与費 | 千円 | 1,013,715 | 347,780 | 639,873 | 1,214,339 |
| 受水費 | 千円 | 1,906,436 | 1,923,204 | 1,761,523 | 2,818,838 |
| 動力費 | 千円 | 160,081 | 134,451 | 167,302 | 64,991 |
| 減価償却費 | 千円 | 1,048,153 | 1,588,537 | 1,663,243 | 1,642,673 |
| 支払利息 | 千円 | 167,153 | 81,521 | 20,638 | 320,358 |
| その他の経常費用 | 千円 | 1,434,651 | 677,840 | 980,545 | 998,306 |
| 特別損失 | 千円 | 0 | 21,705 | 4,333 | 0 |
| 単年度損(△)益 | 千円 | 2,059,560 | 635,679 | 935,072 | 482,023 |
| 累積損(△)益 | 千円 | 3,453,675 | 2,250,364 | 2,514,907 | 3,690,852 |

※ 106～109ページは総務省決算状況調に基づき記載。

※① 加入金、納付金等の名称で「収益的収入」としているもの

| 撰 津 | 箕 面 | 池 田 | 吹 田 = 100 とした 比較 | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|------------------|-----|-------|-----|-----|-----|
| | | | 茨 木 | 高 槻 | 豊 中 | 撰 津 | 箕 面 | 池 田 |
| 86,480 | 138,643 | 103,317 | 75 | 92 | 108 | 23 | 37 | 27 |
| 42,225 | 68,473 | 56,463 | 72 | 94 | 99 | 24 | 38 | 31 |
| 10,177.76 | 14,472.84 | 11,412.46 | 74 | 88 | 104 | 24 | 35 | 27 |
| 2,474.37 | 1,682.66 | 10,830.71 | 26 | 80 | 28 | 16 | 11 | 71 |
| 7,703.39 | 12,790.18 | 581.75 | 101 | 92 | 148 | 29 | 48 | 2 |
| 7,703.39 | 12,790.18 | 581.75 | 101 | 92 | 148 | 29 | 48 | 2 |
| 0.00 | 0.00 | 0.00 | 142 | 0 | 1,543 | 0 | 0 | 0 |
| 24.3 | 11.6 | 94.9 | 35 | 91 | 27 | 67 | 32 | 260 |
| 9,326.89 | 14,310.78 | 10,934.53 | 73 | 87 | 106 | 23 | 36 | 27 |
| 91.6 | 98.9 | 95.8 | 99 | 99 | 102 | 95 | 102 | 99 |
| 30,200 | 45,583 | 33,376 | 74 | 90 | 107 | 25 | 38 | 28 |
| 27,884 | 39,652 | 31,267 | 74 | 88 | 104 | 24 | 35 | 27 |
| 57,400 | 49,050 | 69,000 | 79 | 80 | 154 | 41 | 35 | 49 |

| | | | | | | | | |
|-----------|-------------|-----------|-----|-----|-----|----|-----|----|
| 1,905,805 | 2,861,352 | 2,174,599 | 69 | 79 | 97 | 24 | 37 | 28 |
| 1,723,464 | 2,283,811 | 1,668,942 | 64 | 73 | 97 | 25 | 33 | 24 |
| 4,393 | 19,360 | 2,904 | 77 | 341 | 286 | 36 | 160 | 24 |
| 0 | 0 | 0 | — | — | — | — | — | — |
| 57,525 | 149,490 | 122,520 | 55 | 30 | 45 | 13 | 33 | 27 |
| 33,215 | 269,751 | 139,486 | 388 | 360 | 127 | 20 | 164 | 85 |
| 87,208 | 138,940 | 240,747 | 53 | 114 | 135 | 26 | 42 | 73 |
| 0 | 0 | 0 | — | — | — | — | — | — |
| 1,765,515 | 3,995,936 | 2,057,084 | 83 | 91 | 123 | 31 | 70 | 36 |
| 299,493 | 197,269 | 332,832 | 34 | 63 | 120 | 30 | 19 | 33 |
| 554,644 | 920,893 | 42,143 | 101 | 92 | 148 | 29 | 48 | 2 |
| 83,430 | 98,398 | 115,225 | 84 | 105 | 41 | 52 | 61 | 72 |
| 374,684 | 755,050 | 905,270 | 152 | 159 | 157 | 36 | 72 | 86 |
| 42,009 | 34,407 | 107,609 | 49 | 12 | 192 | 25 | 21 | 64 |
| 411,255 | 505,676 | 553,926 | 47 | 68 | 70 | 29 | 35 | 39 |
| 0 | 1,484,243 | 79 | — | — | — | — | — | — |
| 140,290 | △ 1,134,584 | 117,515 | 31 | 45 | 23 | 7 | -55 | 6 |
| 688,125 | △ 893,540 | 117,598 | 65 | 73 | 107 | 20 | -26 | 3 |

(資本的収支：税込み)

| 項目 | | 市 | | 吹 田 | 茨 木 | 高 槻 | 豊 中 |
|-----------|-------------|-----|--|-------------|--------------|-------------|-------------|
| | | 単 位 | | | | | |
| 総 収 入 | | 千円 | | 1,815,200 | (注1) 671,858 | 38,599 | 1,871,867 |
| | 企 業 債 | 千円 | | 1,780,000 | 442,000 | 0 | 1,576,900 |
| | そ の 他 | 千円 | | 35,200 | 229,858 | 38,599 | 294,967 |
| 総 支 出 | | 千円 | | 4,575,214 | 2,002,358 | 2,251,428 | 4,051,163 |
| | 建 設 改 良 費 | 千円 | | 3,942,663 | 1,436,704 | 2,065,171 | 2,182,022 |
| | うち、職員給与費 | 千円 | | 158,833 | 211,390 | 113,782 | 120,499 |
| | 企 業 債 償 還 金 | 千円 | | 632,551 | 565,654 | 186,096 | 1,869,141 |
| | そ の 他 | 千円 | | 0 | 0 | 161 | 0 |
| 単年度過不足(△) | | 千円 | | △ 2,760,014 | △ 1,330,500 | △ 2,212,829 | △ 2,179,296 |

(注1) 翌年度繰越額に係る財源充当額 71,466千円を除く。

(その他)

| | | | | | | |
|-------------------------------|-------------------|----------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 職 員 数 | 人 | | 133 | 80 | 89 | 154 |
| | 損益勘定職員数 | 人 | 111 | 52 | 73 | 139 |
| | 資本勘定職員数 | 人 | 22 | 28 | 16 | 15 |
| ※① 運 転 資 金 | 千円 | | 4,237,065 | 3,286,395 | 5,622,347 | 3,527,933 |
| ※② 同 上 比 率 | % | | 59.8 | 72.9 | 107.0 | 49.9 |
| 給 水 原 価 | 円 | | 136.46 | 140.80 | 131.47 | 160.24 |
| 供 給 単 価 | 円 | | 169.45 | 148.35 | 143.04 | 156.10 |
| ※③ 職員1人 当 たり | 給 水 人 口 | 人 | 3,409 | 5,448 | 4,782 | 2,934 |
| | 有 効 有 収 水 量 | m ³ | 362,850 | 561,987 | 480,350 | 306,374 |
| | 給 水 収 益 | 千円 | 61,485 | 83,368 | 68,711 | 47,826 |
| | 営 業 収 益 | 千円 | 63,818 | 86,651 | 72,010 | 50,827 |
| 水道料金 最近改定 | 適 用 年 月 | 年月 | 2.4 | 22.10 | 30.7 | 22.11 |
| | 平 均 改 定 率 | % | 15.20 | △ 17.69 | △ 1.01 | △ 0.53 |
| | 計 算 期 間 | 年月 | 2.4~7.3 | 22.4~27.3 | 30.7~3.3 | 22.11~25.3 |
| ※④ 一 般 用 口径20mm 水道料金 | 6m ³ | 円 | 1,089 | 1,298 | 825 | 968 |
| | 10m ³ | 円 | 1,265 | 1,540 | 935 | 1,056 |
| | 20m ³ | 円 | 2,805 | 2,420 | 2,420 | 2,497 |
| | 30m ³ | 円 | 5,005 | 3,850 | 4,565 | 4,818 |
| | 50m ³ | 円 | 10,505 | 7,920 | 9,295 | 10,714 |
| | 300m ³ | 円 | 90,255 | 72,820 | 83,545 | 112,244 |

※① 流動資産－流動負債の額＋翌年度償還の建設改良に係る企業債、他会計からの借入金－固定負債

※② 同上の額を(営業収益-受託工事収益)で除した比率

※③ 損益勘定職員数で除す。

※④ 1か月当たり料金で、メーター料及び消費税相当額を含む。

| 撰 津 | 箕 面 | 池 田 | 吹 田 = 100 とし た 比 較 | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|--------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | 茨 木 | 高 槻 | 豊 中 | 撰 津 | 箕 面 | 池 田 |
| 745,835 | 416,341 | 376,111 | 37 | 2 | 103 | 41 | 23 | 21 |
| 722,100 | 393,000 | 363,100 | 25 | 0 | 89 | 41 | 22 | 20 |
| 23,735 | 23,341 | 13,011 | 653 | 110 | 838 | 67 | 66 | 37 |
| 1,602,970 | 1,236,161 | 1,338,326 | 44 | 49 | 89 | 35 | 27 | 29 |
| 1,240,662 | 880,489 | 711,474 | 36 | 52 | 55 | 31 | 22 | 18 |
| 40,718 | 49,954 | 63,802 | 133 | 72 | 76 | 26 | 31 | 40 |
| 361,915 | 355,126 | 625,676 | 89 | 29 | 295 | 57 | 56 | 99 |
| 393 | 546 | 1,176 | — | — | — | — | — | — |
| △ 857,135 | △ 819,820 | △ 962,215 | — | — | — | — | — | — |

| | | | | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 40 | 30 | 45 | 60 | 67 | 116 | 30 | 23 | 34 |
| 35 | 24 | 37 | 47 | 66 | 125 | 32 | 22 | 33 |
| 5 | 6 | 8 | 127 | 73 | 68 | 23 | 27 | 36 |
| 2,840,381 | 1,854,343 | 2,733,980 | 78 | 133 | 83 | 67 | 44 | 65 |
| 159.8 | 76.3 | 158.2 | 122 | 179 | 83 | 267 | 128 | 264 |
| 184.15 | 154.92 | 174.62 | 103 | 96 | 117 | 135 | 114 | 128 |
| 184.78 | 159.59 | 152.63 | 88 | 84 | 92 | 109 | 94 | 90 |
| 2,471 | 5,777 | 2,792 | 160 | 140 | 86 | 72 | 169 | 82 |
| 266,483 | 596,283 | 295,528 | 155 | 132 | 84 | 73 | 164 | 81 |
| 49,242 | 95,159 | 45,107 | 136 | 112 | 78 | 80 | 155 | 73 |
| 50,778 | 101,210 | 46,722 | 136 | 113 | 80 | 80 | 159 | 73 |
| 22.10 | 30.7 | 26.1 | — | — | — | — | — | — |
| △ 1.00 | △ 1.43 | △ 1.45 | — | — | — | — | — | — |
| 22.4~26.3 | 30.7~4.6 | 25.4~29.3 | — | — | — | — | — | — |
| 748 | 809 | 836 | 119 | 76 | 89 | 69 | 74 | 77 |
| 1,183 | 1,086 | 1,001 | 122 | 74 | 83 | 94 | 86 | 79 |
| 2,778 | 2,934 | 2,651 | 86 | 86 | 89 | 99 | 105 | 95 |
| 4,703 | 5,046 | 4,906 | 77 | 91 | 96 | 94 | 101 | 98 |
| 10,313 | 10,106 | 11,341 | 75 | 88 | 102 | 98 | 96 | 108 |
| 109,863 | 86,831 | 110,121 | 81 | 93 | 124 | 122 | 96 | 122 |

の引当金

3. 府内各市水道料金比較

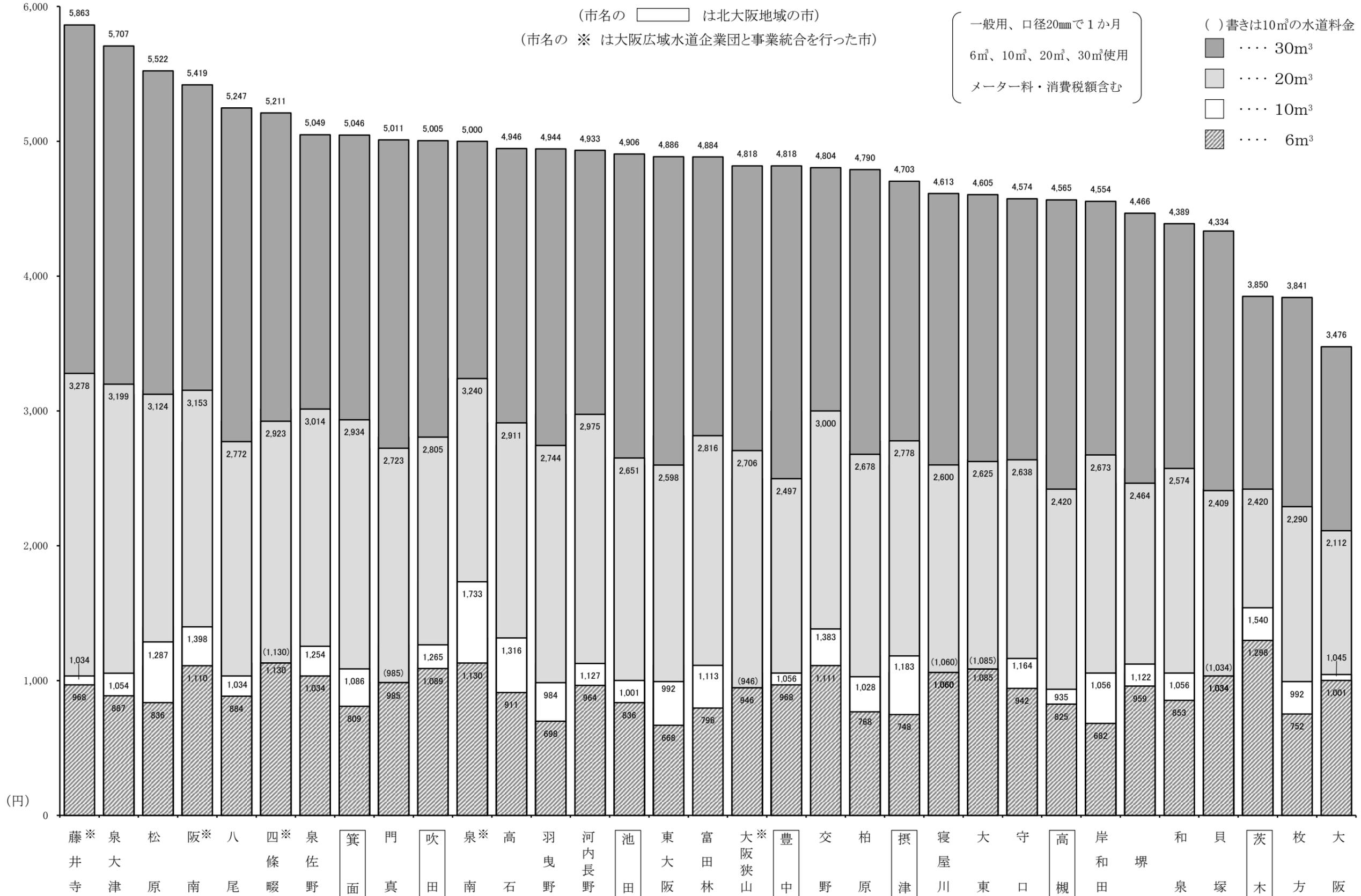
令和4年(2022年)3月31日現在 (単位: 円)

(市名の □ は北大阪地域の市)
 (市名の ※ は大阪広域水道企業団と事業統合を行った市)

一般用、口径20mmで1か月
 6m³、10m³、20m³、30m³使用
 メーター料・消費税額含む

()書きは10m³の水道料金

- 30m³
- 20m³
- 10m³
- ▨ 6m³

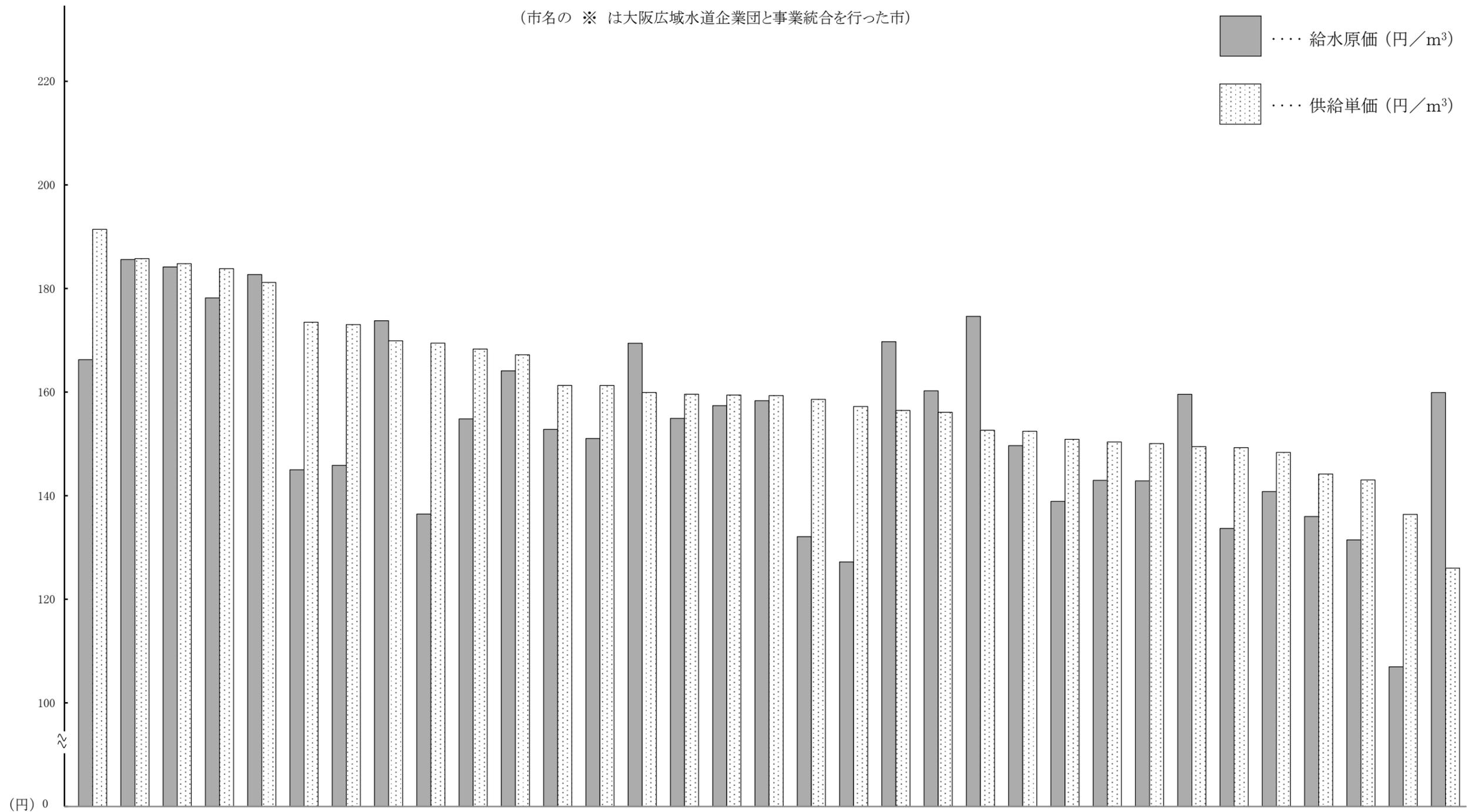


4. 府内各市原価・単価比較（令和3年度(2021年度)決算）

（市名の □ は北大阪地域の市）

（市名の ※ は大阪広域水道企業団と事業統合を行った市）

■ …… 給水原価（円／m³）
 □ …… 供給単価（円／m³）



| | 泉※ | 泉 | 摂 | 泉 | 阪※ | 高 | 藤※ | 四※ | 吹 | 松 | 八 | 門 | 大※ | 河 | 箕 | 大 | 柏 | 羽 | 交 | 豊 | 池 | 岸 | 守 | 富 | 寝 | 東 | 大 | 茨 | 和 | 高 | 枚 | 貝 | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 南 | 野 | 津 | 大 | 南 | 石 | 井 | 條 | 田 | 原 | 尾 | 真 | 阪 | 内 | 面 | 東 | 原 | 野 | 野 | 中 | 田 | 和 | 口 | 田 | 屋 | 大 | 阪 | 木 | 泉 | 槻 | 方 | 塚 | |
| 給水原価 | 166.3 | 185.6 | 184.2 | 178.2 | 182.7 | 145.0 | 145.9 | 173.8 | 136.5 | 154.8 | 164.1 | 152.8 | 151.0 | 169.4 | 154.9 | 157.4 | 158.3 | 132.1 | 127.2 | 169.7 | 160.2 | 174.6 | 149.7 | 138.9 | 143.0 | 142.9 | 159.6 | 133.7 | 140.8 | 136.0 | 131.5 | 107.0 | 159.9 |
| 供給単価 | 191.4 | 185.8 | 184.8 | 183.8 | 181.2 | 173.5 | 173.0 | 169.9 | 169.5 | 168.3 | 167.2 | 161.3 | 161.3 | 159.9 | 159.6 | 159.4 | 159.3 | 158.6 | 157.2 | 156.5 | 156.1 | 152.6 | 152.4 | 150.9 | 150.4 | 150.1 | 149.5 | 149.3 | 148.4 | 144.2 | 143.0 | 136.4 | 126.0 |

5. 水道事業ガイドライン(JWWA Q 100:2016)による 主要背景情報(CI)及び業務指標(PI)

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| (注) | | | | | | | | | | |
| 1. 指標の優位性 「↑」は数値が高い方が望ましい場合、「↓」は数値が低い方が望ましい場合、「◇」はいずれとも示せない場合を表しています。 | | | | | | | | | | |
| 2. 類似団体 業務指標等の比較を行うため、人口規模、水源種別、自己水比率等をもとに選定した本市と類似する水道事業体のことです。給水人口30万人以上50万人未満、自己水比率30%以上100%未満で業務指標 PI (JWWA Q 100:2016)を公表している8事業体。 福山市、一宮市、横須賀市、高崎市、前橋市、倉敷市、豊橋市、高槻市 | | | | | | | | | | |
| 3. 表中「-」は統計数値がないことを表しています。 ※ 平成30年度から改正されたPI (JWWA Q100:2016)を適用しています。なお、対応する旧番号を併記しています。 | | | | | | | | | | |

○主要背景情報 (CI)

| 番号 | 主要背景指標 | 単位 | 定義 (積算方法) | 令和 元年度 | 令和 2年度 | 令和 3年度 | 指標の解説 |
|-------------------------|-----------------|----------------------------|-------------------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---|
| 【1】 水道事業体のプロフィール | | | | | | | |
| CI1 | 給水人口規模 | 人 | - | 373,515 | 376,478 | 378,347 | 給水人口規模、職員数によって水道事業の経営規模が大きく異なります。水道事業体のプロフィールを表すものです。 |
| CI2 | 全職員数 | 人 | - | 126 | 130 | 132 | |
| 【2】 システムのプロフィール | | | | | | | |
| CI3 | 水源種別 | - | - | 淀川表流水 深井戸 浄水受水 | 淀川表流水 深井戸 浄水受水 | 淀川表流水 深井戸 浄水受水 | 水源種別、浄水場などの施設は、水道システムの最も基礎的な構成要素で、浄水処理の費用、施設の維持管理に要する費用などに大きな影響を与えます。また、浄水受水率は、受水の有無によって、必要とされる水道システムの条件が変わります。 |
| CI4 | 浄水受水率 | % | 浄水受水量/年間配水量 | 64.4 | 64.7 | 63.5 | |
| CI5 | 給水人口1万人当たりの浄水場数 | 箇所 /10,000 人 | 浄水場数/(現在給水人口 /10,000人) | 0.05 | 0.05 | 0.05 | |
| CI6 | 給水人口1万人当たりの施設数 | 箇所 /10,000 人 | (浄水場数+送・配水施設) / (現在給水人口/10,000人) | 0.21 | 0.21 | 0.19 | |
| 【3】 地域条件のプロフィール | | | | | | | |
| CI7 | 有収水量密度 | 1,000m ³ /ha | 有収水量/計画給水区域面積 | 11.03 | 11.22 | 11.16 | 人口密度、都市化の程度、山地面積など地域条件によるところが大きく、事業体の経営努力だけでは改善が難しい項目です。 |
| CI8 | 水道メーター密度 | 個/km | 水道メーター数/配水管延長 | 213.1 | 219.6 | 222.7 | |
| CI9 | 単位管延長 | m/人 | 導送配水管延長/現在給水人口 | 1.95 | 1.95 | 1.95 | |

○業務指標 (PI)

| 分類 | 区分 | 番号 | 旧番号 | 業務指標 | 単位 | 定義 (積算方法) | 指標の 優位性 | 令和 元年度 | 令和 2年度 | 令和 3年度 | R2年度 類似団 体平均 | 指標の解説 |
|--------------------|------|------|------|-----------------|------|-----------------------------|------------|-----------|-----------|-----------|--------------------|--|
| 【A】 安全で良質な水 | | | | | | | | | | | | |
| 運営管理 | 水質管理 | A101 | 1106 | 平均残留塩素濃度 | mg/L | 残留塩素濃度合計/ 残留塩素測定回数 | ◇ | 0.58 | 0.59 | 0.53 | 0.43 | 給水栓での残留塩素濃度の平均値を表しています。 |
| | | A102 | 1105 | 最大カビ臭物質濃度水質基準比率 | % | (最大カビ臭物質濃度/ 水質基準値) × 100 | ↓ | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 30.2 | 給水栓におけるカビ臭物質濃度の最大値の水質基準値に対する割合を表しています。 |

| 分類 | 区分 | 番号 | 旧番号 | 業務指標 | 単位 | 定義（積算方法） | 指標の 優位性 | 令和 元年度 | 令和 2年度 | 令和 3年度 | R2年度 類似団 体平均 | 指標の解説 |
|----------------|--------|------|--------|------------------|---------------------------------|--|------------|-----------|-----------|-----------|--|--|
| 運営管理 | 水質管理 | A103 | 1107 | 総トリハロメタン濃度水質基準比率 | % | (Σ 給水栓の総トリハロメタン濃度 / 給水栓数) / 水質基準値 \times 100 | ↓ | 14.0 | 20.0 | 25.0 | 14.5 | 給水栓における総トリハロメタン濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の安全性を表しています。 |
| | | A104 | 1108 | 有機物（TOC）濃度水質基準比率 | % | (Σ 給水栓の有機物（TOC）濃度 / 給水栓数) / 水質基準値 \times 100 | ↓ | 30.0 | 26.7 | 26.7 | 17.4 | 給水栓における有機物（TOC）濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の安全性を表しています。 |
| | | A105 | 1110 | 重金属濃度水質基準比率 | % | (Σ 給水栓の当該重金属濃度 / 給水栓数) / 水質基準値 \times 100 | ↓ | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 3.5 | 給水栓における重金属濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の安全性を表しています。 |
| | | A106 | 1111 | 無機物質濃度水質基準比率 | % | (Σ 給水栓の当該無機物質濃度 / 給水栓数) / 水質基準値 \times 100 | ↓ | 15.0 | 15.0 | 15.3 | 18.6 | 給水栓における無機物質濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、水道水の味、色など性状を表しています。 |
| | | A107 | 1113 | 有機化学物質濃度水質基準比率 | % | (Σ 給水栓の当該有機化学物質濃度 / 給水栓数) / 水質基準値 \times 100 | ↓ | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | 給水栓における有機化学物質濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、原水の汚染状況及び水道水の安全性を表しています。 |
| | | A108 | 1114 | 消毒副生成物濃度水質基準比率 | % | (Σ 給水栓の当該消毒副生成物濃度 / 給水栓数) / 水質基準値 \times 100 | ↓ | 40.0 | 30.0 | 40.0 | 12.8 | 給水栓における消毒副生成物濃度の水質基準値に対する割合を示すもので、原水の汚染状況及び水道水の安全性を表しています。 |
| | | A109 | 1109 | 農薬濃度水質管理目標比 | - | $\max \Sigma (X_{ij} / GV_j)$ | ↓ | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.001 | 給水栓における各農薬濃度と水質管理目標値との比の合計を示すもので、水源の汚染状況及び水道水の安全性を表しています。 |
| | 施設管理 | A201 | 1101 | 原水水質監視度 | 項目 | 原水水質監視項目数 | ◇ | 131 | 130 | 130 | 96 | 水道事業者が原水水質の項目をどの程度検査しているかを示しており、水道事業者の水質管理水準を表しています。 |
| | | A202 | 1102 | 給水栓水質検査（毎日）箇所密度 | 箇所 / 100 km ² | 給水栓水質検査（毎日）採水箇所数 / (現在給水面積 / 100) | ↑ | 30.5 | 30.5 | 30.5 | 10.7 | 給水栓における毎日水質検査に関して、給水面積100km ² 当たりの給水栓水質の監視箇所数を示したものであり、水道水の水質管理水準を表しています。 |
| | | A203 | 5002 | 配水池清掃実施率 | % | (5年間に清掃した配水池有効容量 / 配水池有効容量) \times 100 | ↑ | 55.3 | 56.3 | 66.5 | 32.9 | 配水池有効容量に対する5年間に清掃した配水池有効容量の割合を示すもので、安全で良質な水への取組む合いを表しています。 |
| | | A204 | 1115 | 直結給水率 | % | (直結給水件数 / 給水件数) \times 100 | ↑ | 88.9 | 89.6 | 89.8 | 92.9 | 給水件数に対する直結給水件数の割合を示すもので、受水槽管理の不備に伴う衛生問題などに対する水道事業者としての取組む合いを表しています。 |
| | | A205 | 5115 | 貯水槽水道指導率 | % | (貯水槽水道指導件数 / 貯水槽水道数) \times 100 | ↑ | 30.7 | 30.1 | 30.4 | 6.3 | 貯水槽水道数に対する指導を実施した件数の割合を示すもので、水道事業としての貯水槽水道への関与度を表しています。 |
| | 事故災害対策 | A301 | 2201 | 水源の水質事故件数 | 件 | 年間水源水質事故件数 | ↓ | 0 | 0 | 0 | 0 | 1年間における水源の水質事故件数を示すもので、水源の突発的水質異常のリスクがどれだけあるかを表しています。 |
| | | A302 | 1116 | 粉末活性炭処理比率 | % | (粉末活性炭年間処理水量 / 年間浄水量) \times 100 | ↓ | 0.0 | 0.0 | 2.4 | 49.7 | 年間浄水処理量に対する粉末活性炭年間処理水量の割合を示すもので、原水の汚染状況、水質事故などに対する指標です。 |
| 整備 施設 更新 | A401 | 1117 | 鉛製給水管率 | % | (鉛製給水管使用件数 / 給水件数) \times 100 | ↓ | 5.6 | 4.4 | 3.7 | 8.1 | 給水件数に対する鉛製給水管使用件数の割合を示すものであり、鉛製給水管の解消に向けた取組む合いの進捗度合いを表しています。 | |

| 分類 | 区分 | 番号 | 旧番号 | 業務指標 | 単位 | 定義（積算方法） | 指標の 優位性 | 令和 元年度 | 令和 2年度 | 令和 3年度 | R2年度 類似団 体平均 | 指標の解説 |
|---------------------|------|------|------|------------------------------|--------------------|---------------------------|------------|-----------|-----------|-----------|--------------------|--|
| 【B】 安定した水の供給 | | | | | | | | | | | | |
| 運営管理 | 施設管理 | B101 | 1004 | 自己保有水源率 | % | (自己保有水源水量/全水源水量)×100 | ↑ | 41.8 | 41.9 | 41.8 | 42.8 | 水道事業者が保有する全ての水源量に対する、その水道事業者が単独で管理し、水道事業者の意思で自由に取水できる水源量の割合を示すもので、水源運用の自由度を表しています。 |
| | | B102 | 1005 | 取水1m ³ 当たり水源保全投資額 | 円/m ³ | 水源保全に投資した費用/年間取水量 | ↑ | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.50 | 取水1m ³ 当たりに対する水質保全に対する投資費用を示すもので、水道事業者の水質保全への取組状況を表しています。 |
| | | B103 | 4101 | 地下水率 | % | (地下水揚水量 / 年間取水量)×100 | ↑ | 30.3 | 29.8 | 31.5 | 44.8 | 水源利用水量に対する地下水揚水量の割合を示すもので、水道事業者の水源特性を表しています。 |
| | | B104 | 3019 | 施設利用率 | % | (一日平均配水量/施設能力)×100 | ↑ | 80.2 | 81.9 | 81.0 | 69.3 | 施設能力に対する一日平均配水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表しています。 |
| | | B105 | 3020 | 最大稼働率 | % | (一日最大配水量/施設能力)×100 | ↑ | 85.4 | 87.4 | 85.4 | 78.1 | 施設能力に対する一日最大配水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表しています。 |
| | | B106 | 3021 | 負荷率 | % | (一日平均配水量/一日最大配水量)×100 | ↑ | 94.0 | 93.6 | 94.8 | 89.1 | 一日最大配水量に対する一日平均配水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表しています。 |
| | | B107 | 2007 | 配水管延長密度 | km/km ² | 配水管延長/現在給水面積 | ↑ | 19.4 | 19.4 | 19.5 | 13.1 | 給水面積当たりの配水管延長を示すもので、使用者からの給水申込みに対する物理的利便性の度合いを表しています。 |
| | | B108 | 5111 | 管路点検率 | % | (点検した管路延長 / 管路延長) × 100 | ↑ | 90.5 | 89.8 | 89.3 | 16.4 | 管路延長に対する1年間で点検した管路延長の割合を示すもので、管路の健全性確保に対する執行度合いを表しています。 |
| | | B109 | 新規 | バルブ点検率 | % | (点検したバルブ数 / バルブ設置数) × 100 | ↑ | 97.2 | 97.7 | 97.7 | 4.5 | バルブ設置数に対する1年間で点検したバルブ数の割合を示すもので、管路の健全性確保に対する執行度合いを表しています。 |
| | | B110 | 5107 | 漏水率 | % | (年間漏水量 / 年間配水量) × 100 | ↓ | 1.7 | 1.8 | 1.1 | 6.0 | 配水量に対する漏水量の割合を示しており、事業効率を表す指標です。 |
| | | B111 | 新規 | 有効率 | % | (年間有効水量 / 年間配水量) × 100 | ↑ | 98.1 | 98.1 | 98.7 | 93.9 | 年間配水量に対する年間有効水量の割合を示すもので、水道事業の経営効率性を表しています。 |
| | | B112 | 3018 | 有収率 | % | (年間有収水量/年間配水量)×100 | ↑ | 96.2 | 96.1 | 96.7 | 91.4 | 年間配水量に対する年間有収水量の割合を示すもので、水道施設を通して供給される水量が、どの程度収益につながっているかを表しています。 |
| | | B113 | 2004 | 配水池貯留能力 | 日 | 配水池有効容量/一日平均配水量 | ↑ | 0.54 | 0.53 | 0.54 | 0.90 | 一日平均配水量に対する配水池有効容量の割合を示すもので、給水に対する安定性を表しています。 |
| | | B114 | 2002 | 給水人口一人当たり配水量 | L/日・人 | (一日平均配水量×1,000)/現在給水人口 | ↓ | 303 | 307 | 302 | 340 | 給水人口一人当たりの配水量を示すもので、家庭用以外の水利用の多少を表しています。 |
| | | B115 | 2005 | 給水制限日数 | 日 | 年間給水制限日数 | ↓ | 0 | 0 | 0 | 0 | 1年間に給水制限を実施した日数を示すもので、給水サービスの安定性を表しています。 |

| 分類 | 区分 | 番号 | 旧番号 | 業務指標 | 単位 | 定義（積算方法） | 指標の優位性 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | R2年度類似団体平均 | 指標の解説 |
|------|--------|------|---------|--|-----------------------------------|--|--------|-------|-------|-------|--|--|
| 運営管理 | 施設管理 | B116 | 2006 | 給水普及率 | % | (現在給水人口/給水区域内人口)×100 | ↑ | 99.9 | 99.9 | 99.9 | 99.4 | 給水区域内に居住する人口に対する給水人口の割合を示すもので、水道事業のサービス享受の概況及び地域性を表しています。 |
| | | B117 | 5110 | 設備点検実施率 | % | (点検機器数/機械・電気・計装機器の合計数)×100 | ↑ | 14.8 | 11.0 | 49.2 | 55.0 | 機械・電気・計装機器の合計数に対する点検機器数の割合を示すもので、設備の健全性確保に対する点検割合を表しています。 |
| | 事故災害対策 | B201 | 5101 | 浄水場事故割合 | 件/10年・箇所 | 10年間の浄水場停止事故件数 / 浄水場数 | ↓ | 0.00 | 0.50 | 0.50 | 0.13 | 直近10年間に浄水場が事故で停止した件数を一浄水場当たりの割合として示すものであり、施設の信頼性を表しています。 |
| | | B202 | 2204 | 事故時断水人口率 | % | (事故時断水人口/現在給水人口)×100 | ↓ | 19.6 | 19.7 | 19.7 | 25.3 | 浄水場などの事故時において給水できない人口の割合を示しており、水道事業者のシステムの融通性、余裕度によるサービスの安定性を表しています。 |
| | | B203 | 2001 | 給水人口一人当たり貯留飲料水量 | L/人 | (配水池有効容量×1/2+緊急貯水槽容量)×1,000/現在給水人口 | ↑ | 83 | 82 | 82 | 168 | 災害時に確保されている給水人口一人当たりの飲料水量を示す指標であり、水道事業者の災害対応度を表しています。 |
| | | B204 | 5103 | 管路の事故割合 | 件/100km | 管路の事故件数 / (管路延長/100) | ↓ | 5.8 | 6.0 | 4.5 | 4.0 | 1年間における導・送・配水管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、管路の健全性を表しています。 |
| | | B205 | 2202 | 基幹管路の事故割合 | 件/100km | 基幹管路の事故件数 / (基幹管路延長/100) | ↓ | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.7 | 1年間における基幹管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、基幹管路の健全性を表しています。 |
| | | B206 | 5104 | 鉄製管路の事故割合 | 件/100km | 鉄製管路の事故件数 / (鉄製管路延長/100) | ↓ | 3.3 | 4.1 | 3.5 | 1.9 | 1年間における鉄製導・送・配水管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、鉄製管路の健全性を表しています。 |
| | | B207 | 5105 | 非鉄製管路の事故割合 | 件/100km | 非鉄製管路の事故件数 / (非鉄製管路延長/100) | ↓ | 28.4 | 30.0 | 19.0 | 6.5 | 1年間における非鉄製導・送・配水管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、非鉄製管路の健全性を表しています。 |
| | | B208 | 5106 | 給水管の事故割合 | 件/1,000件 | 給水管の事故件数 / (給水管件数/1,000) | ↓ | 3.5 | 3.2 | 3.3 | 3.0 | 給水管件数1,000件当たりの給水管の事故件数を示しており、配水管分岐から水道メーターまでの給水管の健全性を表しています。 |
| | | B209 | 5109 | 給水人口一人当たり平均断水・濁水時間 | 時間 | Σ(断水・濁水時間 × 断水・濁水区域給水人口) / 現在給水人口 | ↓ | 0.00 | 0.01 | 0.00 | 0.05 | 現在給水人口に対する断水・濁水時間を示すものであり、給水の安定度を表しています。 |
| | | B210 | 新規 | 災害対策訓練実施回数 | 回/年 | 年間の災害対策訓練実施回数 | ↑ | 19 | 3 | 17 | 5 | 1年間に災害対策訓練を実施した回数を示すもので、自然災害に対する危機対応性を表しています。 |
| | B211 | 5114 | 消火栓設置密度 | 基/km | 消火栓数 / 配水管延長 | ↑ | 8.0 | 8.0 | 8.0 | 2.5 | 配水管延長に対する消火栓の設置密度を示すもので、危機対応能力の度合いを表しています。 | |
| | 環境対策 | B301 | 4001 | 配水量1m ³ 当たり電力消費量 | kWh/m ³ | 電力使用量の合計 / 年間配水量 | ↓ | 0.25 | 0.24 | 0.25 | 0.29 | 配水量1m ³ 当たりの電力消費量を示すもので、省エネルギー対策への取組具合を表しています。 |
| | | B302 | 4002 | 配水量1m ³ 当たり消費エネルギー | MJ/m ³ | エネルギー消費量 / 年間配水量 | ↓ | 2.40 | 2.35 | 2.38 | 1.50 | 配水量当たりの消費エネルギー量の割合を示すもので、省エネルギー対策への取組具合を表しています。 |
| | | B303 | 4006 | 配水量1m ³ 当たり二酸化炭素(CO ₂)排出量 | g・CO ₂ /m ³ | [二酸化炭素(CO ₂)排出量 / 年間配水量] × 10 ⁶ | ↓ | 93 | 85 | 86 | 121 | 年間配水量に対する総二酸化炭素(CO ₂)排出量であり、環境保全への取組具合を表しています。 |

| 分類 | 区分 | 番号 | 旧番号 | 業務指標 | 単位 | 定義（積算方法） | 指標の優位性 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | R2年度類似団体平均 | 指標の解説 | |
|------|------|--------|--------|--------------|----------------|--------------------------------------|--|-------|-------|-------|------------|---|--|
| 運営管理 | 環境対策 | B304 | 4003 | 再生可能エネルギー利用率 | % | (再生可能エネルギー設備の電力使用量 / 電力使用量の合計) × 100 | ↑ | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.089 | 全施設の電力使用量に対する再生可能エネルギーの利用の割合を示すもので、環境負荷低減に対する取組具合を表しています。 | |
| | | B305 | 4004 | 浄水発生土の有効利用率 | % | (有効利用土量 / 浄水発生土量) × 100 | ↑ | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 浄水発生土量に対する有効利用土量の割合を示すもので、環境保全への取組具合を表しています。 | |
| | | B306 | 4005 | 建設副産物のリサイクル率 | % | (リサイクルされた建設副産物量 / 建設副産物発生量) × 100 | ↑ | 100.0 | 100.0 | 94.0 | 85.8 | 水道事業における工事などで発生する建設副産物のうち、リサイクルされた建設副産物量の割合を示すもので、環境保全への取組具合を表しています。 | |
| 施設管理 | 施設更新 | B401 | 5102 | ダクトイル鋳鉄管・鋼管率 | % | [(ダクトイル鋳鉄管延長 + 鋼管延長) / 管路延長] × 100 | ↑ | 70.4 | 71.7 | 72.7 | 57.0 | 全管路延長に対するダクトイル鋳鉄管・鋼管の割合を示すもので、管路の母材強度に視点を当てた指標です。 | |
| | | B402 | 2107 | 管路の新設率 | % | (新設管路延長/管路延長) × 100 | ◇ | 0.18 | 0.42 | 0.22 | 0.23 | 管路延長に対する1年間に新設した管路延長の割合を示すもので、管路整備具合を表しています。 | |
| | 施設整備 | 施設更新 | B501 | 2101 | 法定耐用年数超過浄水施設率 | % | (法定耐用年数を超過している浄水施設能力/全浄水施設能力) × 100 | ↓ | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 18.2 | 全浄水施設能力に対する法定耐用年数を超過した浄水施設の浄水能力の割合を示すもので、施設の老朽化度及び更新の取組状況を表しています。 |
| | | | B502 | 2102 | 法定耐用年数超過設備率 | % | (法定耐用年数を超過している機械・電気・計装設備などの合計数/機械・電気・計装設備などの合計数) × 100 | ↓ | 69.2 | 68.0 | 37.9 | 41.7 | 水道施設に設置されている機械・電気・計装設備の機器合計数に対する法定耐用年数を超過している機器数の割合を示すものであり、機器の老朽度、更新の取組状況を表しています。 |
| | | | B503 | 2103 | 法定耐用年数超過管路率 | % | (法定耐用年数を超過している管路延長/管路延長) × 100 | ↓ | 38.0 | 38.0 | 38.0 | 24.8 | 管路の延長に対する法定耐用年数を超過している管路の割合を示すものであり、管路の老朽化度、更新の取組状況を表しています。 |
| | | | B504 | 2104 | 管路の更新率 | % | (更新された管路延長/管路延長) × 100 | ↑ | 1.44 | 1.68 | 1.35 | 0.71 | 管路の延長に対する更新された管路延長の割合を示すもので、信頼性確保のための管路更新の執行度合いを表しています。 |
| | | | B505 | 2105 | 管路の更生率 | % | (更生された管路延長/管路延長) × 100 | ◇ | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 0.000 | 管路の延長に対する更生を行った管路の割合を示すもので、信頼性確保のための管路維持の執行度合いを表しています。 |
| | 施設整備 | 事故災害対策 | B601 | 2206 | 系統間の原水融通率 | % | (原水融通能力/全浄水施設能力) × 100 | ◇ | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.5 | 全浄水施設能力に対する他系統からの融通可能な原水水量の割合を示すものであり、水運用の安定性、柔軟性及び危機対応性を表しています。 |
| | | | B602 | 2207 | 浄水施設の耐震化率 | % | (耐震対策の施された浄水施設能力/全浄水施設能力) × 100 | ↑ | 0.0 | 0.0 | 26.4 | 42.2 | 全浄水施設能力に対する耐震対策が施されている浄水施設能力の割合を示すもので、地震災害に対する浄水処理機能の信頼性・安全性を表しています。 |
| | | | B602-2 | 新規 | 浄水施設の主要構造物耐震化率 | % | [(沈殿・ろ過を有する施設の耐震化浄水施設能力+ろ過のみ施設の耐震化浄水施設能力)/全浄水施設能力] × 100 | ↑ | 60.6 | 60.6 | 63.2 | 41.3 | 浄水施設のうち主要構造物である、沈でん池及びろ過池に対する耐震対策が施されている割合を示すもので、B602（浄水施設の耐震化率）の連捗を表しています。 |
| B603 | | | 2208 | ポンプ所の耐震化率 | % | (耐震対策の施されたポンプ所能力/耐震化対象ポンプ所能力) × 100 | ↑ | 97.6 | 97.7 | 100.0 | 54.5 | 耐震化対象ポンプ所能力に対する耐震対策が施されたポンプ所能力の割合を示すもので、地震災害に対するポンプ施設の信頼性・安全性を表しています。 | |
| B604 | | | 2209 | 配水池の耐震化率 | % | (耐震対策の施された配水池有効容量/配水池等有効容量) × 100 | ↑ | 90.3 | 90.3 | 90.3 | 73.2 | 全配水池容量に対する耐震対策の施された配水池の容量の割合を示すもので、地震災害に対する配水池の信頼性・安全性を表しています。 | |
| B605 | | | 2210 | 管路の耐震管率 | % | (耐震管延長/管路延長) × 100 | ↑ | 20.4 | 22.3 | 23.8 | 18.6 | 導・送・配水管（配水支管を含む）全ての管路の延長に対する耐震管の延長の割合を示すもので、地震災害に対する水道管路網の安全性、信頼性を表しています。 | |

| 分類 | 区分 | 番号 | 旧番号 | 業務指標 | 単位 | 定義（積算方法） | 指標の優位性 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | R2年度類似団体平均 | 指標の解説 |
|------|--------|--------|------|------------------|------------------------|--|--------|--------|--------|--------|------------|--|
| 施設整備 | 事故災害対策 | B606 | 新規 | 基幹管路の耐震管率 | % | (基幹管路のうち耐震管延長/基幹管路延長)×100 | ↑ | 43.9 | 47.2 | 47.7 | 36.4 | 基幹管路の延長に対する耐震管の延長の割合を示すものであり、地震災害に対する基幹管路の安全性、信頼性を表しています。 |
| | | B606-2 | 新規 | 基幹管路の耐震適合率 | % | (基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長/基幹管路延長)×100 | ↑ | 49.9 | 52.8 | 53.3 | 54.0 | 基幹管路の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示すもので、B606（基幹管路の耐震化率）を補足する指標です。 |
| | | B607 | 新規 | 重要給水施設配水管路の耐震管率 | % | (重要給水施設配水管路のうち耐震管延長/重要給水施設配水管路延長)×100 | ↑ | 37.4 | 38.1 | 44.0 | 37.6 | 重要給水施設への配水管の総延長に対する耐震管延長の割合を示すもので、大規模な地震災害に対する重要給水施設配水管路の安全性、信頼性を表しています。 |
| | | B607-2 | 新規 | 重要給水施設配水管路の耐震適合率 | % | (重要給水施設配水管路のうち耐震適合性のある管路延長/重要給水施設配水管路延長)×100 | ↑ | 40.8 | 41.6 | 46.8 | 52.1 | 重要給水施設への配水管の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示すもので、B607（重要給水施設配水管路の耐震管率）を補足する指標です。 |
| | | B608 | 2216 | 停電時配水量確保率 | % | (全施設停電時に確保できる配水能力/一日平均配水量)×100 | ↑ | 106.4 | 106.8 | 105.4 | 63.4 | 一日平均配水量に対する全施設が停電した場合に確保できる配水能力の割合を示すもので、災害時・広域停電時における危機対応性を表しています。 |
| | | B609 | 2211 | 薬品備蓄日数 | 日 | (平均凝集剤貯蔵量/凝集剤一日平均使用量)又は(平均塩素剤貯蔵量/塩素剤一日平均使用量)のうち、小さい方の値 | ↑ | 26.5 | 24.2 | 49.6 | 24.8 | 浄水場で使う薬品の平均貯蔵量に対する一日平均使用量の割合を示すもので、災害に対する危機対応力を表しています。 |
| | | B610 | 2212 | 燃料備蓄日数 | 日 | 平均燃料貯蔵量/一日燃料使用量 | ↑ | 2.8 | 2.4 | 2.4 | 0.7 | 停電時においても自家発電設備で浄水場の稼働を継続できる日数を示すもので、災害時の対応性を表しています。 |
| | | B611 | 2205 | 応急給水施設密度 | 箇所/100km ² | 応急給水施設数/(現在給水面積/100) | ↑ | 22.2 | 22.2 | 22.2 | 23.9 | 100km ² 当たりの応急給水施設数を示すもので、震災時などにおける飲料水の確保のしやすさを表しています。 |
| | | B612 | 2213 | 給水車保有度 | 台/1,000人 | 給水車数/(現在給水人口/1,000) | ↑ | 0.0054 | 0.0053 | 0.0053 | 0.0084 | 給水人口1,000人当たりの給水車保有台数を示すものであり、事故・災害などの緊急時における応急給水活動の対応性を表しています。 |
| | | B613 | 2215 | 車載用の給水タンク保有度 | m ³ /1,000人 | 車載用給水タンクの容量/(現在給水人口/1,000) | ↑ | 0.048 | 0.048 | 0.048 | 0.042 | 給水人口1,000人当たりの車載用給水タンク容量を示すものであり、主に大地震などが発生した場合における応急給水活動の対応性を表しています。 |

【C】 健全な事業経営

| 分類 | 区分 | 番号 | 旧番号 | 業務指標 | 単位 | 定義（積算方法） | 指標の優位性 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | R2年度類似団体平均 | 指標の解説 |
|----|------|------|------|---------------|----|----------------------------------|--------|-------|-------|-------|------------|--|
| 財務 | 健全経営 | C101 | 3001 | 営業収支比率 | % | [(営業収益-受託工事収益)/(営業費用-受託工事費)]×100 | ↑ | 115.6 | 128.3 | 129.3 | 107.0 | 営業収益の営業費用に対する割合を示すもので、水道事業の収益性を表しています。 |
| | | C102 | 3002 | 経常収支比率 | % | [(営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)]×100 | ↑ | 121.6 | 136.5 | 135.9 | 114.8 | 経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すもので、水道事業の収益性を表しています。 |
| | | C103 | 3003 | 総収支比率 | % | (総収益/総費用)×100 | ↑ | 124.6 | 132.5 | 135.9 | 114.6 | 総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示すもので、水道事業の収益性を表しています。 |
| | | C104 | 3004 | 累積欠損金比率 | % | [累積欠損金/(営業収益-受託工事収益)]×100 | ↓ | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 受託工事収益を除く営業収益に対する累積欠損金の割合を示すもので、水道事業経営の健全性を表しています。 |
| | | C105 | 3005 | 繰入金比率（収益的収入分） | % | (損益勘定繰入金/収益的収入)×100 | ↓ | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 0.8 | 収益的収入に対する損益勘定繰入金の依存度を示しており、事業の経営状況を表しています。 |

| 分類 | 区分 | 番号 | 旧番号 | 業務指標 | 単位 | 定義（積算方法） | 指標の優位性 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | R2年度類似団体平均 | 指標の解説 |
|------|------|-----------------|------|--|------------------|---|--------|--------|--------|--|------------|---|
| 財務 | 健全経営 | C106 | 3006 | 繰入金比率（資本的収入分） | % | (資本勘定繰入金/資本的収入計)×100 | ↓ | 1.3 | 0.9 | 1.9 | 5.6 | 資本的収入に対する資本勘定繰入金の依存度を示しており、事業の経営状況を表しています。 |
| | | C107 | 3007 | 職員一人当たり給水収益 | 千円/人 | 給水収益/損益勘定所属職員数 | ↑ | 56,443 | 61,614 | 62,044 | 80,273 | 損益勘定職員一人当たりの給水収益を示すもので、水道事業における生産性について給水収益を基準として把握するための指標です。 |
| | | C108 | 3008 | 給水収益に対する職員給与費の割合 | % | (職員給与費/給水収益)×100 | ↓ | 16.2 | 18.0 | 15.6 | 11.2 | 給水収益に対する職員給与費の割合を示すもので、水道事業の収益性を表しています。 |
| | | C109 | 3009 | 給水収益に対する企業債利息の割合 | % | (企業債利息/給水収益)×100 | ↓ | 2.9 | 2.4 | 2.4 | 4.3 | 給水収益に対する企業債利息の割合を示すもので、水道事業の効率性及び財務安全性を表しています。 |
| | | C110 | 3010 | 給水収益に対する減価償却費の割合 | % | (減価償却費/給水収益)×100 | ↓ | 17.6 | 15.6 | 15.5 | 39.5 | 給水収益に対する減価償却費の割合を示すもので、水道事業の収益性を表しています。 |
| | | C111 | 3011 | 給水収益に対する建設改良のための企業債償還元金の割合 | % | (建設改良のための企業債償還元金/給水収益)×100 | ↓ | 10.2 | 9.1 | 9.3 | 20.9 | 給水収益に対する建設改良のための企業債償還元金の割合を示すもので、建設改良のための企業債償還元金が経営に及ぼす影響を表しています。 |
| | | C112 | 3012 | 給水収益に対する企業債残高の割合 | % | (企業債残高/給水収益)×100 | ↓ | 224.2 | 243.7 | 258.8 | 268.7 | 給水収益に対する企業債残高の割合を示すもので、企業債残高が規模及び経営に及ぼす影響を表しています。 |
| | | C113 | 3013 | 料金回収率 | % | (供給単価/給水原価)×100 | ↑ | 110.7 | 123.9 | 124.2 | 108.2 | 給水原価に対する供給単価の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表しています。 |
| | | C114 | 3014 | 供給単価 | 円/m ³ | 給水収益/年間総有収水量 | ◇ | 150.3 | 167.4 | 169.5 | 137.3 | 有収水量1m ³ 当たりの給水収益の割合を示すもので、水道事業でどれだけの収益を得ているかを表しています。 |
| | | C115 | 3015 | 給水原価 | 円/m ³ | [経常費用- (受託工事費+ 材料及び不用品売却原価+ 附帯事業費+ 長期前受金戻入)] / 年間有収水量 | ↓ | 135.7 | 135.1 | 136.5 | 126.9 | 有収水量1m ³ 当たりの経常費用(受託工事費等を除く)の割合を示すもので、水道事業でどれだけの費用がかかっているかを表しています。 |
| | | C116 | 3016 | 1か月10m ³ 当たり家庭用料金 | 円 | 1か月10m ³ 当たり家庭用料金 | ↓ | 957 | 1,166 | 1,166 | 953 | 1か月に10m ³ 使用した場合における水道料金を示し、契約者の経済的利便性を表しています。 |
| | | C117 | 3017 | 1か月20m ³ 当たり家庭用料金 | 円 | 1か月20m ³ 当たり家庭用料金 | ↓ | 2,277 | 2,706 | 2,706 | 2,261 | 1か月に20m ³ 使用した場合における水道料金を示し、契約者の経済的利便性を表しています。 |
| | | C118 | 3022 | 流動比率 | % | (流動資産/流動負債)×100 | ↑ | 163.7 | 169.9 | 261.4 | 248.2 | 流動負債に対する流動資産の割合を示すものであり、事業の財務安全性を表しています。 |
| | | C119 | 3023 | 自己資本構成比率 | % | [(資本金+剰余金+評価差額など+繰延収益)/負債・資本合計]×100 | ↑ | 60.1 | 56.5 | 60.2 | 73.3 | 総資本(負債及び資本)に対する自己資本の割合を示しており、財務の健全性を表しています。 |
| | | C120 | 3024 | 固定比率 | % | [固定資産/(資本金+剰余金+評価差額など+繰延収益)]×100 | ↓ | 138.2 | 143.5 | 142.6 | 128.6 | 自己資本に対する固定資産の割合を示すものであり、財務の安定性を表しています。 |
| C121 | 3025 | 企業債償還元金対減価償却費比率 | % | [(建設改良のための企業債償還元金)/(当年度減価償却費-長期前受金戻入)]×100 | ↓ | 69.7 | 70.3 | 70.9 | 63.6 | 当年度減価償却費に対する企業債償還元金の割合を示すもので、投下資本の回収と再投資との間のバランスを見る指標です。 | | |

| 分類 | 区分 | 番号 | 旧番号 | 業務指標 | 単位 | 定義（積算方法） | 指標の優位性 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | R2年度類似団体平均 | 指標の解説 |
|-------|------|------|------|---------------|--------------------|---------------------------------------|--------|---------|---------|---------|------------|--|
| 財務 | 健全経営 | C122 | 3026 | 固定資産回転率 | 回 | (営業収益－受託工事収益) / [(期首固定資産＋期末固定資産) / 2] | ↑ | 0.17 | 0.17 | 0.16 | 0.11 | 固定資産（年度平均）に対する営業収益の割合を示すものであり、1年間に固定資産額の何倍の営業収益があったかを示しています。 |
| | | C123 | 3027 | 固定資産使用効率 | m ³ /万円 | 年間配水量/有形固定資産 | ↑ | 10.9 | 10.0 | 9.3 | 8.7 | 有形固定資産に対する年間総配水量の割合を示すもので、施設の使用効率を表しています。 |
| | | C124 | 3109 | 職員一人当たり有収水量 | m ³ /人 | 年間総有収水量 / 損益勘定所属職員数 | ↑ | 376,000 | 368,000 | 366,000 | 589,000 | 1年間における損益勘定職員一人当たりの有収水量を示すもので、水道サービスの効率性を表しています。 |
| | | C125 | 5005 | 料金請求誤り割合 | 件 / 1,000 件 | 誤料金請求件数 / (料金請求件数 / 1,000) | ↓ | — | 0.49 | 0.29 | 0.02 | 料金請求総件数に対する誤請求の件数の割合を示すもので、料金関連業務の適正度を表しています。 |
| | | C126 | 5006 | 料金収納率 | % | (料金納入額 / 調定額) × 100 | ↑ | 91.9 | 92.0 | 92.2 | 92.8 | 1年間の水道料金総調定額に対して、決算確定時点において納入されている収入額の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表しています。 |
| | | C127 | 5007 | 給水停止割合 | 件 / 1,000 件 | 給水停止件数 / (給水件数 / 1,000) | ↓ | 4.0 | 0.4 | 1.5 | 8.6 | 給水件数に対する給水停止件数の割合を示すもので、水道料金の未納状況の度合いを見る指標です。 |
| 組織・人材 | 人材育成 | C201 | 3101 | 水道技術に関する資格取得度 | 件/人 | 職員が取得している水道技術に関する資格数 / 全職員数 | ↑ | 2.33 | 2.40 | 2.33 | 1.91 | 職員が取得している水道技術に関する資格数の全職員に対する割合を示しています。 |
| | | C202 | 3103 | 外部研修時間 | 時間/人 | (職員が外部研修を受けた時間 × 受講人数) / 全職員数 | ↑ | 16.4 | 4.7 | 8.8 | 2.6 | 職員一人当たりの外部研修の受講時間を表すもので、技術継承及び技術向上への取組状況を表しています。 |
| | | C203 | 3104 | 内部研修時間 | 時間/人 | (職員が内部研修を受けた時間 × 受講人数) / 全職員数 | ↑ | 9.7 | 2.0 | 6.9 | 3.8 | 職員一人当たりの内部研修の受講時間を表すもので、技術継承及び技術向上への取組状況を表しています。 |
| | | C204 | 3105 | 技術職員率 | % | (技術職員数 / 全職員数) × 100 | ◇ | 69.8 | 70.0 | 68.9 | 62.8 | 全職員数に対する技術職員の割合を示すもので、技術面での維持管理体制を表しています。 |
| | | C205 | 3106 | 水道業務平均経験年数 | 年/人 | 職員の水道業務経験年数 / 全職員数 | ↑ | 12.8 | 12.8 | 12.9 | 10.2 | 全職員の水道業務平均経験年数を表すもので、人的資源としての専門技術の蓄積度合いを表しています。 |
| | | C206 | 6001 | 国際協力派遣者数 | 人・日 | Σ (国際協力派遣者数 × 滞在日数) | ↑ | 0 | 0 | 0 | 0 | 国際協力に派遣された人数とその滞在日数の積で、国際協力への関与の度合いを表しています。 |
| | | C207 | 6101 | 国際協力受入者数 | 人・日 | Σ (国際協力受入者数 × 滞在日数) | ↑ | 36 | 0 | 0 | 0 | 受け入れた海外の水道関係者の人数と滞在日数の積で、国際協力への関与の度合いを表しています。 |
| ケータン | 情報提供 | C301 | 5008 | 検針委託率 | % | (委託した水道メーター数 / 水道メーター設置数) × 100 | ◇ | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 水道メーター設置数に対する検針委託している水道メーター数の割合を示すもので、業務委託の度合いを表しています。 |
| | | C302 | 5009 | 浄水場第三者委託率 | % | (第三者委託した浄水場の浄水施設能力 / 全浄水施設能力) × 100 | ◇ | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 9.1 | 全浄水場の浄水施設能力のうち、第三者委託している浄水場の浄水施設能力の割合を示すもので、第三者委託の導入状況を表しています。 |
| ケータン | 情報提供 | C401 | 3201 | 広報誌による情報の提供度 | 部/件 | 広報誌などの配布部数 / 給水件数 | ↑ | 13.0 | 12.3 | 12.4 | 5.4 | 給水件数に対する広報誌などの発行部数の占める割合を示すもので、利用者への事業内容の公開度合いを表しています。 |

| 分類 | 区分 | 番号 | 旧番号 | 業務指標 | 単位 | 定義（積算方法） | 指標の優位性 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | R2年度類似団体平均 | 指標の解説 |
|----------------|------|------|------|------------------|------------|-------------------------------|--------|-------|-------|-------|------------|---|
| 使用者とのコミュニケーション | 情報提供 | C402 | 新規 | インターネットによる情報の提供度 | 回 | ウェブページへの掲載回数 | ↑ | 123 | 106 | 144 | 116 | インターネット（ウェブページ）による水道事業の情報発信回数を表すもので、使用者への事業内容の公開度合いを表しています。 |
| | | C403 | 3204 | 水道施設見学者割合 | 人 / 1,000人 | 見学者数 / (現在給水人口 / 1,000) | ↑ | 11.1 | 0.0 | 0.5 | 0.9 | 給水人口に対する水道施設見学者の割合を示すもので、使用者との双方向コミュニケーションの推進度合いを表しています。 |
| | 意見収集 | C501 | 3202 | モニタ割合 | 人 / 1,000人 | モニタ人数 / (現在給水人口 / 1,000) | ↑ | 0.056 | 0.056 | 0.056 | 0.042 | 現在給水人口に占めるモニタ人数を表すもので、使用者との双方向コミュニケーションの推進度合いを表しています。 |
| | | C502 | 3203 | アンケート情報収集割合 | 人 / 1,000人 | アンケート回答人数 / (現在給水人口 / 1,000) | ↑ | 4.21 | 3.62 | 0.17 | 1.46 | 給水人口に対する1年間に実施したアンケート調査に回答した人数の割合を示し、使用者のニーズの収集実行度を表しています。 |
| | | C503 | 3112 | 直接飲用率 | % | (直接飲用回答数 / アンケート回答数) × 100 | ↑ | 53.2 | 51.4 | 54.5 | 83.5 | 水道水を飲用としている使用者の割合を示すものであり、水道水の飲み水としての評価を表しています。 |
| | | C504 | 3205 | 水道サービスに対する苦情対応割合 | 件 / 1,000件 | 水道サービス苦情対応件数 / (給水件数 / 1,000) | ↓ | — | 0.17 | 0.16 | 0.50 | 給水件数に対する水道サービスに関する苦情対応件数の割合を示すもので、水道サービス向上に対する取組状況を表しています。 |
| | | C505 | 3206 | 水質に対する苦情対応割合 | 件 / 1,000件 | 水質苦情対応件数 / (給水件数 / 1,000) | ↓ | 0.22 | 0.28 | 0.23 | 0.28 | 給水件数に対する水道水の水質に関する苦情対応件数の割合を示すもので、水道水質の向上に対する取組状況を表しています。 |
| | | C506 | 3207 | 水道料金に対する苦情対応割合 | 件 / 1,000件 | 水道料金苦情対応件数 / (給水件数 / 1,000) | ↓ | — | 0.00 | 0.02 | 0.06 | 0.06 |

すいすい防災手帳



いつ起こるかわからない災害



命をつなぐ水



日ごろからできる備えを

吹田市水道部

令和4年(2022年)5月

備えあれば憂いなし

1人1日3ℓの飲料水を3日分以上備蓄しましょう



3ℓ 飲料水 × 3日分

★水道水の保存方法★
きれいなペットボトルなどに空気が入らないよう口元までいっぱい入れ、日光に当たらない涼しい所に置いておく。2日間程度保存可能です。

清潔なポリタンクや空容器を準備しましょう



災害時給水拠点や給水車などにより、応急給水を受ける時に便利です。

お風呂の残り湯も有効に使いましょ

トイレの流し水や生活用水として利用できますので、お風呂のお湯はすぐに捨てず溜めておきましょう。



日ごろから準備しておこう！

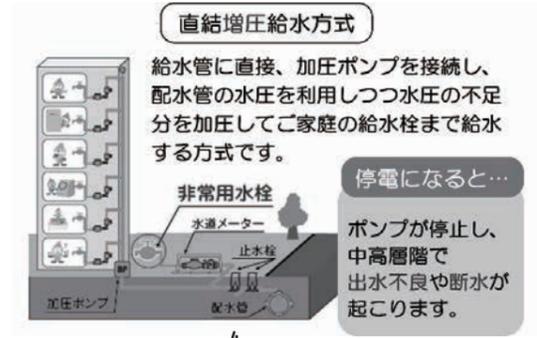
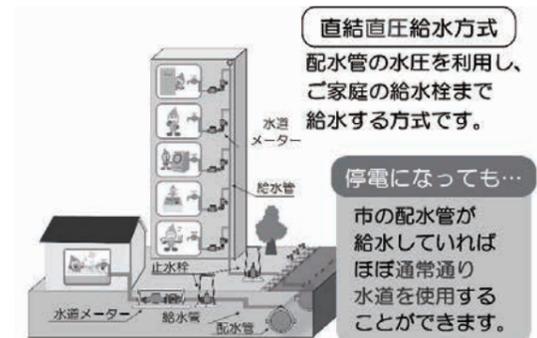
- 懐中電灯
できれば一人にひとつ、予備の電池や電球も。
- 携帯ラジオ
小型軽量でAMとFMの両方を聴けるもの。
- 非常食・水
カンパンや缶詰など、火を通さず食べられるものや、カップ麺やレトルト食品など。ペットボトル水など。
- 医療用品
消毒薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、胃腸薬、塗り薬ガーゼ、目薬、常備薬など。
- 衣類
上着、下着、靴下など。
- その他
携帯電話充電器、マスク、貴重品、ライター、ビニール袋、手袋、ビニールシート、ティッシュペーパー、タオルなど

★避難するときは・・・

- ①水道のじゃらや止水栓を閉める
- ②火の始末をする
- ③ガスの元栓を閉める
- ④電気のブレーカーをおとす
- ⑤外出中の家族にメモを残す
- ⑥戸締りをする
- ⑦非常持出品をもっていく
- ⑧広い道路など安全な道路を通過して徒歩で避難する

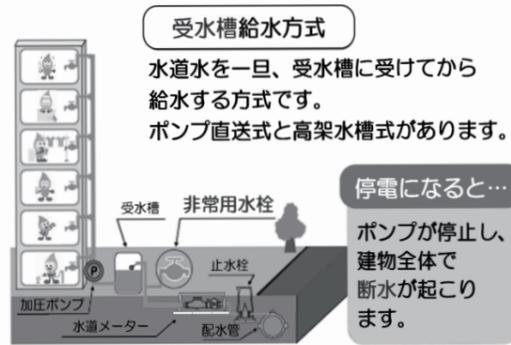
停電で断水することも！

お住まいの給水方式を確認しておきましょう！

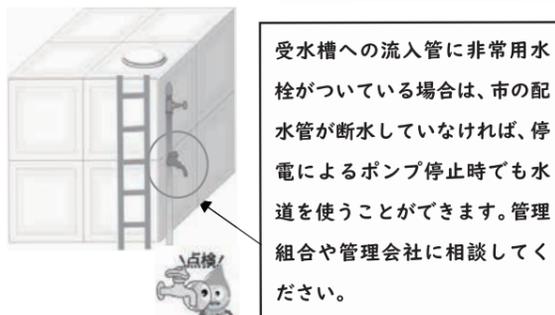


「非常用水栓」を確認しましょう

停電による断水の際に、使用できる場合があります



受水槽の非常用水栓について



水道管に凍結防止を！

冷え込みが厳しいと、屋外に露出している水道管が凍ったり破裂したりすることがあります。



厚手の布や保温チューブなどを水道管に巻きつけたり、段ボール箱をかぶせたりして、直接冷たい空気にさらさないように対策をお願いします。

水道管が凍ってしまったら？

自然に解けるのを待つか、凍ってしまった部分にタオルなどをかぶせてゆっくりとぬるま湯をかけてください。
※急に熱いお湯をかけると、水道管やじゃら破損するおそれがあります。

水道管が破裂してしまったら？

応急処置としてメーターの近くにある元栓（止水栓）を閉めて、吹田市の水漏れ修繕等給水装置工事対応可能事業者へ修理を依頼してください。

費用は水道管の所有者や使用者の負担となります。

◎集合住宅にお住まいの方は、管理会社等へ連絡してください。

緊急連絡先

| | |
|----------------|---------------|
| 吹田市水道部 | 6384-1251 |
| 吹田市役所 | 6384-1231 |
| 山田出張所 | 6877-0813 |
| 千里出張所 | 6871-0227 |
| 千里丘出張所 | 6877-0330 |
| 消防本部 | 6193-0119 |
| 南消防署 | 6317-0119 |
| 北消防署 | 6872-0766 |
| 西消防署 | 6384-0151 |
| 東消防署 | 6876-9119 |
| 吹田市民病院 | 6387-3311 |
| 吹田警察署 | 6385-1234 |
| 吹田市保健所 | 6339-2225 |
| 関西電力北摂営業所 | 0800-777-8015 |
| 大阪ガス北東部リビング営業部 | 0120-5-94817 |
| (ガス漏れ専用) | 0120-5-19424 |

すいすい防災手帳

初版：令和元年（2019年）12月
2版：令和3年（2021年）7月
3版：令和4年（2022年）5月
発行：吹田市水道部 総務室
住所：吹田市南吹田3-3-60 電話：06-6384-1251



わが家の防災メモ

家族みんなで話し合い、確認しておきましょう！

災害用伝言ダイヤル1711番
警察110番
火事・救急119番

避難場所は？

離れているときの
集合場所は？

連絡方法は？

避難時に気をつけることは？

お近くの災害時給水拠点・給水所はどこですか。

■災害時給水拠点 8か所

浄水所や配水場等、応急給水のための設備があり、応急給水のためのポリタンク、災害用備蓄水、飲料水袋等を備蓄している施設です。
 ※災害等が発生した際、断水や濁水など、被害状況に応じて開設します。



●災害時給水所 37か所

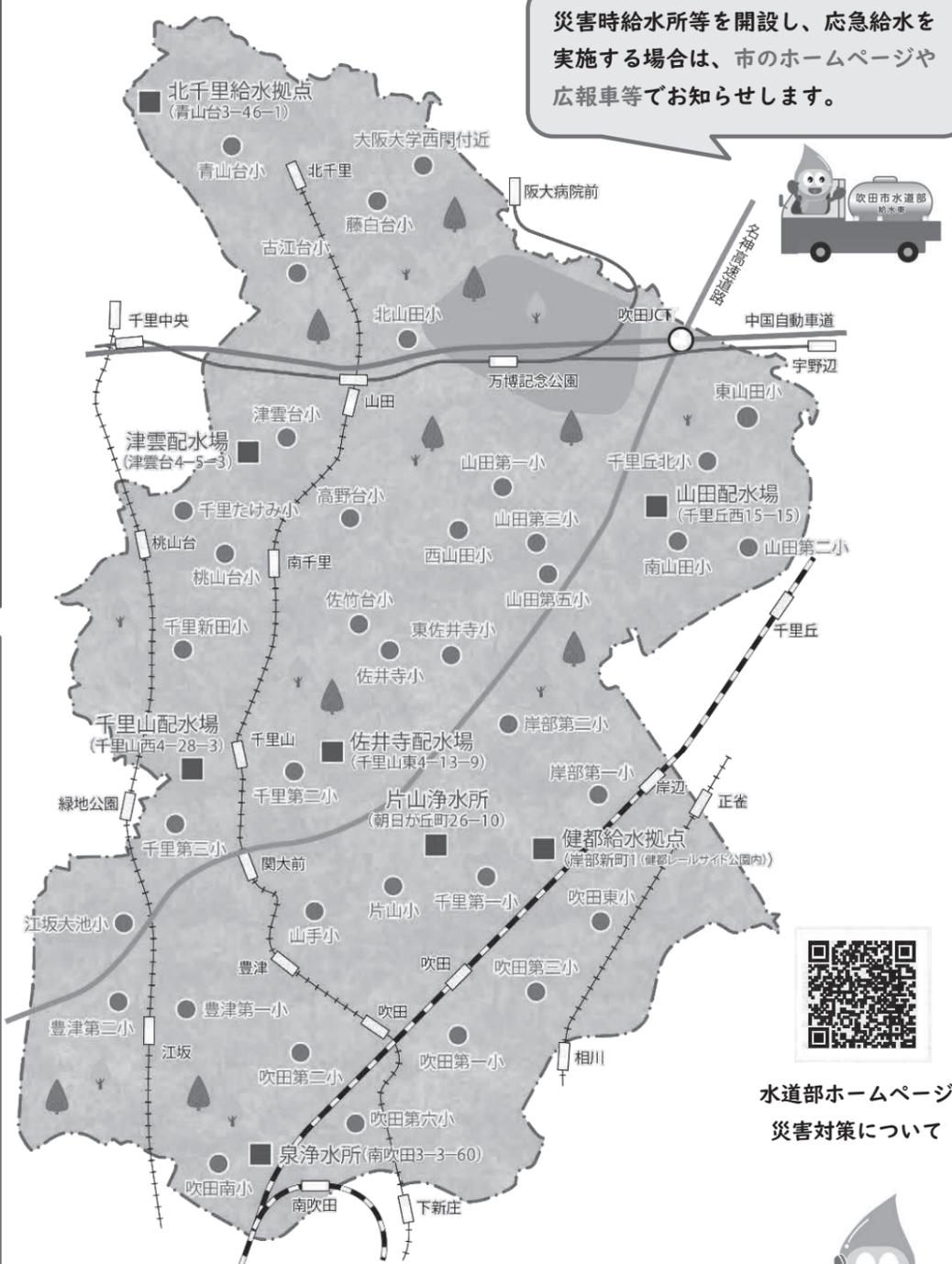
避難所（小学校）などに組立式給水タンクを設置し、給水車から水を入れるなどにより、災害時給水拠点よりも身近に応急給水を受けることができます。
 ※災害等が発生した際、断水や濁水など、被害状況に応じて開設します。

◀ 配備している資機材 ▶



←給水所を開設している目印です

令和4年（2022年）5月時点



水道部ホームページ
災害対策について



災害時の情報収集

QRコードで検索できます！



テレビ、ラジオ、電話、インターネットなどは、災害時の情報収集に役立ちます。
 しかし、一度に多くの方が利用すると、インターネットは回線速度が落ち、電話はつながりにくい状況になります。
 停電時には、携帯ラジオが便利です。



家族との安否確認方法

NTT西日本災害用伝言ダイヤル（171）

① 伝言の録音方法

171 ▶ ガイダンスが流れます ▶ 1 ▶ ガイダンスが流れます ▶ 被災地の電話番号、携帯電話・PHS・IP電話の電話番号をダイヤル

② 伝言の再生方法

171 ▶ ガイダンスが流れます ▶ 再生する場合は 2 ▶ ガイダンスが流れます ▶ 被災地の電話番号、携帯電話・PHS・IP電話の電話番号をダイヤル

※電話番号は①と②同じ番号を入力

登録できる電話番号は、被災地の方などの加入電話・ISDN・ひかり電話番号、携帯電話等の電話番号だよ。
 入力する電話番号は家族で決めておくことが大事だよ！

災害時給水拠点や災害時給水所の開設には時間がかかります。家庭や職場でも飲料水などの備蓄をしておきましょう。

すいどう にゅーす



No.59 令和4年(2022年)2月1日発行
発行:吹田市水道部 〒564-8551 吹田市南吹田3-3-60 TEL 6384-1251 (代表)



片山浄水所新施設完成・通水式典を行いました

新施設紹介ページ



通水ボタンを押す後藤市長(左)、前田管理者(中)、石川議長(右)

これからも職員一丸となって自己水源の確保と安定給水、市民の皆様へ愛され親しまれる浄水所への思いを新たにしました。

式典の様子は
こちら



昭和28年に浄水処理を開始した片山浄水所

昭和43年には浄水所内に「虹ますセンター」を開園し豊富な地下水を利用した虹ますの養殖を行い多くの市民でにぎわった時代もありました

施設の老朽化が進み
処理能力が低下してきたため

これまで以上に安定した水処理と
災害に強い浄水所を構築し

令和3年12月1日
新施設から給水開始

これからも 安定した
安心・安全の水道水をお届けします

新施設 見学ツアーのご案内 令和4年3月13日(日)

時間 ①10時45分～12時30分 ②13時30分～15時15分

場所 片山浄水所(朝日が丘町26-10)

対象 市内在住の方

定員 各回50人(応募1組につき5人まで)

申込 はがき・FAX・市HPから電子申込のいずれか

令和4年 2月14日(月)必着



明記事項

- 希望時間(①か②)
- 代表者の住所・名前・電話番号
- 同行者数(4人まで)
- 同行者に中学生未満の方がいる場合はその人数と年齢

応募先

〒564-8551 (住所不要)
吹田市水道部総務室
TEL:06-6384-1252
FAX:06-6338-3192

申込み多数の場合抽選し、当選した代表者にのみ、3月1日(火)までに案内を郵送します。新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、中止する場合があります。

読んで
みてね



吹田市水道部
SUITA Public Water Utility

すいすいレポート 2021

が完成しました

令和2年度の経営状況をご報告
(2020年度)

- 吹田市水道事業の業務状況
- 施策・事業の進捗状況
- 経営指標の状況 など

こちらから



ぜひ、見てね!



このまちの
水の未来を
考える

吹田市水道部
ホームページ



お問い合わせ
企画室
経営グループ

TEL : 06-6384-1253
FAX : 06-6384-1902

毎年発行!

和歌山市の六十谷水管橋崩落事故に伴い、本市からは延べ27人の職員が現地で応急給水活動を行いました。温かい応援メッセージをいただき、ありがとうございました。

この事故を受け、本市では

全水管橋の緊急点検を実施しました。

本市の水管橋には全て別ルートからバックアップ管路があり、有事の際も広範囲で長期的な断水にならないようにしています。今後も定期的な点検と適宜補修を行い、水道水の安定供給に努めます。



お問い合わせ ▶ **工務室 管理グループ**

TEL:06-6384-1386 FAX:06-6384-1837

鉛製給水管を 取り替えられる皆さまへ

詳しくは
こちら



条件を満たせば助成を受けられます。
助成金額は工事の内容により決定し、上限は30万円です。

お問い合わせ ▶ **工務室 給水相談グループ**

TEL:06-6384-1371 FAX:06-6384-1837



屋外に露出している水道管が凍らないよう保温材などを巻き付け、じゃ口や水道管を保護しましょう。



お住まいの方全員が70歳以上のご家庭の皆さまへ

高齢者

検針時 声かけサービス

お申し込みいただくと、水道メーター検針の際、検針員が声をかけて検針票をお渡します。状況に応じて家族への連絡など、適切な対応をいたします。



お問い合わせ▼

株式会社エコシティサービス(受託者)

TEL:06-6384-1285 FAX:06-6384-1265

高齢者

無料給水相談

職員が訪問し、じゃ口周りの点検や簡単な漏水調査など、水道についての相談をお受けします。



お問い合わせ▼

工務室 給水相談グループ

TEL:06-6384-1258 FAX:06-6384-1837

令和4年度(2022年度) 水質検査計画について

毎年、本市の水質検査の項目・地点・頻度などを示した「水質検査計画」を策定し、公表しています。最新の検査結果などは、ホームページに掲載しています。ご意見等は下記連絡先へお寄せください。

お問い合わせ▼

浄水室 水質グループ

E-mail:sui-suitsu@city.suita.osaka.jp
TEL:06-6384-1250 FAX:06-6384-1273



【有料広告】 この広告は広告料をいただいて掲載しています。広告募集については総務室 (TEL 6384-1251) までお問い合わせください。

すいどう にゆーす



No.60 令和4年(2022年)6月1日発行
発行:吹田市水道部 〒564-8551 吹田市南吹田3-3-60 TEL 6384-1251(代表)

詳しくは
こちら



6月1日～7日は水道週間 『大切な水と一緒に暮らす日々』

(厚生労働省が掲げた今年のスローガン)

じゃ口をひねれば安全な水が出る。
そのまま飲んでお風呂に入ってほっとする…
私たちの生活に当たり前にある、水道。
子どもたちが大きくなった時にも
この当たり前を守り続けるために。
考えよう、できること。



夏休み
7月30日(土)
募集
めざせ!
水道マイスター
水道について楽しく学び、
水道マイスターの証をもらおう!

応募先

〒564-8551 (住所不要)
吹田市水道部 総務室
TEL 6384-1251 FAX 6338-3192

必要事項

希望時間①か②のうち1つ
代表者の氏名・電話番号・
メールアドレス、参加者全
員の住所・氏名・小学生は
学年

要配慮事項等
あれば備考として
記入してください。

時間: ①9時30分～11時30分 ②13時～15時
場所: 泉浄水所(南吹田3-3-60)
内容: 泉浄水所見学ツアー、沈殿とろ過の実験、応急給水体験など。
対象: 市内在住の小学生(保護者等の同行必須)。
定員: 40組(各回20組)1組5人まで。
申込方法: 右記の必要事項を明記し、郵送かFAXで応募してください。
6月13日(月)必着。
市ホームページの電子申込システムでも応募
できます。



抽選の上、当選した組の代表者にのみ案内を郵送します。7月1日(金)発送予定。
※新型コロナウイルス感染拡大等の影響により中止する場合があります。

豊中市と配水場の共同利用はじめました!



広域連携の取組のひとつとして、吹田市の蓮間配水場が担っていた青山台など一部地域への給水を、令和4年4月19日から、隣接している豊中市の柿ノ木配水場からの給水に切り替えました。
水質や水道料金はこれまでどおりです。

効果 蓮間配水場の機能停止
による更新費用の削減 **およそ16億円**



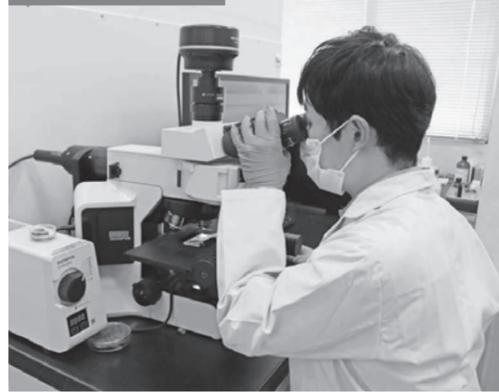
広域連携について
詳しくは、こちら

引用: [Google マップ/Google Earth]

6 安全な水とトイレを世界中に

すいすいくん SDGsを考える

飲み水としての安全を守る



水道水をそのまま飲む国は少ないんだ。
(12カ国)
※出典：国土交通省 水管理・国土保全局水資源部「令和3年版日本の水資源の現況」
いつまでもこの安心を守るには、
どうしたらいいんだろう？

1 安全な水をお届けしています

吹田市の水道水は、人が生活する上で一生飲み続けても健康に影響が出ないよう、国が定めた水質基準(51項目)を満たし、さらに市独自の検査も合わせて、水源からじゃ口まで、100項目以上の検査をして安全を確認しています。



水質検査結果ページ

吹田市は、水道GLPの認定を受け、15年間維持しており、第三者機関から本市の水質検査は信頼性の高いものであることが保証されています。
※GLP：Good Laboratory Practice～水道水質検査優良試験所規範～
(公社)日本水道協会が水質検査の信頼性を確保するもの

そうなんだ～
ちょっと安心。
これからは、
水道水を飲もうかな。



みんなで
水源を守ろう

ゴミを捨てないようにする！

流すものに気をつけよう

えーっ
たったこれだけ?!
大切に使わなきゃ!



2 持続可能な取水と水道水の供給をします

地球は表面の3分の2が水に覆われ「水の惑星」と言われています。地球上にある水のうち、大部分は海水で、氷河を含む淡水は約2.5%、私たちが使える川や湖などの淡水の量は約0.01%です。

地球上にある水の量

約14億km³

淡水は 約2.5%

使える水は 約0.01%

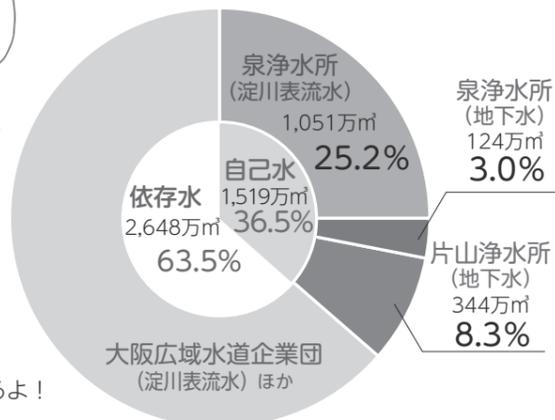
吹田市の水源は、淀川の表流水(約89%)と、地下水(約11%)です。

- ◆複数の水源を確保することで、災害や水源水質事故が起こった場合のリスク軽減を図っています。
- ◆平常時には泉浄水所と片山浄水所でつくっている水(自己水)を効率的に利用することで安定供給に努めています。



ちなみに、新しくなった片山浄水所では、くみ上げた地下水の99.5%をムダなく水道水に利用できるよ!

配水量の内訳
(令和3年度)
総配水量
4,167万m³



Panasonic Stadium Suita
95杯分!!

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



再生可能エネルギーの利用と省エネルギー設備の導入



水道水をつくるためには、たくさんのエネルギーが必要だよ。
(日本の電力使用量の約1%を水道事業で使用)
発電や節電に取り組んでいるよ。

節水してね

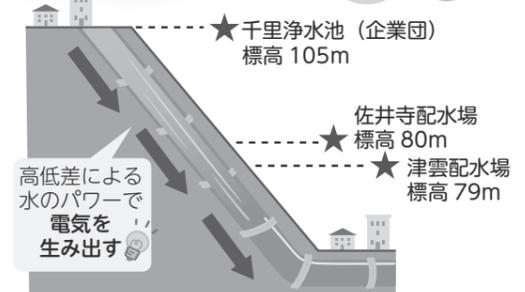
1 佐井寺配水場でマイクロ小水力発電中

地球温暖化対策の取組として、佐井寺配水場の受水管路に水車発電機を設置しました。高い位置にある千里浄水池(企業団)から低い位置にある配水池に流入する水の圧力を利用し、効率的に発電しています。

効果 令和3年度発電量
167,434kWh 48世帯分



詳しくは、こちら



今後の計画

2 配水場の屋上などを利用した太陽光発電や小水力発電の導入を進めます

| 設置場所 | 予定発電量(kWh/年) | 世帯数換算 | 予定CO ₂ 削減量(t/年) | 導入時期 |
|--------------|--------------|-------|----------------------------|---------------|
| 津雲配水場(小水力発電) | 166,000 | 47世帯分 | 60 | 令和4年度(2022年度) |
| 津雲配水場(太陽光発電) | 113,400 | 32世帯分 | 41 | 令和5年度(2023年度) |
| 片山浄水所(太陽光発電) | 33,480 | 10世帯分 | 12 | 令和5年度(2023年度) |

CO₂削減量は、関西電力(株)の基礎排出係数2020年度実績(0.000362t-CO₂/kWh)を基に算出。世帯数換算は、一般家庭の年間消費電力量を3,500kWhとして算出。

3 水道部庁舎照明のLED化を進めています

消費電力低減
寿命が長い!



11 住み続けられるまちづくりを



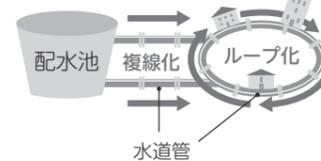
安全に住み続けられるまち… 災害に強い水道へ



水道は、暮らしになくてはならないものだから、大きな地震でも壊れない強い施設に取り替えているよ。

1 浄水所や配水池、水道管の更新と耐震化

水道管網のループ化・複線化
災害・事故時に水道管の一部が破損しても別のルートから給水ができるよう計画しています。



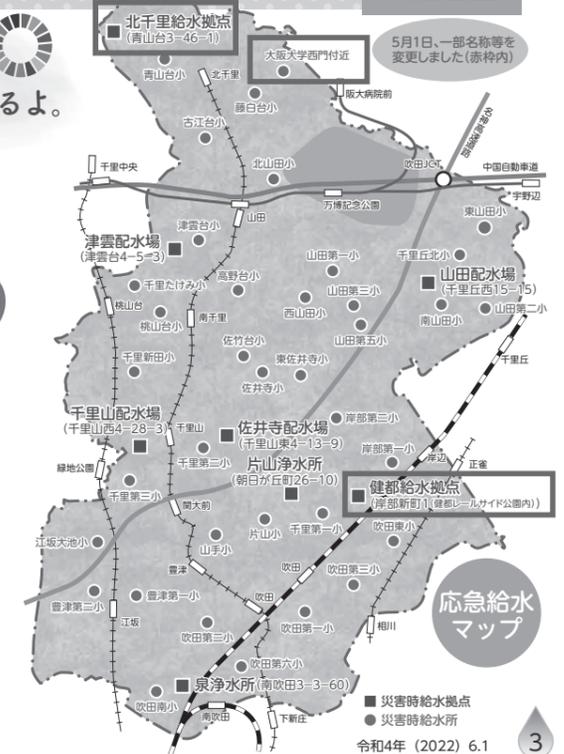
2 浄配水施設や水道管の点検と修理

3 応急給水・復旧体制の充実

- ◆災害発生時に素早く応急給水・復旧ができるよう計画し、定期的に見直しています。
- ◆自治会と連携し、給水所の設営訓練を実施しています。



災害対策ページ



応急給水マップ

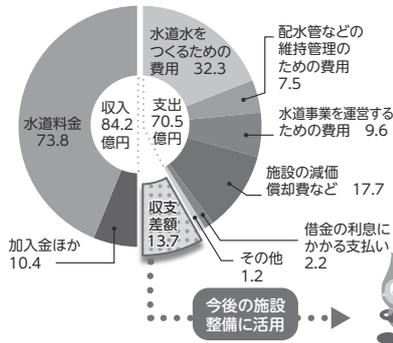
■災害時給水拠点
●災害時給水所
令和4年(2022)6.1

令和4年度（2022年度） 予算の概要

（単位：億円）税込

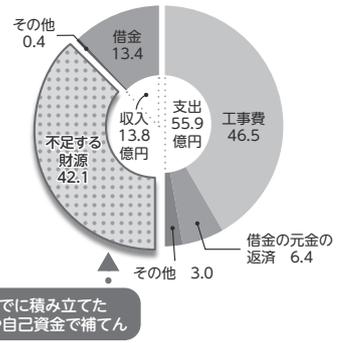
水道事業は水道料金収入で
成り立っています。
「独立採算制の原則」のもと、
税金を使わず、ほぼ水道料金
のみで経営しています。

水道水をつくりお届けするための予算 （収益的収支）



今後の施設整備に活用

水道施設を整備するための予算 （資本的収支）



これまでに積み立てた
お金や自己資金で補てん



水道いどばた会議

水道事業について一緒に考えよう！

身近にある水道の現状や課題、将来の姿について、一緒に考えてみませんか。ご希望に応じて職員が地域にお伺いします。

内容

- 動画の上映
- 地域の水道の話
- やってみよう！フューチャー・デザイン
- 水道なんでも相談 など

おおむね10名以上の市内のグループなら、どなたでもお申込みいただけます。

ご希望の開催場所、日時をお気軽にご相談ください。

※新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、ご希望に沿うことができない場合があります。

水道について、
ざっくばらんに
話し合いませんか？



お問合せ

企画室
経営グループ

TEL 6384-1253
FAX 6384-1902
E-mail w-keiri@city.suita.osaka.jp

お問合せ

総務室
料金グループ

お掛け間違いのないようご注意ください
TEL 6384-1255
FAX 6384-1534

上下水道料金をスマートフォン アプリでお支払いいただけます！

LINE Pay PayPay PayB au PAY
Rakuten 楽天銀行 ゆうちょPay Jcoin

払込取扱票のバーコードを
読み取ってお支払い！

⚠ 注意：領収書は発行されません。

クレジットカードでのお支払いは
令和5年度中の導入を予定しています。



お支払いについての
ホームページ

もしもの時に備えて「非常用水栓」をご確認ください

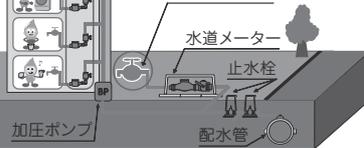
～マンションなど集合住宅では停電による断水の際に、使用できる場合があります～

各戸に水道メーター

直結増圧給水方式

給水管に直接、加圧ポンプを接続し、配水管の水圧を利用しつつ水圧の不足分を加圧してご家庭の給水栓まで給水する方式です。

非常用水栓



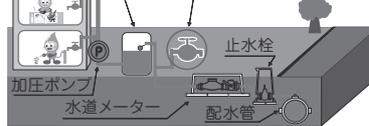
停電になると…

ポンプが停止し、中高層階で出水不良や断水が起きます。

受水槽給水方式

水道水を一旦、受水槽に受けてから給水する方式です。ポンプ直送式と高架水槽式があります。

非常用水栓



停電になると…

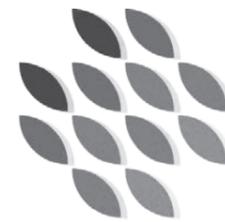
ポンプが停止し、建物全体で断水が起きます。

有料広告

この広告は広告料をいただいて掲載しています。広告募集については総務室（TEL 6384-1251）までお問い合わせください。



 **KATAYAMA**
WATER TREATMENT PLANT



吹田市水道部
片山浄水所



令和3年(2021年)12月

編集・発行 吹田市水道部
SUITA Public Water Utility

〒564-8551
吹田市南吹田3丁目3番60号
(TEL) 06-6384-1251
(FAX) 06-6338-3192

この冊子は2000部作成し、
一部当たりの単価は70.4円(消費税込み)です。



吹田市
水道部
ホームページ



登録商標
第6437754号

このマークは、「水の供給」区分に
おいて、商標登録されています。



ごあいさつ

片山浄水所がこの度リニューアルを迎えました。これらひとえに新施設完成のためにご尽力いただきました多くの皆さまのご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

原水に含まれる鉄分を十分に処理出来ていなかった時代に片山町で生まれ育った私にとって、朝一番の赤水をバケツ一杯排水(洗管)する日課に何の違和感もありませんでした。

その私が42年前に水道部の職員として地下水の除鉄プラントの研究、開発、実装に携わり、その後市長として施設更新にまで関わることが出来たことに、不思議な縁の深さを感じています。

今回のプロジェクトを開始するにあたり、職員と施設更新計画案を議論した時の光景を今でもはっきりと覚えています。冒頭「今日は市長ではなく、技術者として話を聞く」と言う私に、熱く語る若手中堅技術者の姿が当時の自分自身と重なりました。そして、迷いなく「よく頑張った」と言える結果となりました。

このプラント実現には、官民ともに多くの技術者が関わってきました。そして、これからの運転にもオペレーターの不断の働きが必要です。

市民の皆さん、蛇口をひねる時、その向こう側にも時折心を寄せていただけて幸いです。これからも安定給水に努めます。

吹田市長 後藤 圭二



ごあいさつ

片山浄水所は、地下300mから汲みだす地下水を水源として、昭和28年(1953年)から市民の皆様へ安全な水道水をお届けしています。水源の大半を淀川の水に頼る本市において、もう一つの水源を確保するという危機管理の観点からも重要な位置づけとなる施設です。

建設から70年が経過する中で、本市は、災害に強く強靱な水道を目指して片山浄水所を中心とした水道システムの再構築へと踏み出しました。

このたび、平成28年(2016年)から進めてきた「片山浄水所水処理施設更新工事」が完成し、新たな「膜ろ過方式」による浄水処理を開始します。工事の完成に伴い、耐震化した施設や自家発電設備により、災害時においても継続した水づくりが可能となるほか、災害時給水拠点としての機能も拡充しました。また、泉浄水所との連絡管も令和3年(2021年)3月に完成したことから、給水の安全度は各段に上昇しました。

長きにわたる工事期間中、地域の皆様を始め、関係者の方々のご理解とご協力に深く感謝申し上げますとともに、ライフラインを担う水道事業者として、次世代に引き継ぐ強靱な水道の構築に向けて、引き続き全力で取り組んでまいります。

吹田市水道事業管理者 前田 聡

片山浄水所のあゆみ

昭和28年(1953年)から市域南部に水道水を供給し続けてきた片山浄水所。約70年の間で、幾度もの水処理施設の改良を行い、水処理技術は日々進歩してきました。原水としている地下約300mの地下水には天然由来の鉄分などが多く含まれ、その除去が浄水処理上の課題でした。水道部の技術職員が研究を重ね、鉄分等を取り除くための新しい方法「前処理ろ過機」を平成5年(1993年)に開発しました。前処理ろ過機と昭和46年(1971年)から運転を開始した「高速ろ過機」を組み合わせた画期的な水処理システムは、安定して鉄、マンガン除去を行うことを可能にしました。

昭和43年(1968年)に開園した遊園施設の「虹ますセンター」は、豊富な地下水を利用した虹ますの養殖を中心に、水族館、釣り堀などがあるレクリエーションの場として、多くの市民でにぎわいました。

高速ろ過機搬入の様子

府営水道受水管工事の様子

「前処理ろ過機」開発の研究は海を渡りIWA(国際水協会)の会長賞を受賞したんだよ

前処理ろ過機



1953
(昭和28年)

地下水を原水とし、「急速ろ過」にて浄水処理を開始

1968年
(昭和43年)

虹ますセンター開園

1971年
(昭和46年)

高速ろ過機整備完成

1981年
(昭和56年)

大阪府営水道からの受水が可能となる。虹ますセンター閉園

1984年
(昭和59年)

中継ポンプ場を設置。泉浄水所から片山浄水所への送水が可能となる。

1992年
(平成4年)

佐井寺配水場へ送水するポンプ施設を設置

1993年
(平成5年)

前処理ろ過機運転開始

2011年
(平成23年)

片山浄水所にて膜ろ過実験開始

2016年
(平成28年)

■片山浄水所水処理施設更新工事 着工
■片山浄水所・泉浄水所連絡管布設工事 着工

2021
(令和3年)

■片山浄水所 新水処理施設 完成
■片山浄水所・泉浄水所連絡管 完成
■片山浄水所場内整備工事 着工

場内整備 完成
すいた水道の中核施設へ
市民に親しまれる
「まちなか浄水所」へ



1968年当時の虹ます像



虹ますセンターの様子



片山公園内に完成した中継ポンプ場



送水ポンプ

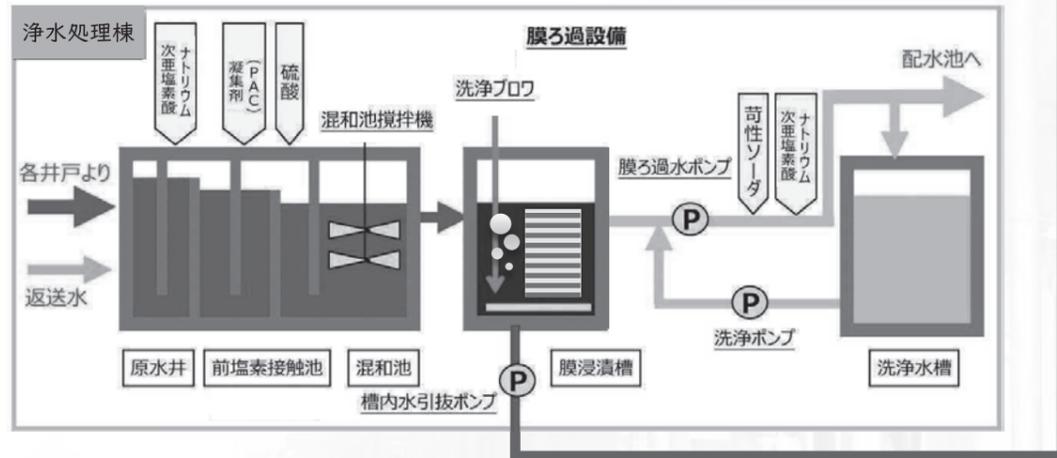
近年、大規模地震や大雨などの自然災害によって水道施設の安全を脅かす危機が顕在化する中、今後も安定して安全な水道水を供給し続けていくために、強靱な施設にする必要があります。

平成28年(2016年)から取り組んできた水処理施設の更新、泉浄水所との連絡管工事が完成し、災害時でも給水可能な浄水施設への一歩を踏み出しました。さらに災害時給水拠点としての充実を図るなど本市の水運用の中核施設に相応しい強靱な浄水所へ生まれ変わります。

片山浄水所の施設・設備

新施設のポイント

- 安定した浄水処理 片山地下水の水質に最適な膜ろ過方式を採用
- 災害に強い浄水所 取水から浄水・排水処理まで浄水所内で自己完結できる
- 水資源の有効利用 排水処理棟からの排水を浄水処理棟で再処理できる



ひとつの水槽で鉄・マンガン除去が可能なコンパクトな施設になりました

旧設備



前処理ろ過機
鉄除去



高速ろ過機
マンガン除去

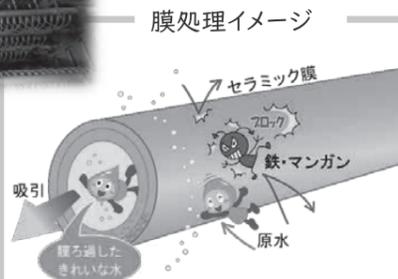
新設備



膜浸漬槽

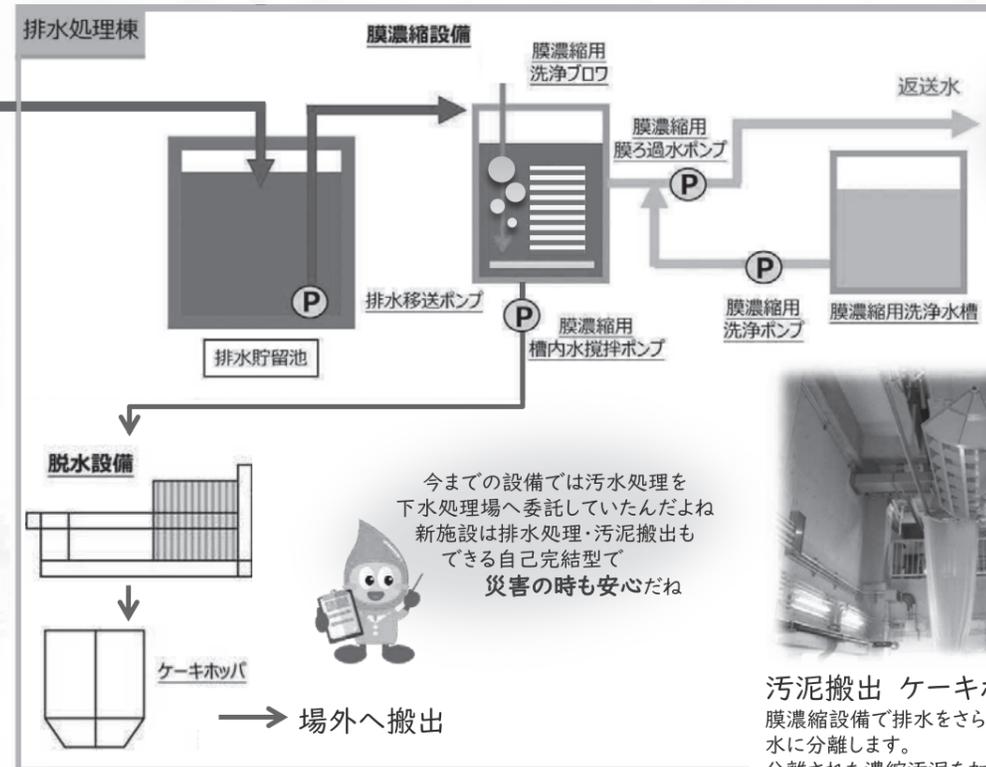
管状膜(公称孔径10000分の1mm)を多数本集めた集積体からなる膜エレメントをモジュール化した膜モジュールにより、管状膜の内側を吸引して膜ろ過水を取り出します。

たくさんの技術者が実験を重ねて原水の水質に最適な膜ろ過方式を選んだんだ。膜処理により地下水を99.5%回収できるようになったんだよ



施設概要

| | | | |
|--------|---------------------|-------------------------|--------------------|
| 水源 | 地下水、深さ 300m、井戸 10本 | 敷地面積 | 23,200㎡ |
| 給水能力 | 12,750㎡/日 | 配水池容量 | 20,000㎡ |
| 浄水処理方法 | 膜ろ過方式 | 配水方式 | 自然流下方式(標高50m) |
| 浄水処理棟 | 鉄筋コンクリート造 地上4階、地下1階 | 1日最大配水量 | 21,790㎡/日(令和2年度実績) |
| 排水処理棟 | 鉄筋コンクリート造 地上2階、地下1階 | ※片山浄水ほか企業団水を受けて配水しています。 | |



処理過程で発生する排水は返送水として再処理のために浄水処理棟へ送るよ



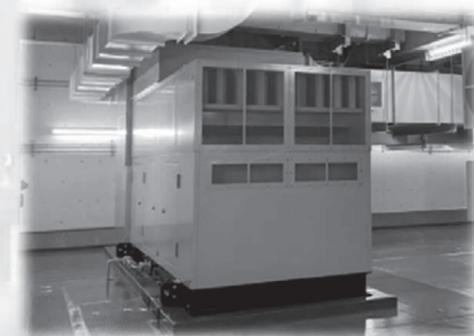
今までの設備では汚水処理を下水処理場へ委託していたんだよね。新施設は排水処理・汚泥搬出もできる自己完結型で、災害の時も安心だね



汚泥搬出 ケーキホッパ
膜濃縮設備で排水をさらにろ過して濃縮汚泥と返送水に分離します。分離された濃縮汚泥を加圧脱水し、固形の脱水ケーキを作り、場外に産業廃棄物として搬出します。



中央管理室
監視制御設備を設置し、片山浄水所の水処理設備を監視制御します。



自家発電設備
停電時でも、自家発電設備により浄排水処理ができます。24時間連続して運転ができる燃料を場内に保管しています。

完成までの道のり

| | |
|--------------|-------------------------|
| 平成19年(2007年) | 膜ろ過方式の検討を開始 |
| 平成23年(2011年) | 片山浄水所にて膜ろ過実験を開始 |
| 平成25年(2013年) | 工事基本設計、実施設計 |
| 平成28年(2016年) | 3月 再構築事業(変更認可取得) |
| | 10月 土木・建築工事着手 |
| 平成29年(2017年) | 6月 機械・電気設備工事着手 |
| 平成30年(2018年) | 6月 排水処理棟着工 |
| 平成31年(2019年) | 3月 浄水処理棟着工 |
| 令和 3年(2021年) | 7月 総合試運転開始 |
| | 12月 新処理水供給開始 完成・通水式典 |

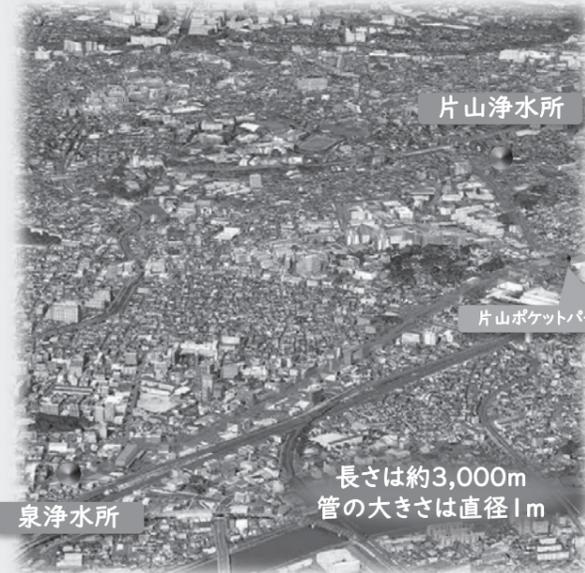
工事担当職員の声



コンパクトでフルスペックな浄水所が完成しました。今回得た経験や知識、人々との交流を今後の財産とし、次の世代に引き継いでいきたいと思っています。

平成16年の泉浄水所での実験から17年、ついに新施設から皆様に給水できる運びとなりました。地域の皆様のご理解、ご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

片山浄水所を中心とした 水道システムの再構築



片山浄水所

片山ポケットパーク

泉浄水所

長さは約3,000m
管の大きさは直径1m

片山浄水所を中心とし、本市南部地域への安定給水を図るため、片山浄水所と泉浄水所をつなぐ連絡管を整備しました。連絡管は約5年の工事期間を経て、令和3年(2021年)3月に完成し、浄水された水を浄水所間で相互融通することができる、地震に強い耐震型水道管です。

大地震などの災害時は、現在ポンプの圧力により配水している泉浄水所のポンプ機能が停止した場合でも、片山浄水所と泉浄水所には約50mの高低差があるため、ポンプの圧力がなくても、片山浄水所から連絡管を通じて泉浄水所の配水区域に水を送ることができます。

すなわち、連絡管は平常時はもとより災害時でも安定した配水を行うための役割を担っています。

また、泉浄水所の浄配水機能の停止を見据え、将来的にはこの連絡管を通じた水運用を行うことで、水を送るためのポンプを使用する必要がなくなり、省エネルギー化を図ることができます。



災害に強い水道管を布設しています

未来のために 市民と誇り 信頼のついた水道

約3km 直径1mの耐震型水道管



工事に使用した
穴を掘るためのシールドマシン

シールドマシンの発進基地に
設置していた防音ハウス

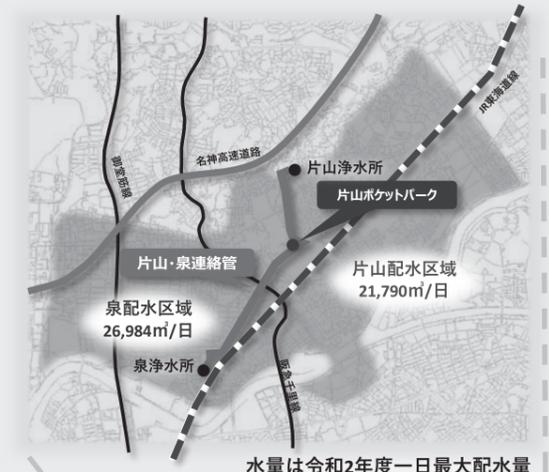


片山ポケットパーク

水道管内の水を活用
した応急給水が可能

非常用の給水栓が設置できるようになりました。他にも、かまどベンチ、防災トイレなど、災害時に役立つ機能があります。

安定した配水&省エネルギー



非常時には
泉配水区域にも
水を送れるんだね

期待しています

私が子供のころに、片山浄水所虹ますセンターで遊び学んだ思い出があるように、今の子供たちにも大人になった時に、片山浄水所で楽しみ学んだことが思い出に残るような浄水所になることを期待します。

片山地区在住
グラフィックデザイナー
山崎さん

愛情をもって お世話します

通勤や通学、散歩などで目にする片山浄水所。私たちの暮らしに身近な施設を地域の仲間とともに愛情をもってお世話をしていきます。

片山地区高齢クラブ第7寿会
中井さん

市民
のこえ

体に優しい
ベンチだね



地域とともに (すいすい里親ガーデン)

片山浄水所は住宅街の中にあり、市民の方の身近にある施設です。敷地の30%以上に樹木や芝などの緑を取り入れるなど周辺環境に配慮しています。また、正門南側にベンチや花壇を設置し、四季を感じながら安らいでいただける場所を設けました。

自治会等各種団体の皆様にご協力をいただき、一部区画の清掃や緑化等の美化活動をボランティアでしていただく「すいすい里親ガーデン」制度を発足し、地元の皆様とともに愛される浄水所づくりを目指します。



1968年の
虹ます像復活

(市報 R3.9月号)

◆ 災害に備えましょう ◆

ふだんから水の備蓄を

災害時には、道路の破損などにより水道水を届けることができない場合もあります。飲用水は1人1日3Lを3日以上備蓄しましょう。

断水時は災害時給水拠点・災害時給水所へ

全市立小学校に組み立て式給水タンクを配備し、災害時給水所として位置づけました。被災状況などに応じて開設します。

災害などによる断水で水が出なくなった場合、市内9か所の災害時給水拠点と36か所の災害時給水所(小学校)で応急給水を受けることができます。近くの給水拠点や給水所の場所を確認しておきましょう。詳しくは水道部のホームページへ。給水を受ける際はポリタンクなどを持参してください。☎水道部総務室(南吹田3☎6384・1251☎6338・3192)。水道部のページ



災害時給水拠点



大阪880万人訓練

大規模災害が発生したと想定して、携帯電話やスマートフォンに訓練用緊急速報メールが届きます。防災について考えるきっかけにしてください。☎9月3日(金)午後1時30分ごろ。☎危機管理室(☎6384・1753☎6337・1631)。

(市報 R3.9月号)

水道について一緒に考えよう

水道の未来について一緒に考えてみませんか。おおむね10人以上のグループから依頼があれば水道部の職員が出向き、水道事業の現状や課題、将来像などについて話し合います。DVDの上映、地域の水道の話など60分程度。☎水道部企画室(南吹田3☎6384・253☎6384・1902)。

(市報 R3.9月号)

9月～12月に漏水調査を実施

対象地域は、朝日が丘町、泉町1～5丁目、江坂町1～4丁目、江の木町、片山町2～4丁目、金田町、上山手町、岸部北1～5丁目、垂水町1～3丁目、豊津町、出口町、原町1～4丁目、広芝町、藤が丘町、穂波町、南金田1、2丁目、南吹田1～5丁目、山手町1～4丁目、芳野町です。昼間に各家庭の水道メーターが止水栓で、夜間は道路上で漏水探知機を使って漏水音の調査をします。調査員は腕章と身分証を携帯しています。不審に思ったときは確認してください。☎水道部工務室(南吹田3☎6384・1386☎6384・1837)。

(市報 R3.9月号)

水道工事は指定工事業者へ

水道管の工事は、市の指定給水装置工事事業者以外はできません。建て替えや水道工事を伴うリフォーム、水道メーターからじゃ口までの漏水修理を行う場合は、指定給水装置工事業者に申し込んでください。不明な点は水道部工務室(南吹田3☎6384・1258☎6384・1837)へ。

(市報 R3.10月号)

市税納付方法に スマホ決済を追加

☎納税課(☎6384・1283☎6368・7344)

10月からスマートフォン(LINE Pay 請求書払い、PayPay 請求書払い)で、市府民税(普通徴収分)、固定資産税(償却資産を含む)・都市計画税、軽自動車税種別割が納付できるようになります。詳しくは市ホームページへ。

水道水でかぜ予防

かぜの予防には、こまめな手洗い・うがいが効果的です。外から帰ったら、水道水でうがいをし、のどを潤しましょう。

効果的なうがいの方法 (1)口のまわりの汚れを水で洗い流します。(2)水を一口含んでゆすぎ、口の中の汚れを落とします。(3)上を向いて、のどの奥まで水が届くように15秒程度うがいをします。もう1度、繰り返し行います。☎水道部 総務室(南吹田3☎6384・1251 FAX6338・3192)。



高齢者水道相談

水道に関する相談や、じゃ口周りの点検、簡単な漏水調査などを行います。☎月～金曜日午前9時30分～午後5時。祝・休日は除く。☎全員が70歳以上の世帯。☎水道部工務室(南吹田3☎6384・1258 FAX6384・1837)へ。

(市報 R3.11月号)

水道部が総務大臣表彰を受賞

市水道事業が令和3年度の優良地方公営企業総務大臣表彰を受賞しました。同表彰は、病院事業を除く地方公営企業の中で、経営の健全性が確保され、他の地方公営企業の模範となる取り組みを行っている団体が対象です。全国に約7600団体ある中で、今年度は3団体が受賞しました。

タウンミーティング「水道いどばた会議」などの住民参加の取り組みを積極的に実施し、水道事業の諸課題に対する住民理解につなげたことや、中長期的な視点での資産管理を効率的に推進するなど経営基盤強化を図ったことが評価されました。今後も地域に根ざした事業運営に努め、健全な水道システムを未来につないでいきます。☎水道部企画室(南吹田3☎6384・1253 FAX6384・1902)。

(市報 R3.11月号)

11月～2月に漏水調査を実施

対象地域は、朝日町、内本町1～3丁目、片山町1丁目、川岸町、川園町、岸部新町、岸部中1～5丁目、岸部南1～3丁目、寿町1・2丁目、幸町、芝田町、昭和町、吹東町、末広町、清和園町、高城町、高浜町、天道町、中の島町、西御旅町、西の庄町、東御旅町、日の出町、平松町、南正雀1～5丁目、南清和園町、南高浜町、目俵町、元町。昼間に各家庭の水道メーターか止水栓で、夜間は道路上で漏水探知機を使って漏水音の調査をします。調査員は腕章と身分証を携帯しています。不審に思ったときは確認してください。☎水道部工務室(南吹田3☎6384・1386 FAX6384・1837)。

(市報 R3.11月号)

家庭でも漏水チェック

いつもどおり使用しているのに使用水量が多くなっているときは漏水の確認をしましょう。室内や散水用など敷地内すべてのじゃ口を閉め、水道メーターのふたを開けてパイロット(銀色の円盤)を確認してください。パイロットが回っている場合、漏水の可能性があります。修繕業者を案内するのに水道部工務室(南吹田3☎6384・1258 FAX6384・1837)へ連絡してください。

(市報 R3.11月号)

水道部の声かけサービス

ポストなどに投かんする「使用水量・料金等のお知らせ」を検針員が手渡しします。異変がある場合は、家族への連絡など、状況に応じて適切な対応をとります。☎全員が70歳以上の世帯。单身世帯も可。水道料金の支払い先が水道部ではなく建物の管理会社などになっている世帯は除く。☎水道部総務室(南吹田3☎6384・1255 FAX6384・1534)へ。

(市報 R3.12月号)

(市報 R3.10月号)

水道部からのお知らせ



長期間使用していない水道を使うときは

水道水は、朝一番や長い留守の後などは、塩素による消毒効果が薄れています。また、鉛製給水管の場合は、鉛がわずかに溶けだすことがあります。念のため、最初のバケツ1杯程度の水は飲み水以外に使いましょう。☎水道部浄水室(南吹田3☎6384・1250☎6384・1273)。

受水槽はいつも清潔に

ビルの所有者やマンション管理組合などの設置者が管理してください。☎水道部工務室(南吹田3☎6384・1258☎6384・1837)。

簡易専用水道 容量10立方メートル超。水道法により、水槽の清掃・検査を毎年1回以上行うことが設置者に義務付けられています。

小規模貯水槽水道 容量10立方メートル以下。水道部では年1回行う点検の結果に基づき、助言を行っています。簡易専用水道に準じて毎年1回以上の清掃・検査を行ってください。

管理チェックポイント

- ◇じゃ口から出る水に濁りはないか、色、におい、味などに異常はないか。
- ◇水槽のふたに鍵がかかり、きちんと閉まっているか。
- ◇水槽の亀裂、ボールタップの故障はないか。
- ◇警報機は正常に作動しているか。
- ◇水槽の周りは清潔か。
- ◇防虫網は壊れていないか。

(市報 R4.1月号)

平成28年10月から更新工事を進めていた片山浄水所が完成しました。同施設は片山地下水の水質に最適な膜ろ過方式を採用しているほか、取水から浄水・排水処理までを同施設内で自

片山浄水所が運転開始

己完結でき、原水を余すことなく浄水できる災害に強い施設です。また、泉浄水所内にある浄水管理センターで24時間365日遠隔監視しています。



(市報 R4.1月号)

のそばにある元栓(止水栓)を閉めて、指定給水装置工事業者に修理を依頼するか、水道部へ連絡してください。☎水道部工務室(南吹田3☎6384・1258☎6384・1837)。



(市報 R4.1月号)

職員が自宅を訪問し、水道に関する相談や、じゃ口周りの点検、簡単な漏水調査などを行います。☎毎月1金曜日午前9時30分〜午後5時。祝・休日は除く。☎全員が70歳以上の世帯。☎水道部工務室(南吹田3☎6384・1258☎6384・1837)へ。



(市報 R4.3月号)

水道管の工事は、市の指定給水装置工事業者以外ではできません。建て替えや水道工事を伴うリフォーム、水道メーターからじゃ口までの漏水修理を行う場合は、指定給水装置工事業者へ申し込んでください。☎水道部工務室(南吹田3☎6384・1258☎6384・1837)。

水道管の凍結・破裂に注意

高齢者水道相談

水道工事は指定工事業者へ

水道の使用開始と中止

☎水道部総務室料金担当

(南吹田3☎6384・1255☎6384・1534)

水道の使用開始・中止の手続きは引越し日の5日前までに同担当へ。水道料金を建物の管理会社などに支払っている場合は、管理会社などへ問い合わせてください。

開始 入居先に水道使用申込書があれば記入して郵送してください。☑か直接、電話でも申し込みできます。

中止 ☑か、お客さま番号、住所、名前、使用中止日、引越し先の電話番号と住所を直接か電話で連絡してください。

市内での引越し 開始と中止の両方の手続きが必要ですが、

便利でお得な口座振替・自動払い込みの利用を水道料金は納入通知書で支払うより1回当たり100円安くなります。☑通帳と届け出印、水道料金の領収書などのお客さま番号が分かる書類を持って金融機関が同担当へ。



水道部のページ

水道料金支払い 納付書でのスマホ決済が利用できます

☎水道部総務室

(南吹田3☎6384・1255☎6384・1534)

LINE Pay、PayPay、au PAY、ゆうちょPay、楽天銀行コンビニ支払い、PayB、J-Coin Payでのスマートフォンによる水道料金の支払いができます。詳しくは水道部ホームページへ。

水道の検針と料金請求

2か月に1度検針を行い、使用水量・料金などのお知らせ票をポストに投かんじます。お知らせ票には使用水量や下水道使用料を含む請求予定額、口座振替済み額などを表示しています。支払い用の納入通知書は後日郵送します。お知らせ票で集金を行うことはありません。☎水道部総務室(南吹田3☎6384・1255☎6384)。

水道について一緒に考えよう

水道の未来について一緒に考えてみませんか。おおむね10人以上のグループから依頼があれば水道部の職員が出向き、水道事業の現状や課題、将来像などについて話し合います。DVDの上映、地域の水道の話など60分程度。☎水道部企画室(南吹田3☎6384・1253☎6384・1902)。

料金は口座振替・自動払込を

水道料金を納入通知書で支払うより、1回当たり100円安くなります。☑水道料金の領収書など、お客さま番号が分かる書類と届け出印を持って、取り扱い金融機関か水道部総務室(南吹田3☎6384・1255☎6384)へ。水道部から口座振替用紙の郵送もしています。

鉛製給水管の布設替工事を助成

市所有の水道管からメーターまでの鉛製給水管を利用者の費用で布設替する場合、条件を満たせば助成を受けられます。助成額は工事の内容によって異なります。1水栓につき上限30万円。☎水道部工務室(南吹田3☎6384・1258☎6384・1837)。

高齢者水道相談

水道に関する相談や、じゃ口周りの点検、簡単な漏水調査などを行います。☎月々金曜日午前9時30分～午後5時。祝・休日は除く。☑全員が70歳以上の世帯。☎水道部工務室(南吹田3☎6384・1258☎6384・1837)へ。

6月～7月に漏水調査を実施

対象地域は、朝日町、内本町1～3丁目、片山町1丁目、川岸町、川園町、岸部新町、岸部中1～5丁目、岸部南1～3丁目、寿町1・2丁目、幸町、芝田町、昭和町、吹東町、末広町、清和園町、高城町、高浜町、天道町、中の島町、西御旅町、西の庄町、東御旅町、日の出町、平松町、南正雀1～5丁目、南清和園町、南高浜町、目依町、元町。昼間に各家庭の水道メーターが止水栓で、夜間は道路上で漏水探知機を使って漏水音の調査をします。調査員は腕章と身分証を携帯しています。不審に思ったときは確認してください。☎水道部工務室(南吹田3☎6384・1386☎6384・1837)。

豊中市と
配水場の共同利用を開始

吹田市と豊中市は、3月25日、隣接する柿ノ木配水場(豊中市)の共同化に関する協定を締結し、蓮間配水場(吹田市)が担っていた一部地域への給水を4月から柿ノ木配水場からの給水に切り替えました。豊中市との広域連携による水道事業の経営効率化を図り、安心・安全な水道水の安定供給に努めるとともに、災害対応の更なる連携強化をめざします。詳しくは市ホームページへ。☎水道部企画室(南吹田3☎6384・1253 ☎6384・1902)。



広域利用の取組のページ

(市報 R4.6月号)

家庭でも漏水チェック

いつもどおり使用しているのに使用水量が多くなっているときは漏水の確認をしましょう。室内や散水用など敷地内すべてのじゃ口を閉め、水道メーターのふたを開けてパイロット(銀色の円盤)を確認してください。パイロットが回っている場合、漏水の可能性があります。修繕業者を案内するので水道部工務室(南吹田3☎6384・1258 ☎6384・1837)へ連絡してください。

(市報 R4.7月号)

7月～9月に漏水調査を実施

対象地域は朝日が丘町、片山町2～4丁目、上山手町、岸部北全域、出口町、原町全域、藤が丘町、山手町全域です。昼間は各家庭の水道メーターか止水栓で、夜間は道路上で漏水探知機を使って漏水音の調査をします。調査員は腕章と身分証を携帯しています。不審に思ったときは確認してください。☎水道部工務室(南吹田3☎6384・1388 ☎6384・1837)。

(市報 R4.8月号)

水道部からのお知らせ

8月1日(月)は水の日

水資源について関心を高めるために制定されました。命を育み生活に欠かすことのできない貴重な水について考えてみましょう。☎水道部総務室(南吹田3☎6384・1251 ☎6338・3192)。

健康のため水を飲もう

体の水分が不足すると、熱中症だけでなく、脳梗塞や心筋梗塞などのリスクを高める要因にもなります。スポーツをするときや起床時、就寝前など、のどが渇く前に水分をとるよう心がけましょう。☎水道部総務室。

長期間使用していない水道を使うときは

水道水は朝一番や長い留守のあとなどは塩素による消毒効果が薄れています。また、鉛製給水管の場合は鉛がわずかに溶け出すことがあります。念のため最初のバケツ1杯程度の水は飲み水以外に使いましょう。☎水道部浄水室(南吹田3☎6384・1250 ☎6384・1273)。

(市報 R4.7月号)

高齢者水道相談

水道に関する相談や、じゃ口周りの点検、簡単な漏水調査などを行います。☎月～金曜日午前9時30分～午後5時。祝・休日は除く。☎全員が70歳以上の世帯。☎水道部工務室(南吹田3☎6384・1258 ☎6384・1837)へ。

(市報 R4.7月号)

市民委員の募集

募 集

☎市の審議会などの委員でない人。選考あり。原稿は返却しません。

水道事業経営審議会

平日に年4回程度。☎市内在住の20歳以上。☎2人。☎8月5日(金)までに、800字程度にまとめた「私のくらしと水道」と、年齢を直接か郵送、メールで水道部企画室(〒564・8551南吹田3・3☎60 ☎6384・1253 ☎6384・1902)へ☎。必着。結果は9月上旬にお知らせします。

☑費用 記載がないものは参加無料 ☑申し込み ☑は催し名、住所、名前(ふりがな)、電話番号を記入 記載がないものは当日直接会場へ ☑お問い合わせ ☑連続で参加が必要 ☑対象 ☑定員 ☑保育 ☑手話通訳 ☑は事前に問い合わせてください

7. 公用車配置状況

令和4年(2022年)3月31日現在 (単位:台)

| 種別・用途 | | 所属 | 所属 | | | 計 |
|-------|---------------|-----------------|-----|-----|-----|----|
| | | | 総務室 | 工務室 | 浄水室 | |
| リース | 軽自動車 | 貨物 | 3 | 20 | 5 | 28 |
| | | 乗用 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小型自動車 | 貨物 | 0 | 6 | 1 | 7 |
| | | 乗用 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 普通自動車 | 貨物 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | | 乗用 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | | 特種 (公共応急作業車) | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | | 特種 (給水車) | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 部所有 | 原動機付自転車(50cc) | | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | ホイールローダー | | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 合計 | | | 5 | 30 | 8 | 43 |



吹田市水道事業年報（令和4年度版）

発行 令和4年（2022年）9月

発行所 吹田市南吹田3丁目3番60号

吹田市水道部企画室

（電話） 06（6384）1253

（FAX） 06（6384）1902



リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

この冊子は300部作成し、一部当たりの単価は528円（消費税込み）です。